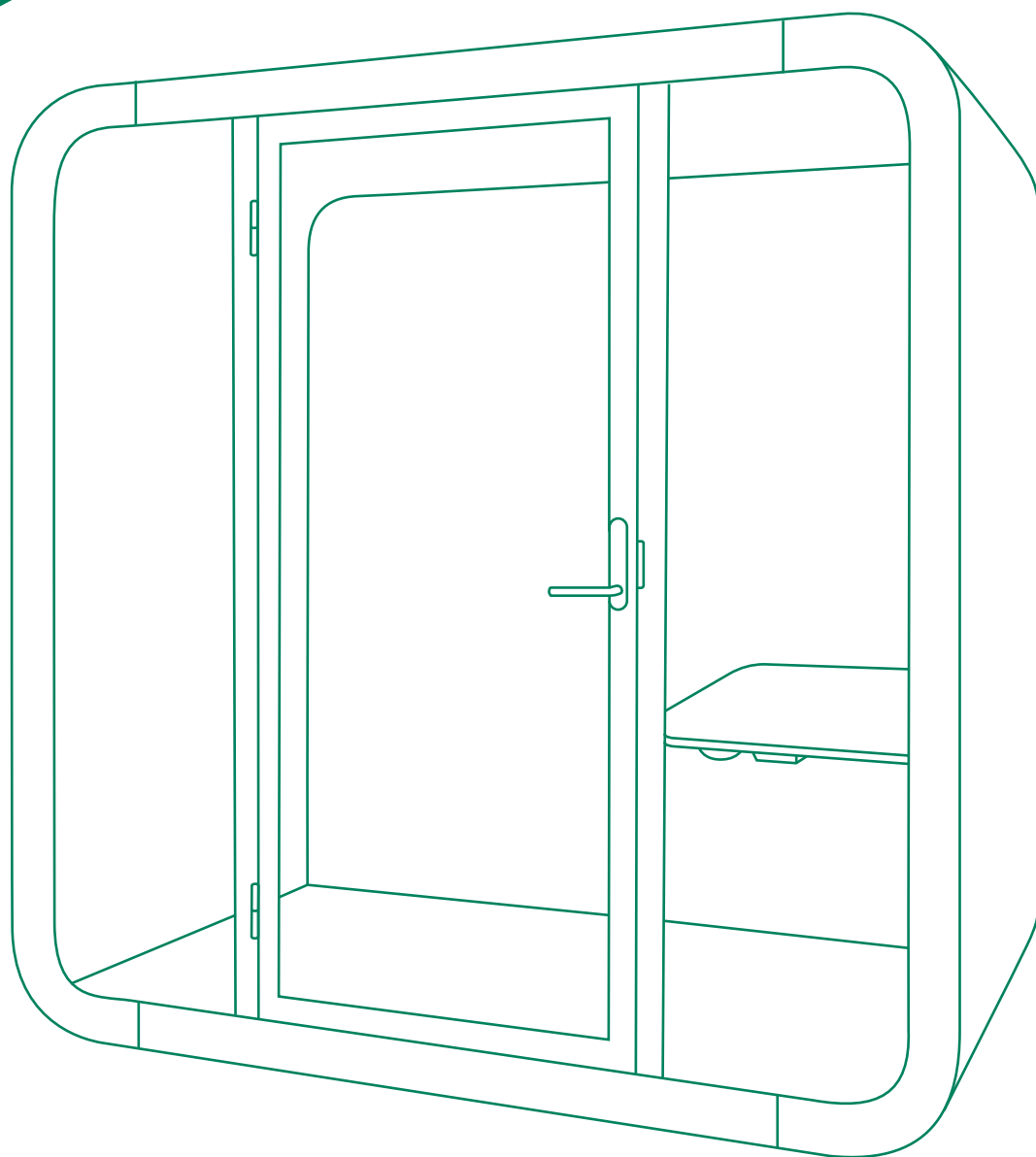


framery

SERIOUS ABOUT HAPPINESS



Framery Q Flow

設置方法

日本語

Version 1.1

Tampere, Finland 20.03.2023

目次

1 保証書チェックリスト.....	7
2 安全と製品に関する重要な注意事項.....	8
2.1 はじめに.....	8
2.2 製品情報.....	8
2.3 著作権について.....	8
2.4 取扱説明書の内容.....	8
2.5 使用目的.....	8
2.5.1 想定されていない使用法.....	8
2.5.2 使用環境条件.....	9
2.6 本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について.....	9
2.7 本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク.....	9
2.7.1 設置、メンテナンス、分解.....	10
2.7.2 電気的安全性.....	10
2.7.3 火災時の安全性.....	11
2.7.4 使用法.....	11
2.8 キャスターでの移動 (別売).....	13
3 設置条件.....	14
3.1 ツールと付属品.....	14
3.2 主な寸法.....	15
3.3 設置スペース.....	15
3.4 作業スペース.....	16
4 フロアモジュール.....	17
4.1 キャスターの設置.....	17
4.2 アコースティックパネルの準備.....	18
4.3 フロアモジュールの接続.....	19
4.4 フロアモジュールの水平調節.....	24
5 ウォールモジュールの設置.....	26
5.1 ウォールカバーパネルの取り外し方.....	26
5.2 ウォールモジュールをフロアモジュールに接続する.....	26
6 ルーフモジュール.....	30
6.1 ルーフモジュールの接続.....	30
6.2 ルーフモジュールの設置.....	33
7 フロントフレームとガラス.....	36

7.1 サイドフレーム (正面) の設置.....	36
7.2 コントロールパネルの設置(オプション).....	40
7.3 フロントガラスの設置.....	44
7.4 上部/下部フレームの設置.....	49
7.5 予約システム用ブラケットの設置 (別売).....	51
8 バックフレームとガラス.....	59
8.1 サイドフレーム (背面) の設置.....	59
8.2 下部フレームの設置.....	62
8.3 耐震キットの取り付け.....	63
8.4 バックガラスの設置.....	63
8.5 上部フレームの設置.....	65
9 ガラスビート施工.....	68
10 カバーパネルとプレートの設置.....	70
11 電気機器の設置.....	72
11.1 フロアからの電気コード取付け方法.....	72
11.2 屋根から電源コードを取り付ける場合.....	74
11.3 LANコードの設置 (別売).....	76
11.4 電源ユニットの設置.....	77
11.5 フロアカバーボードの設置.....	82
11.6 コントロールユニットの設置.....	83
11.7 コントロールパネルコードの設置.....	86
11.8 モーションディテクターと照明の設置.....	88
12 インテリアの設置.....	92
12.1 カーペットの設置.....	92
12.2 コートフックの設置.....	93
12.3 テーブルの組み立て.....	94
12.4 テーブルの設置.....	98
12.5 LANデータカートリッジの取り付け (別売).....	99
12.6 電源コンセントの設置.....	100
12.7 テーブルの電気配線.....	101
12.8 フロアグリッドの設置.....	104
13 フロア用敷居の設置.....	106
14 天井用敷居の設置.....	108
15 ドアの設置.....	110
15.1 標準ヒンジによるドアの設置.....	110
15.2 セルフクローズヒンジ付きのドアの設置.....	112

15.3 ドアの閉鎖速度調整.....	115
15.4 ロックケースの設置.....	121
15.5 ドアハンドルの設置.....	122
15.6 スマートロックハンドルの設置 (別売).....	125
15.6.1 ストライクプレートの調節.....	132
15.6.2 ロック機能を確認してください。	133
16 ボディカバーの設置.....	137
16.1 ルーフカバーパネルの設置.....	137
16.2 ボトムボディカバーの設置.....	138
16.3 ルーフボディカバーの設置.....	141
16.4 壁面ボディカバーの設置.....	144
17 設置完了.....	146
18 ポッドの移動 (別売).....	148

1 保証書チェックリスト

本製品の保証を有効にするにあたって：

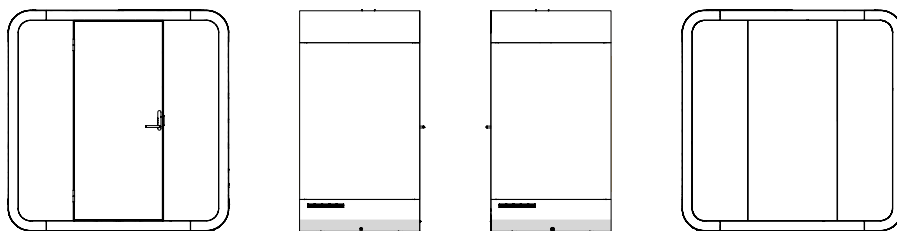
本チェックリストに記入して、ポッド設置後にFrameryまで送付してください。記入したリストを写真に撮るかスキャンして、Framery の warranty@frameryacoustics.com 宛てに送信してください。完成したリストは、ポッドの中に入れておいてください。

国名： _____
 市町村： _____
 顧客名： _____
 ポッドのシリアル番号： _____
 SO番号 _____
 設置業者： _____
 設置者名： _____

はい

- ☐ 全てのボルトが指示通りに締め付けられている
- ☐ ポッドは水平で、水平調節脚に立っている
- ☐ ドアが開いている状態の時、自然に閉まる。または、その状態に止まる
- ☐ ドアは開口部の中央の位置にある。
- ☐ ドアハンドルに緩みがなく、取扱説明書通りに取り付けられている
- ☐ ポッドの電源コードが指示通りに接続されている
- ☐ 人がポッドに入ると、照明とファンのスイッチが入る
- ☐ ファンは静かで均一な音がしている
- ☐ ルーフモジュールの換気口からポッド内に空気が流れ込んでいる
- ☐ すべての家具が説明書通りにきちんと設置されている
- ☐ ドアを閉めると、換気口からポッド内の空気が流れ出る
- ☐ 取扱説明書に従ってボディカバーを取り付けている
- ☐ 約8分間使用しない場合、ポッド内の照明が消える
- ☐ 全てのガラスが均等に取扱説明書に従って取り付けられている
- ☐ 全てのガラスビートが取扱説明書に従って取り付けられている

傷など外観上の問題がある場合は、その箇所を丸で囲み、欠陥部分の写真と説明文を保証書に記載のメールアドレス宛に送ってください。



私は、本ポッドがFrameryの設置手順に従って設置され、ポッドが正しく動作することを確認したことを証明します。

署名および日付: _____

2 安全と製品に関する重要な注意事項

2.1 はじめに

本取扱説明書では、本製品の設置方法を説明しています。本製品を設置する際には、関係者全員がこの設置・安全に関する指示書の内容を読み、理解してください。

本取扱説明書は、正しく設置していただくための必要な情報を記載しています。

2.2 製品情報

本取扱説明書に記載されている情報は、出荷時の本製品に対応しています。本取扱説明書に記載されているすべての情報は、発行時に有効です。

2.3 著作権について

本資料は、Frameryの明示的な許可なく、複製、提示、または第三者へ提供してはいけません。本資料をFrameryが許可した目的以外に使用することは禁止されています。Frameryは、別途通知することなく、本製品に関する説明を変更する権利を有します。

2.4 取扱説明書の内容

設置に関する取扱説明書には、以下の情報が記載されています:

- 取扱説明書の目的と内容に関する一般的な情報
- 安全に関する情報
- 設置方法

2.5 使用目的

Framery Qは、1～4人が一度に屋内で短期間使用することを目的としたポッドです。

 **警告：**警告－火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください。

本製品は、取扱説明書に記載されている使用目的以外には使用しないでください。メーカーが推奨していない付属品は使用しないでください。

2.5.1 想定されていない使用法

設置、メンテナンス、トラブルシューティングをはじめ、本取扱説明書で明確に許可されていない本製品の使用やメンテナンスは、以下を含めて禁止されています:

- これらの行為に関する指示を読み理解することなく、ポッドの設置、メンテナンス、または分解を行うこと
- 使用限度を超えたポッドの使用

- ポッドの改造
- 明らかな欠陥や損傷があるにも関わらず、ポッドを使用する行為
- 屋外又は、温度や大気環境が安全でない状況でのポッドの使用
- 本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せる行為
- ポッド内での喫煙

2.5.2 使用環境条件

本ポッドは、以下の条件での使用を想定しています:

- 周囲温度 : +15°C ... +30°C (59°F ... 86°F)
- 湿度 : 最大 50%
- 本製品の周囲に十分な空気環境が整っていること

2.6 本取扱説明書に記載されている警告、情報、安全記号について

本取扱説明書に記載されている警告は、以下の2つに分類されています:

- 「危険」とは、回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。
- 「警告」は、回避しなければ死亡または負傷につながる可能性のある危険な状況を示しています。

本取扱説明書に記載されている安全記号は、本製品にも記載されています。本製品の設置、分解、メンテナンス、使用を行うすべての人は、作業に関するすべての安全記号、ラベル、指示を熟知し、遵守しなければなりません。

表 1: 危険

	色付きの三角形の中にある感嘆符のマークは、危険な状況を示しています。
	

表 2: 必須事項

	色付きの円の中にある白色のマークは、危険な状況を回避するために取らなければならない行動を示しています。
---	---

表 3: 禁止事項

	斜めの線入りの円マークは、許可されていない行為を示しています。
---	---------------------------------

2.7 本製品の設置、保守、分解、使用に関する主な安全上のリスク

2.7.1 設置、メンテナンス、分解

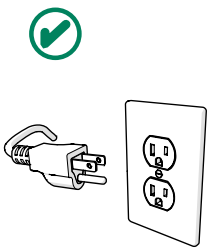
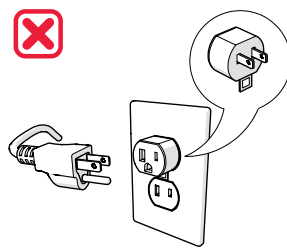
	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、耐切創性のある安全手袋を使用してください。
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、つま先がスチール製の安全靴を使用してください。
	本製品の設置、メンテナンス、分解の際には、安全眼鏡を使用してください。
	取扱説明書を読んで理解し、事前に作業計画を立ててください。
	職場の安全に関するお住い地域の規則や規制をすべて遵守してください。
	設置、メンテナンス、分解の各工程において、作業現場を整理整頓し、ゴミのない状態にしてください。
	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。
	別売のキャスターをつけていない状態で、完成品を押して移動させないでください。 本製品は非常に重いため、組立後に別売のキャスターが無い状態で移動させるのは、かなりの力が必要になります。完成品 (別売のキャスターを使用しない場合) を分解・再組立せずに移動する場合は、本製品の移動を担当する者が現場でリスクアセスメントを行ってください。

2.7.2 電気的安全性

電気系統入力 : 100-240 VAC (10 A) 50-60 Hz

電気系統の最大負荷は6.6Aです。

	危険! 感電の危険を避けるために、以下の注意事項に従ってください:
	クリーニング、メンテナンス、分解の作業を始める前に、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	電源コードは適切に接地されたコンセントにのみ接続してください。
	本製品は、120ボルトの回路で使用され、下図のようなアースプラグが付いています。プラグと同じ形状のコンセントに接続されていることを確認してください。本製品にはアダプターを使用しないでください。  
	本製品の電源コードを加熱面に近づけないでください。
	電気機器に不具合や損傷がある場合は、本ポッドを使用しないでください。
	本機の電源コンセントに延長コードを接続しないでください。

2.7.3 火災時の安全性

Framery Qの火災荷重は、約5200MJです。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	本製品内部で火災が発生した場合、安全に実行できる場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。 電源コードは、プラグ着脱可能な機器の電源切断装置として機能します。電源コンセントは機器の近くにあり、簡単に使用できるものでなければなりません。

本ポッド内に火災安全装置 (警報器、スプリンクラーなど) を設置することも可能です (説明書はご要望に応じて提供いたします)。本ポッド内のエンドデバイスの必要性は、常に、該当する地方自治体によって決定されます。

2.7.4 使用法

全ての Framery Q テーブルの最大荷重は、60kg です。

Meeting Maggie ソファの最大荷重は、272kg です。

ディスプレイブラケットの最大荷重は 10kg です。

	警告! 火傷、火災、感電、人身事故などの危険を避けるため、以下の注意事項に従ってください:
	ご使用になる前に、使用説明書をよく読んで理解してください。
	❗ 注: 以下の注意事項は、日本国内での使用に適用されます。 本機器は、お子様がいると想定される場所での使用には適していません。
	❗ 注: 以下の注意事項は、他のすべての国での使用に適用されます。 本製品をお子様や病人、障がい者が使用する場合、あるいはお子様や病人、障がい者の近くで使用する場合は、厳重な管理の下で使用しなければなりません。 拡張されたフットサポート（またはその他の類似部品）に小さいお子様を近づけないでください。
	傷害の危険性!電動式高さ調整テーブルの天板を上下するときは、テーブルの側縁に手や体の一部を近づけないようにしてください。これは、電動調整式テーブルを備えたすべてのFrameryのポッドに適用されます。
	周囲の空気を利用して、ポッド内の空気を循環させています。周りの環境が少しでも危険な場合は使用しないでください。
	換気が機能していない場合は、使用しないでください。
	換気口がふさがれている場合は、使用しないでください。換気口に糸くずや髪の毛などが付着しないようにしてください。
	電気機器に異常がある場合や、本製品が正常に動作しない場合は、ポッドを使用しないでください。速やかに電源コードをコンセントから外し、お近くの販売店または製造元に連絡してください。
	本取扱説明書で特に指示されていない場合、開口部に物を落としたり挿入したりしないでください。
	屋外では使用しないでください。
	エアロゾル（スプレー）製品を使用している場所や、酸素を投与している場所では使用しないでください。

	本製品の上に登ったり、本製品の屋根に荷物を載せたりしないでください。
	本製品に寄りかからないでください。
	本製品の中では喫煙しないでください。
	建築物に設置されている警報機や通路誘導等などがポッド内から目視出来なくなる様なもの(ポスター、カーテン、ブラインドなど)は、フロント又は、バックガラスに貼らないでください。

2.8 キャスターでの移動 (別売)

	警告! 本製品は非常に重いです。キャスターで本製品を移動させるには、計画性と注意力が必要です。移動中に本製品が転倒しないようにしてください。
	本製品は平らな場所だけで移動させてください。移動したい経路上に 3mm (1/8 インチ) 以上の亀裂や段差がないようにしてください。
	本製品を移動するときは、垂直方向の真ん中より下を押してください。本製品を牽引しないでください。
	本製品がキャスターのみで立っている状態の時には、中に入らないでください。本製品を移動する際に限り、キャスターを使用してください。移動後は直ちに水平調節脚で製品を固定してください。

3 設置条件

3.1 ツールと付属品

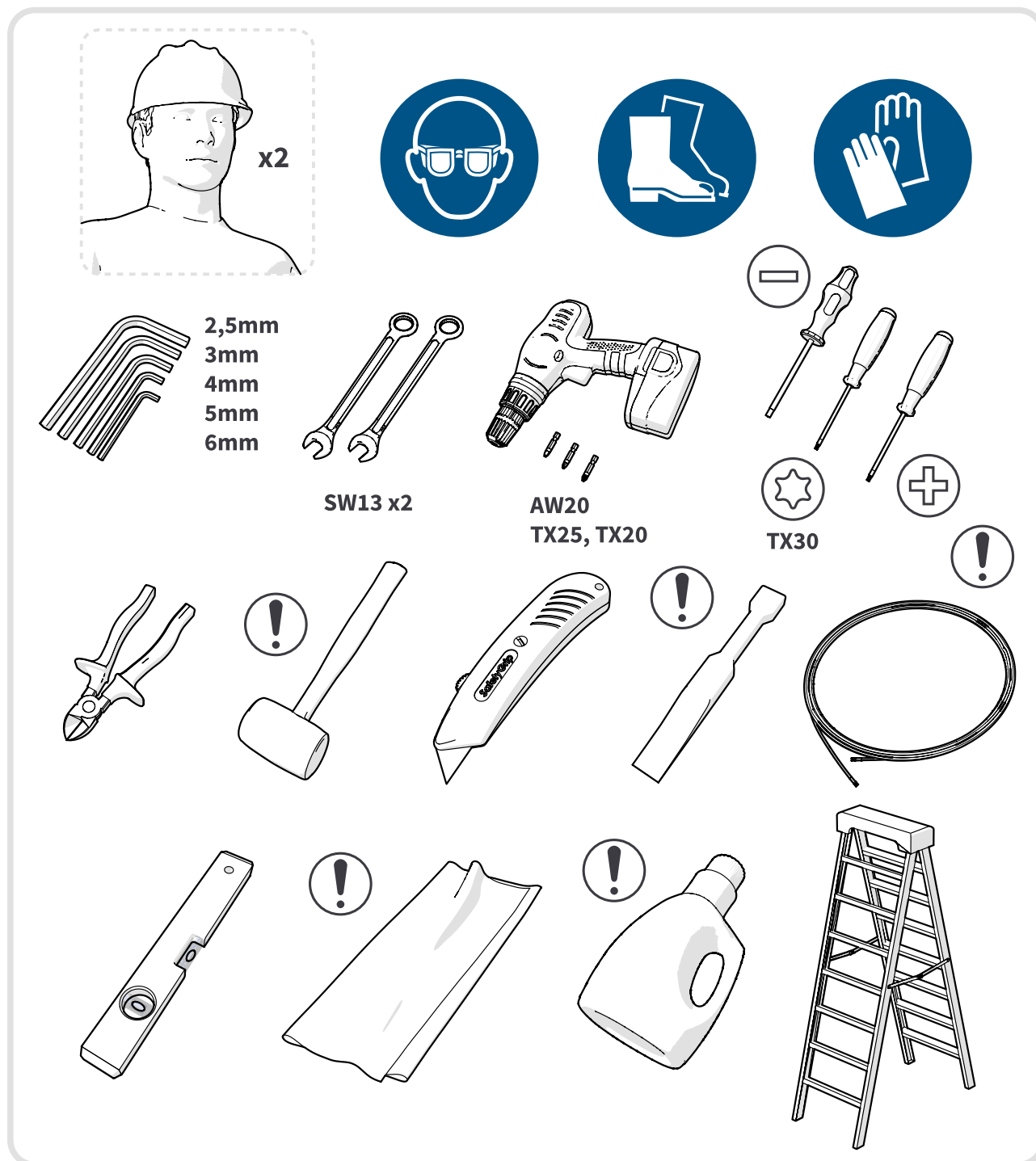


図 1：設置とメンテナンスに必要なツールと付属品

- ❗ 注：ボディカバーに跡が残らないように、白色のゴム製ハンマーを使用してください。
- ❗ 注：プラスチック製のノミを使って、ボディカバーを取り外してください。

- ❗ 注：電気設備には引き込み線を使用してください。
- ❗ 注：ドアの設置には別のカーペットを使用してください。
- ❗ 注：本ポッドの清掃には、リントフリー布を使用してください。
- ❗ 注：本ポッドの洗浄には、アルコール系の低刺激性の洗浄液を使用してください。
- ℹ ヒント：ガラスビートを取り付ける際には、ガラス用洗浄液を潤滑剤として使用してください。

3.2 主な寸法

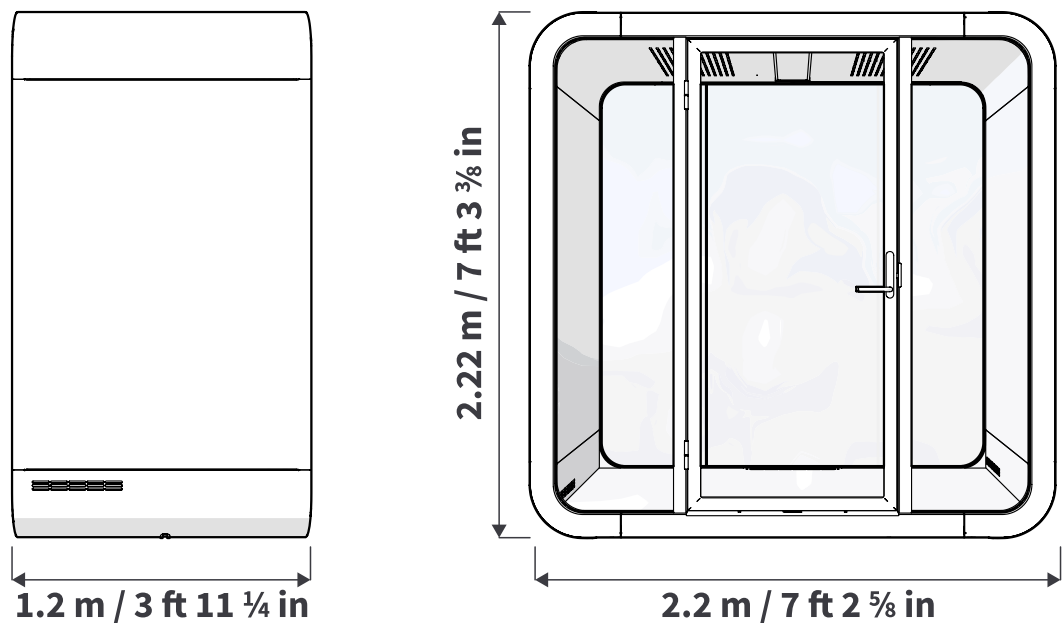


図 2：ポッドの主な寸法

3.3 設置スペース

設置する前に、十分な設置スペースがあることを確認してください。ポッド後方には0.5mのスペースを確保してください。

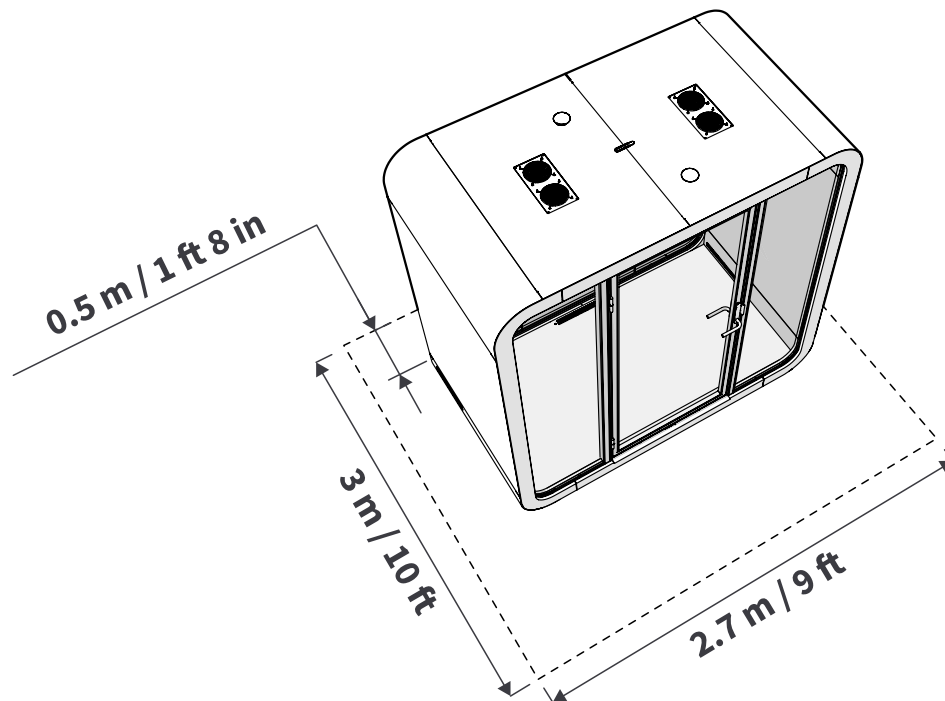


図 3 : 設置スペースの測定

3.4 作業スペース

空気を正しく循環させるために、ポッド周辺に十分なスペースがあることを確認してください。

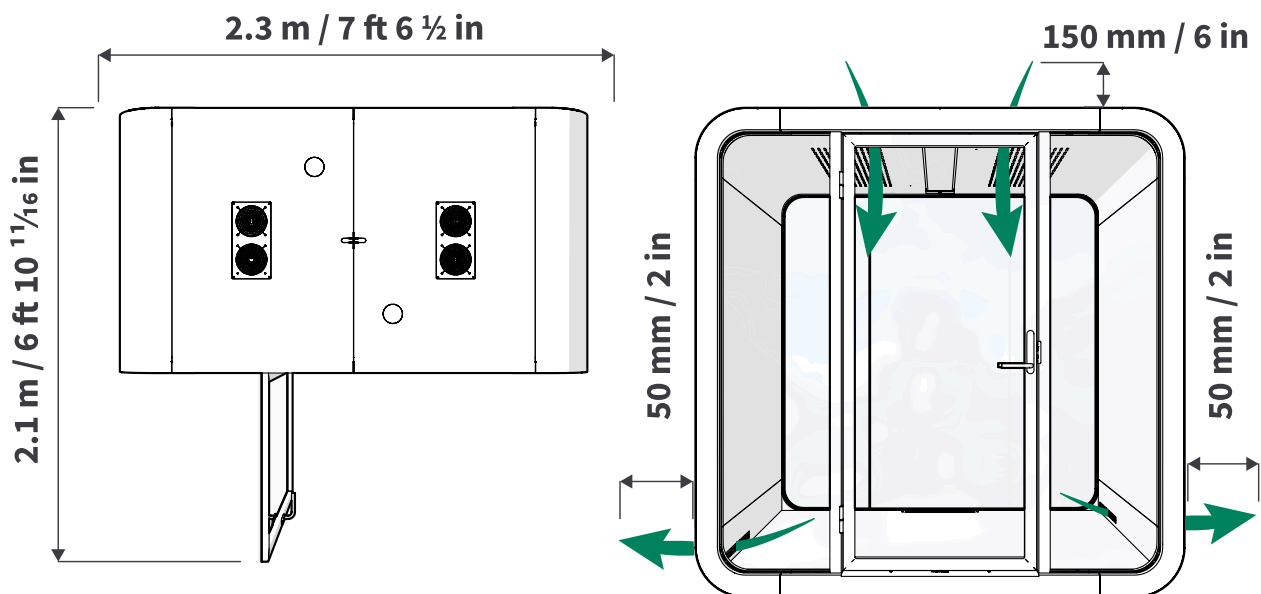
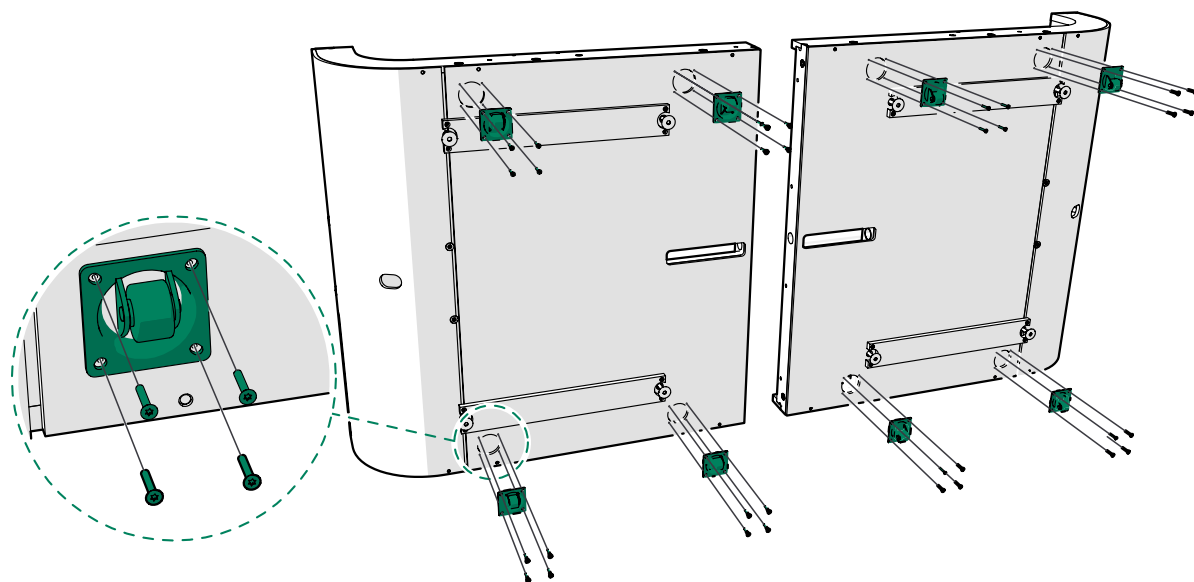


図 4 : 作業スペースの測定

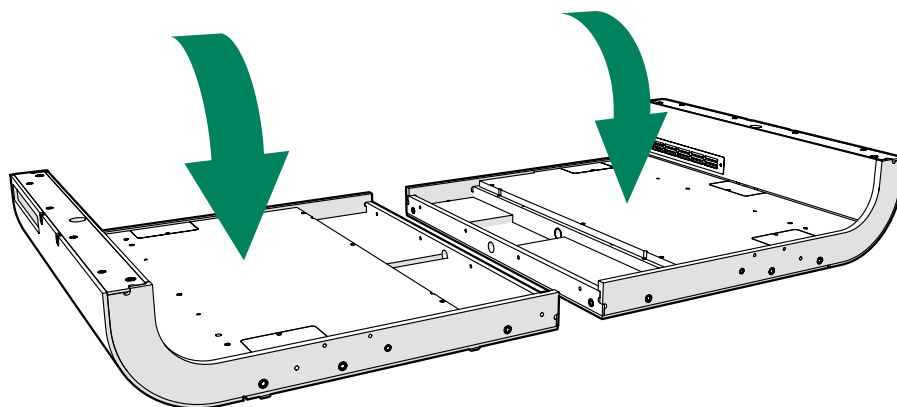
4 フロアモジュール

4.1 キャスターの設置

1. フロアモジュールを横に並べて置いてください。
2. 配送品に別売のキャスターが含まれている場合は、6.3x14のネジ (各4個) でキャスターを取り付けてください。

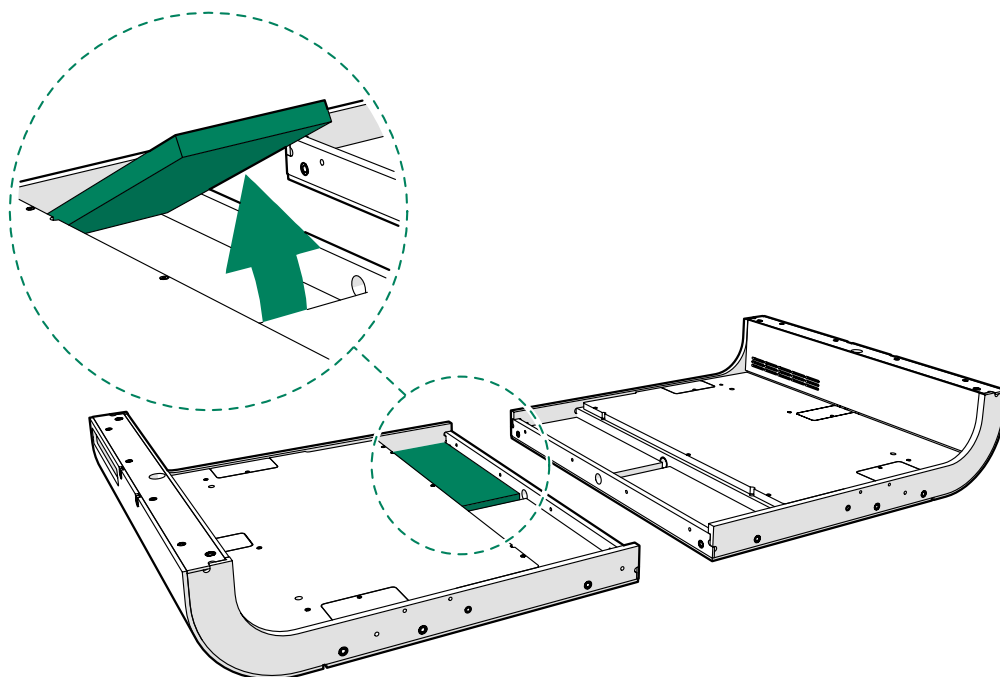


3. フロアモジュールを床に置いてください。

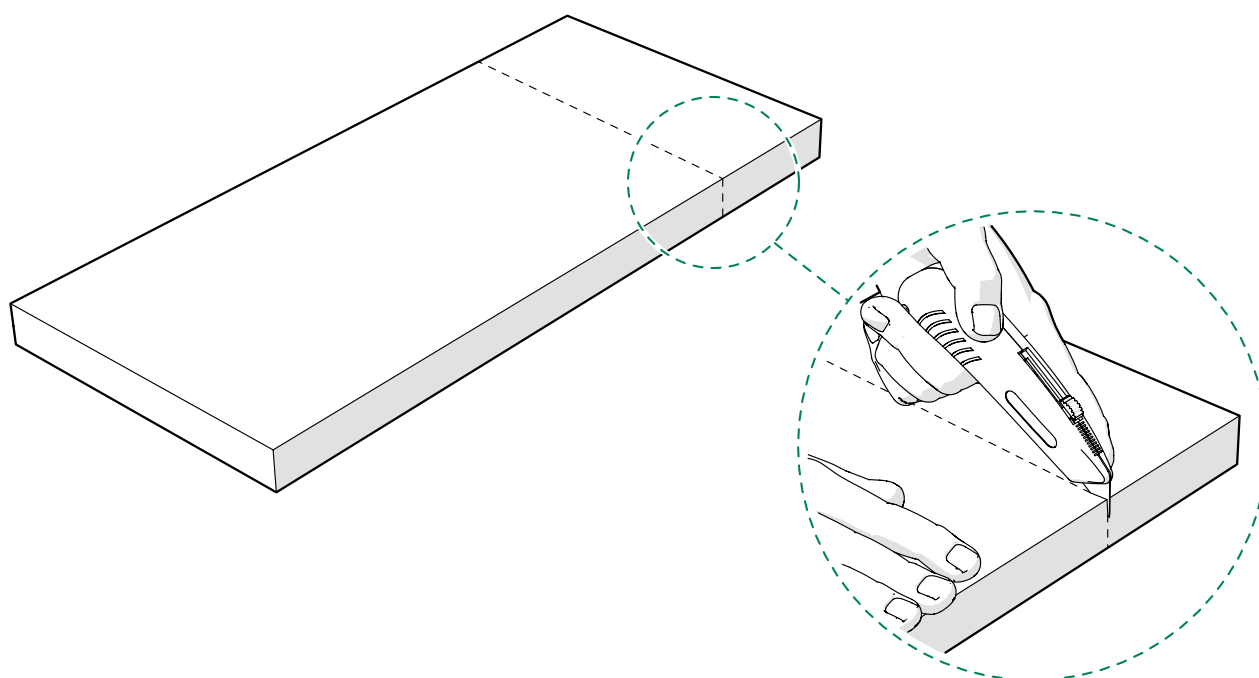


4.2 アコースティックパネルの準備

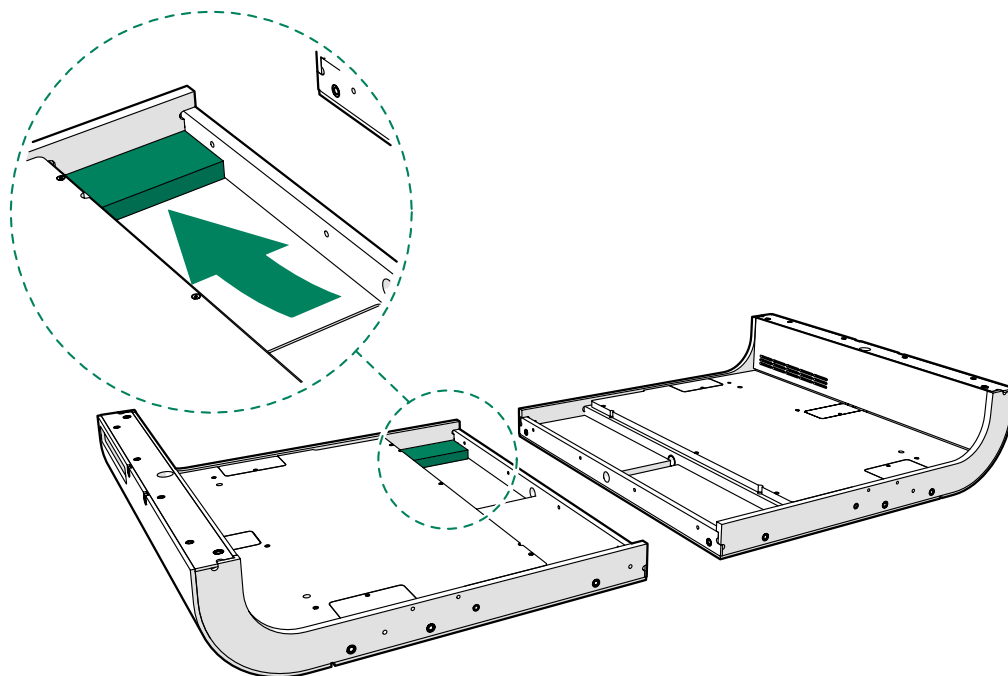
1. フロアモジュールからアコースティックパネルを取り外してください。



2. 切り込み線に沿ってアコースティックパネルを切ってください。



3. 小さい方のアコースティックパネルをフロアモジュールの後端に配置してください。

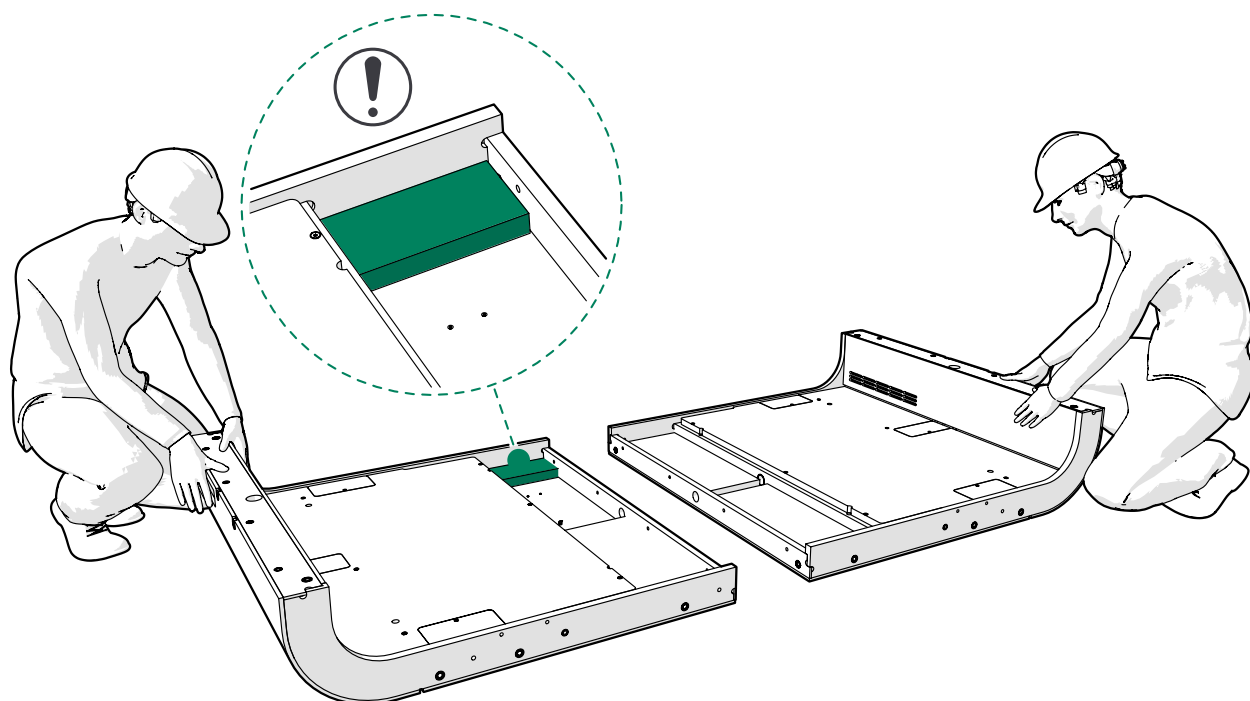


4.3 フロアモジュールの接続

1. フロアモジュールを最終的な設置場所に配置してください。

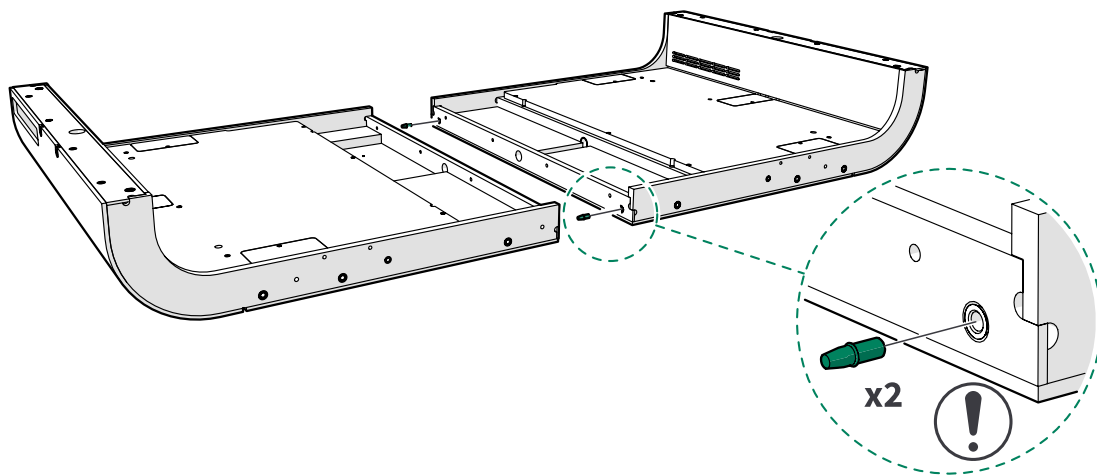
フロアモジュールの後方には、約0.5mの空きスペースを確保してください。

- ❗ 注：ポッドを移動して再び設置し直す際には、黒いABSストリップに傷が付く場合があります。傷が付いた側が、前面にくるように設置してください。
- ❗ 注：小さい方のアコースティックパネルがポッドの左後ろにあることを確認してください。

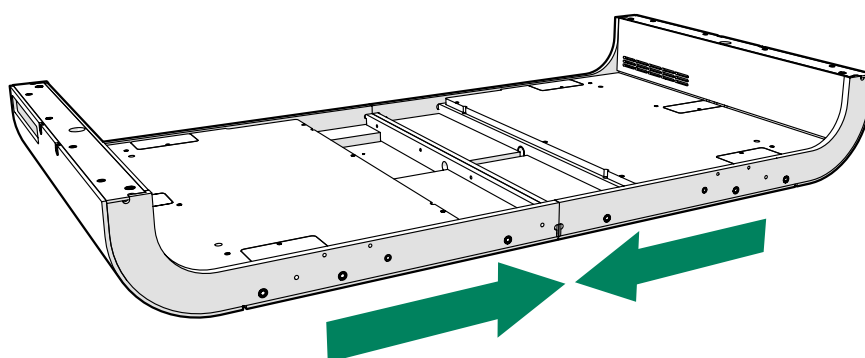


2. 片方のフロアモジュールの穴にガイドピン (2個) を取り付けてください。

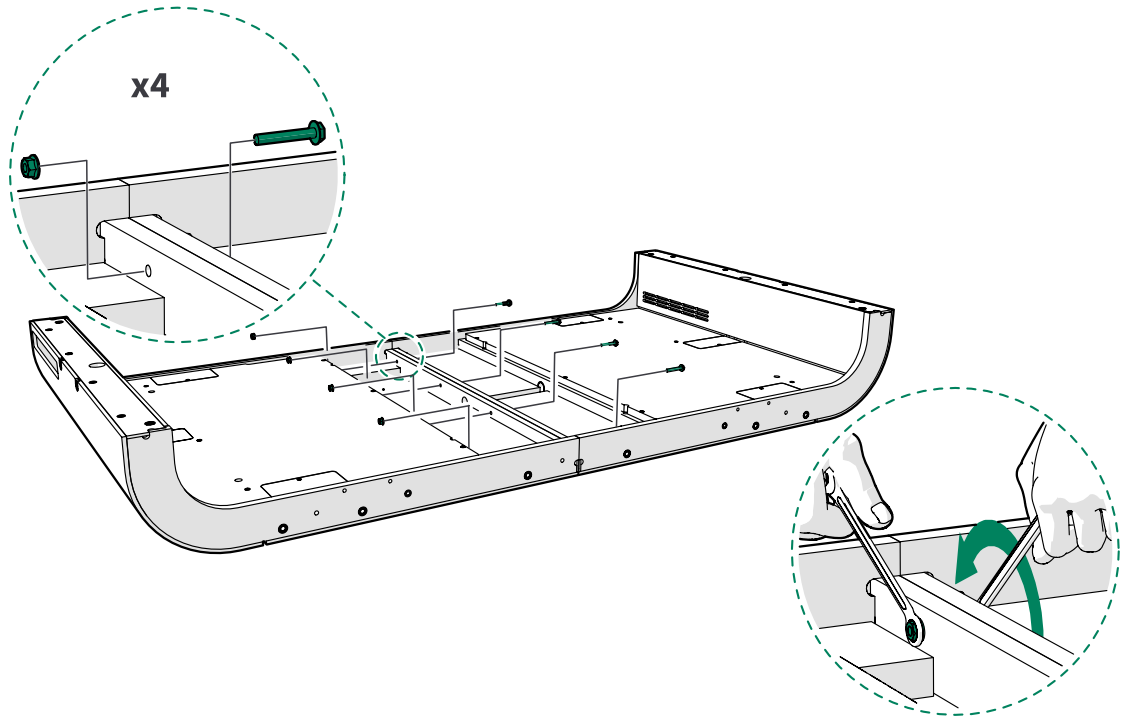
ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



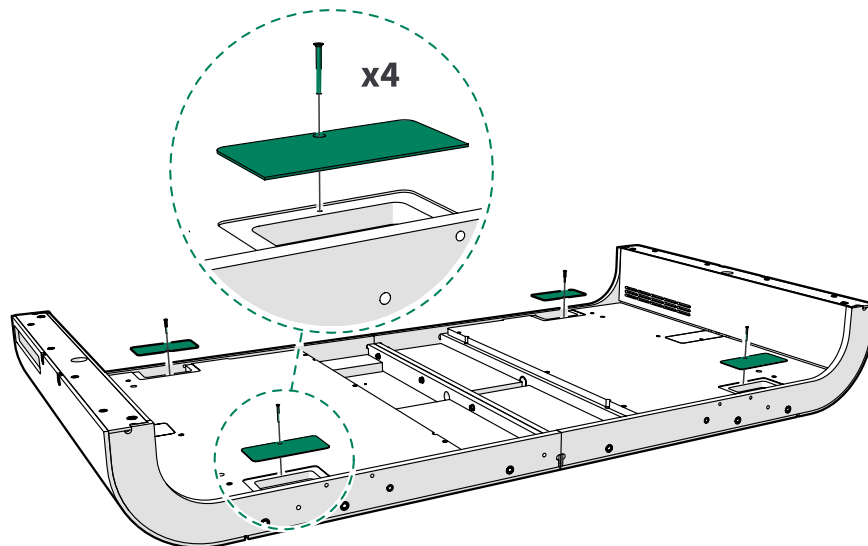
3. フロアモジュールを押し合わせてください。



4. フランジ付きM8x50ボルト (4本) とM8ナット (4個) を取り付けてください。

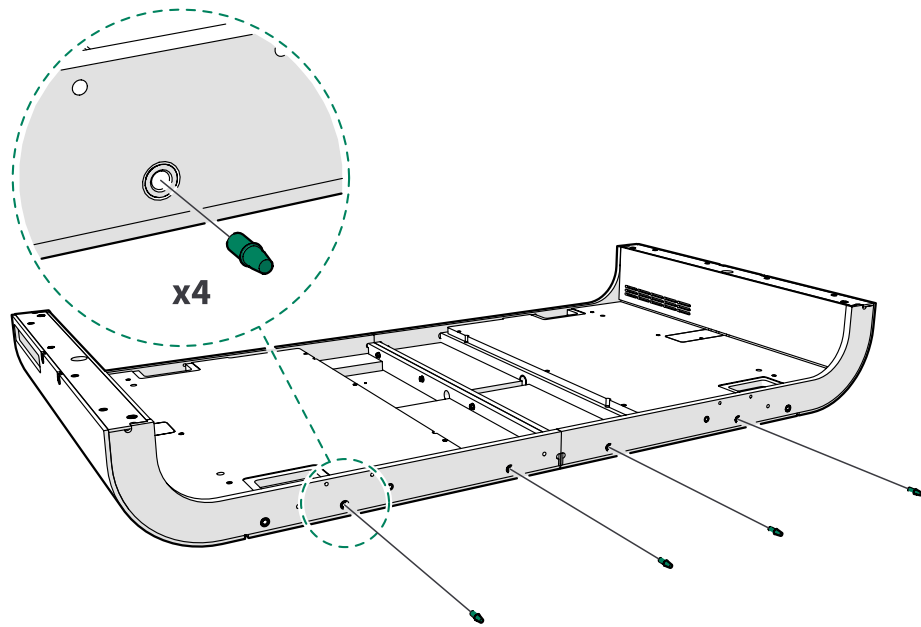


5. 4x20のネジ (4個) を外し、カバープレート (4個) を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いておいてください。



6. ガイドピン (4本) をフロアモジュール正面の穴に取り付けてください。

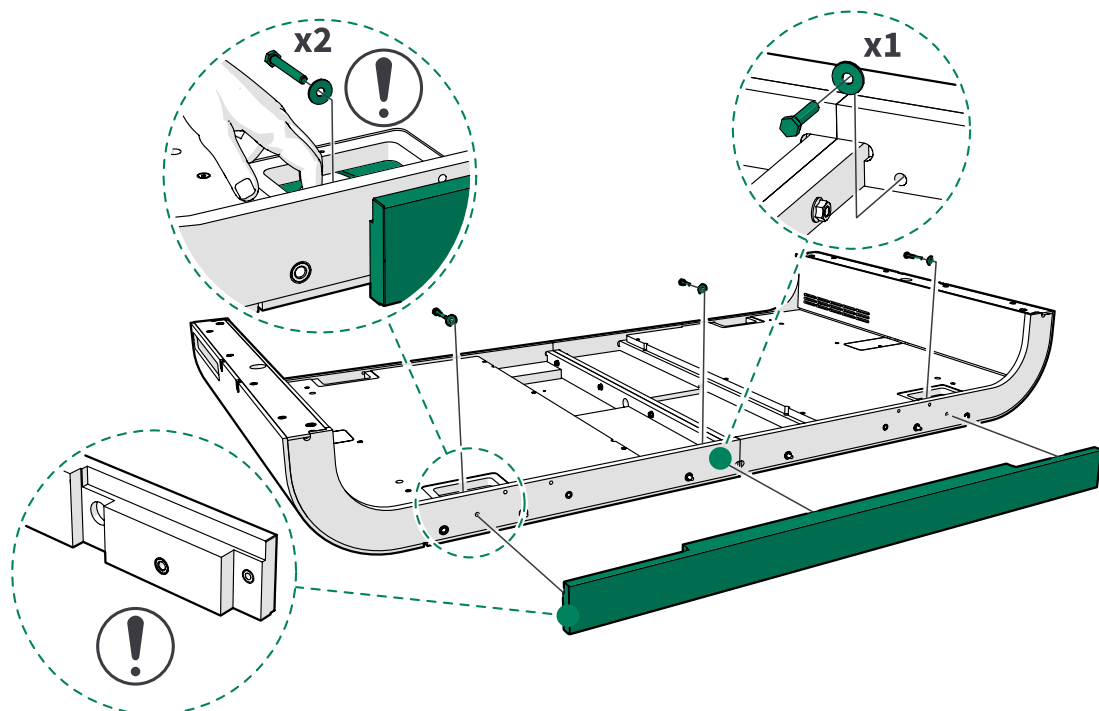
❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



7. 小さい開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使用して、正面用下部フレームをフロアモジュール正面に取り付けてください。

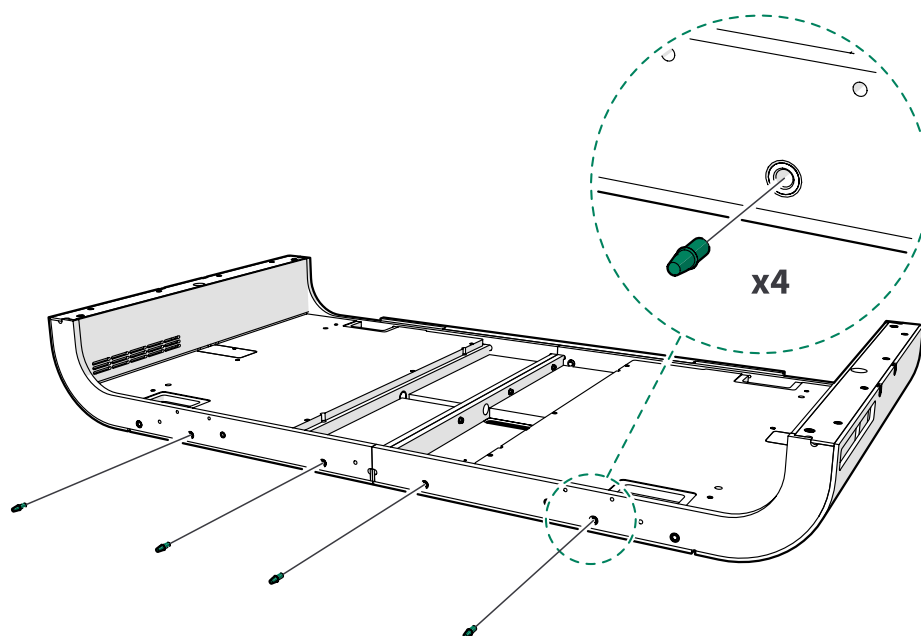
❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。

❗ 注：正しいフレームが正面に取りつけられている事を確認してください。



8. ガイドピン (4個) をフロアの後ろの穴に取り付けてください。

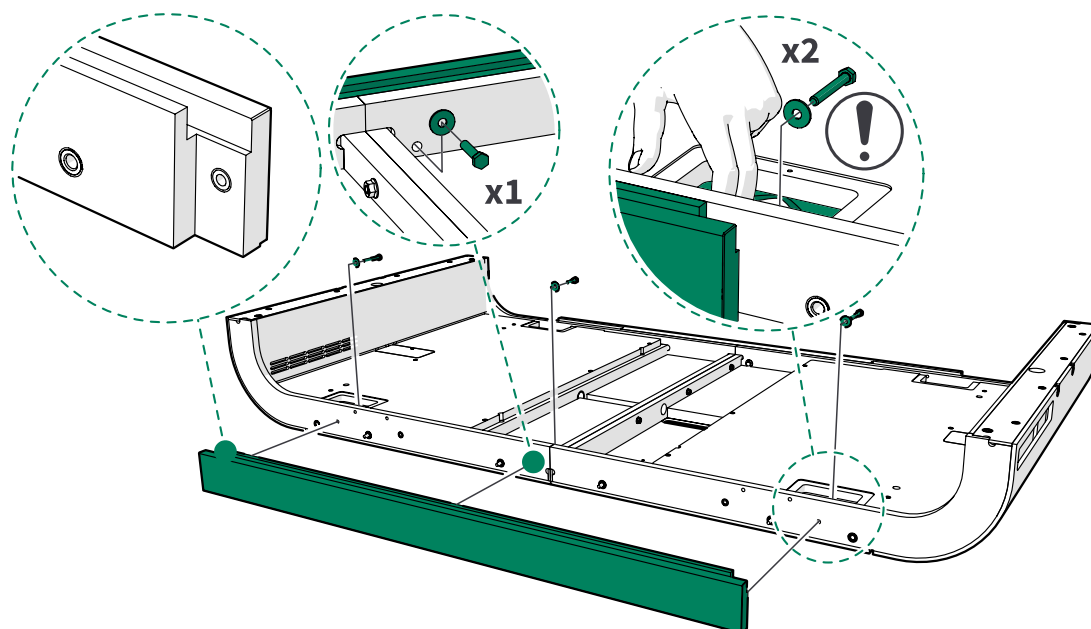
❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



9. 小さい開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使う、背面用下部フレームをフロアモジュールに取り付けてください。

❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。

❗ 注：正しいフレームが背面に取り付けられている事を確認してください。

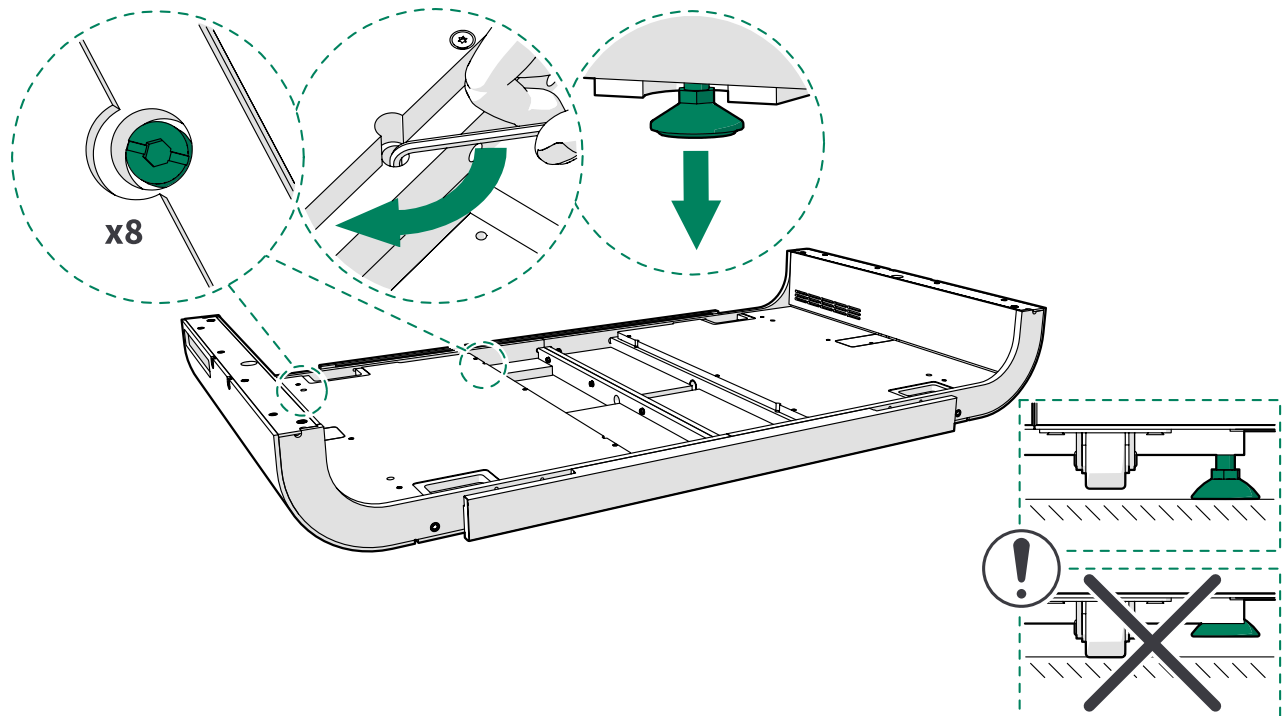


4.4 フロアモジュールの水平調節

1. 4mmの六角レンチまたは6mm～7mmのマイナス ドライバーを使用して、水平調節脚 (8 本) をねじ込んでください。

❗ 注：水平調節脚が床板より高くなるように調節してください。

❗ 注：別売のキャスターが取り付けられている場合は、水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているか、キャスターが回転できないことを確認してください。

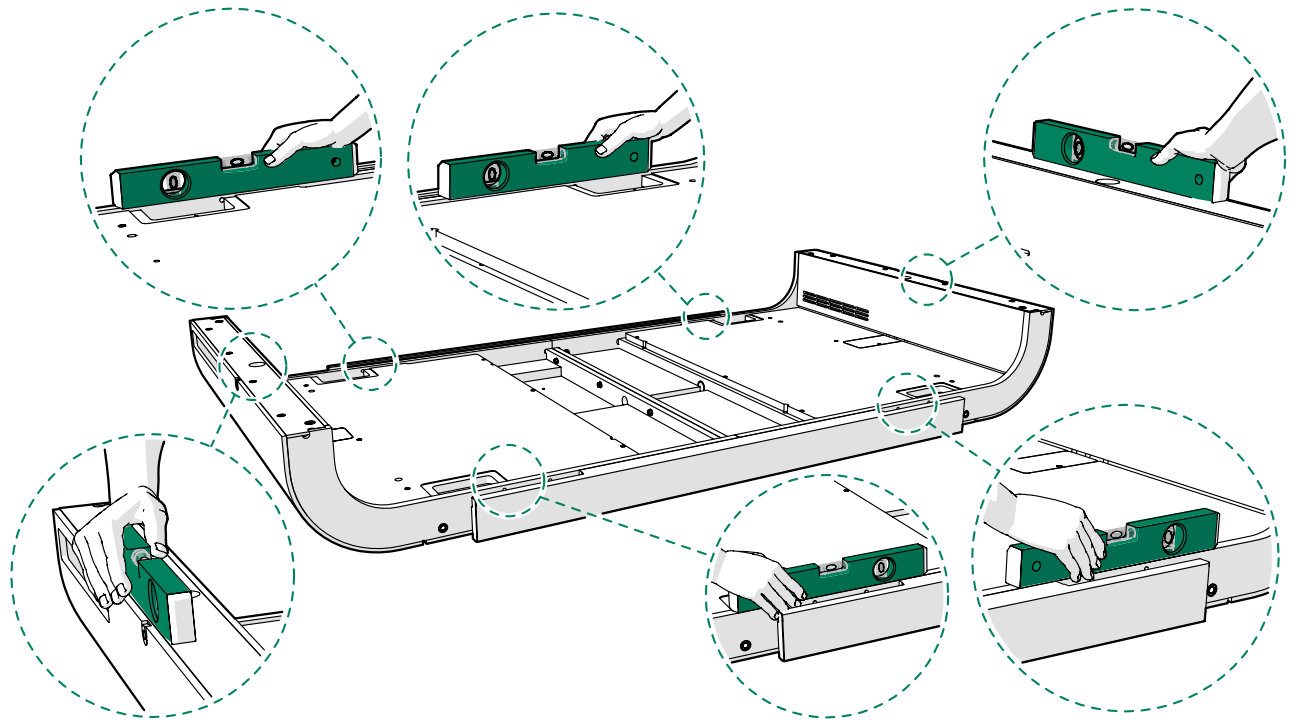


2. 水準器を使ってフロアモジュール6箇所を測定してください:

- 右側と左側の壁の上
- フロアモジュールの端にある**ABS**ストリップ

反対側を繰り返し測定し、水平調節脚を少しずつ調整してください。

別売のキャスターが取り付けられている場合は、水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。

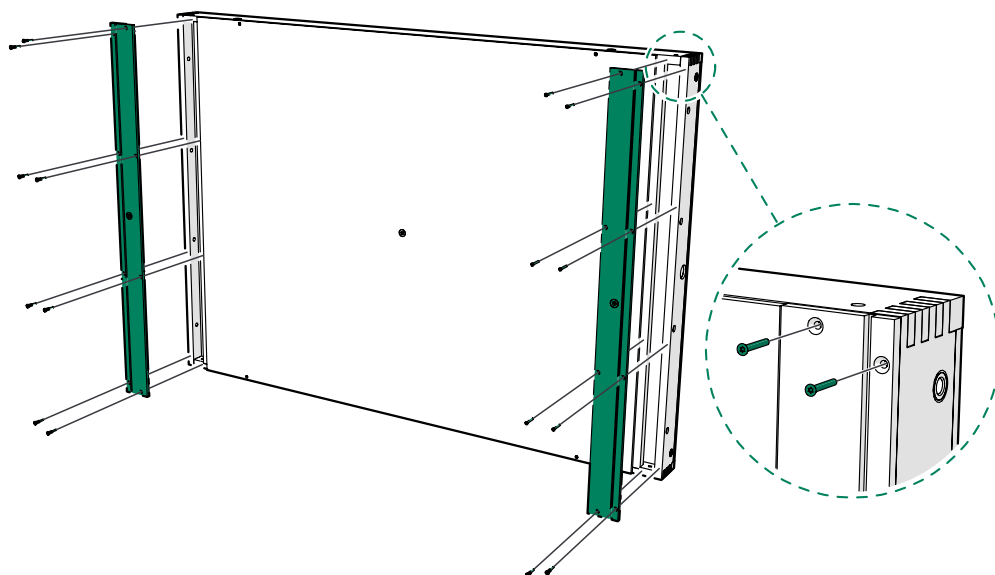


5 ウォールモジュールの設置

5.1 ウォールカバーパネルの取り外し方

1. ウォールモジュールを壁に対して縦に置いてください。
2. 4x30のネジ（24個）を外し、カバープレート（4個）を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いてください。

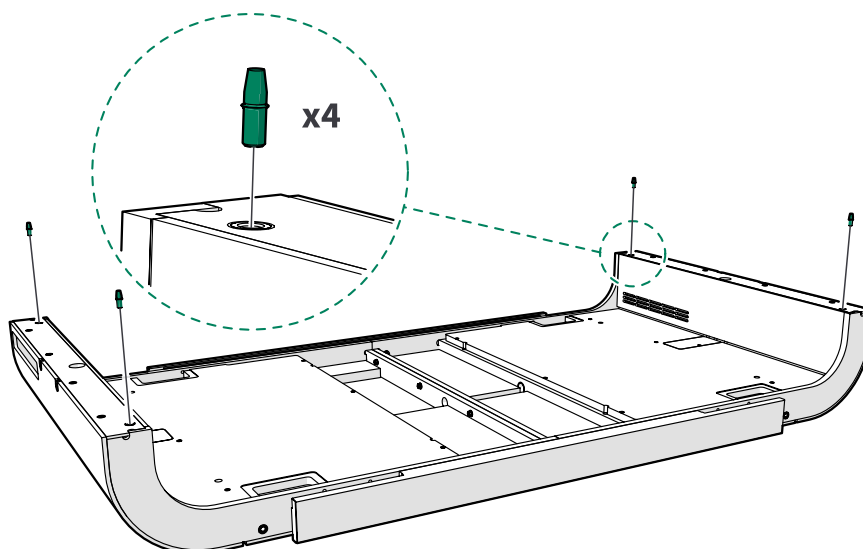
❗ 注：ウォールモジュールが倒れないようにしてください。



5.2 ウォールモジュールをフロアモジュールに接続する

1. ガイドピン (4個) を片方のフロアモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

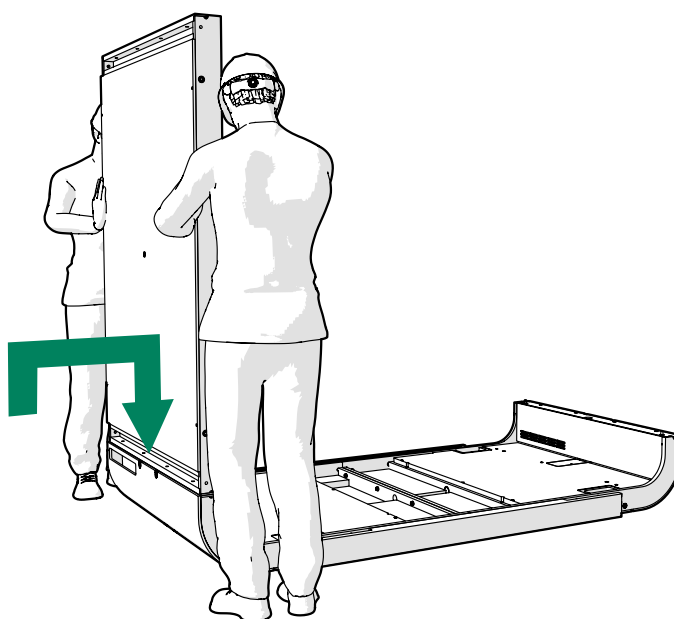
❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



2. ウォールモジュールを持ち上げて設置してください。

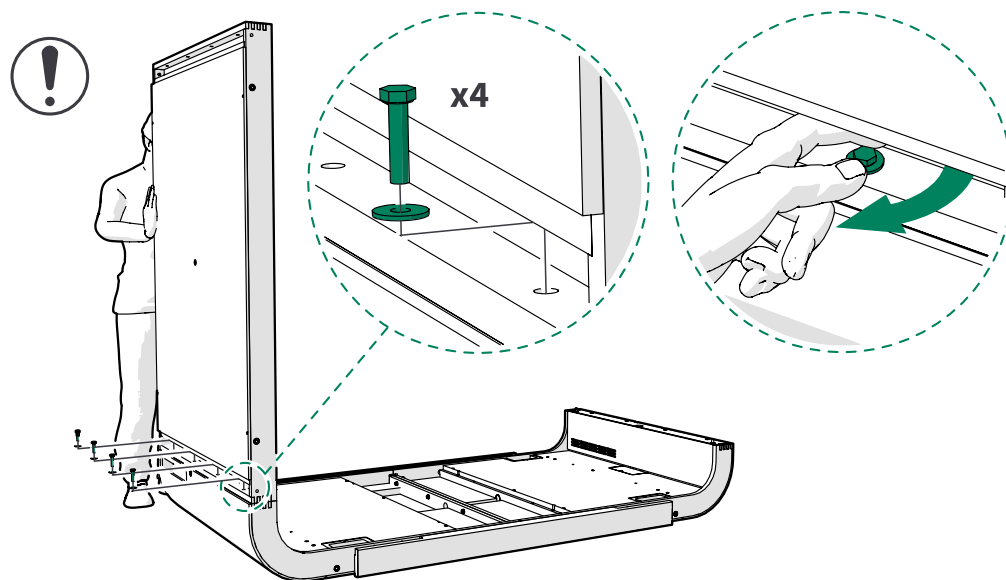
❗ 注：「This side up」のシールが壁の上端に貼られていることを確認してください。

❗ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



3. M8x35ボルト (4本) とM8ワッシャー (4個) を取り付け、手で締めてください。

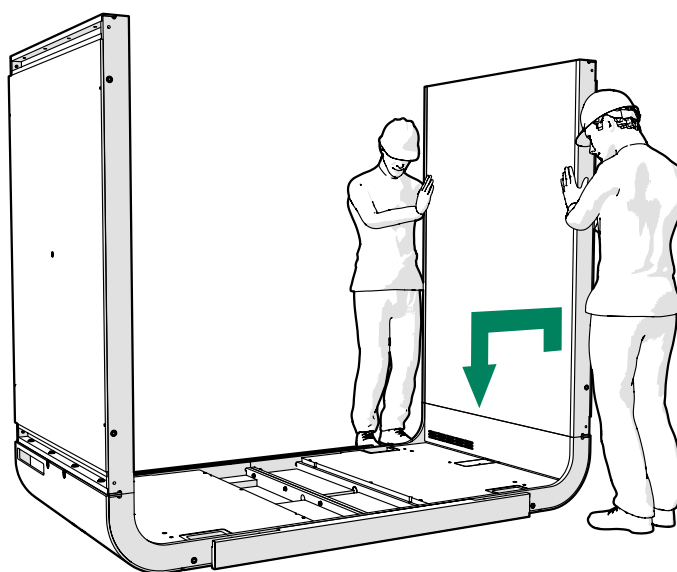
ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



4. もう片方のウォールモジュールを持ち上げて設置してください。

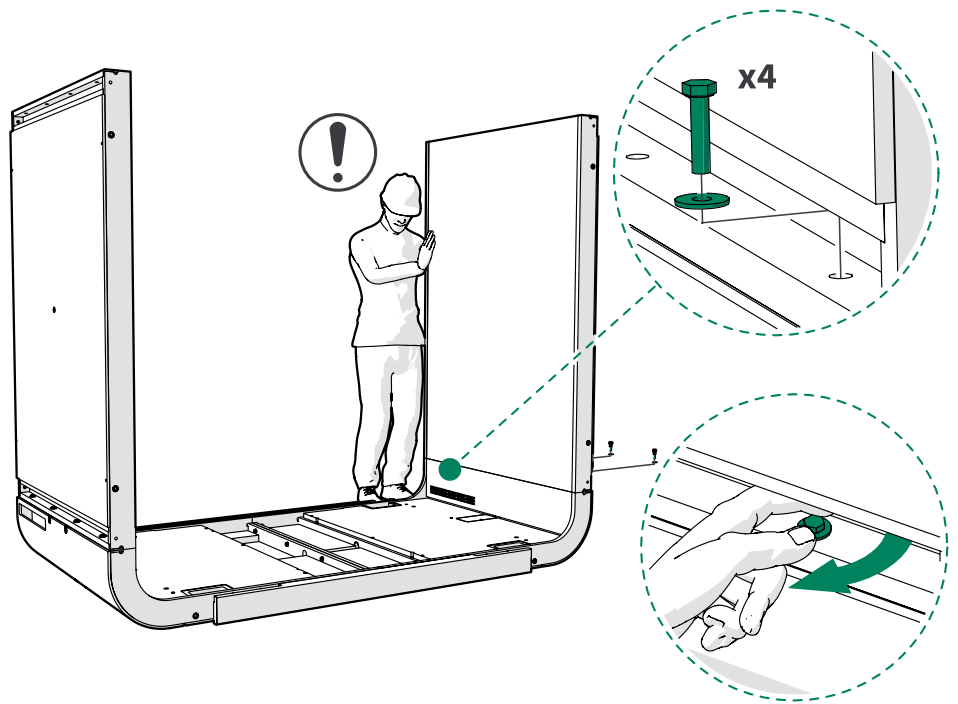
ⓘ 注：「This side up」のシールが壁の上端に貼られていることを確認してください。

ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



5. M8x35ボルト (4本) とM8ワッシャー (4個) を取り付け、手で締めてください。

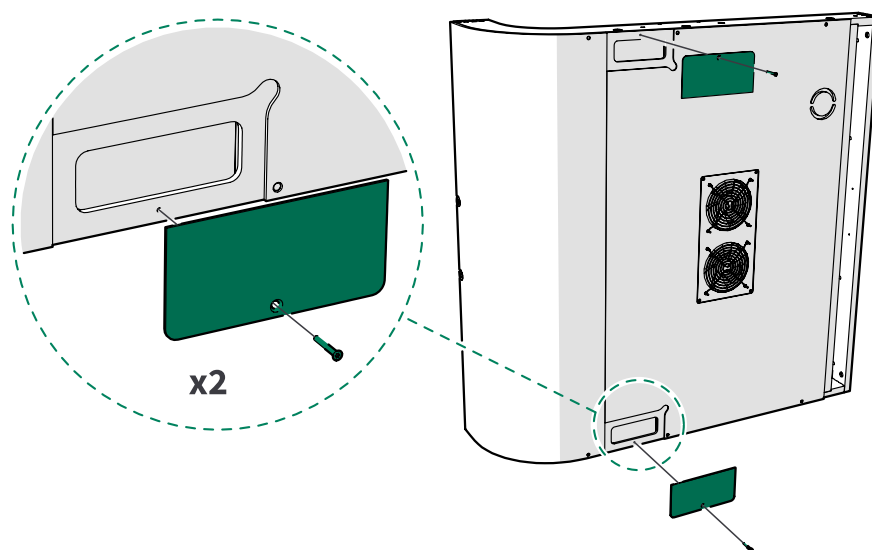
ⓘ 注：ボルトで固定されるまで、壁を支えてください。



6 ルーフモジュール

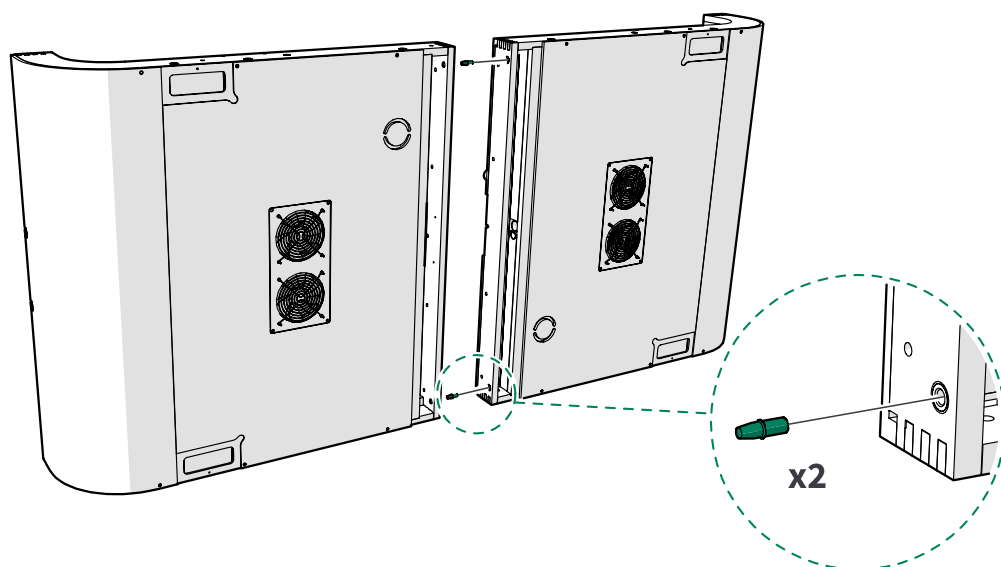
6.1 ルーフモジュールの接続

1. 4x20のネジ (各1個) を外し、両方のルーフモジュールからルーフカバープレート (各1枚) を取り外してください。カバープレートとネジは、近くに置いておいてください。

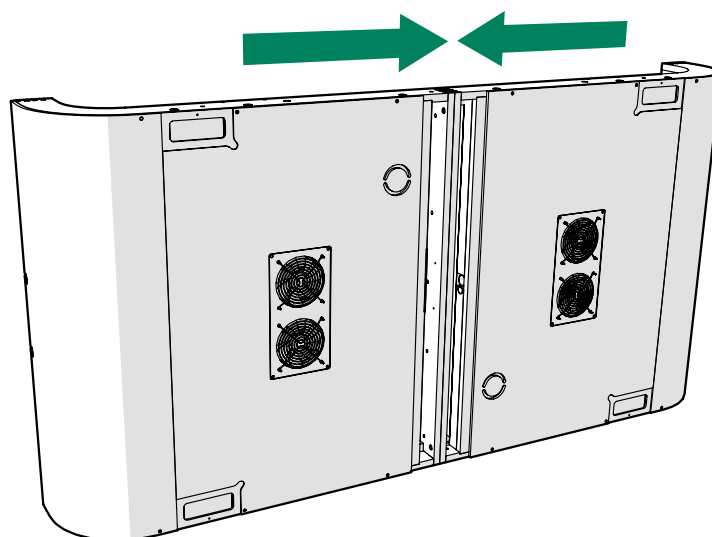


2. ガイドピン (2個) を片方のルーフモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

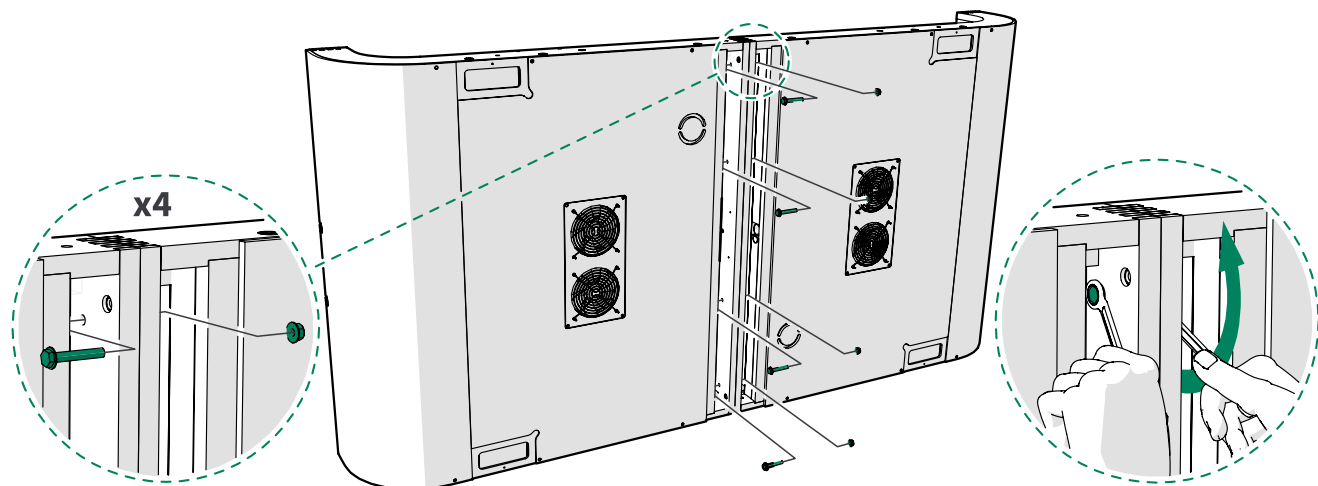
ⓘ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



3. ルーフモジュールを押し合わせてください。

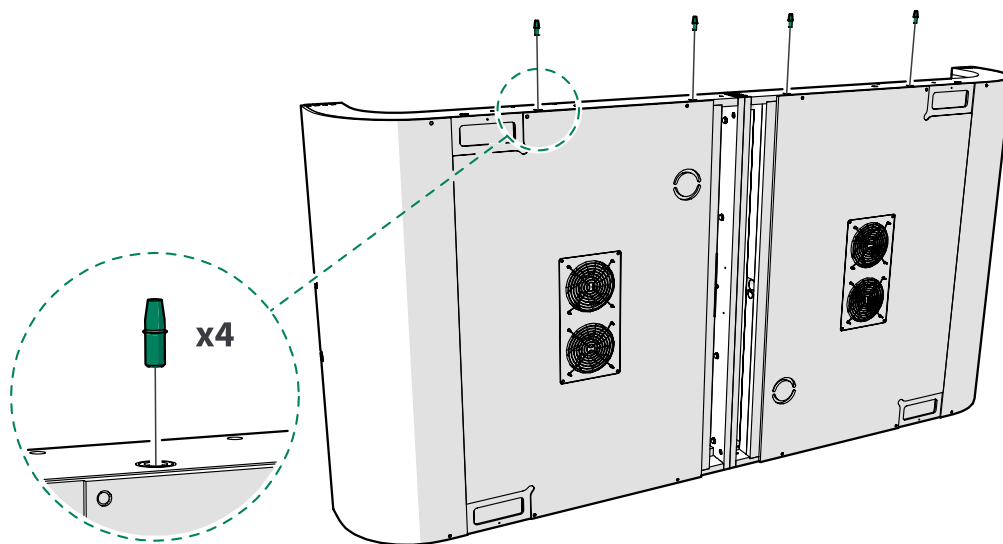


4. フランジ付きM8x50ボルト (4本) とフランジ付きM8ナット (4個) を取り付けてください。



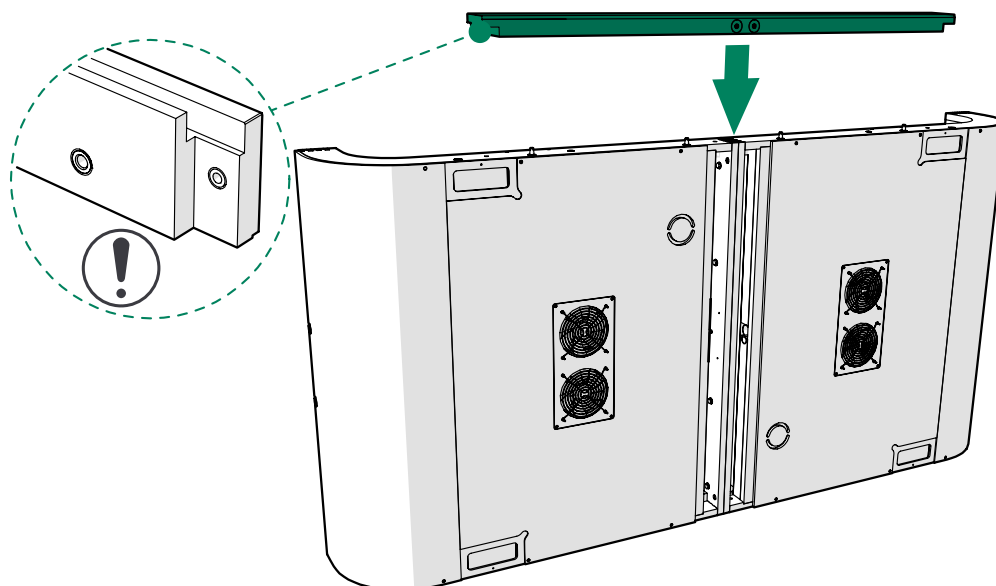
5. ガイドピン (4個) をルーフの前端の取り付け穴に取り付けてください。

❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



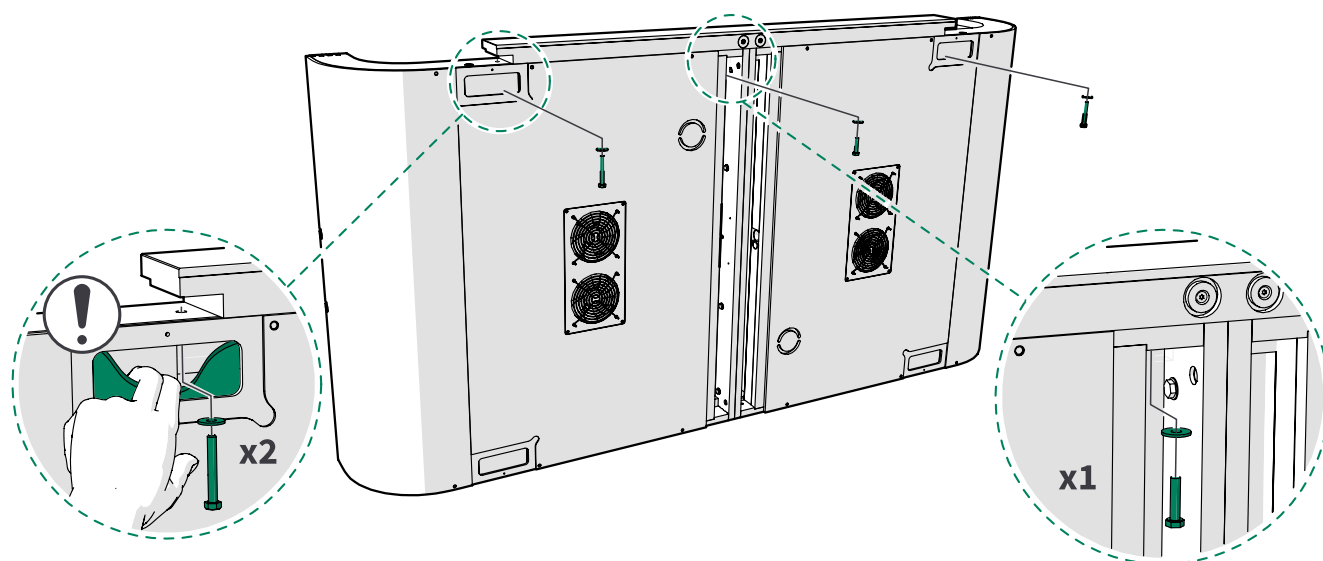
6. 背面用上部フレームを押し込んでください。

❗ 注：屋根に正しいフレームが取り付けられている事を確認してください。



7. 小さい開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー(2個)、中央部にはM8x35ボルト(1本)とM8ワッシャーを使用してください。

❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。

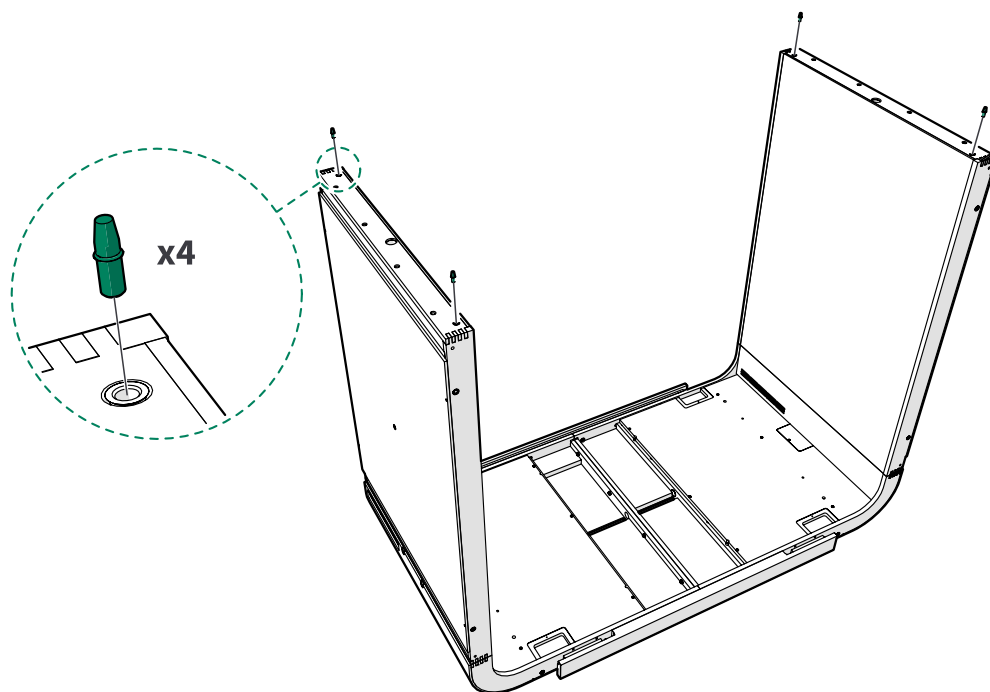


6.2 ルーフモジュールの設置

⚠ 警告： ルーフモジュールはとても重いので、怪我の危険性があります。持ち上げる際は、十分注意してください。ルーフモジュールを持ち上げる際には、少なくとも2人で持ち上げてください。

1. ガイドピン (4個) をウォールモジュールの取り付け穴に取り付けてください。

- ① 注：ガイドピンが正しい穴 (壁のフェルトに近い方の穴) に取り付けられていることを確認してください。
- ① 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

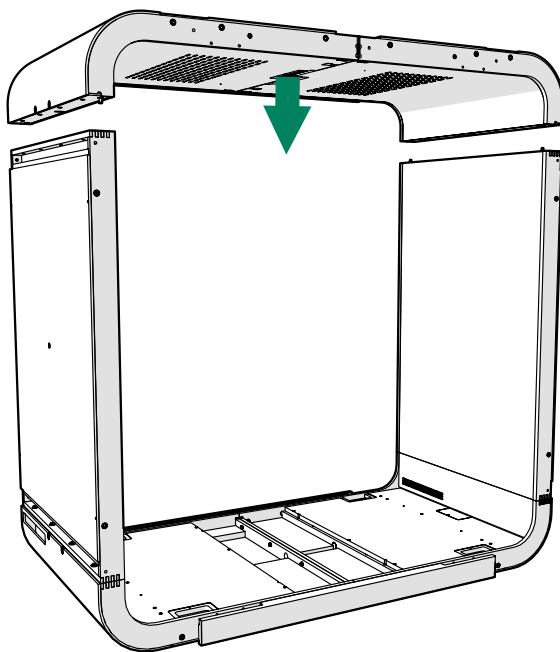


2. ルーフモジュールをウォールモジュールの上に持ち上げてください。

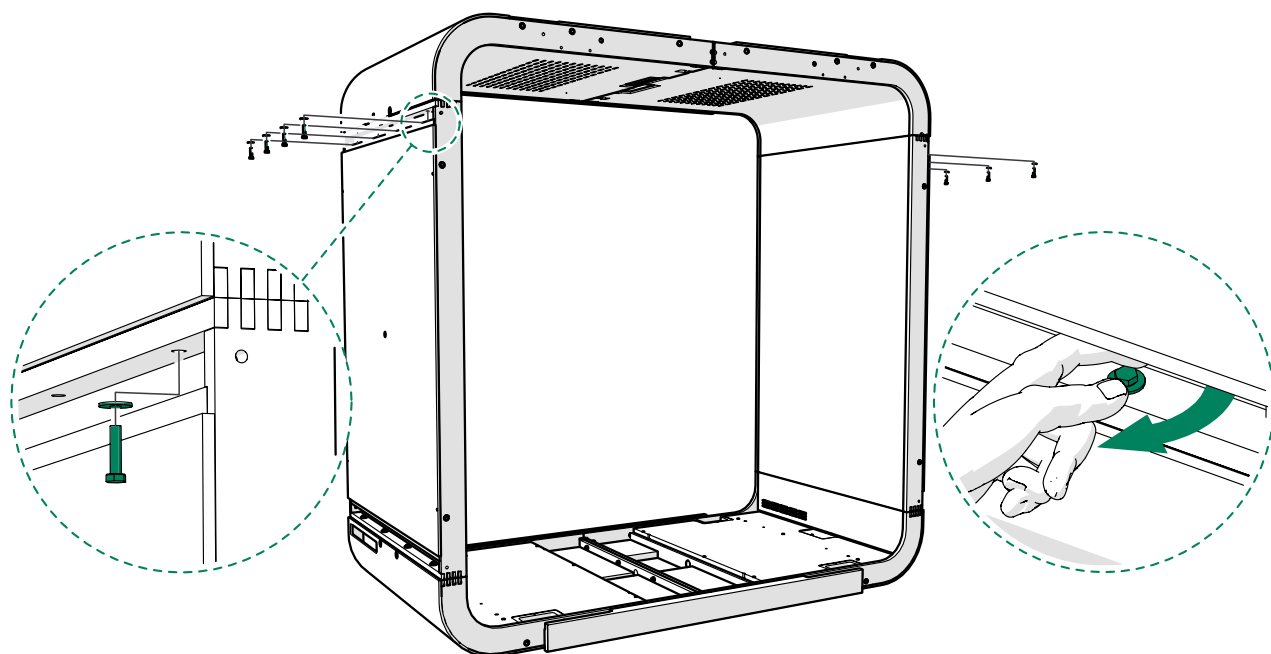
 警告：この製品はとても重いので、怪我の危険性があります。ポッドを持ち上げる際には、2人で持ち上げてください。

 警告：設置場所には、つまずきそうなものがないようにしてください。

 持ち上げる前に入念な計画をしておいてください。持ち上げや作業場の安全に関しては、お住いの地域の安全に関する指示に従ってください。



3. M8x35ボルト (8本) とM8ワッシャー (8個) を取り付け、手で締めてください。



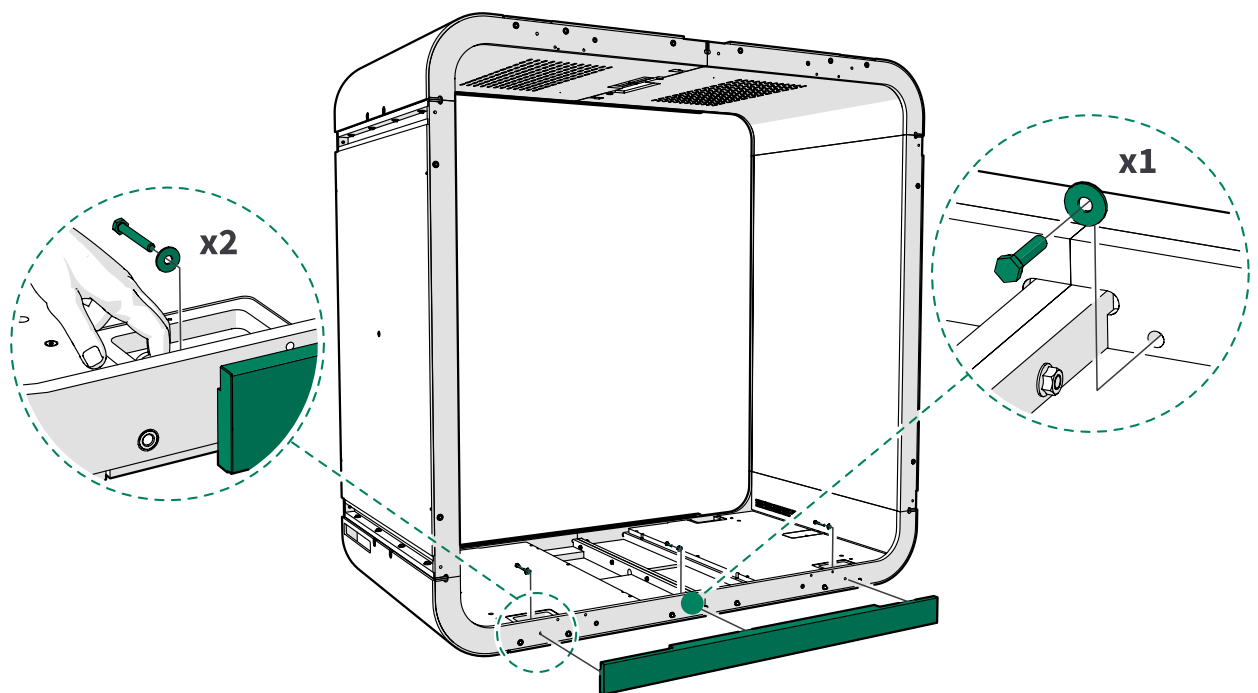
7 フロントフレームとガラス

7.1 サイドフレーム (正面) の設置

1. 正面用下部フレームをフロアモジュールから取り外してください。フレームとボルトを並べて置いてください。

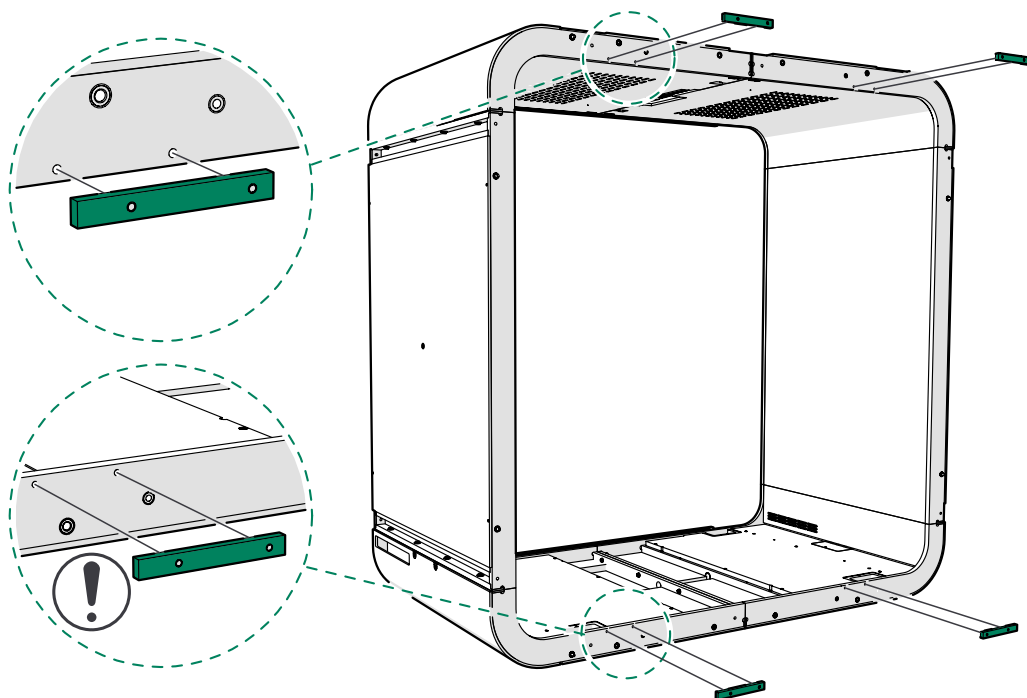
❗ 注：下部フレームのガイドピンはそのままにしてください。

❗ 注：ボルトの穴まで届くようにアコースティックパネルを押してください。必ずアコースティックパネルを元の位置に戻してください。



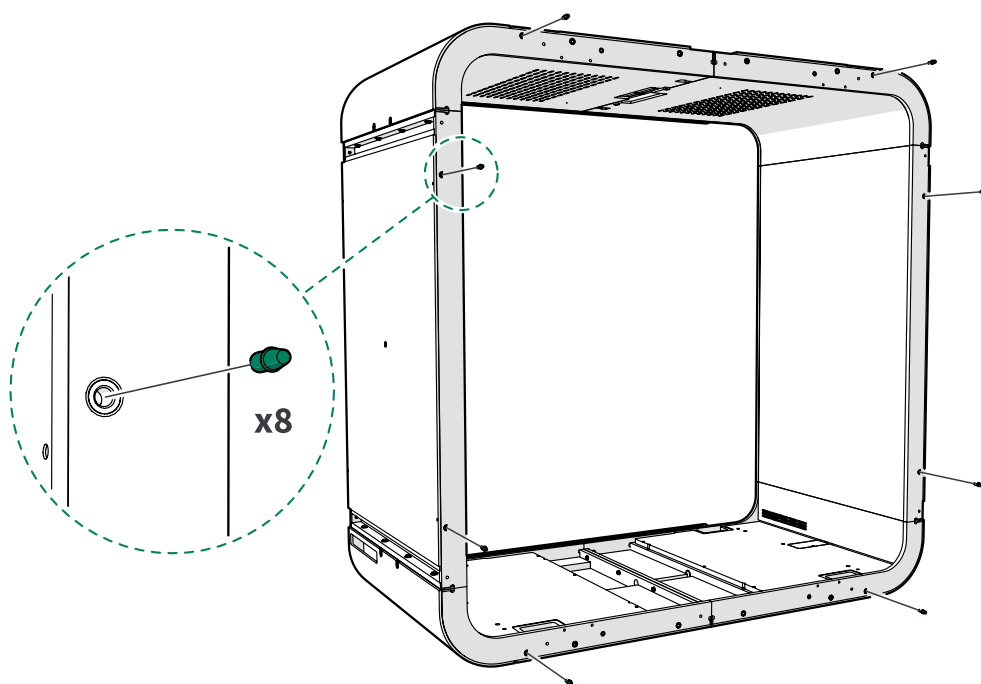
2. 追加のフレームパーツ(4個) を押し込んでください。

- ❗ 注：追加のフレームパーツの長い方がウォールモジュール側に向いていることを確認してください。



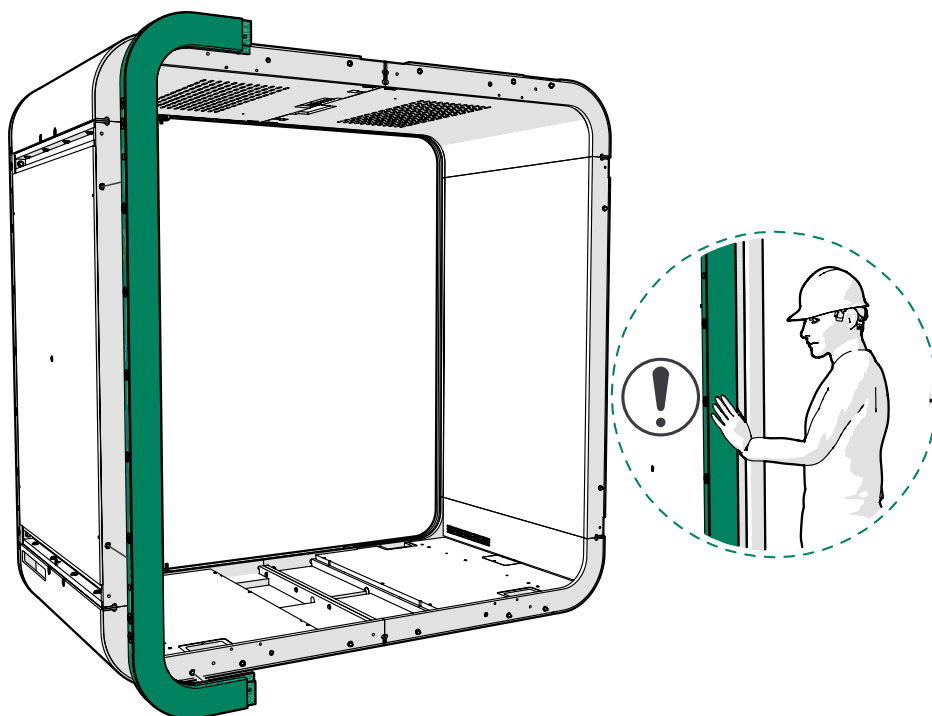
3. ガイドピン (8個) をポッド前面の穴に取り付けてください。

- ❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

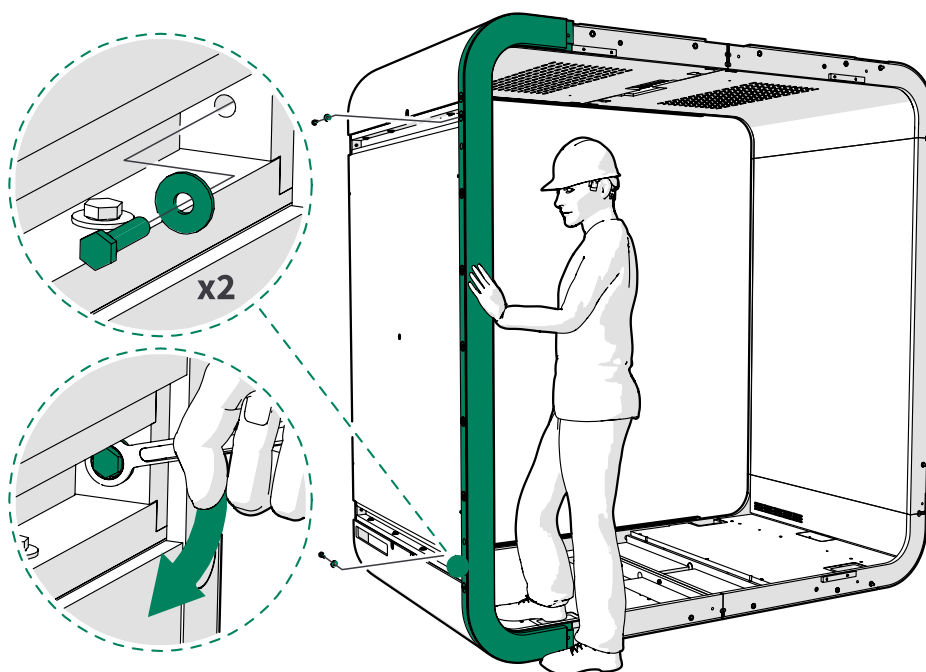


4. 左側のサイドフレームを所定の位置に持ち上げてください。

⚠ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

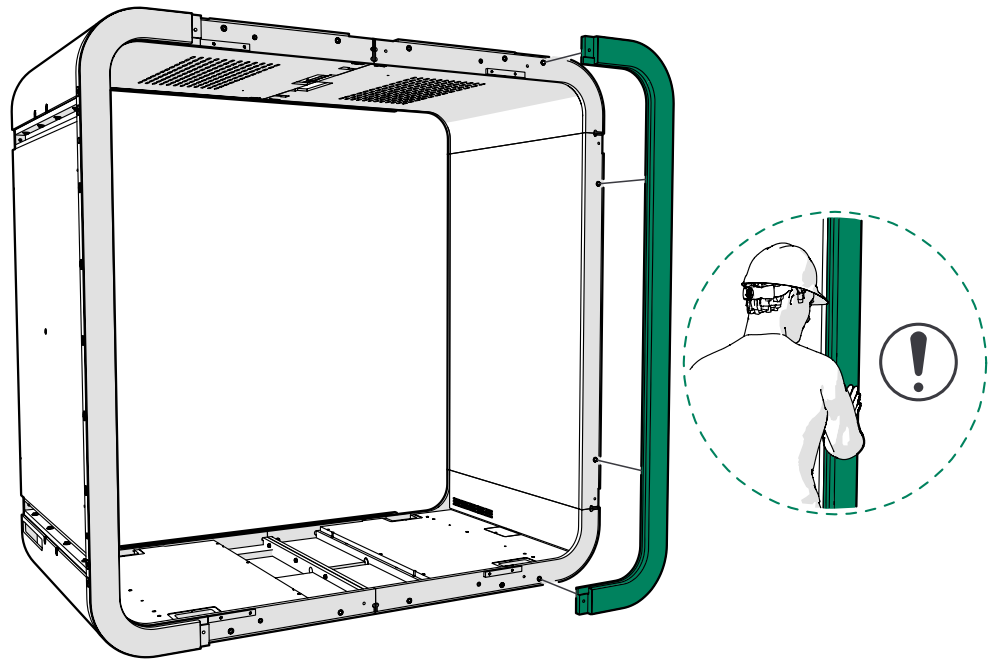


5. M8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使って左側のフレームを取り付けてください。

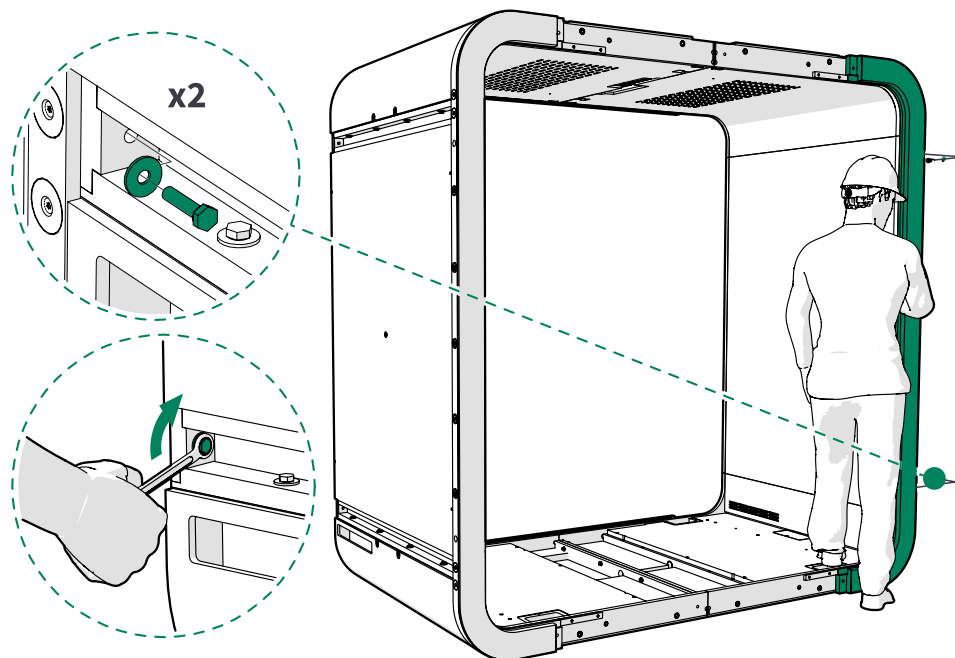


6. 右側のサイドフレームを所定の位置に持ち上げてください。

⚠ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

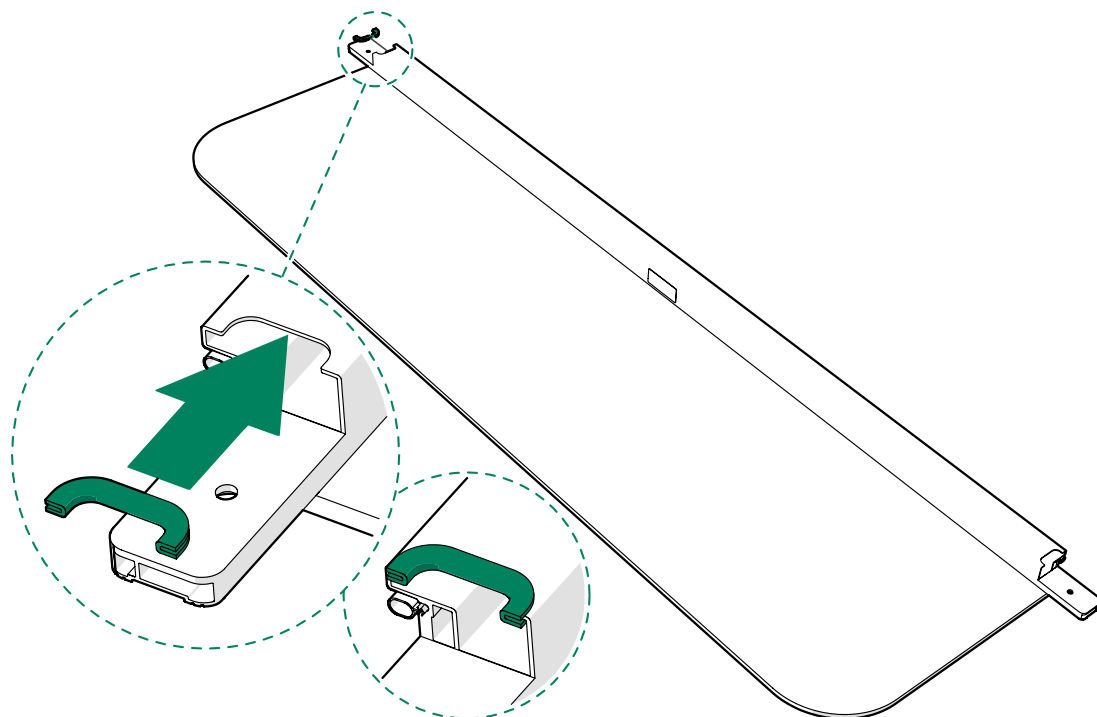


7. M8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使って右側のフレームを取り付けてください。

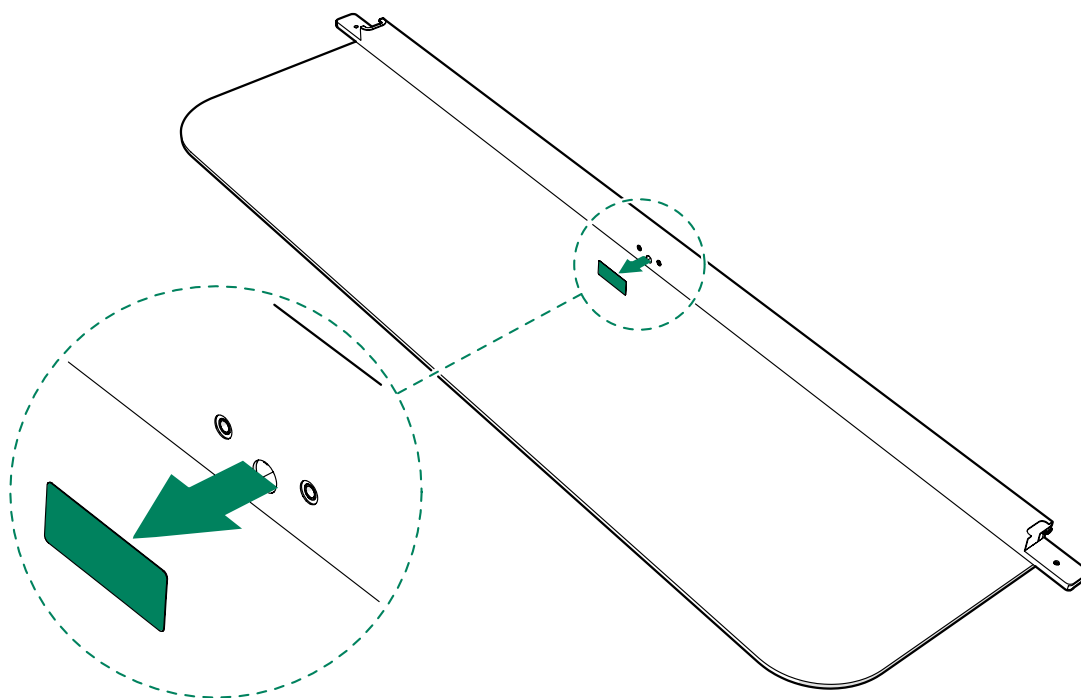


7.2 コントロールパネルの設置(オプション)

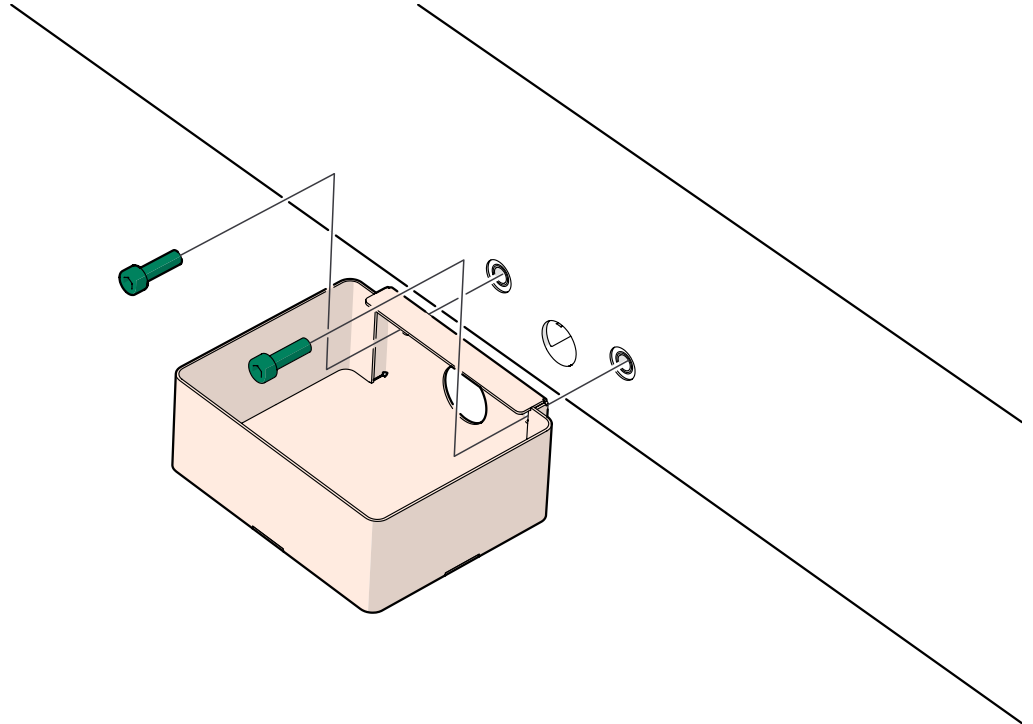
1. ゴムカバーを受け座側ガラスフレーム上部のU字プロファイルに挿入してください。



2. 受け座側ガラスフレームのコントロールパネルコードとネジの穴を覆うビニールシートを剥がします。

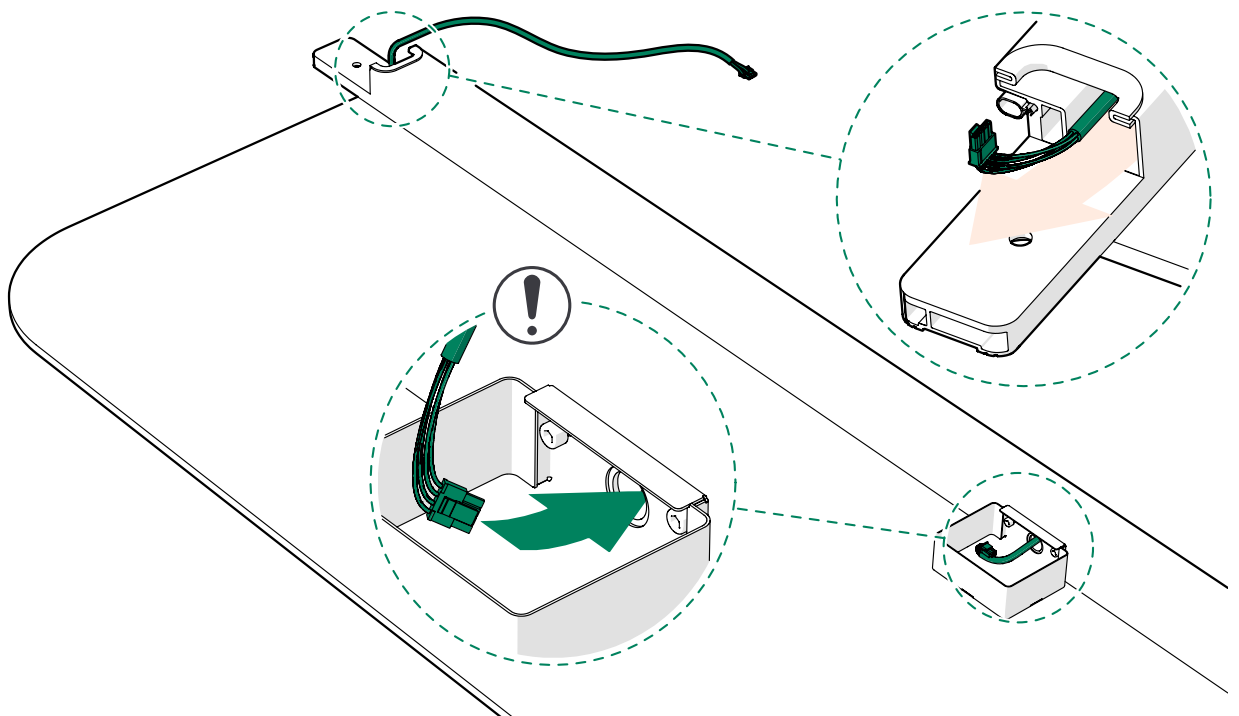


3. コントロールパネルブラケットを受け座側ガラスフレームにM4x10ネジ(2本)で取り付けます。

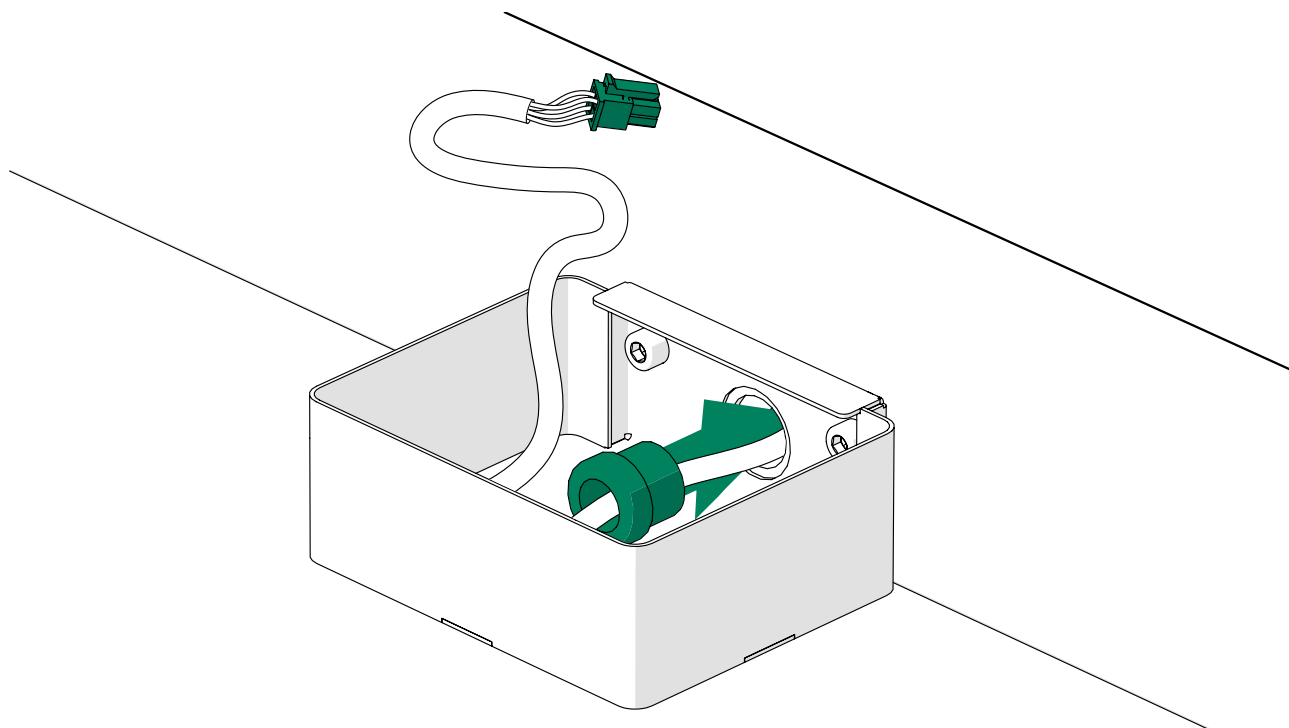


4. コントロールパネルのコードを受け座側ガラスフレーム中央の穴から通し、受け座側ガラスフレーム上部のU字プロファイルから出します。

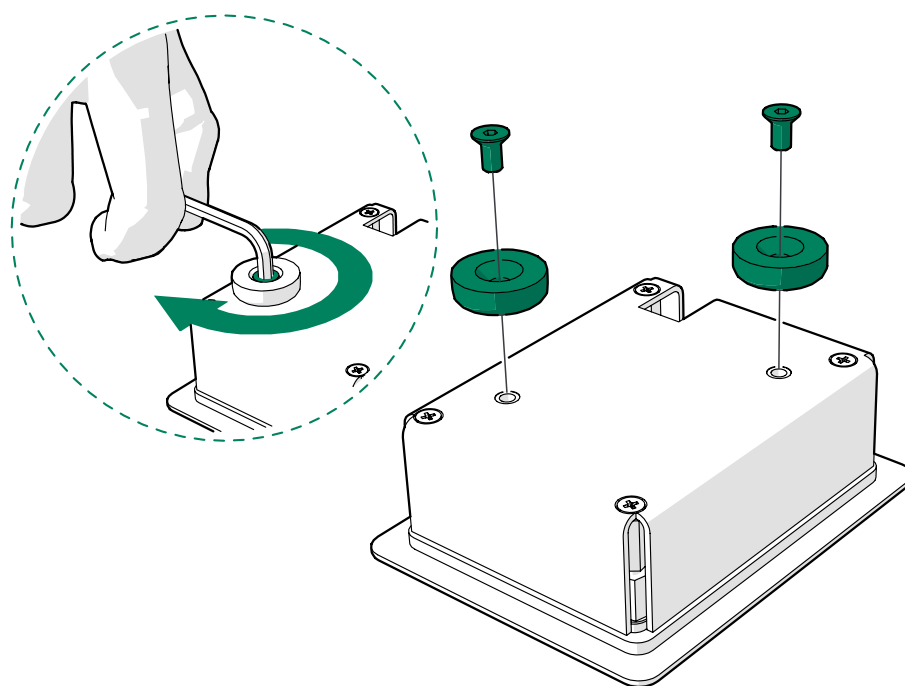
ⓘ 注：コントロールパネルのコードの平らな(1x4ピン)端を最初に通します。



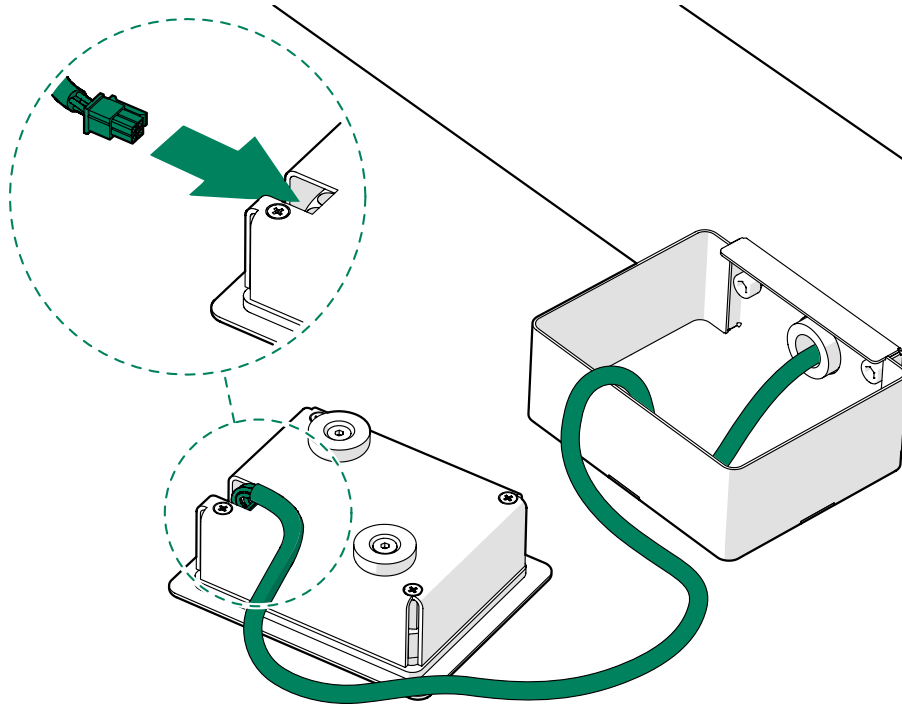
5. ゴム製グロメットをコントロールパネルケースの穴に取り付けます。



6. コントロールパネルの裏のマグネット(2個)をM4x10ネジ(2個)で取り付けます。手動工具でネジを締めてください。

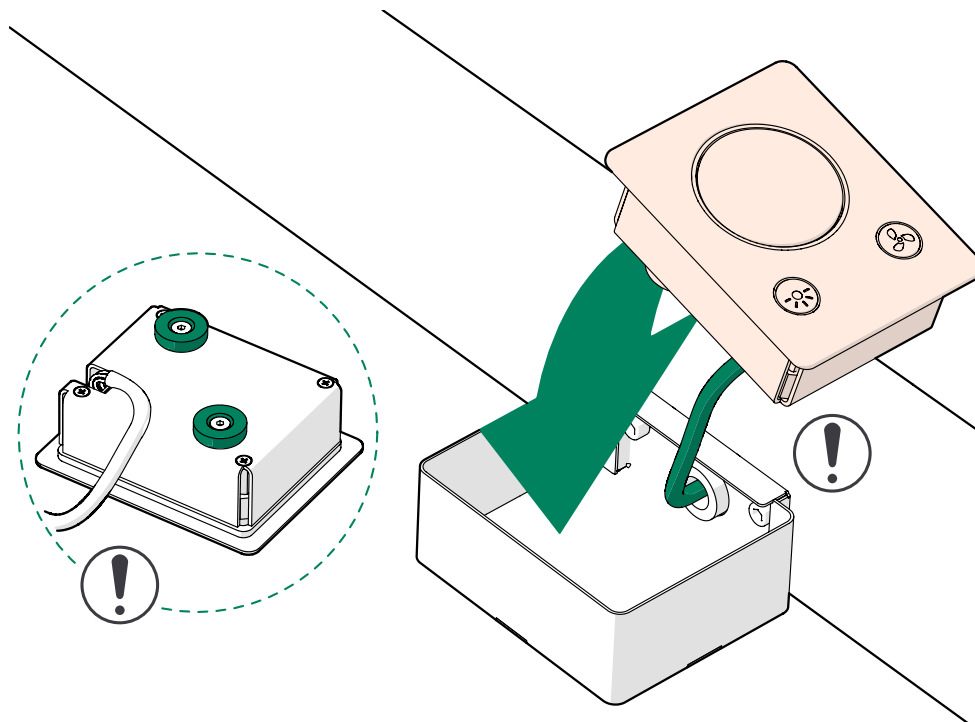


7. コントロールパネルのコードをパネルに接続します。



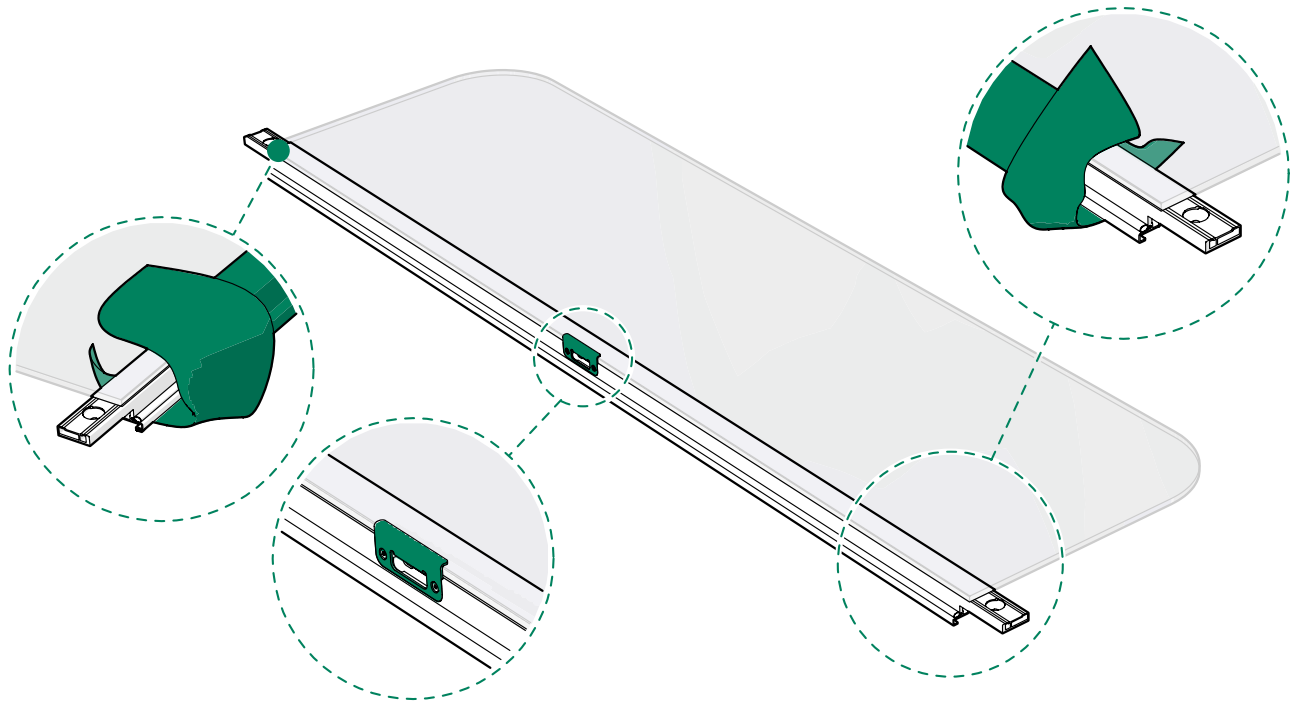
8. コントロールパネルをブラケットに設置します。

- ❗ 注：コントロールパネルは、磁石でブラケットに取り付けます。
- ❗ 注：磁石とケースの間にコードが挟まらないようにしてください。

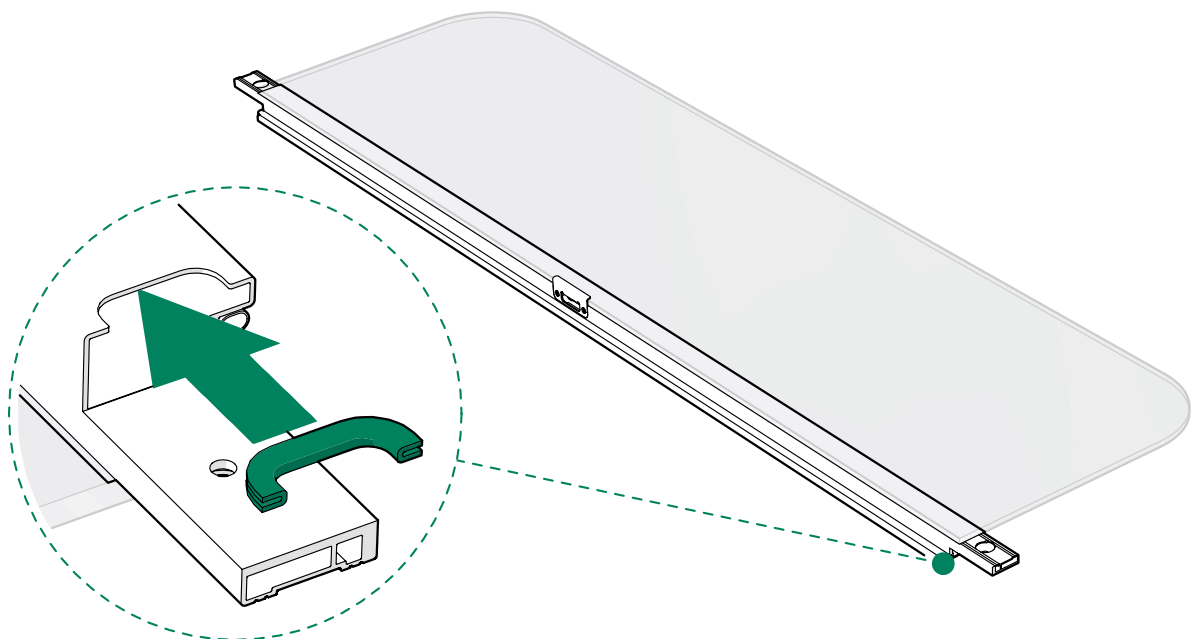


7.3 フロントガラスの設置

1. ドアストライク側ガラスのアルミフレームから保護フィルムを上下約10cm剥がしてください。

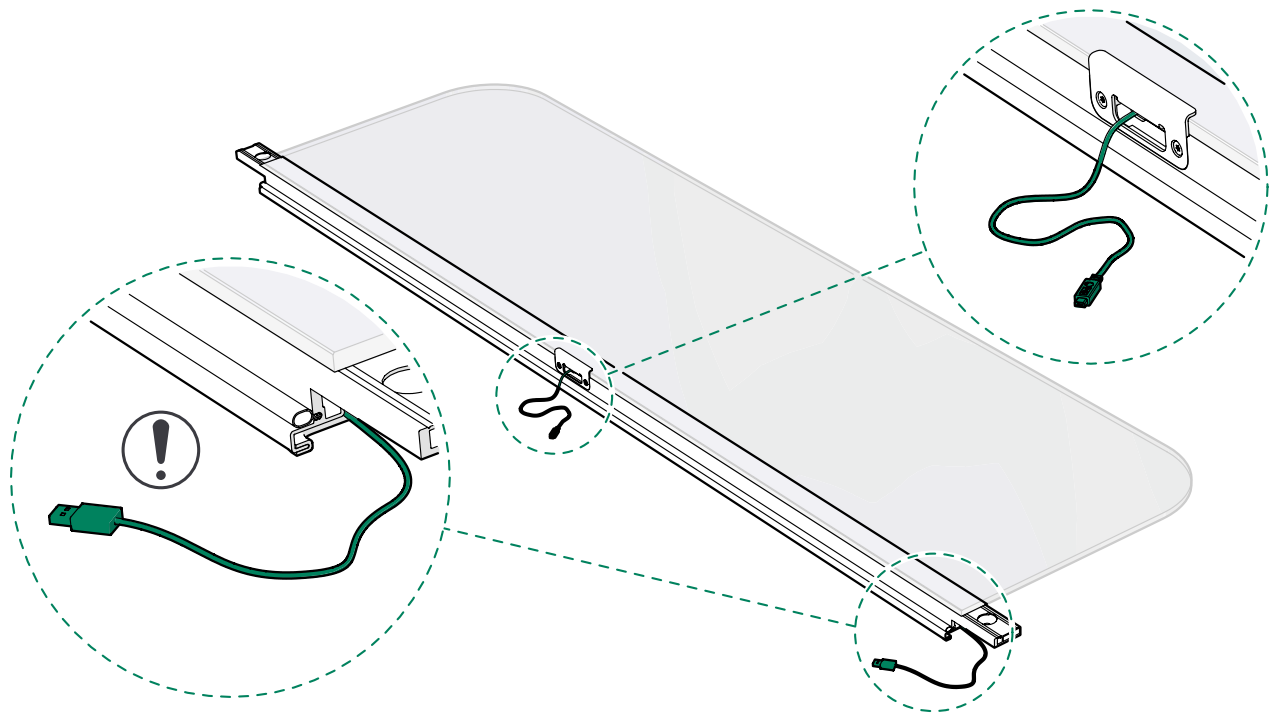


2. 別売りの予約システム用ブラケットを取り付ける際には、アルミフレーム下部の溝にゴム製リードスルーを取り付けてください。
予約システム用ブラケットを取り付けない場合は、ステップ4にお進みください。



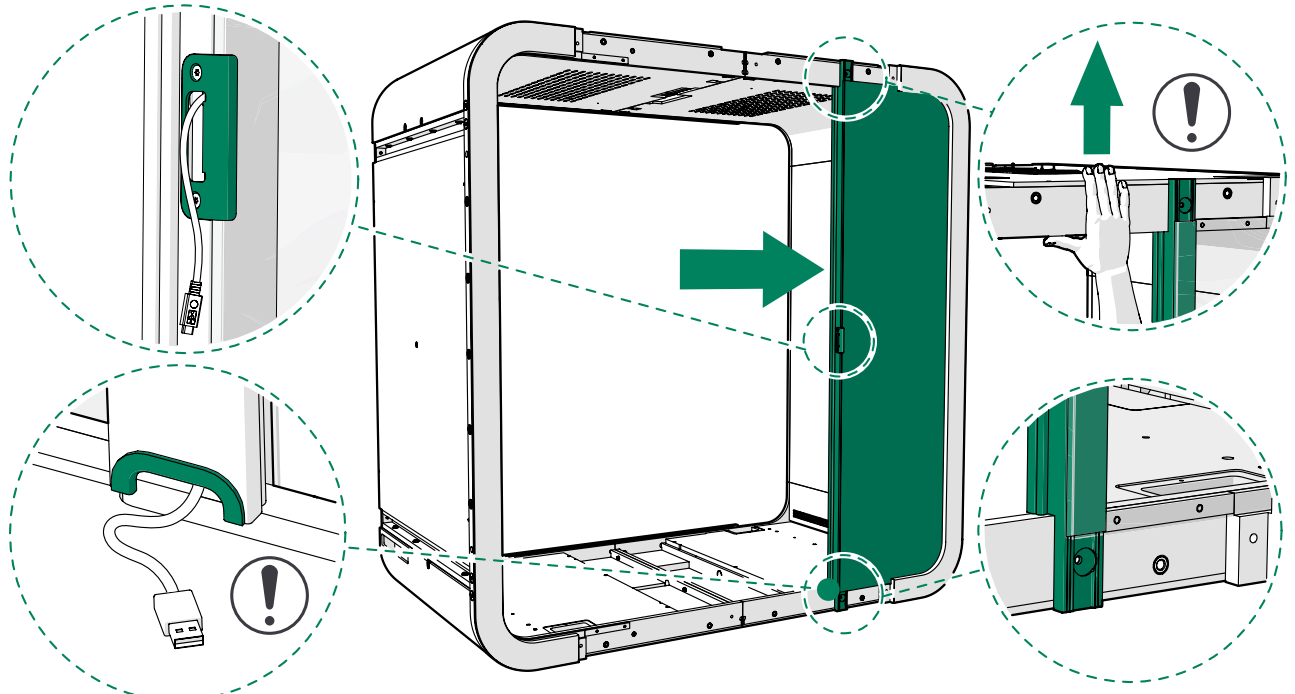
3. 別売りの予約システム用ブラケットを取り付ける場合は、お手持ちの**USB**コードをストライクプレート後ろの穴に通し、アルミフレームの底部から下に出してください。

❗ 注： **USB A**コネクターコードがアルミフレームの下部から出ていることを確認してください。

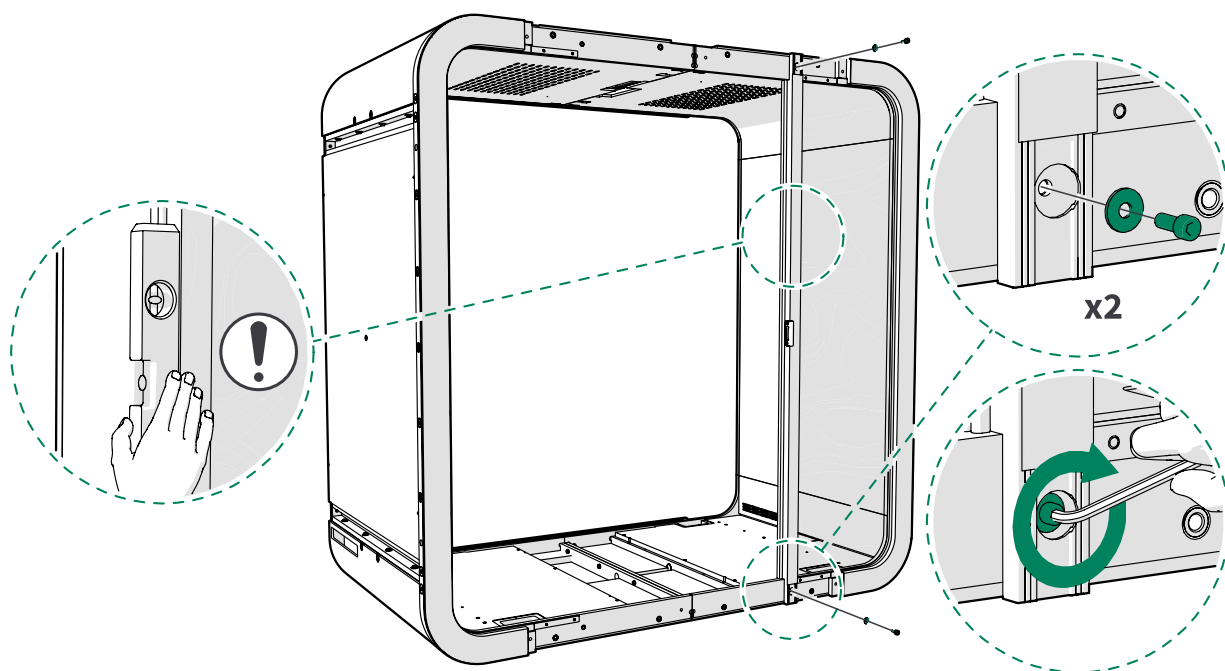


4. ストライクプレート側のガラスフレームを溝にはめ込み、スライドさせて正しい位置に固定してください。

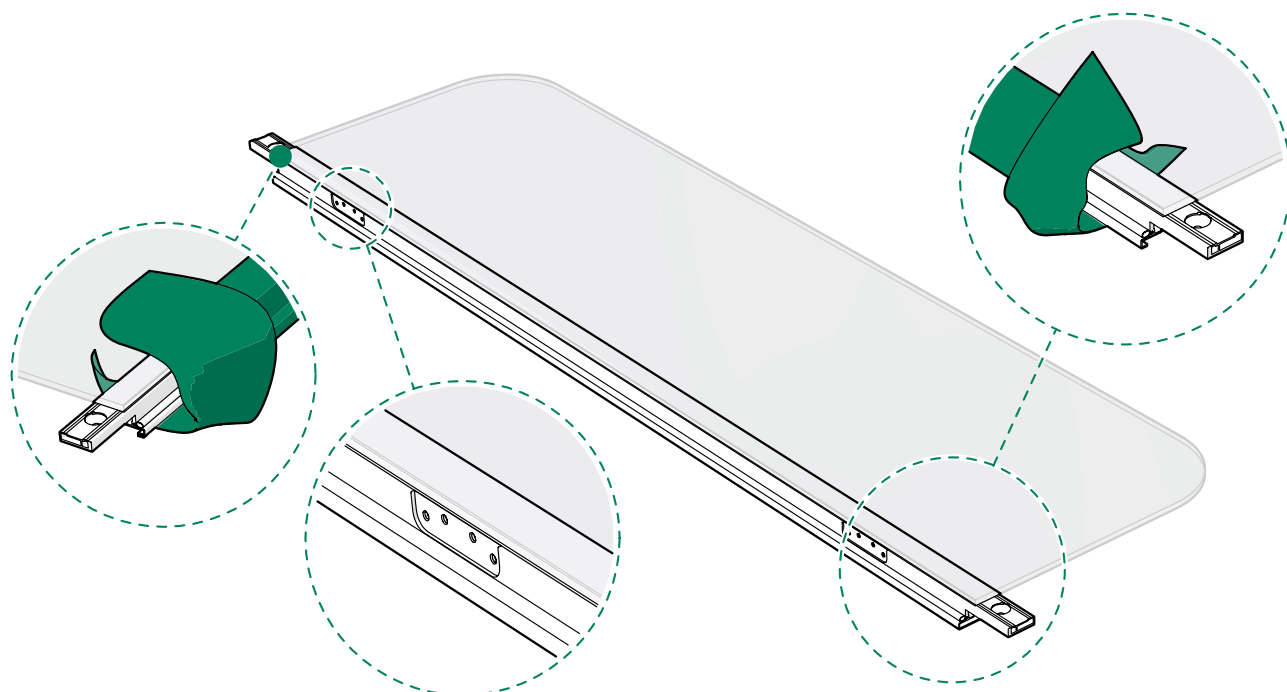
- ❗ 注：ストライクプレート側のガラスが、正しい向きで設置されていることを確認してください。
- ❗ 注：別売りの予約システム用ブラケットを取り付ける場合は、取り付け時に**USB**コードが破損しないように注意してください。コードをアルミフレームにテープで固定しておくと、邪魔になりません。
- i ヒント：ポッドの正面からルーフモジュールの中心を押し上げると、取り付けやすくなります。



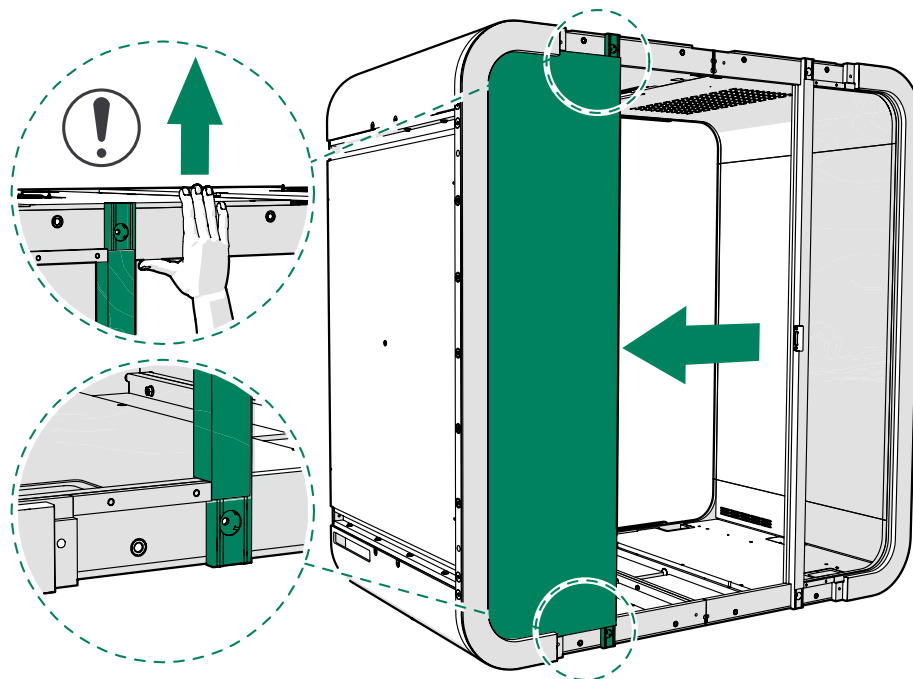
5. ストライクプレート側のガラスフレームの真直度を水準器で測ってください。必要に応じて調節し、**M8x20ネジ (2個)** と**M8ワッシャー (2個)** を取り付けてください。六角レンチの使用。



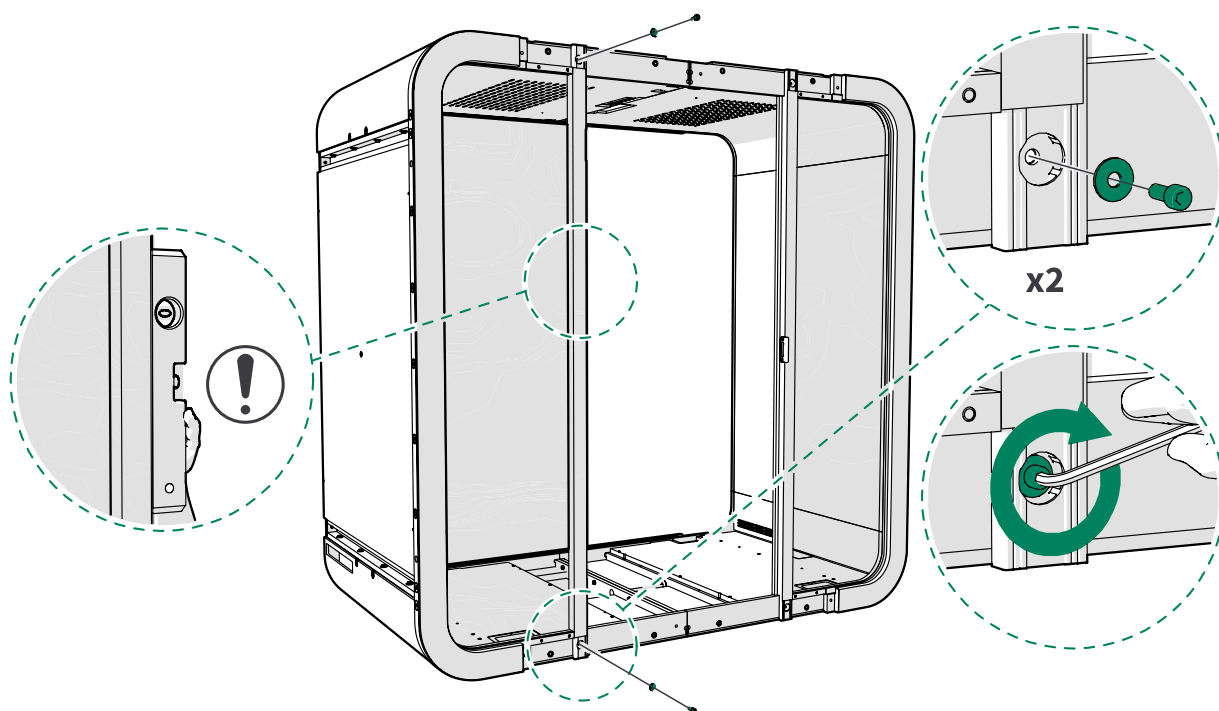
6. ヒンジ側ガラスから保護フィルムを上下約10cmずつ剥がしてください。



7. ヒンジ側ガラスフレームを溝にはめ込み、スライドさせながら正しい位置に固定してください。
- ① ヒント：ポッドの正面からルーフモジュールの中心を押し上げると、取り付けやすくなります。

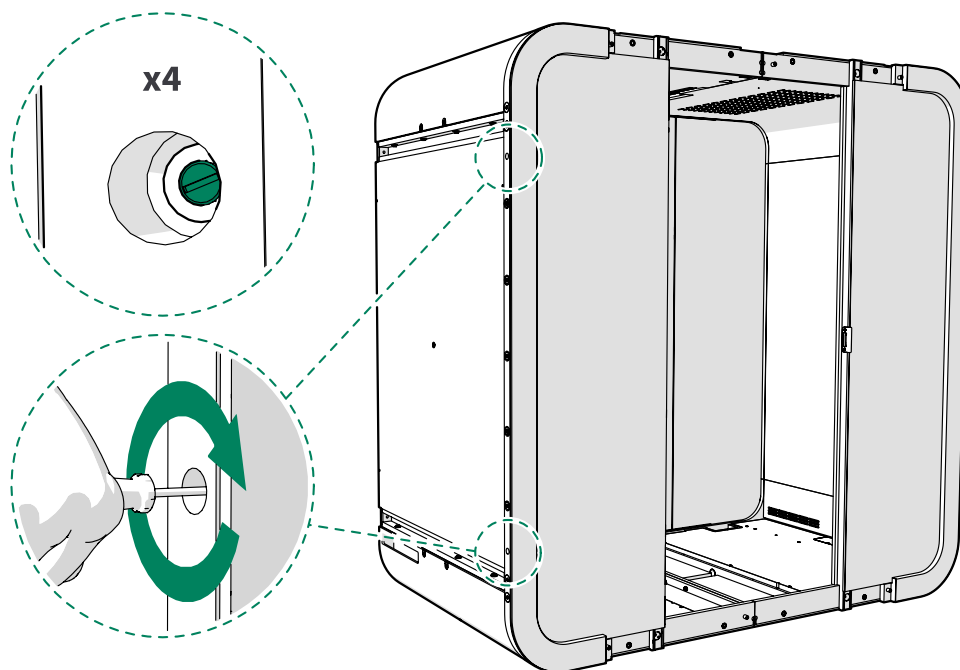


8. ヒンジ側のガラスフレームの真直度を水準器で測ってください。必要に応じて調節し、M8x20ネジ (2個) とM8ワッシャー (2個) を取り付けてください。六角レンチの使用。

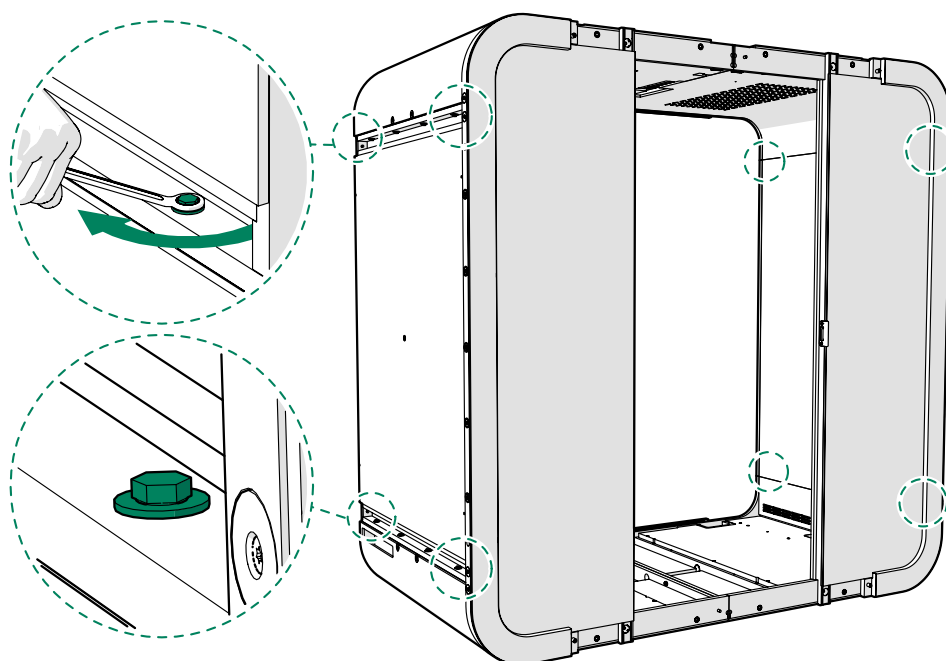


9. ポッド前面の側面にあるナイロンネジ (片側2個) をマイナスドライバーで締めてください。

❗ 注：ガラス調節ネジは、ガラス構造の剛性を高めるためだけのものです。抵抗を感じるまでネジを締め、半回転ほど緩めてください。締めすぎないようにしてください。



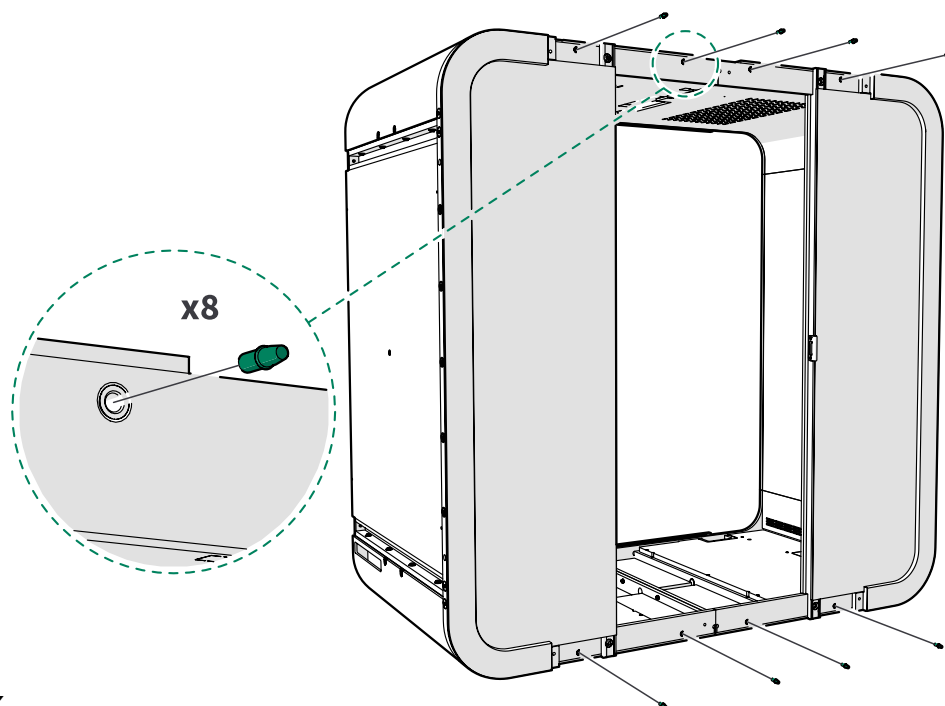
10. M8x35ボルト (片側8本) をスパナで締めてください。



7.4 上部/下部フレームの設置

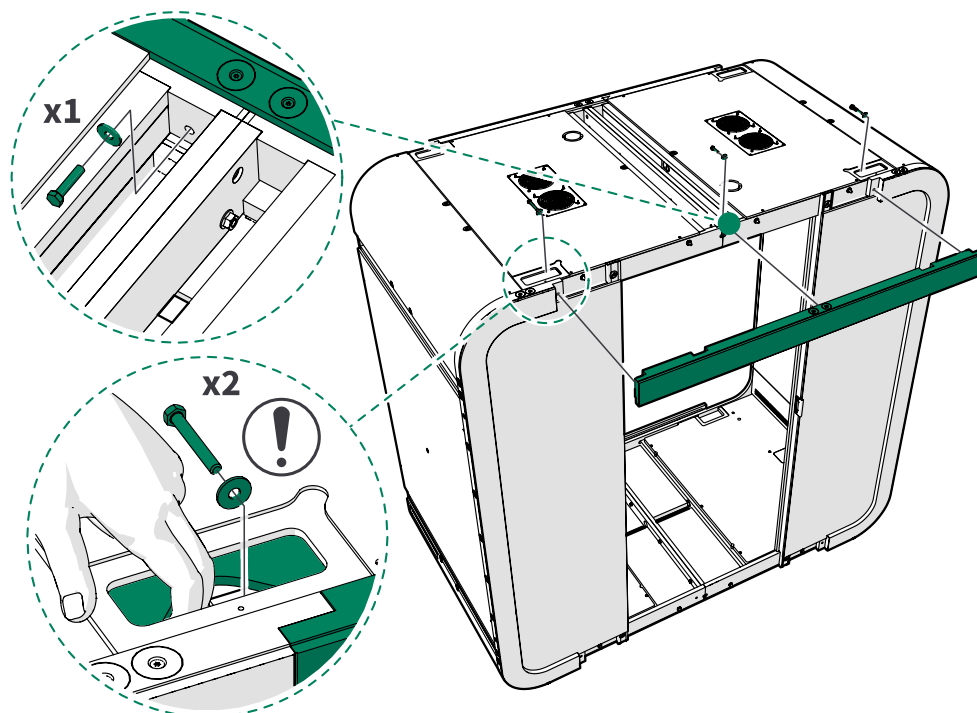
1. ガイドピン (8個) をポッド前面の穴に取り付けてください。

❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。



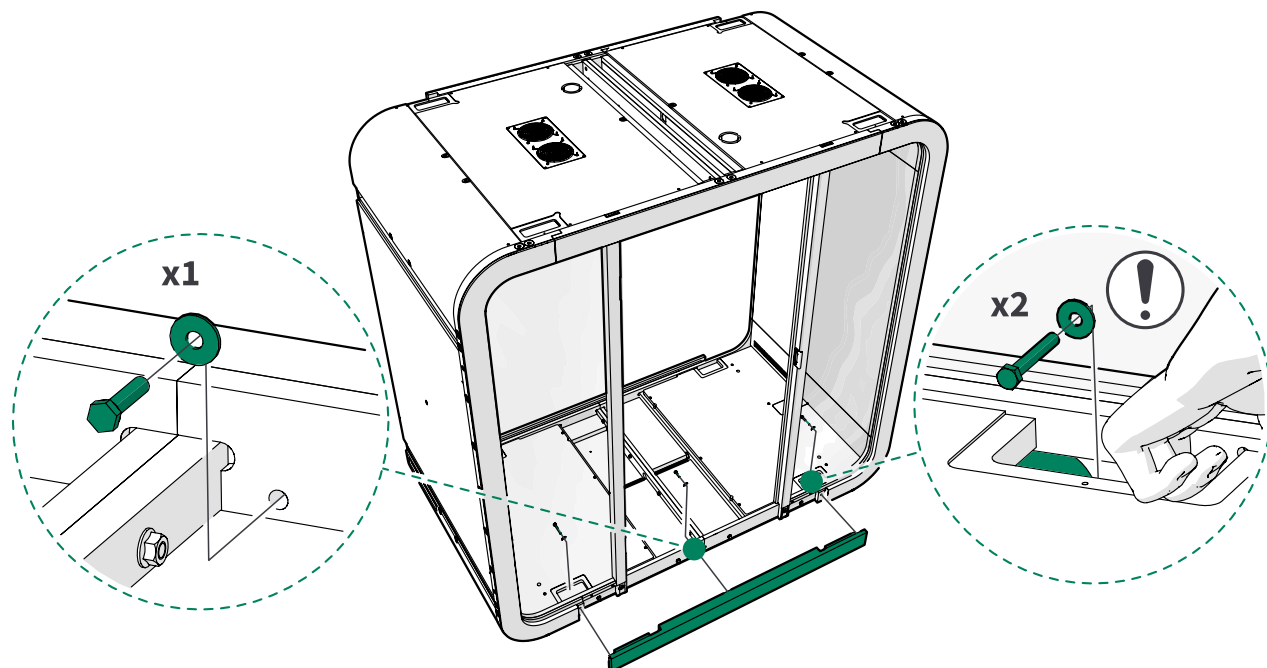
2. 小さな開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使用し、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使用して上部フレームを取り付けてください。

❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。



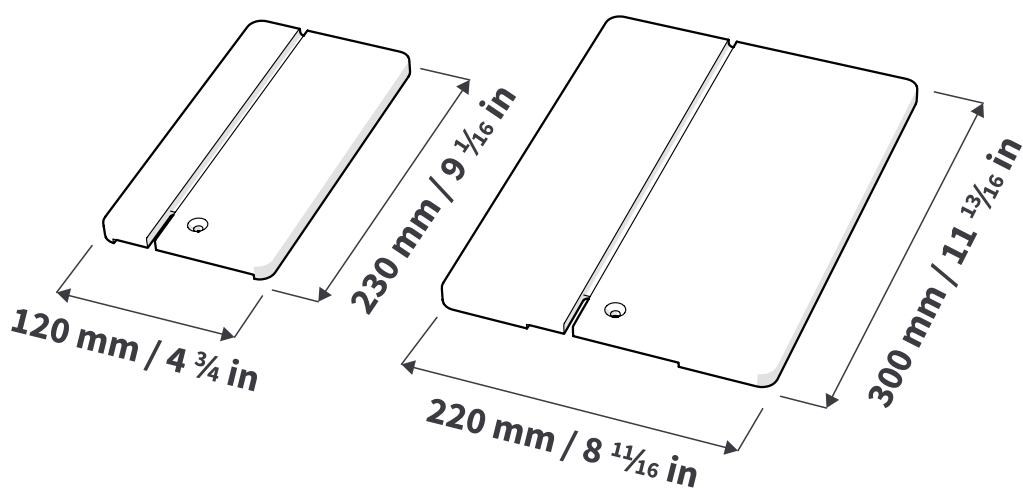
3. 小さな開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使用して、下部フレームを取り付けてください。

❗ 注：下部フレーム用ガイドピンが床前面の所定位置に取り付けられていることを確認してください。そうでない場合は、取り付けてください。



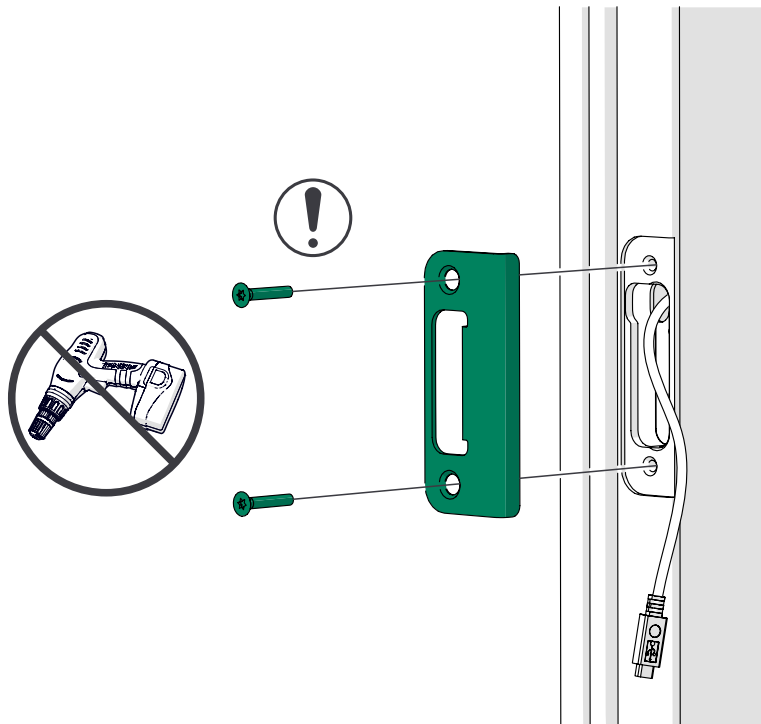
7.5 予約システム用ブラケットの設置 (別売)

使用されるタブレットブラケットのサイズに合わせて、大小いずれかの木製バックプレートを選んでください。

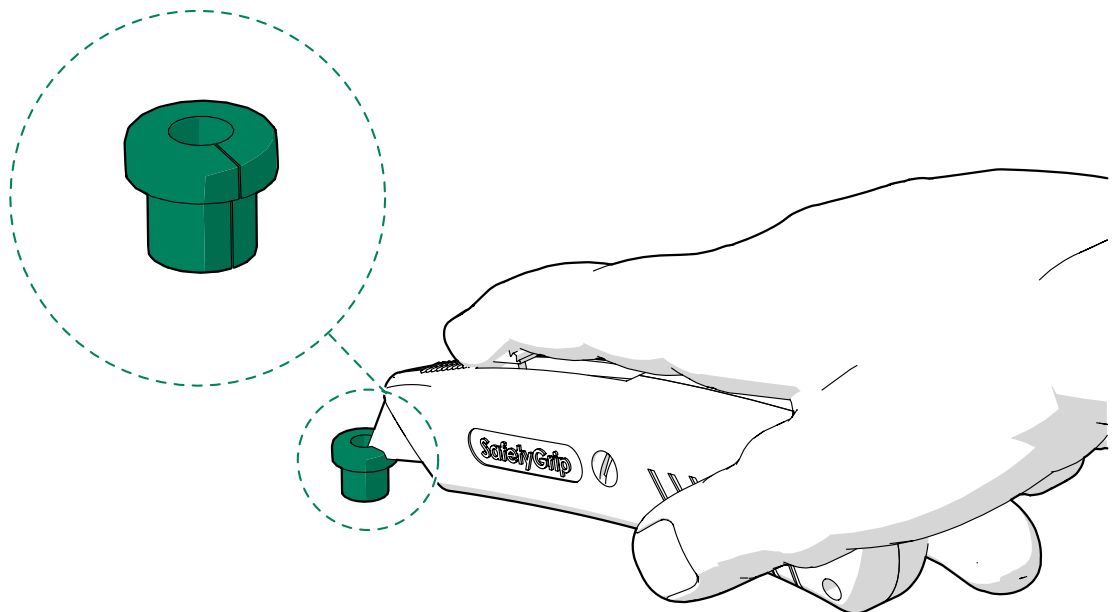


1. **M5x25 タップタイトネジ (2個)** を外し、ドアストライク側のアルミフレームからストライクプレートを取り外してください。手動工具の使用。

- ① 注：電動工具を使ってストライクプレートを取り外さないでください。
- ① 注：ネジは後で使用するために近くに置いておいてください。標準のストライクプレートは必要ありません。

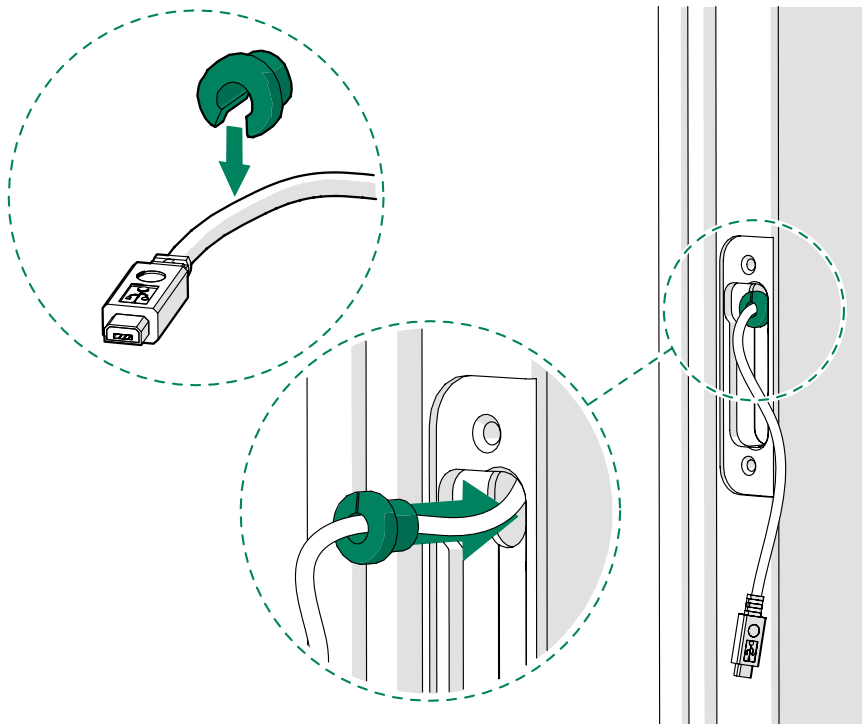


2. ゴム製グロメットを縦に切り開いてください。

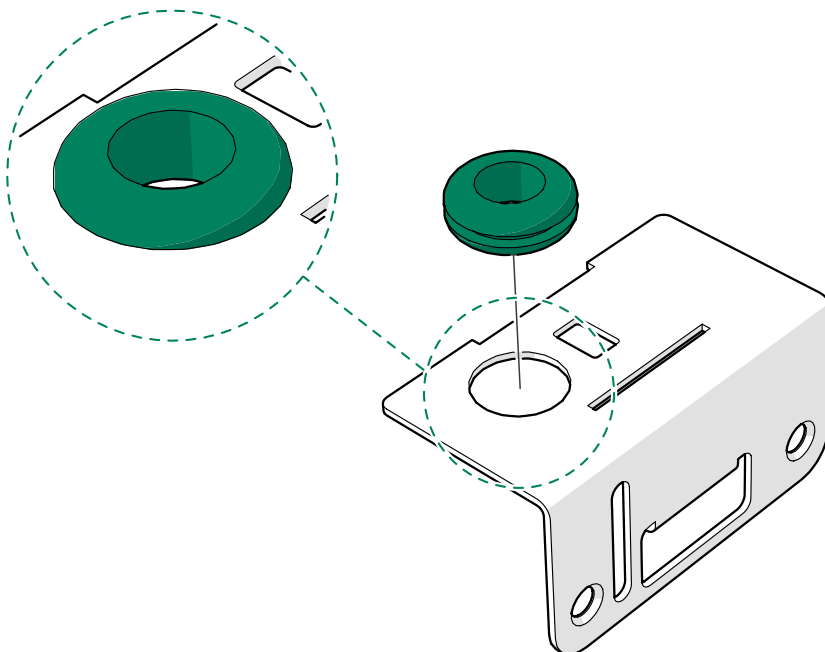


3. USBコードに小さい方のゴム製グロメットを取り付け、グロメットをドアストライク側ガラスの穴に差し込んでください。

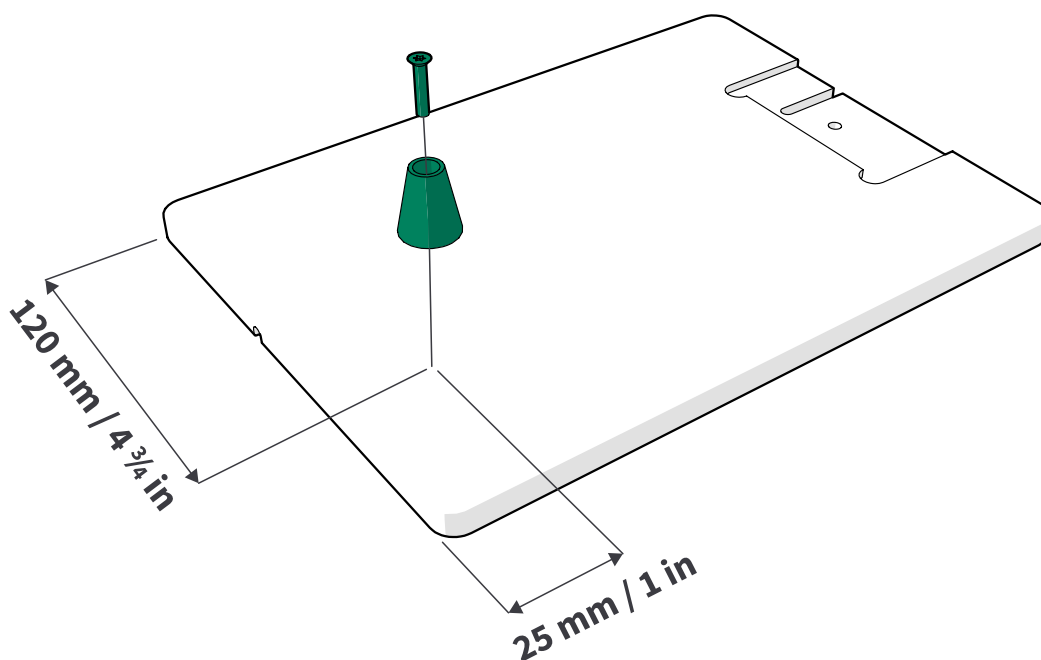
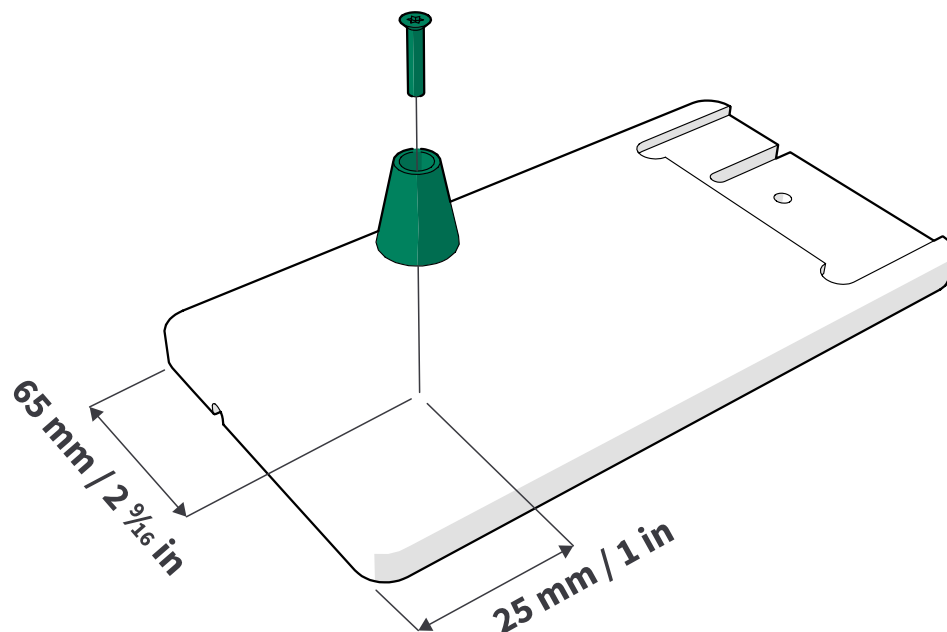
❗ 注：使用されるタブレットに届くように、外側に十分なコードを残しておいてください。



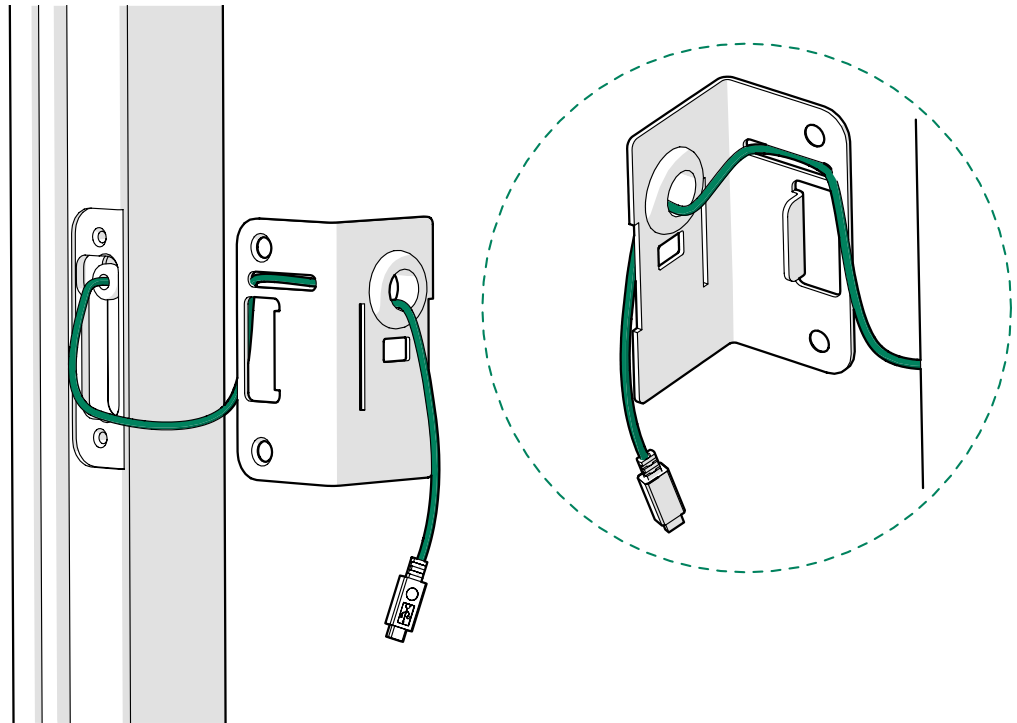
4. 予約システム用ブラケットのストライクプレートに大きい方のゴム製グロメットを取り付けてください。



5. お選びいただいた木製バックプレートにゴム製スペーサーを取り付けてください。正しい位置を測り、4x20のネジ（1個）を使って取り付けてください。

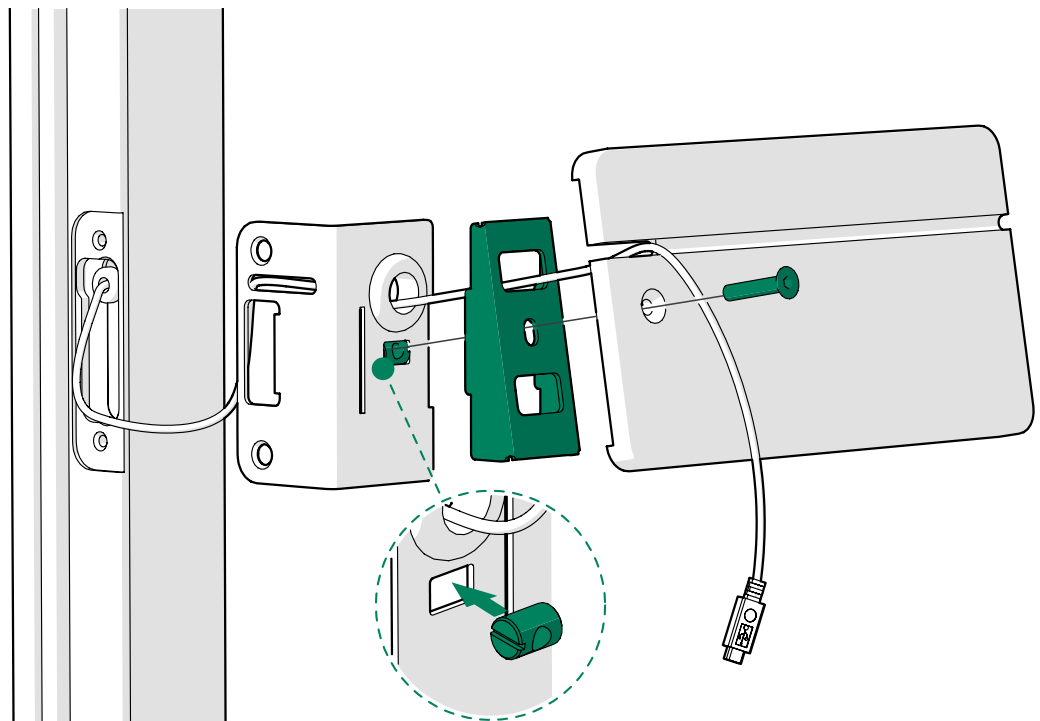


6. USBコードをストライクプレートのグロメットに通してください。

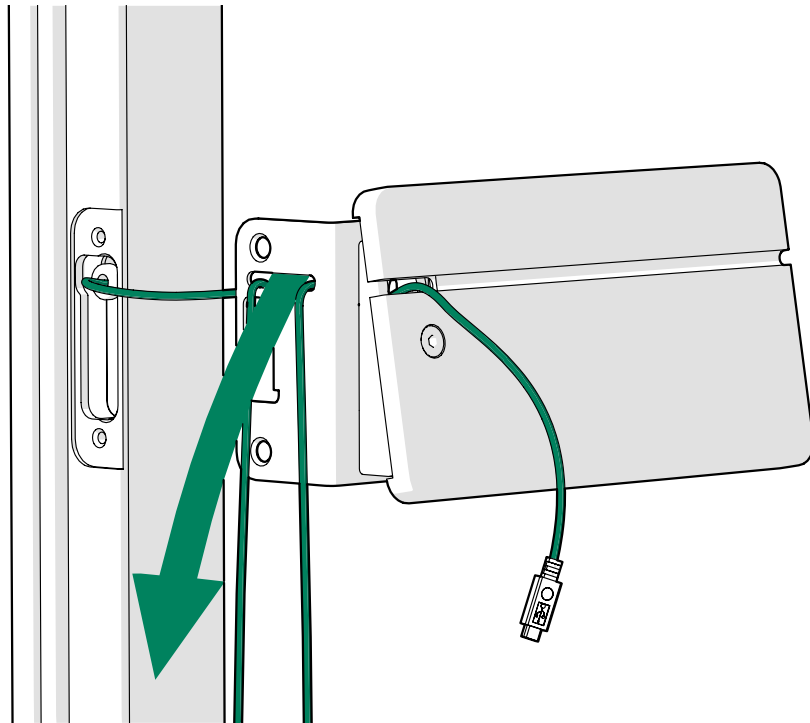


7. 予約システム用のブラケットをM6x30のネジ（1個）とM6のバレルナット（1個）で組み立ててください。

ナットを溝に入れたまま、ネジを締めてください。

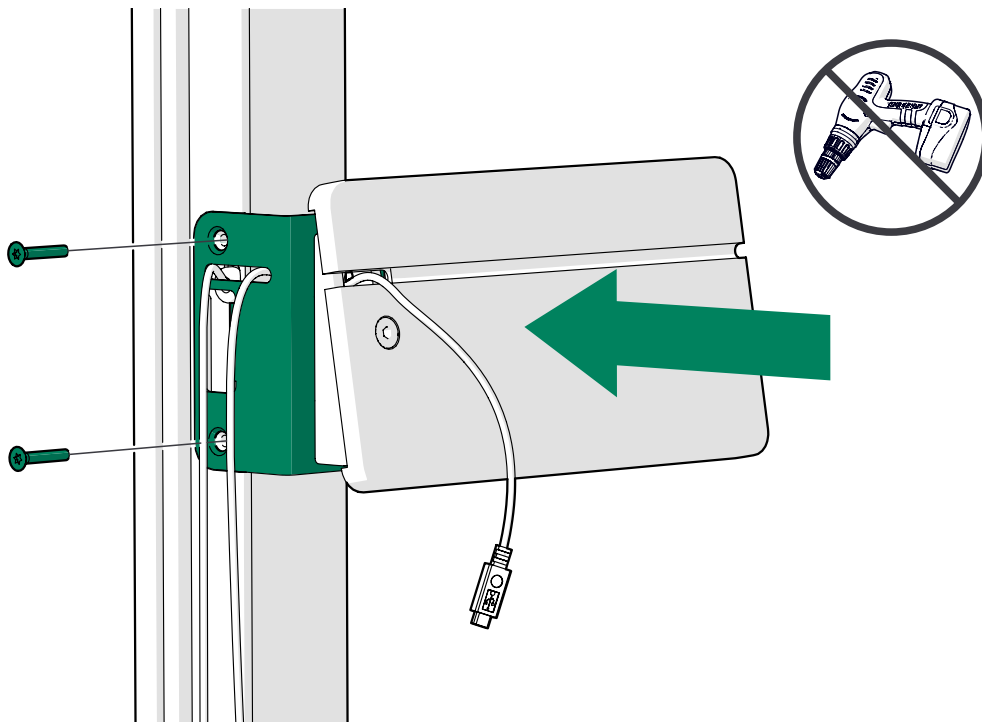


8. 余分なコードをストライクプレートのスロットから引き出してください。



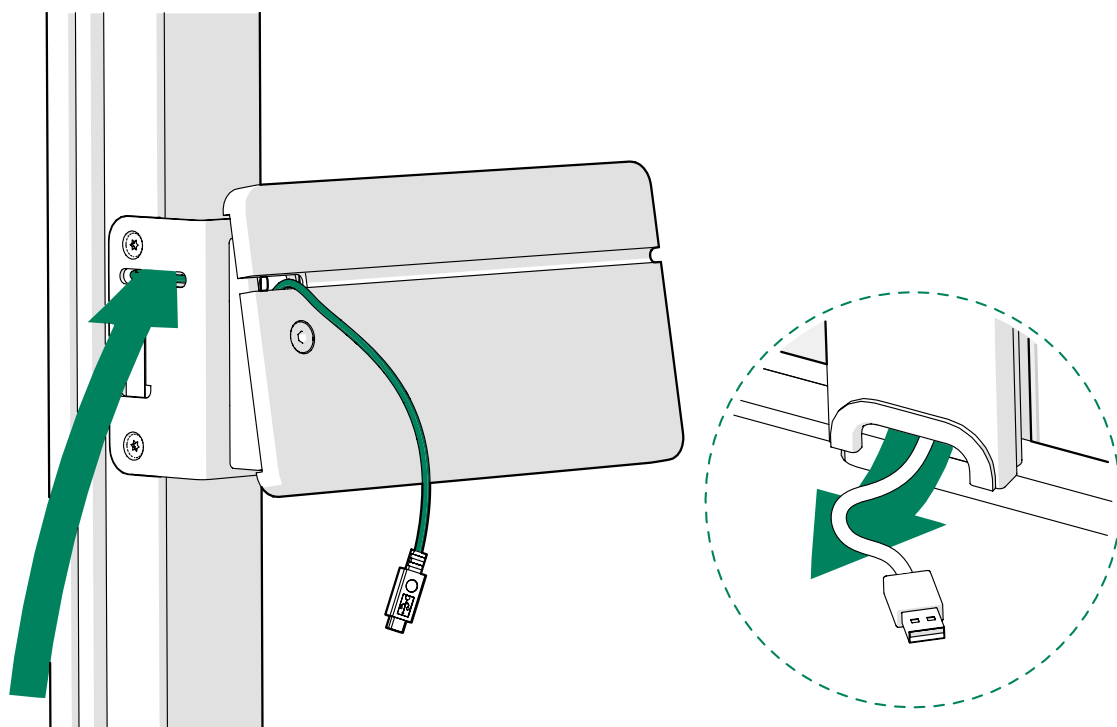
9. フラケット付きストライクプレートを、先に取り外しておいたM5x25タフ・タイ トネシ ャ (2本) で、バックストライク側のアルミフレームに取り付けてください。 手動工具の使用。

- ❗ 注：ストライクプレートの設置には、電動工具を使用しないでください。
- ❗ 注：設置の際に、USBコードを挟んだり、傷つけたりしないようにしてください。

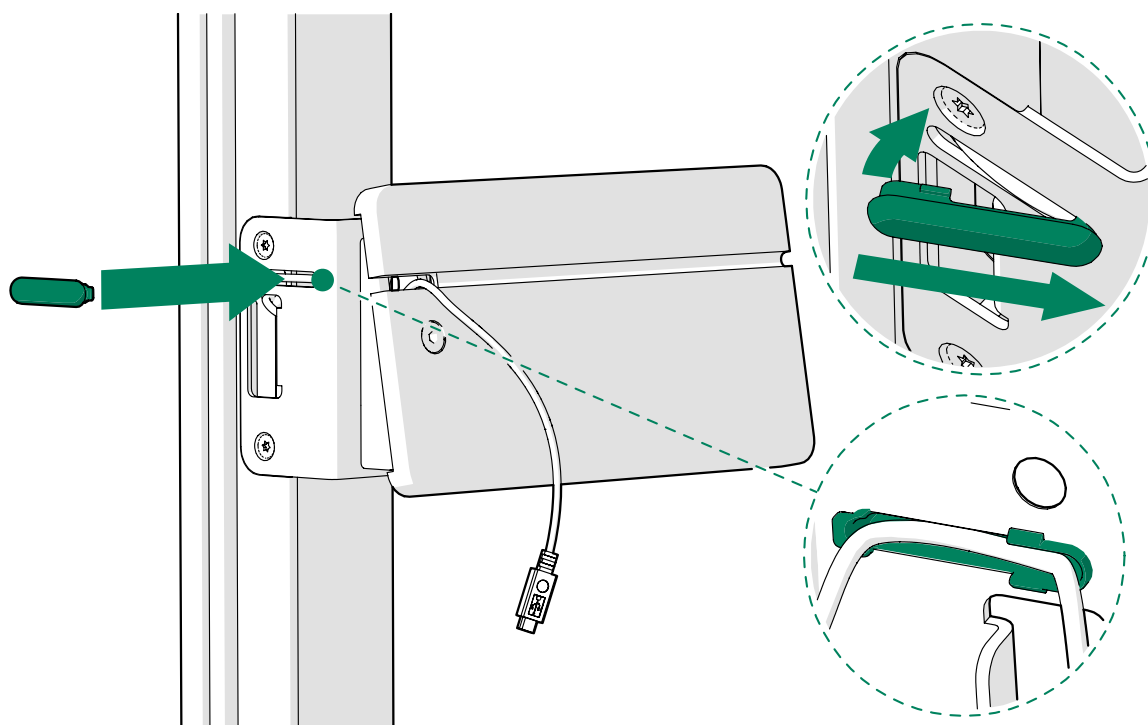


10. 余ったUSBコードをフレームに通してください。

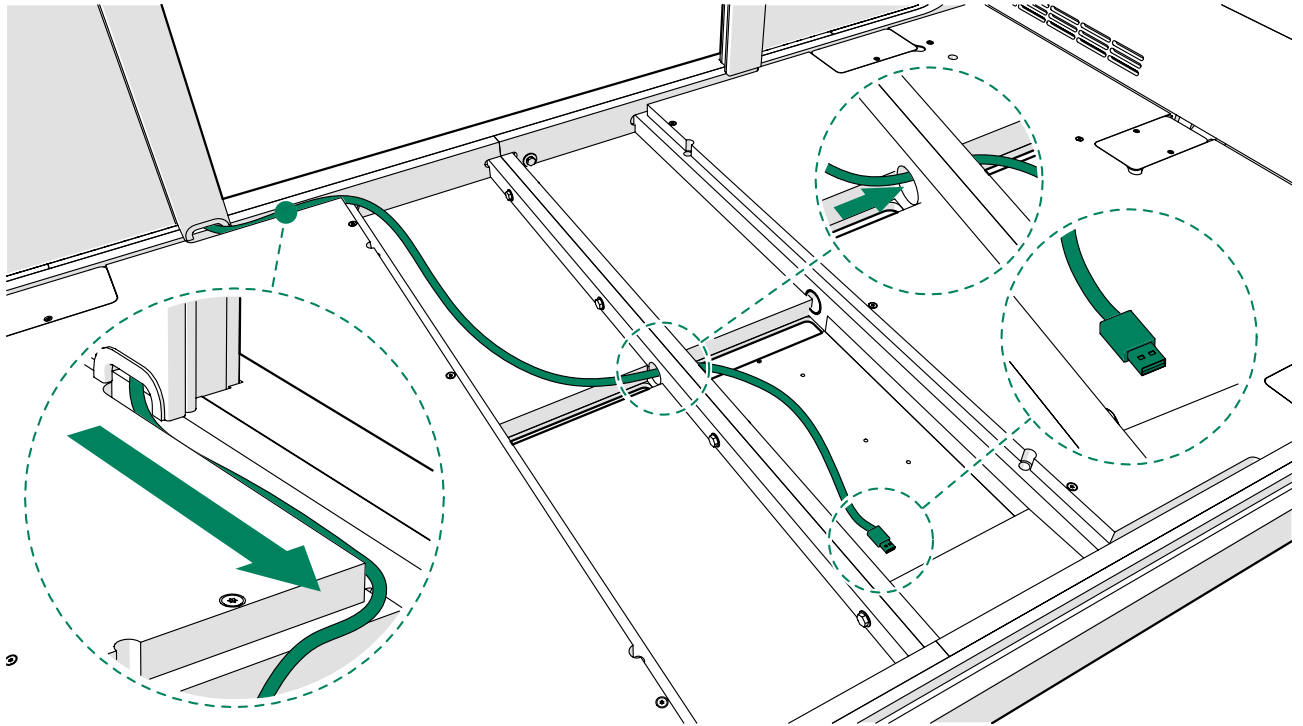
① ヒント：床にある開口部からコードを引っ張り、長さ調節をしてください。



11. プラスチックカバーをストライクプレートのスロットに取り付けてください。



- 12.** USBコードをフロアモジュール側面の溝に通し、アコースティックパネルの上をはわせ、中央部の穴を通し、反対側まで引き込んでください。

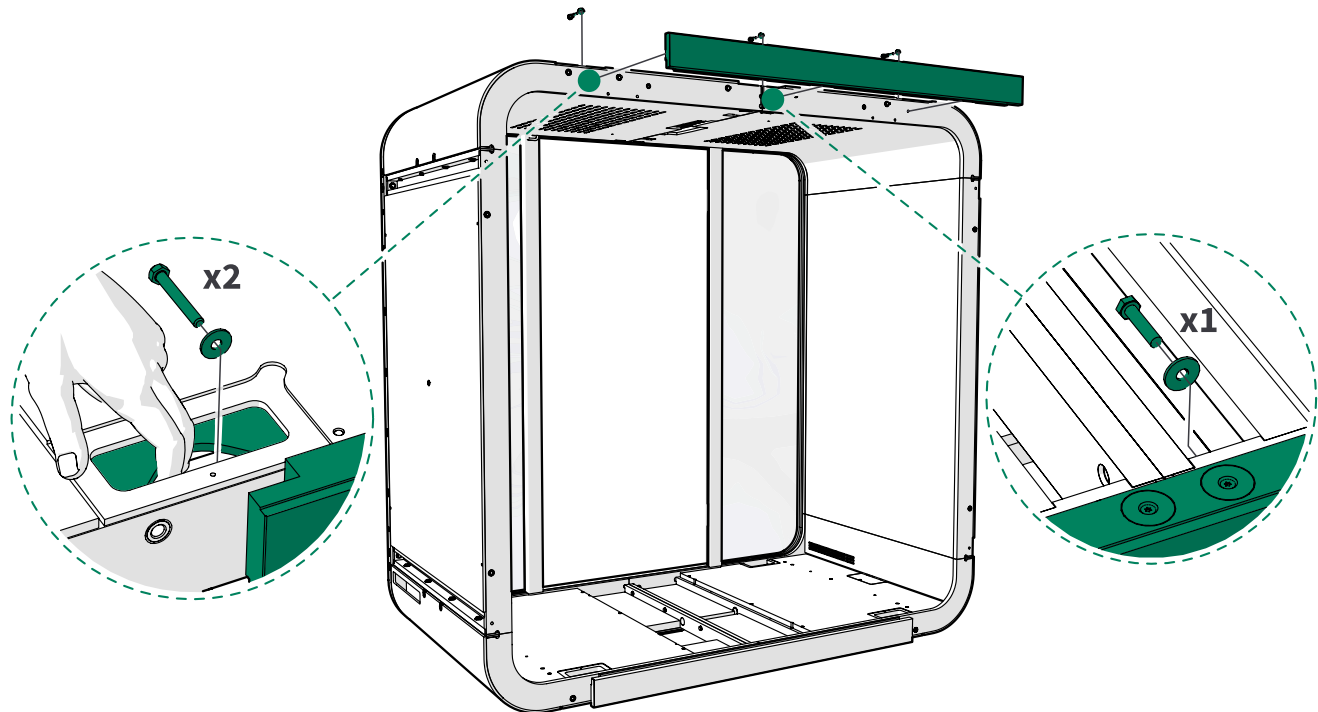


8 バックフレームとガラス

8.1 サイドフレーム (背面) の設置

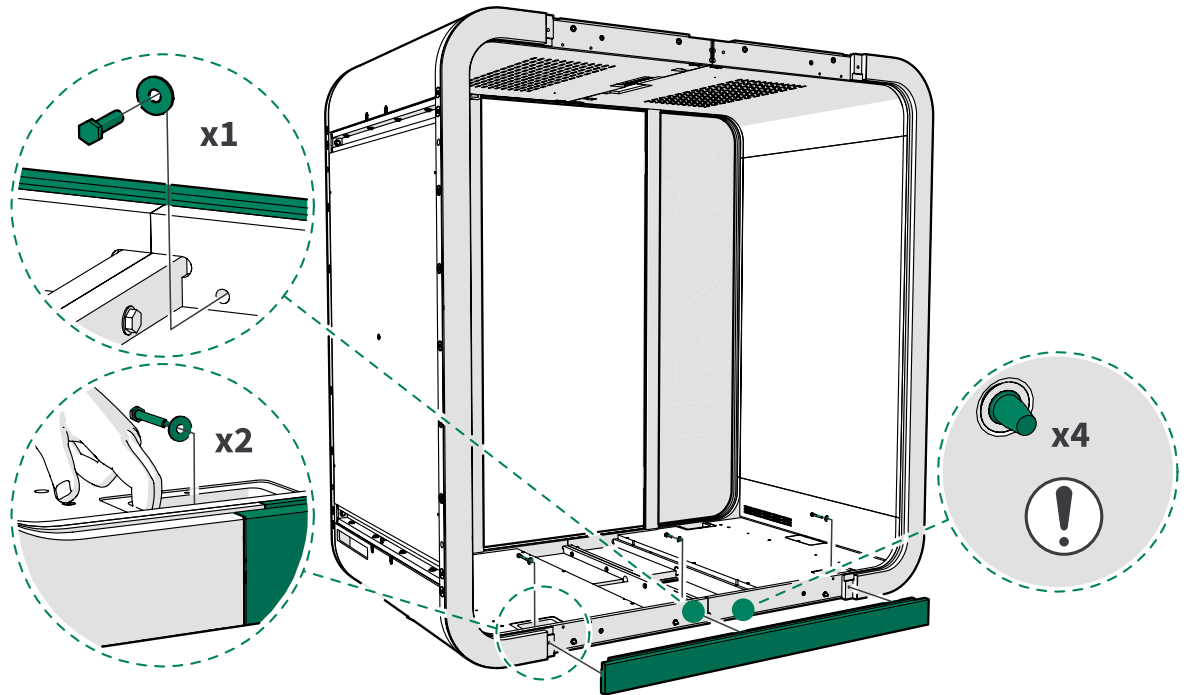
1. 背面上部フレームをルーフモジュールから取り外してください。フレームとボルトを並べて置いてください。

❗ 注：上部フレームのガイドピン (4個) はそのままにしておいてください。



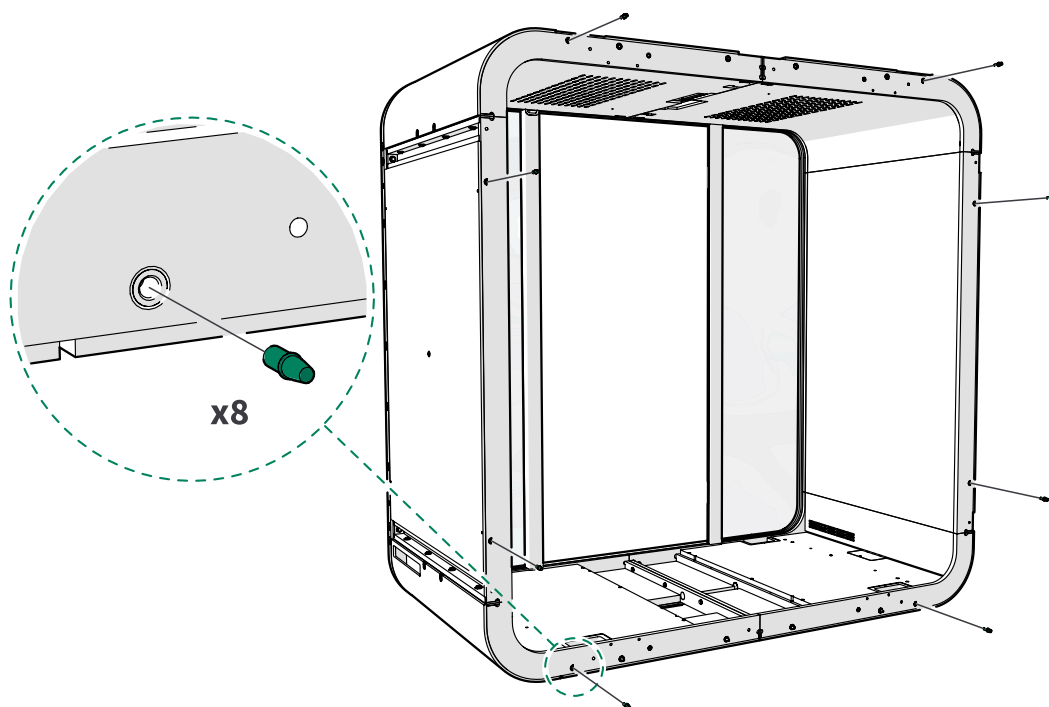
2. 背面用下部フレームをフロアモジュールから取り外してください。フレームとボルトを並べて置いてください。

❗ 注：下部フレームのガイドピン (4個) はそのままにしておいてください。



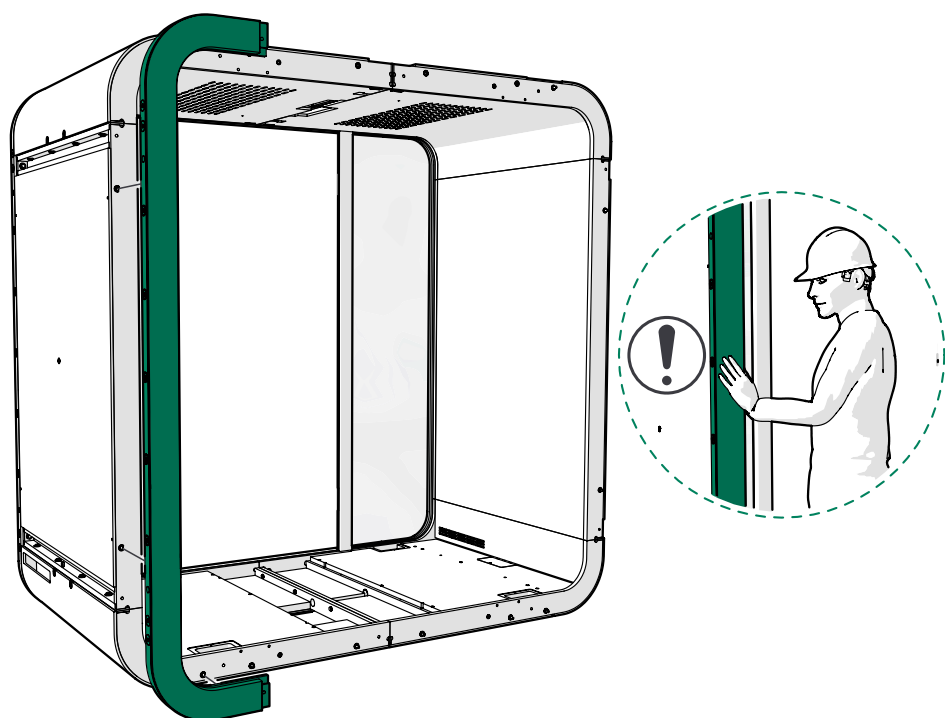
3. ポッド背面の取り付け穴にガイドピン (8個) を取り付けてください

❗ 注：ガイドピンの平らな面が取り付け穴に入ることを確認してください。

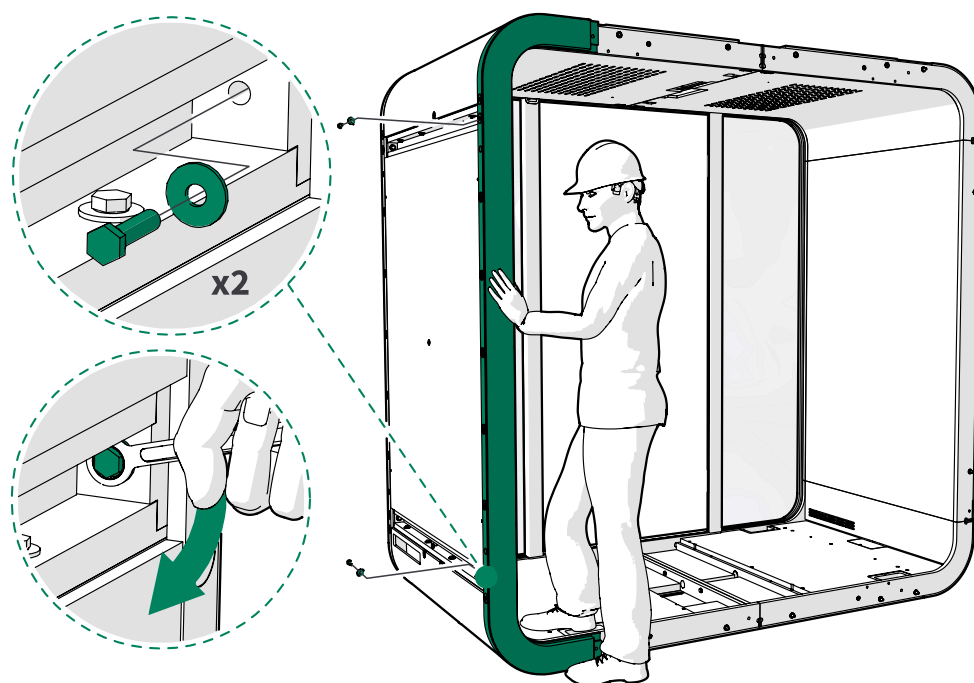


4. 左側のサイドフレームを所定の位置に持ち上げてください。

⚠ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

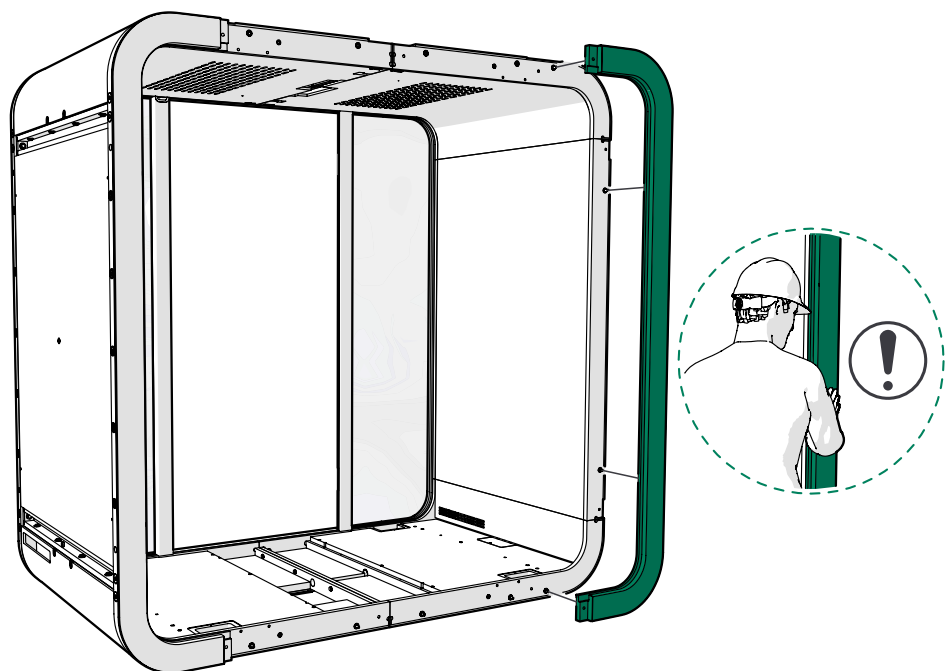


5. M8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使って左側のフレームを取り付けてください。

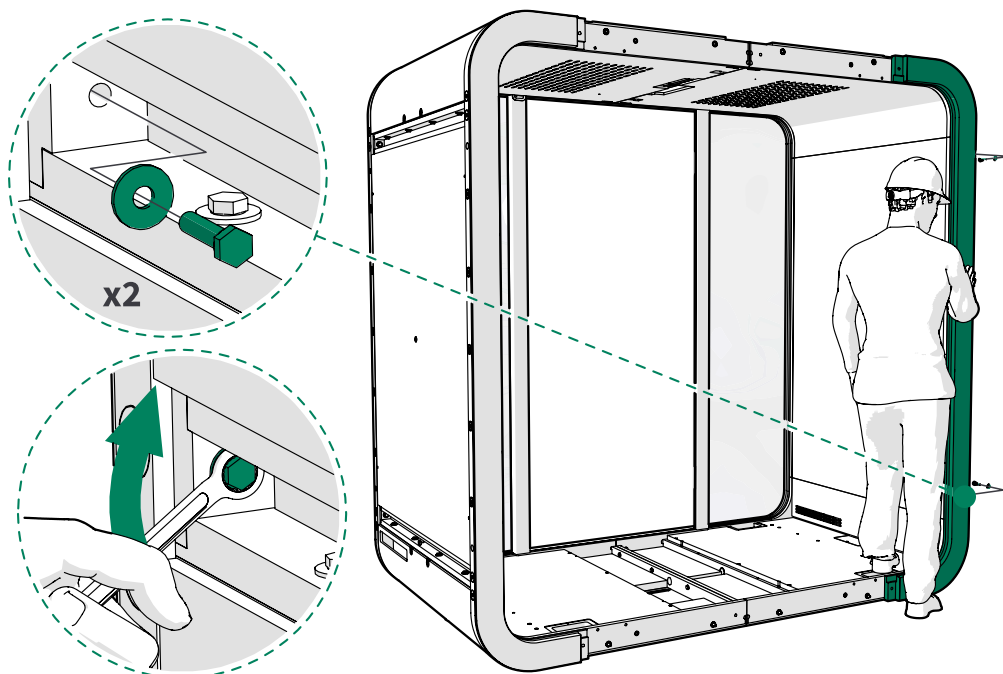


6. 右側のサイドフレームを所定の位置に持ち上げてください。

⚠ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。

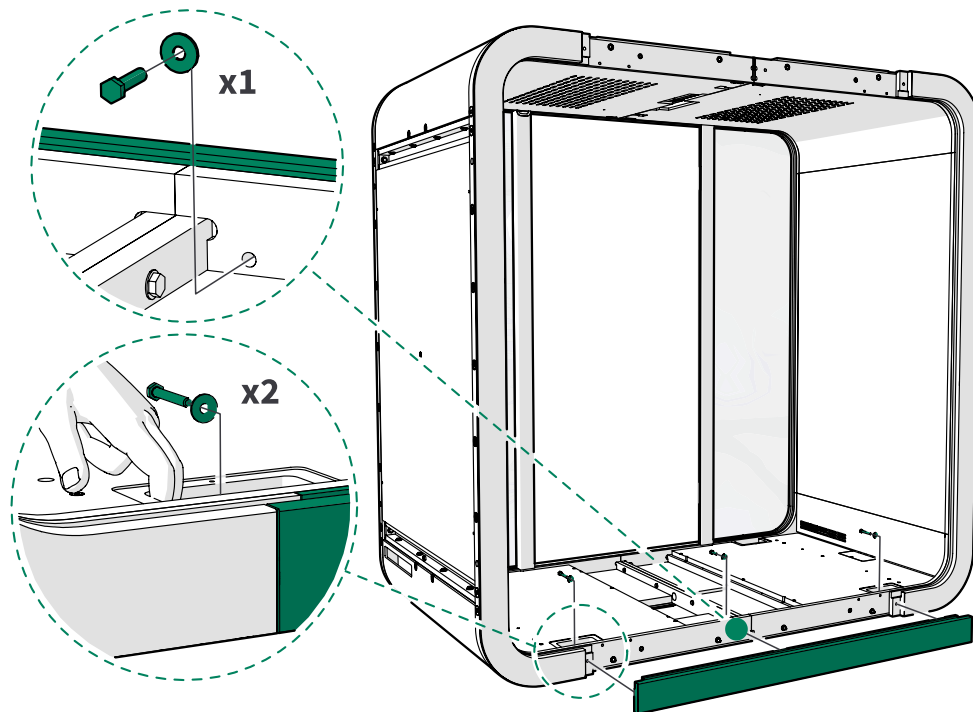


7. M8x35ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使って、右側のフレームを取り付けてください。



8.2 下部フレームの設置

小さい開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個)、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使って、下部フレームをフロアに取り付けてください。



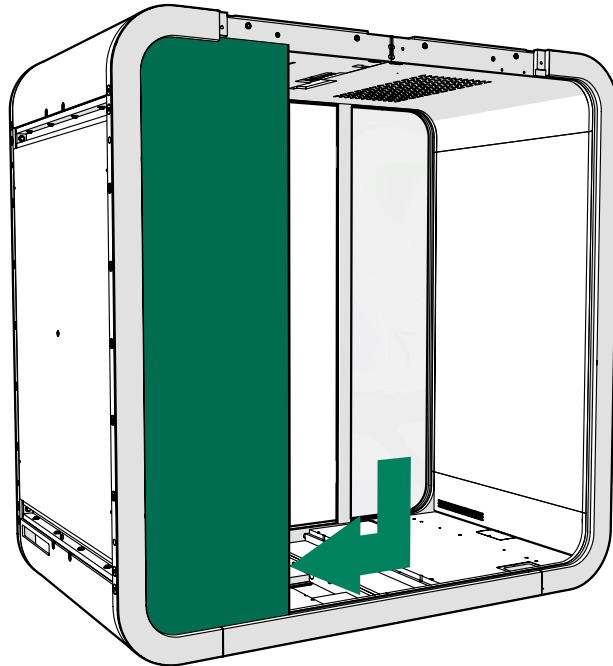
8.3 耐震キットの取り付け

納品物に耐震キットが同梱されている場合は、別梱の耐震キット設置方法に従ってください。

8.4 バックガラスの設置

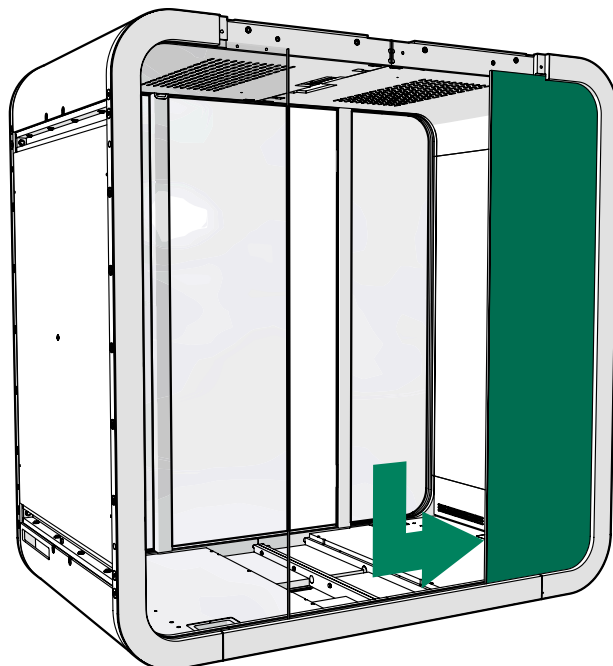
1. 片側のガラスを持ち上げて下部フレームの溝に入れ、スライドさせて固定してください。

ⓘ 注：ガラスが溝の内側に収まるようにしてください。



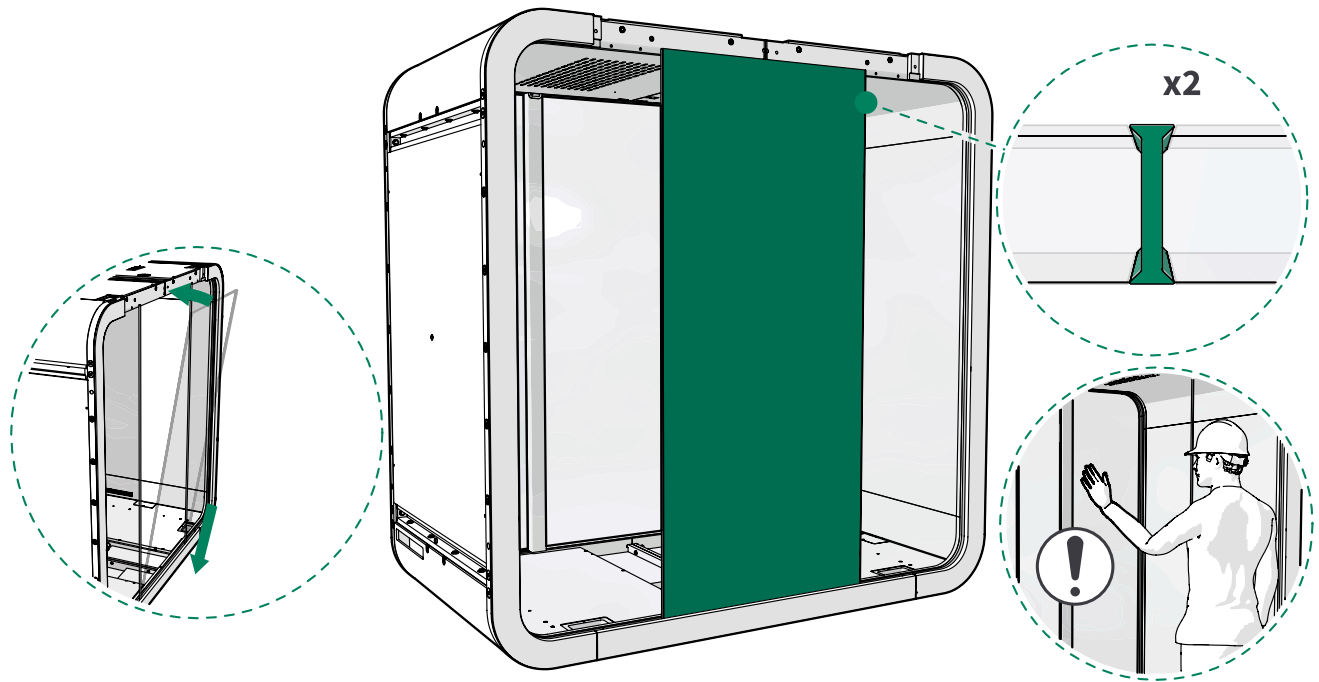
2. 反対側のガラスを持ち上げて下部フレームの溝に入れ、スライドさせて固定してください。

ⓘ 注：ガラスが溝の内側に収まるようにしてください。



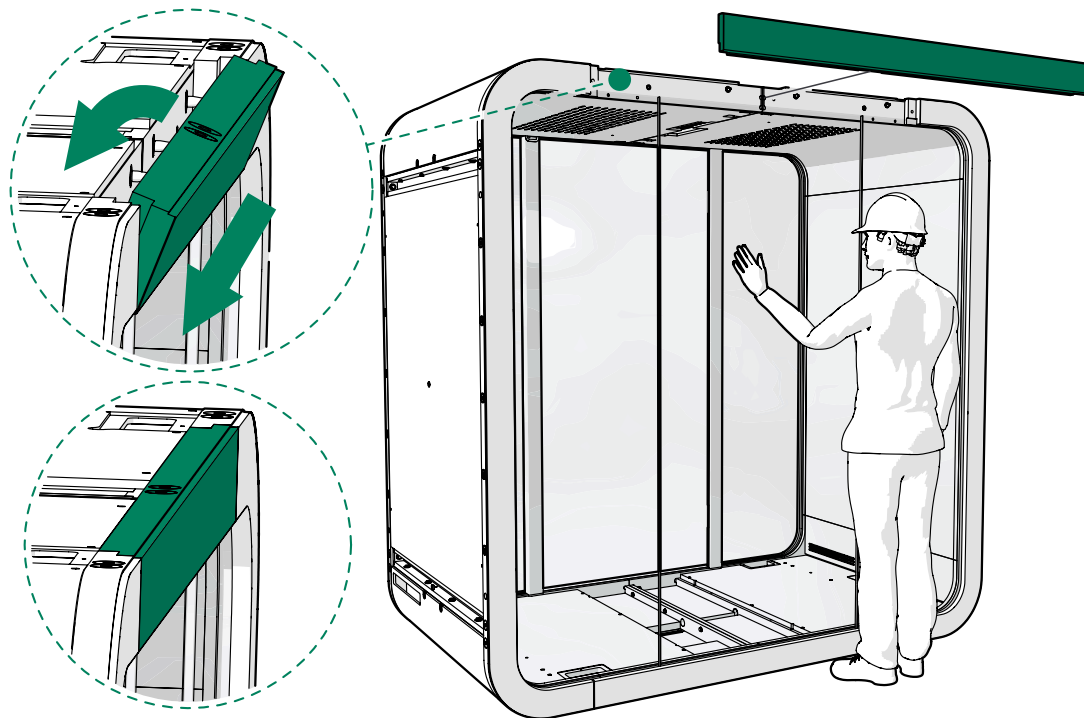
3. センターガラスを持ち上げて設置してください。

- ① 注：バックガラスの位置が揃い、Hプロファイルシールにぴったりと収まっていることを確認してください。
- ① 注：上部フレームが取り付けられるまで、センターガラスを支えてください。

**8.5 上部フレームの設置**

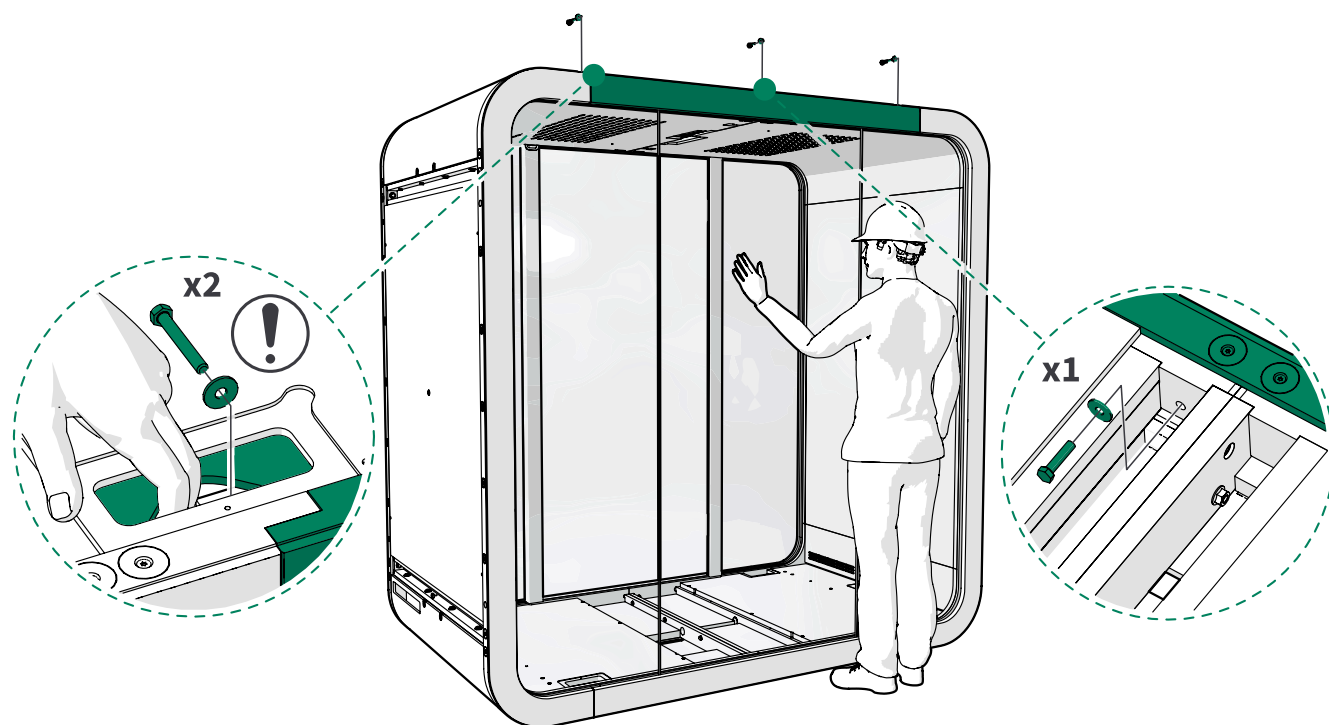
1. 上部フレームをガラスの端に向け、フレームを屋根に対して所定の位置に押し込んでください。

❗ 注：上部フレームを取り付ける際は、ガラスの位置がずれないように注意してください。



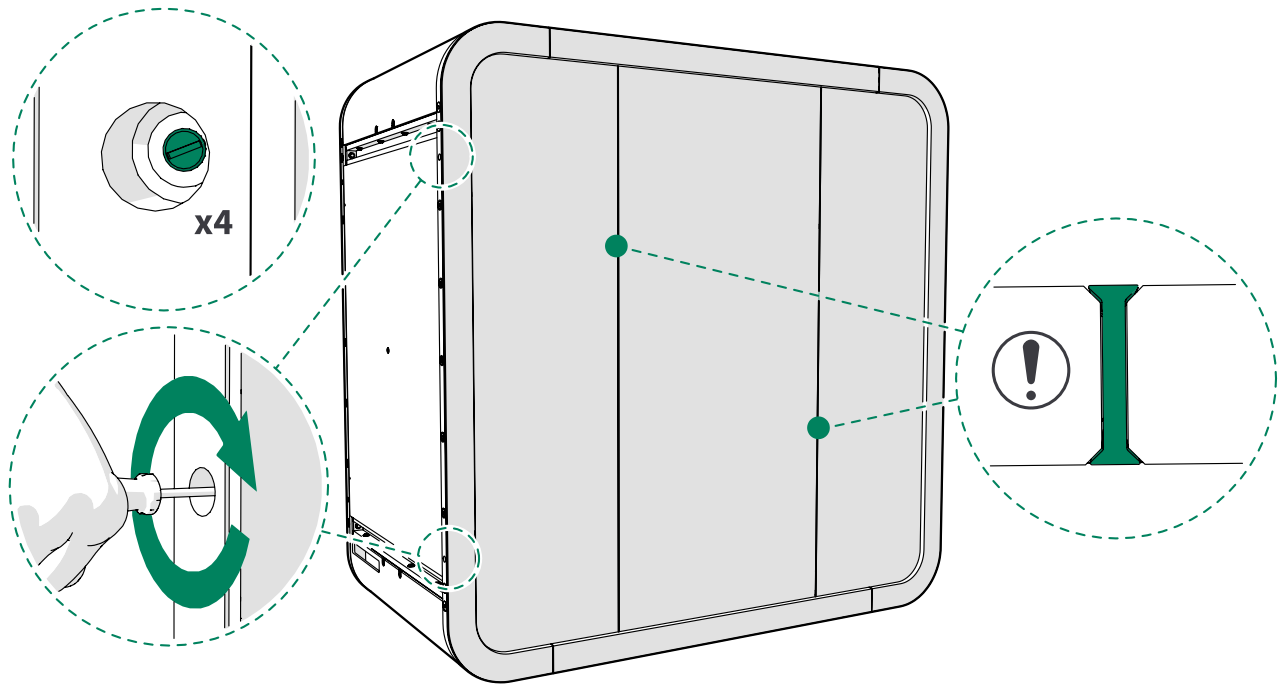
2. 小さな開口部にM8x60ボルト (2本) とM8ワッシャー (2個) を使用し、中央部にはM8x35ボルト (1本) とM8ワッシャーを使用して上部フレームを取り付けてください。

❗ 注：しっかりと固定されるまでフレームを支えてください。



3. マイナスドライバーでポッド背面の側面にあるナイロンネジ (片側2個) を締めてください。締めすぎないようにしてください。

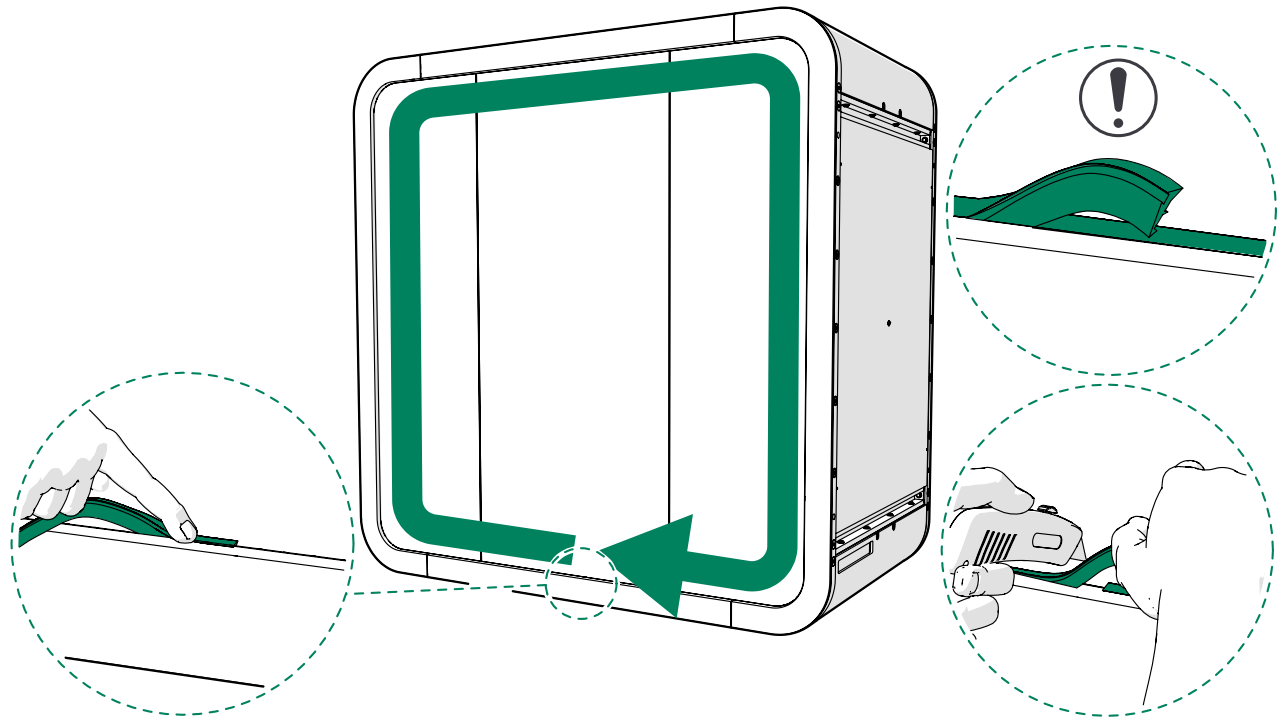
❗ 注：ナイロンネジを締める際には、背面ガラスの位置を確認し、Hプロファイルシールにしっかりと収まっていることを確認してください。



9 ガラスビート施工

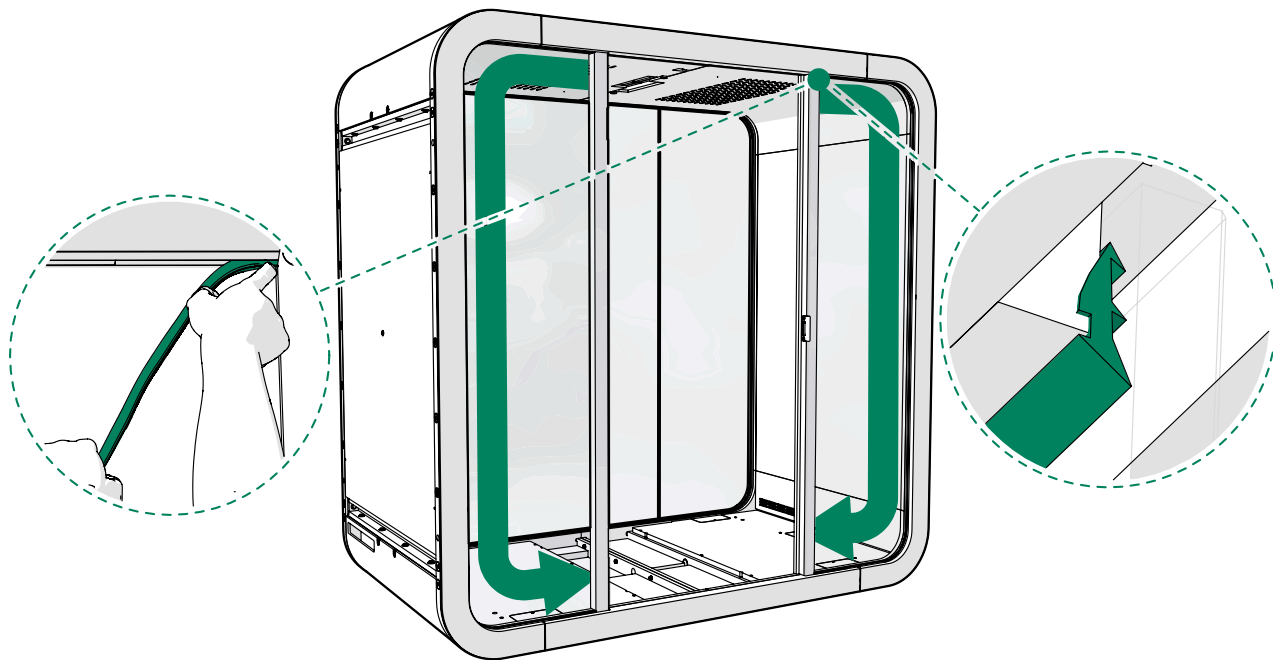
1. ガラスとフレームの間にくさび形のビートを挟んで、ポッドの背面を密閉してください。

- ① 注：ポッドの背面の外側にビート施工をし、余分な部分を切り取ってください。
- ② ヒント：ガラスビートを取り付ける際には、ガラス用洗浄液を潤滑剤として使用してください。
- ③ ヒント：ガラスを溝の内側に丁寧に押し込んで、より簡単に設置ができるようにしてください。ガラスが正しい位置にあることを確認してください。



2. くさび形のビートを、ポッドの内側から正面側ガラスに設置してください。

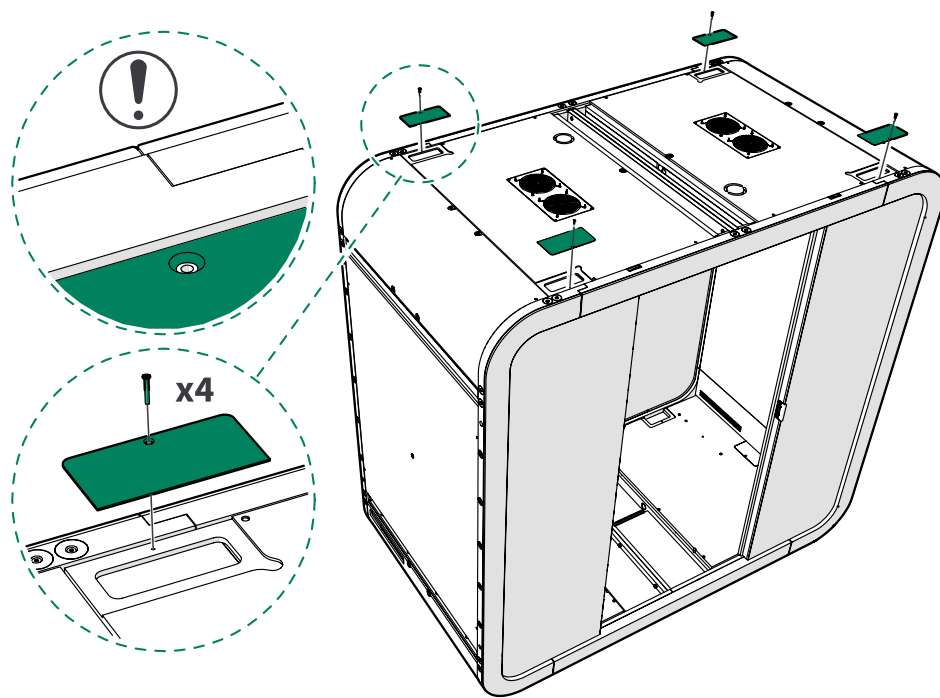
- ① 注：ポッドの内側にビート施行が施され、余分な部分が切り取られていることを確認してください。
- ② ヒント：ガラスビートを取り付ける際には、ガラス用洗浄液を潤滑剤として使用してください。



10 カバーパネルとプレートの設置

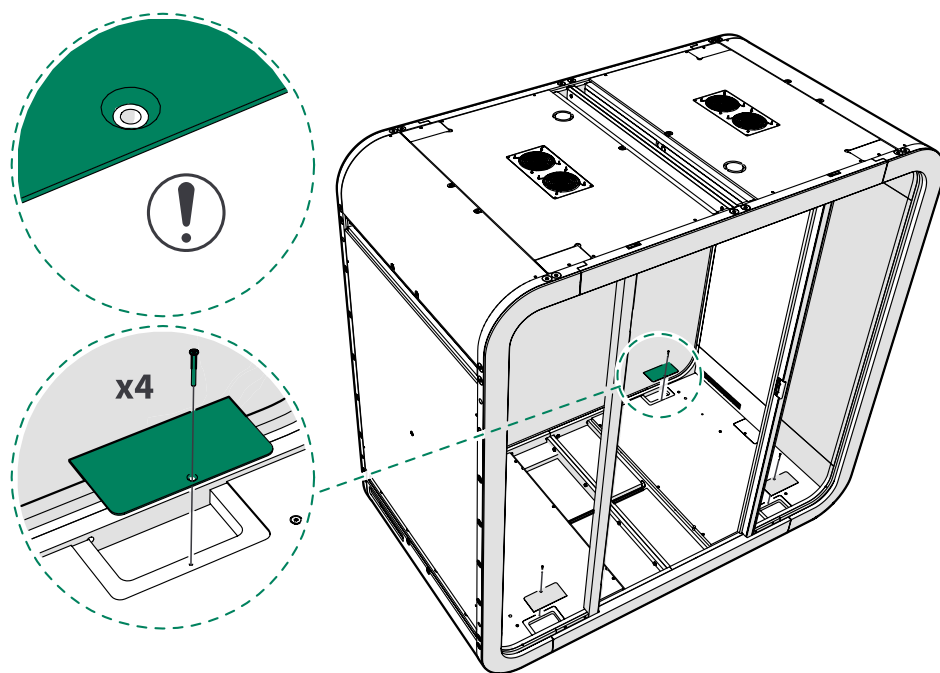
1. ルーフカバープレート (4個) を4×20のネジ (各1個) で取り付けてください。

ⓘ 注：皿穴を上にして配置してください。既存のネジ穴を使用してください。



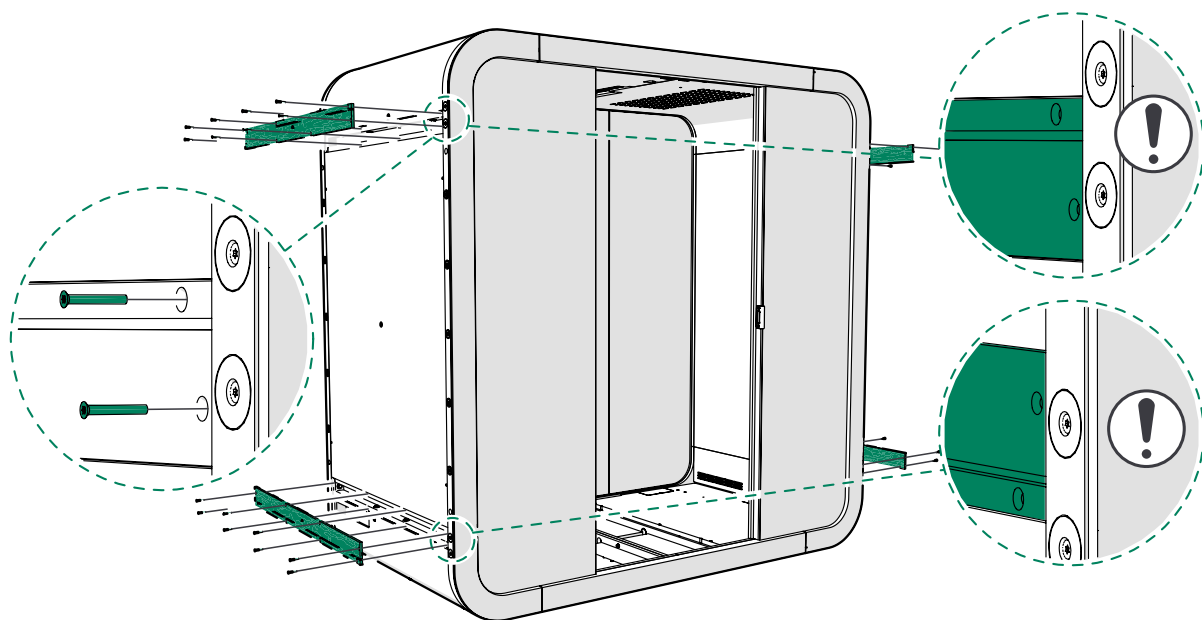
2. フロアカバープレート (4個) を4×20のネジ (各1個) で取り付けてください。

ⓘ 注：皿穴を上にして配置してください。既存のネジ穴を使用してください。



3. ウォールカバープレート (4個) を4×30のネジ (各8個) で取り付けてください。

- ① 注：パネルの溝が外周にあることを確認してください。既存のネジ穴を使用してください。
- ① 注：初めて設置する場合は、最初に取り外したネジに加えて、パネル1枚につき2個の予備ネジが必要です。カバーパネルに空いている2つの皿穴に、追加のネジを2個取り付けてください。



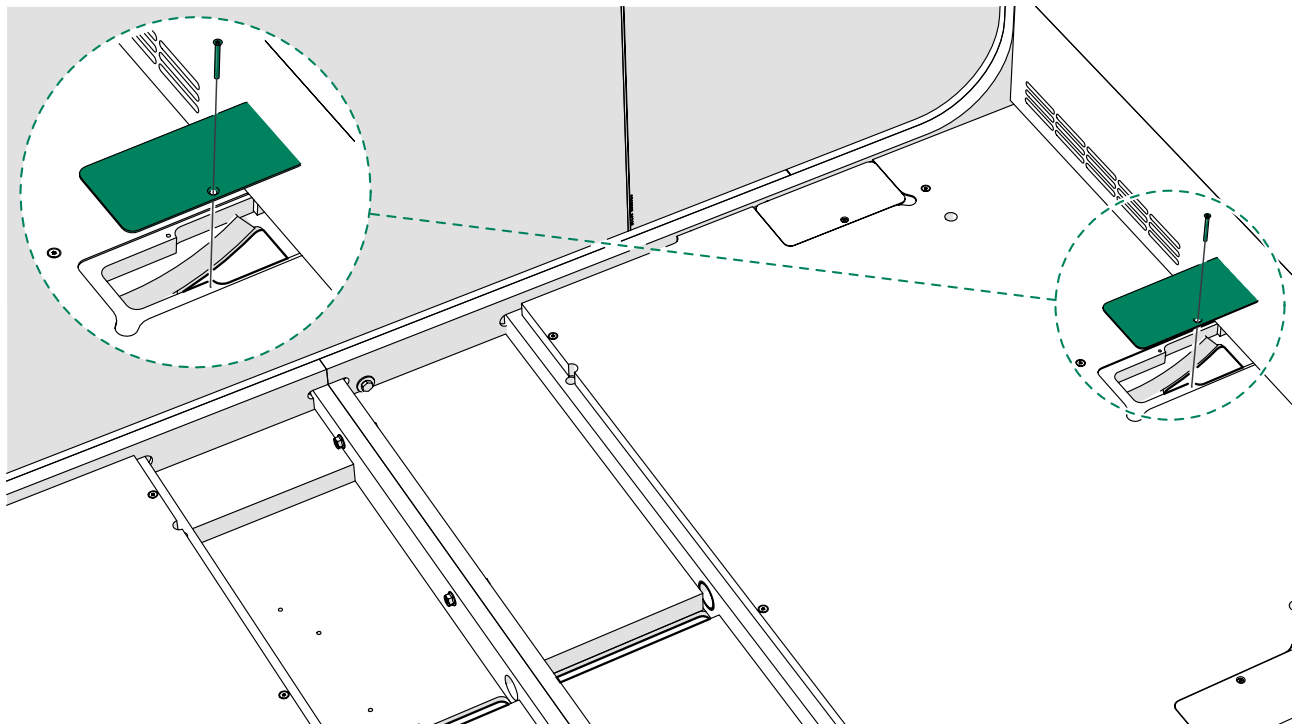
11 電気機器の設置

11.1 フロアからの電気コード取付け方法

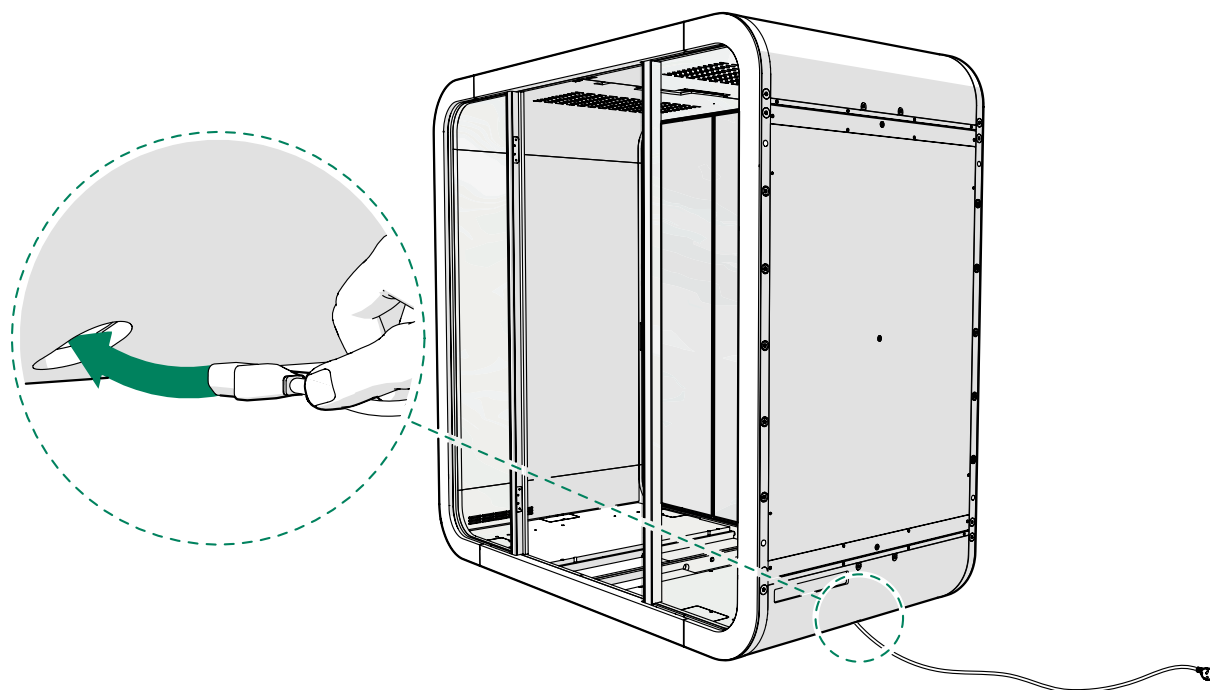
電源コードをフロアから設置する場合は、こちらの取扱説明書に従ってください。電源コードを屋根から設置する場合は、こちらをご覧ください [屋根から電源コードを取り付ける場合](#) (74ページ)。

電源コードをフロアモジュールのどちら側に設置するかを決めてください。以下は、右側からの取り付けについて記載しています。

1. 4x20のネジ (1個) を外して、右側の壁の足元にあるカバープレートを外してください。ネジとカバープレートをそばに置いてください。

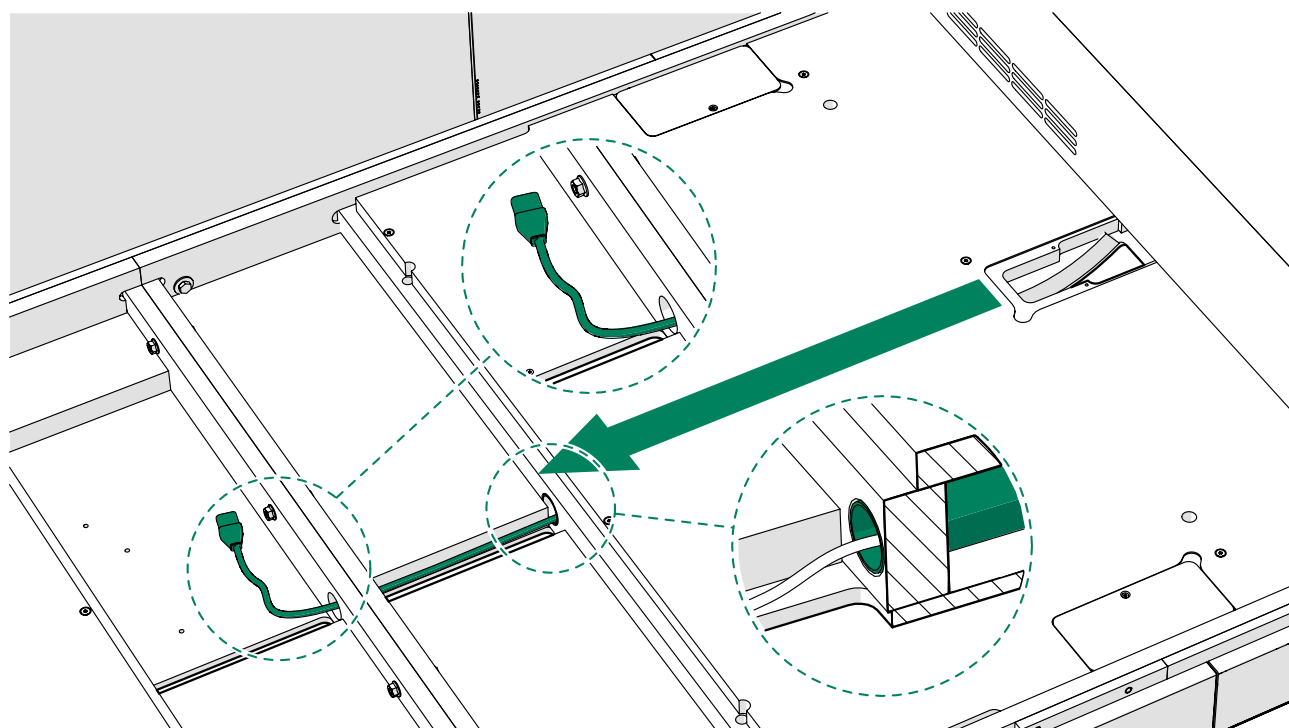


2. 電源コードをフロアモジュール外側の開口部から通してください。

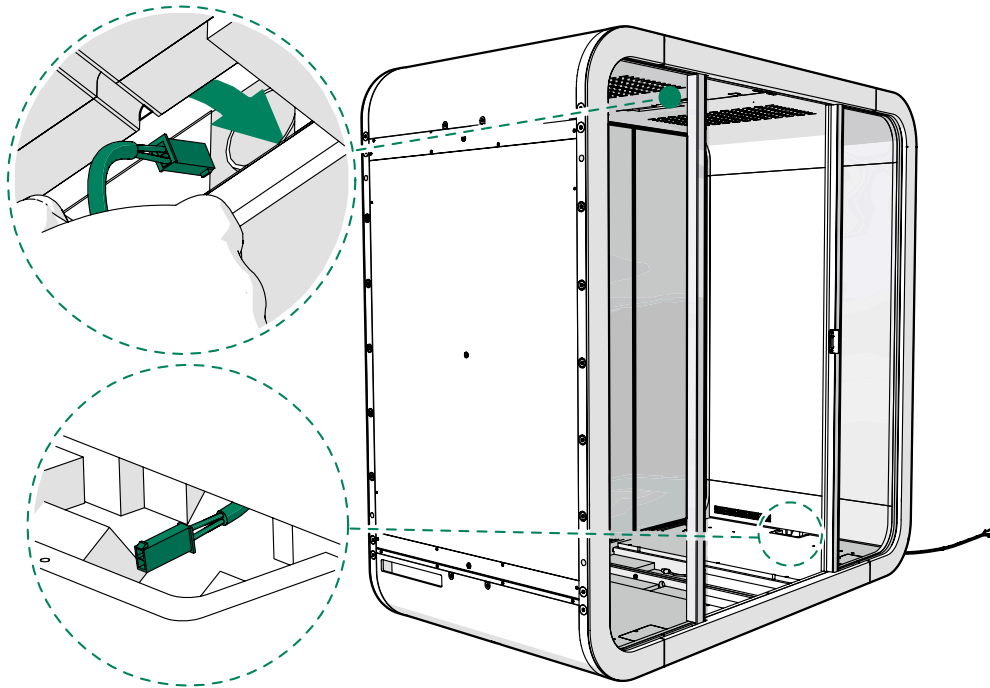


3. 電源コードを電気配管に沿うように通し、中央部の穴に通してください。

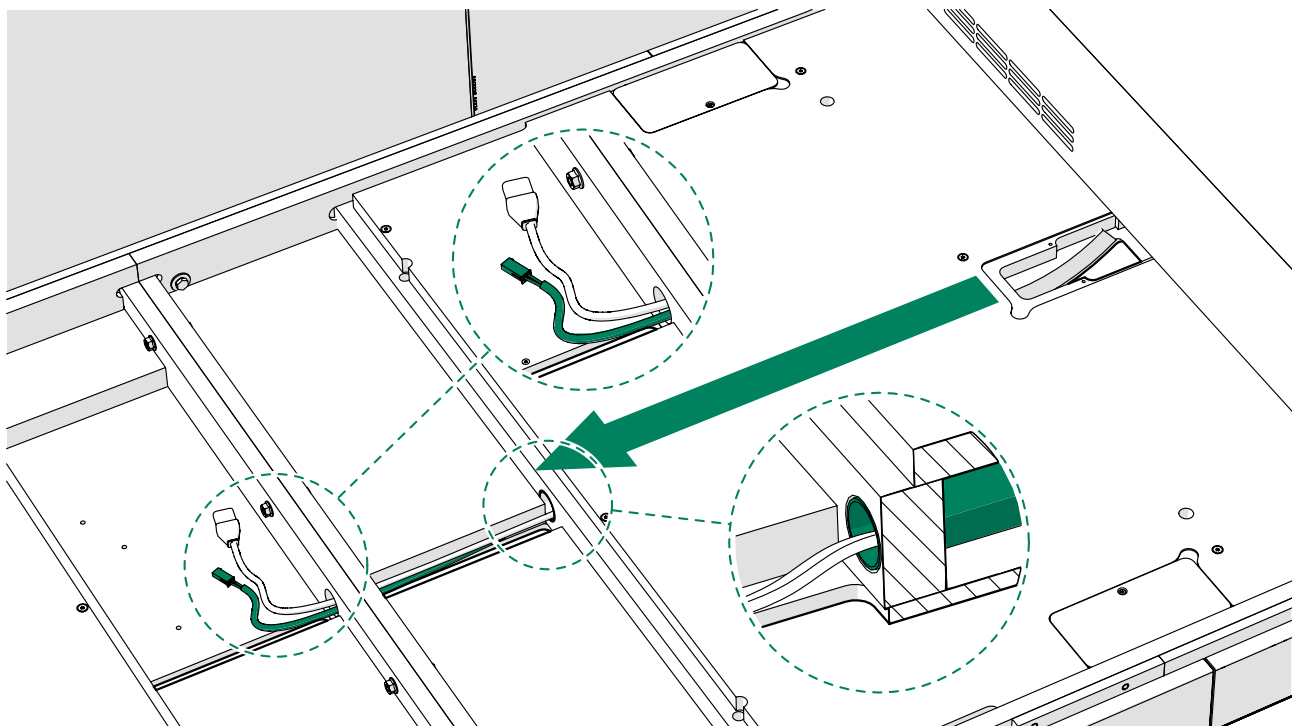
❗ 注：ポッドの外側にはコードが4.5mだけ残るようにし、余ったコードはループ状にして床に置いてください。



4. ポッドの内側からDC延長コードを天井の電気配管に通し、フロアモジュールの開口部まで通してください。



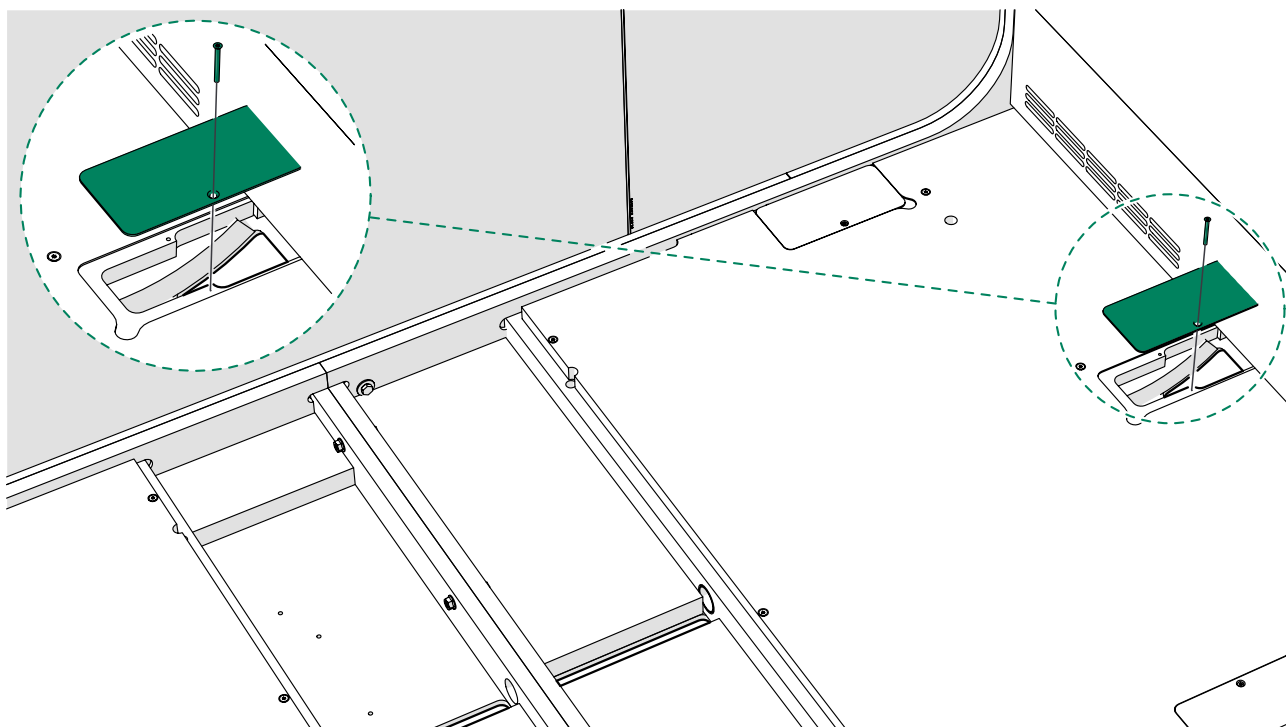
5. DC延長コードを開口部からフロアモジュールの電気配管にはわせ、中央部の穴に通してください。



11.2 屋根から電源コードを取り付ける場合

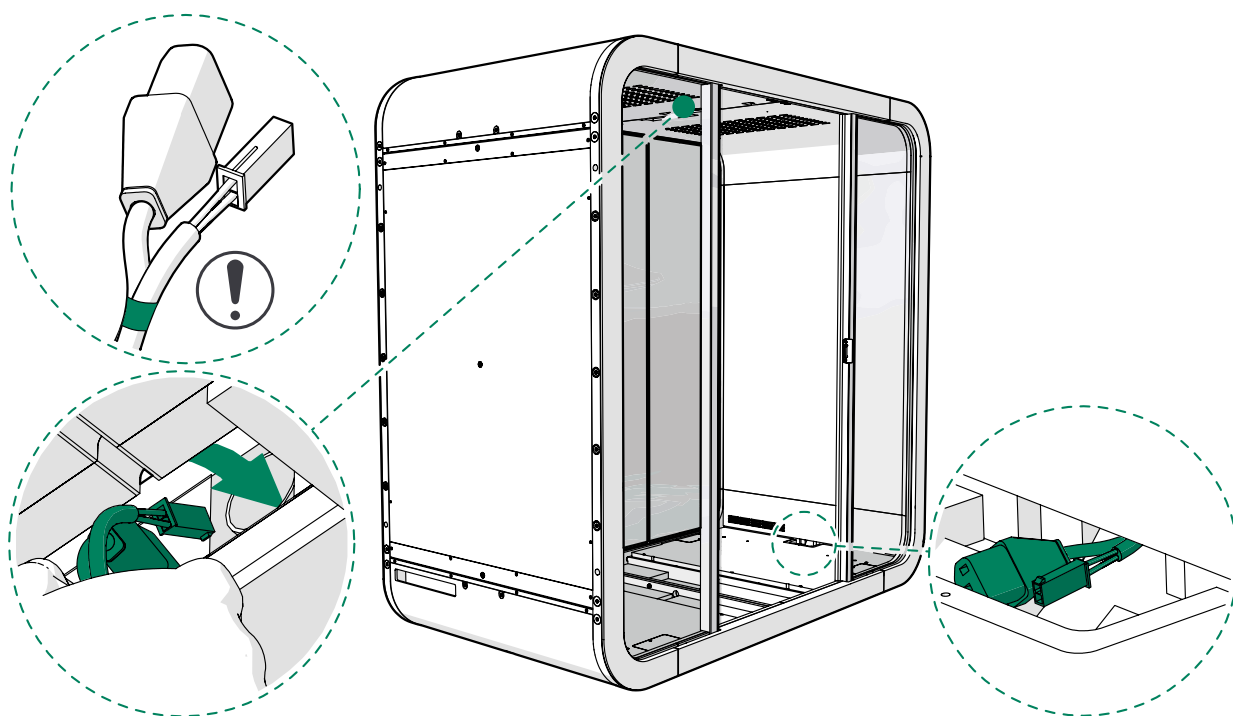
電源コードを屋根から設置する場合は、こちらの取扱説明書に従ってください。

1. 4x20のネジ (1個) を外し、右側の壁の下にあるカバープレートを取り外してください。ネジとカバープレートをそばに置いてください。

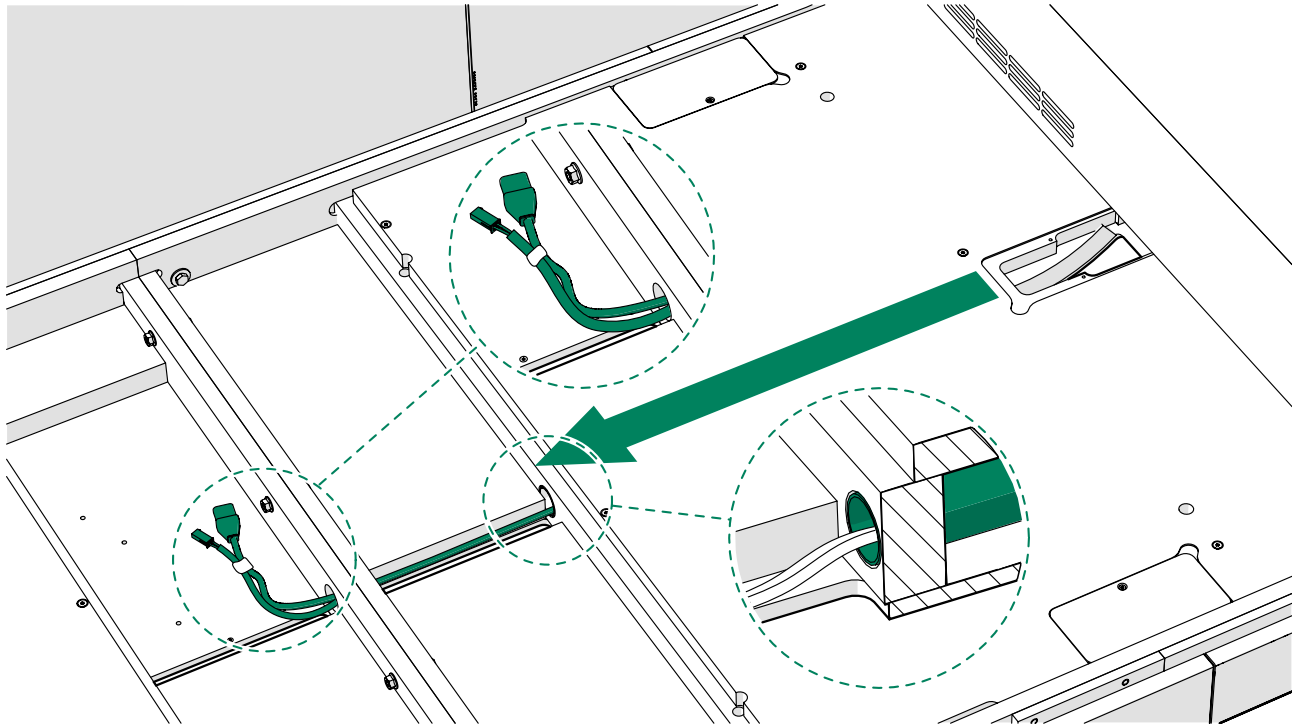


2. ポッドの内側から電源コードとDC延長コードを天井の電気配管に通し、フロアモジュールの開口部まで下ろしてください。

- ❗ 注：DC延長コードのメス側をフロアモジュールまできちんと通してください。
- ℹ ヒント：電源コードとDC延長コードの端を電線絶縁用テープで留めておくと、取り付けやすくなります。



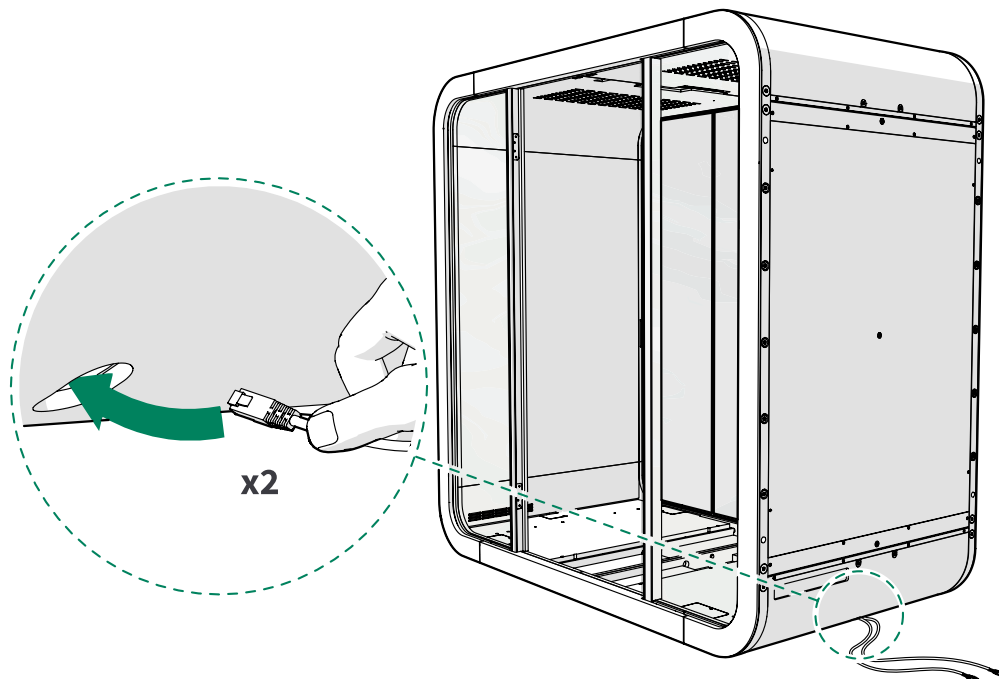
3. DC延長コードを開口部からフロアモジュールの電気配管にはわせ中央部の穴に通してください。



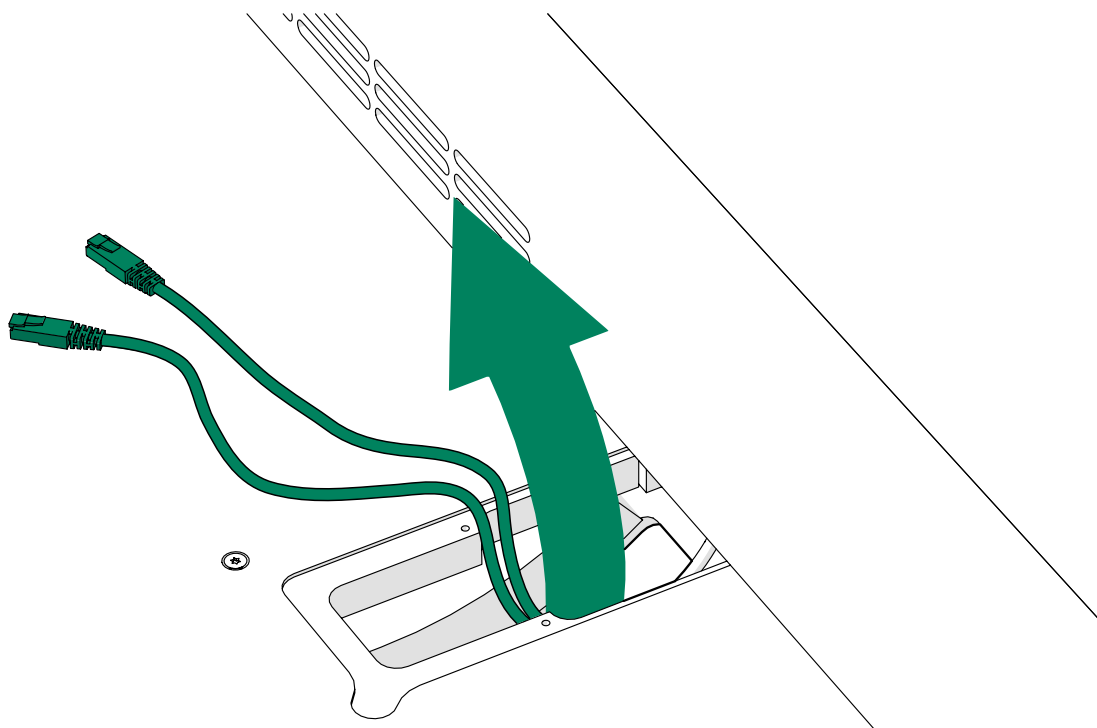
11.3 LANコードの設置 (別売)

LANコードをテーブルを設置する側に取り付けてください。

1. ポッドに別売りのLANデータカートリッジが含まれている場合は、2本のLANコードをフロアの外側の開口部に通してください。

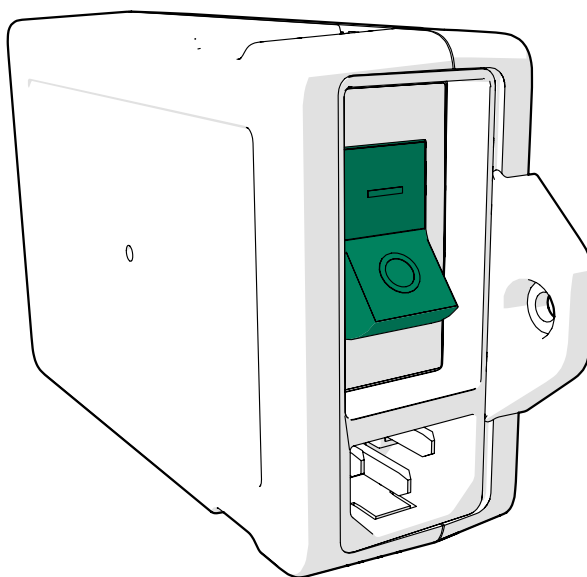


2. LANコードを使用するテーブル側の壁の底部にある開口部からポッドに引き込んでください。



11.4 電源ユニットの設置

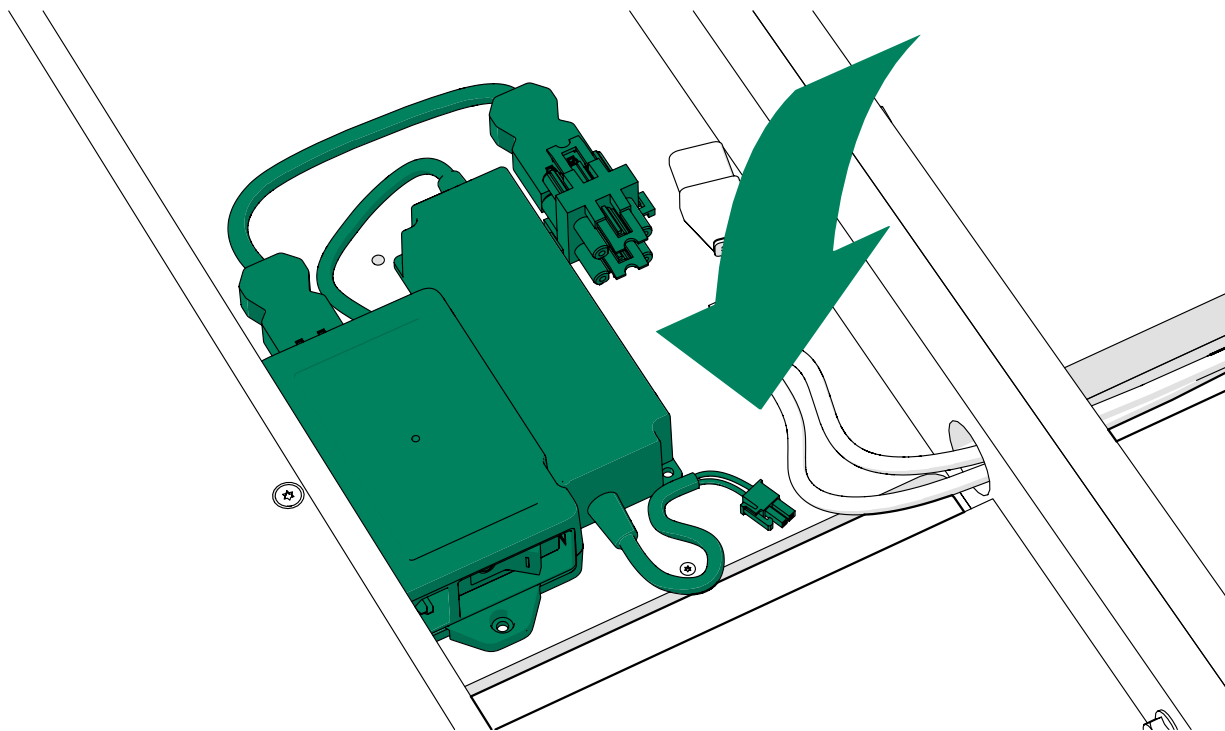
1. 電源ユニットのオン/オフのスイッチが、「I」の位置になっていることを確認してください。



2. アコースティックパネル横のフロアモジュール空きスペースにコンバーター付き電源ユニットを置いてください。

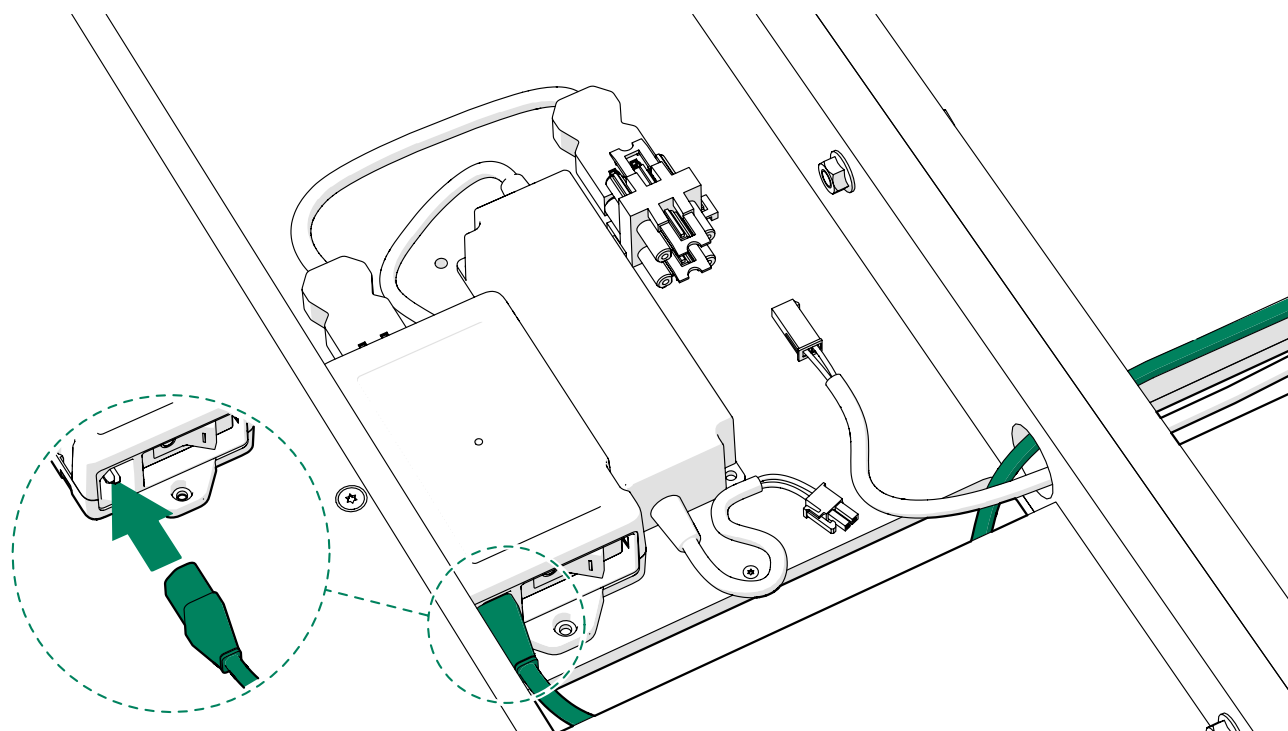
電源ユニットをフロアモジュール中央接合部になるべく近づけてください。

❗ 注：電源ユニットとコンバーターが換気口を塞がないようにしてください。

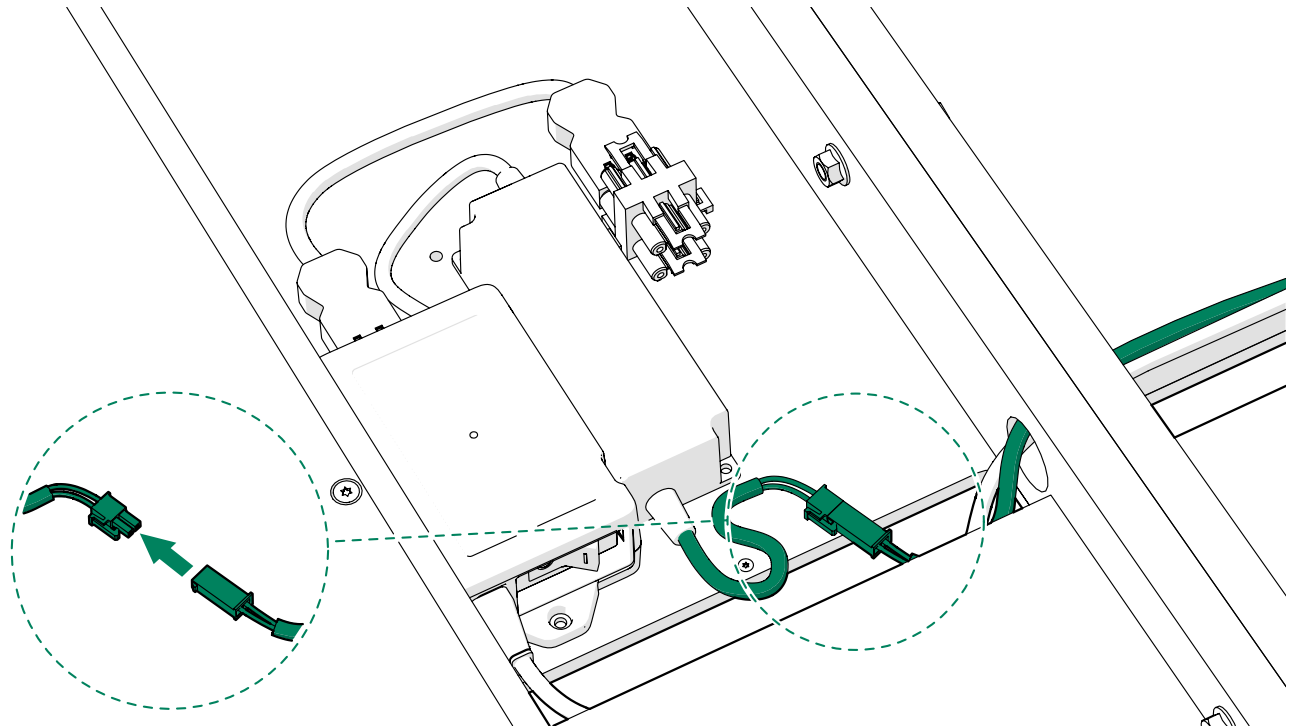


3. 電源コードを電源ユニットに接続してください。

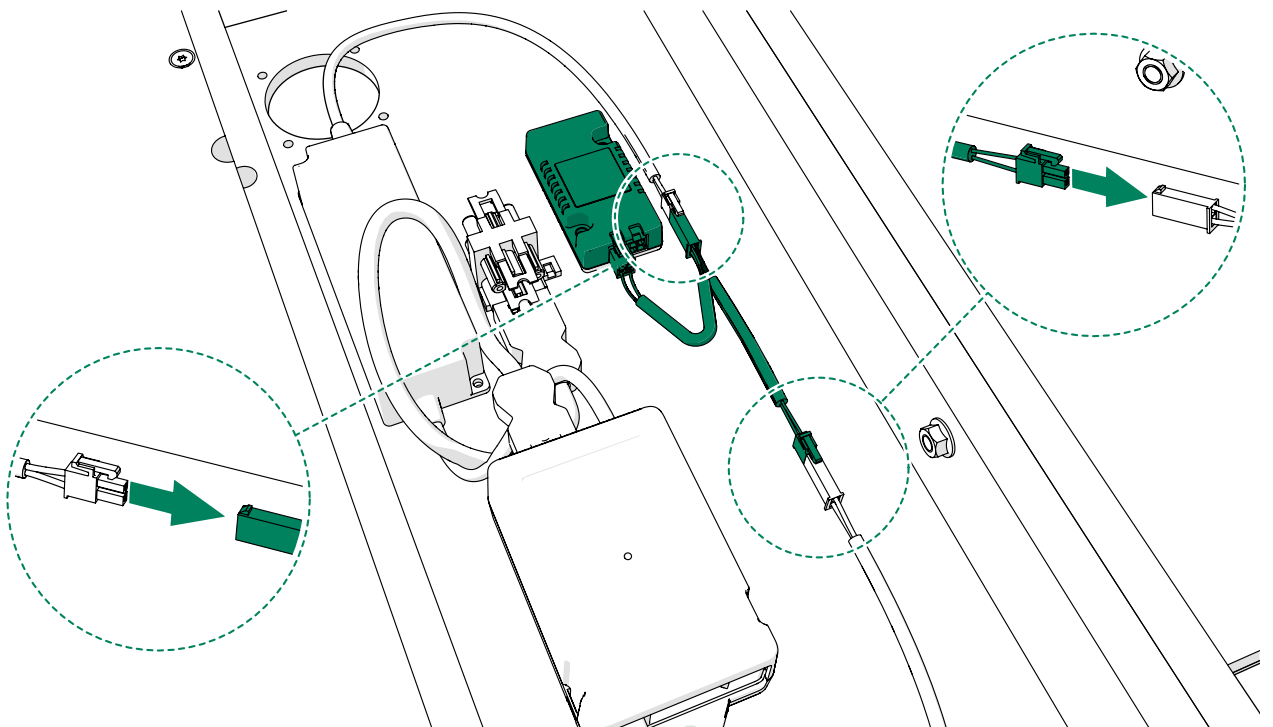
❗ ヒント：電源ユニットのACコネクタにはロック機構があります。繋げにくい場合には、AC延長コードのコネクタを最初に下に傾けた後、上に傾けてください。



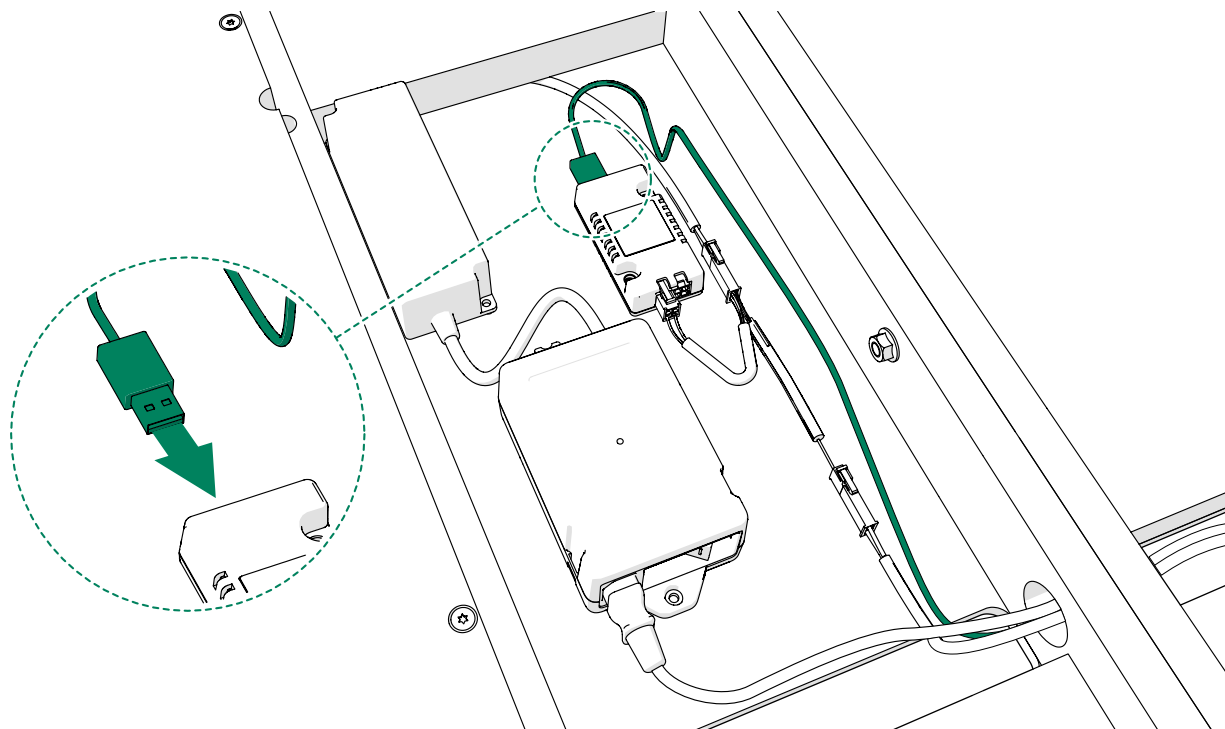
4. DC延長コードをコンバーターのDCコネクタに接続してください。



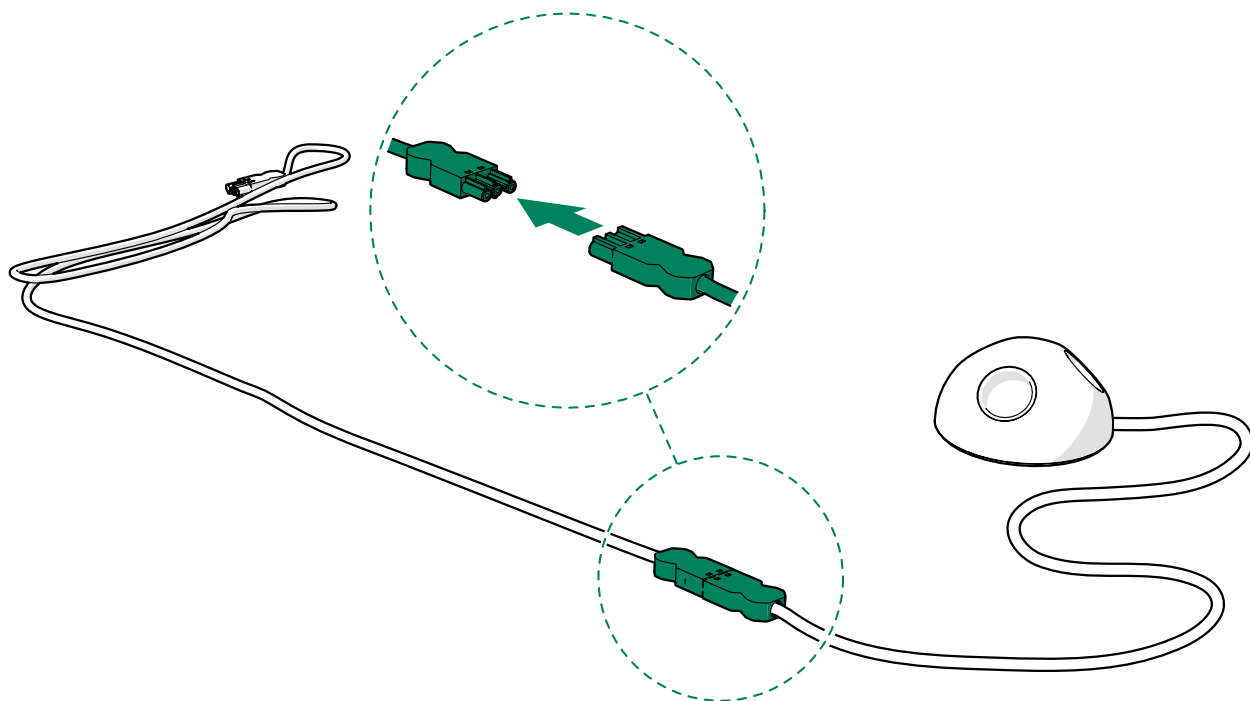
5. 別売りの予約システム用ブラケットを取り付ける場合は、DC延長コードとコンバーターのDCコネクタの間に5V装置コードを接続してください。



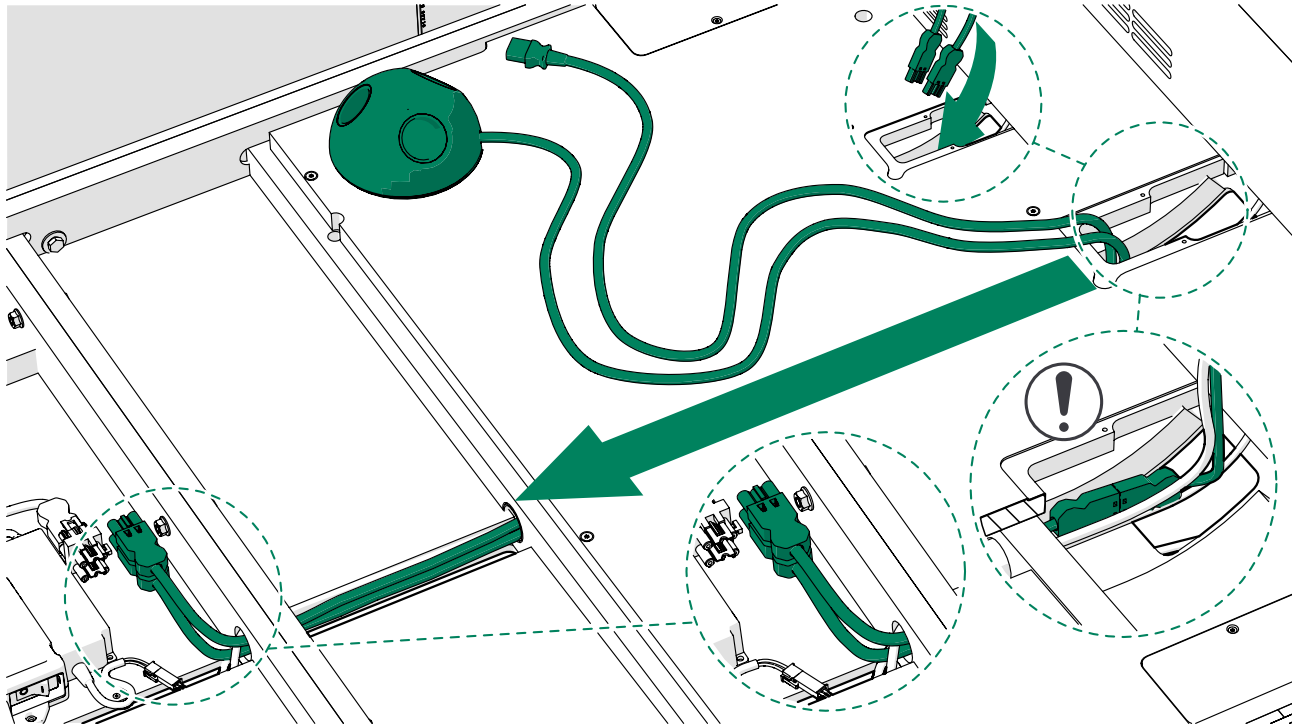
6. 別売りの予約システム用ブラケットを取り付ける場合は、USB-DCスプリッターのUSBコネクタに使用されるUSBコードを接続してください。



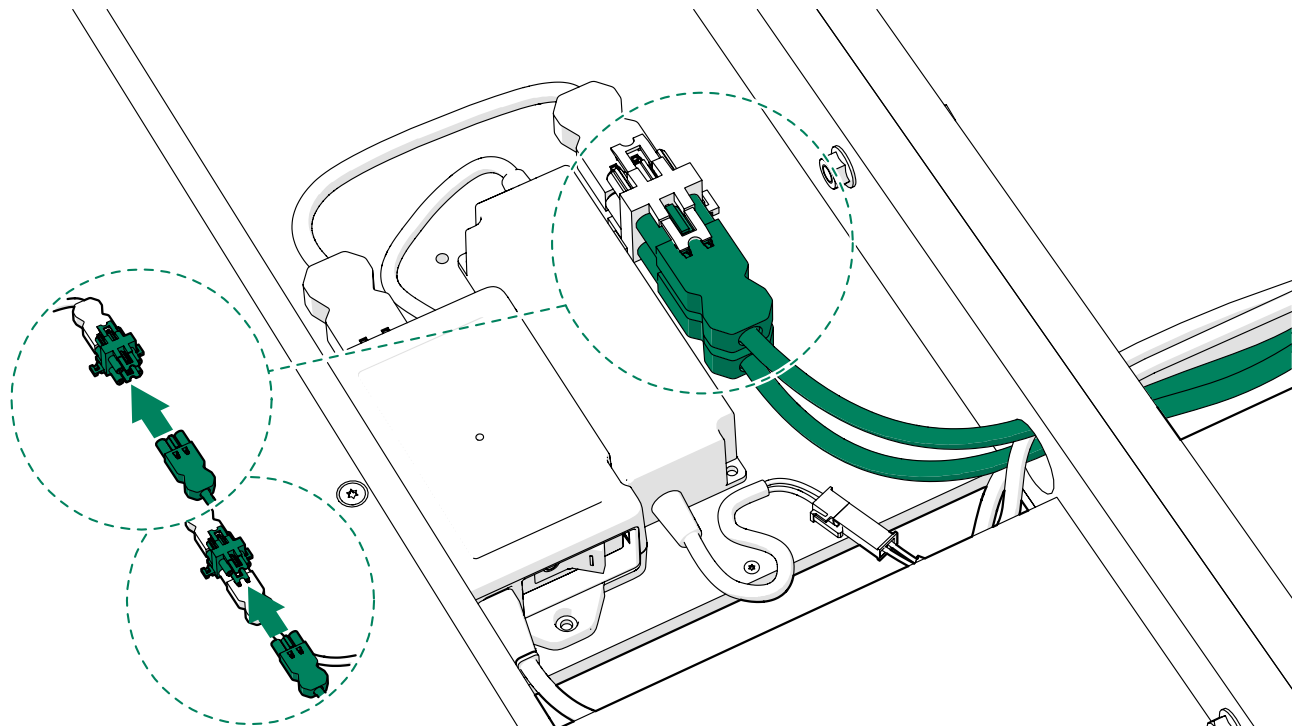
7. コンセントのコードを延長コードにつないでください。



8. 開口部で、延長コードとテーブルの電源コードを床の送電管に通してください。センタージョイントの開口部にコードを通してください。



9. 電源コンセントのコードとテーブルの電源コードをACスプリッターに取り付けてください。

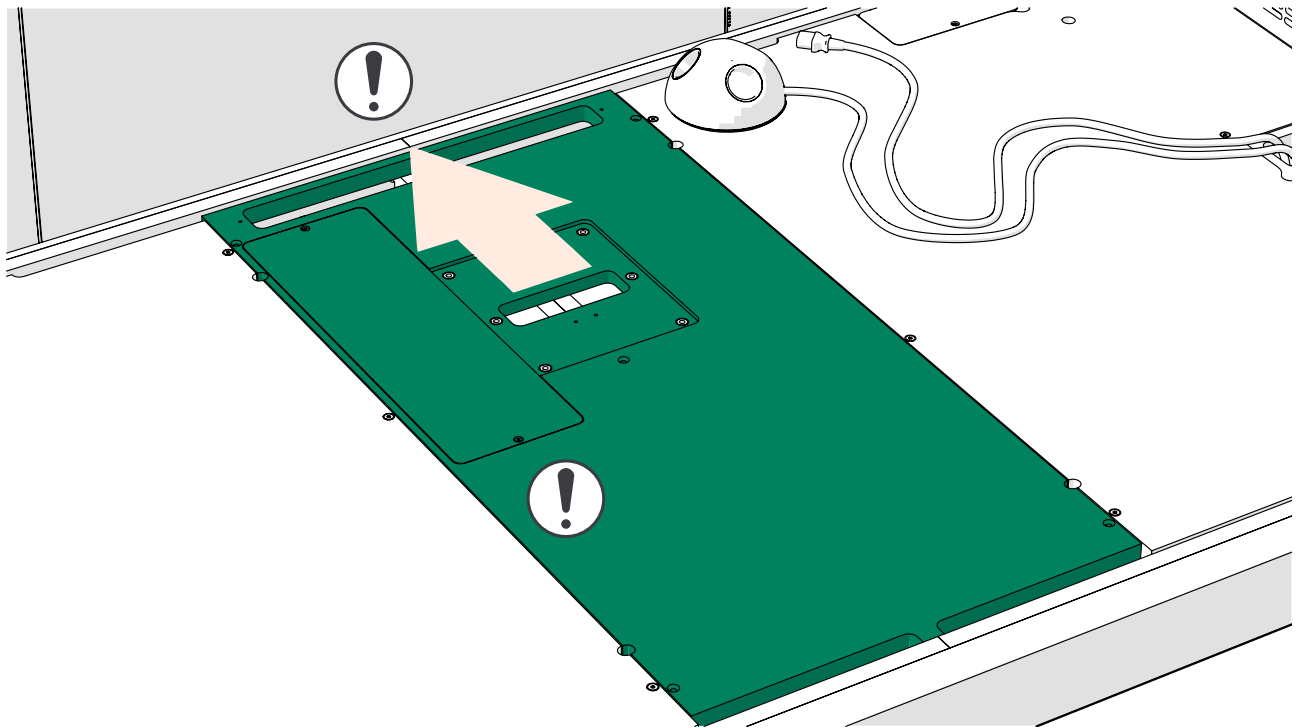


11.5 フロアカバーボードの設置

1. フロアカバーボードをフロアモジュールの開口部に置いてください。

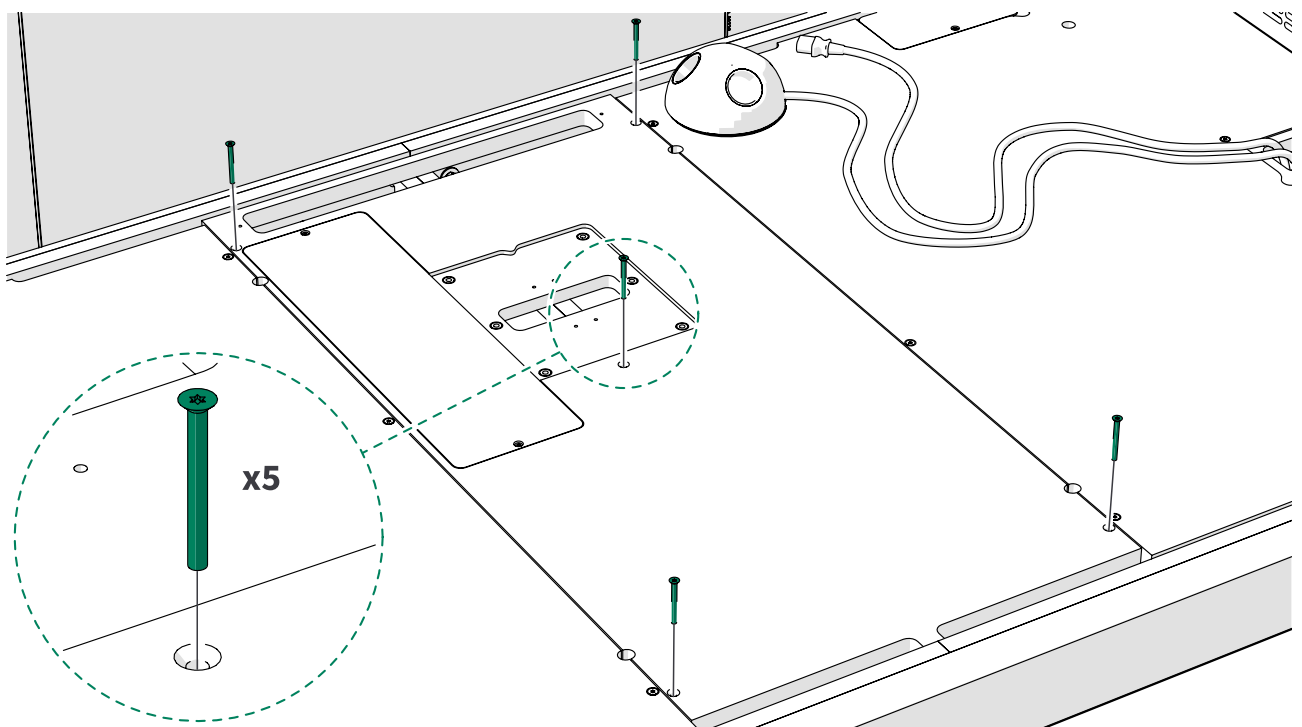
❗ 注：カバーボードがポッドの後ろの壁に当たるようにしてください。

❗ 注：電気コードが破損したり、挟まれないようにしてください。



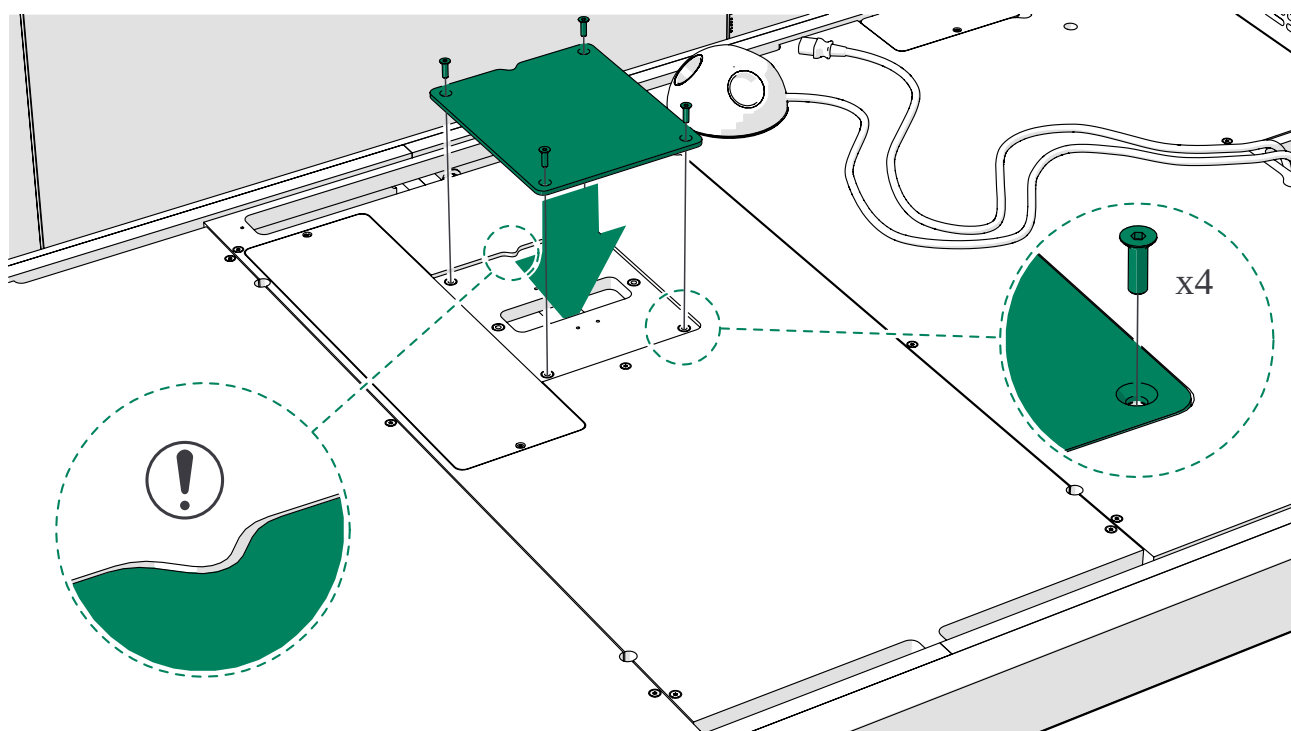
2. フロアカバーボードを5x50のネジ (5個) で取り付けてください。

❗ 注：電気コードが破損したり、挟まれないようにしてください。

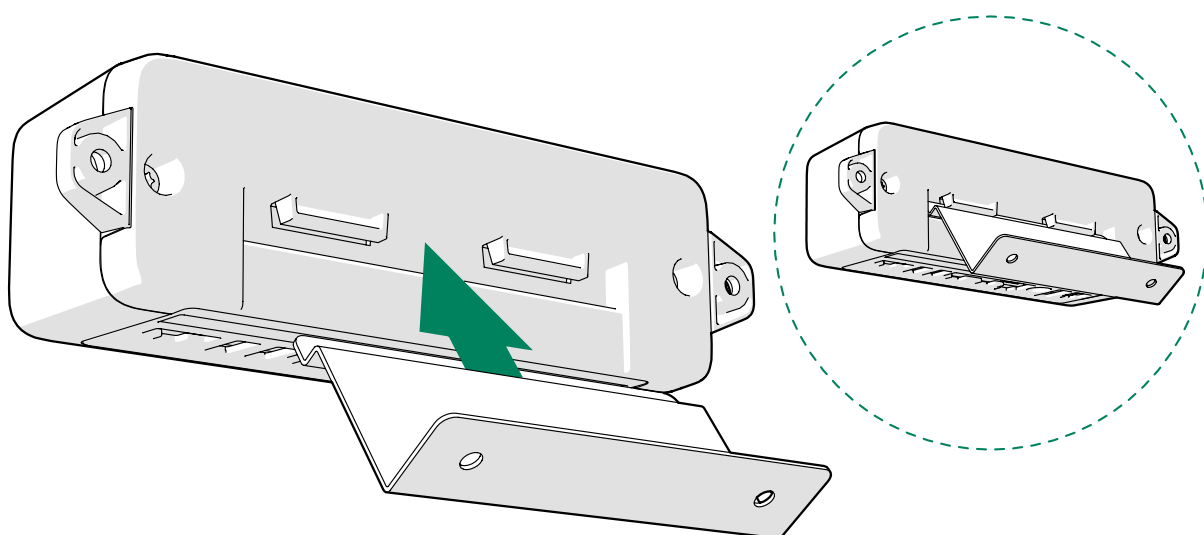


3. 角型カバープレートをM6x20ネジ (6個) で固定してください。

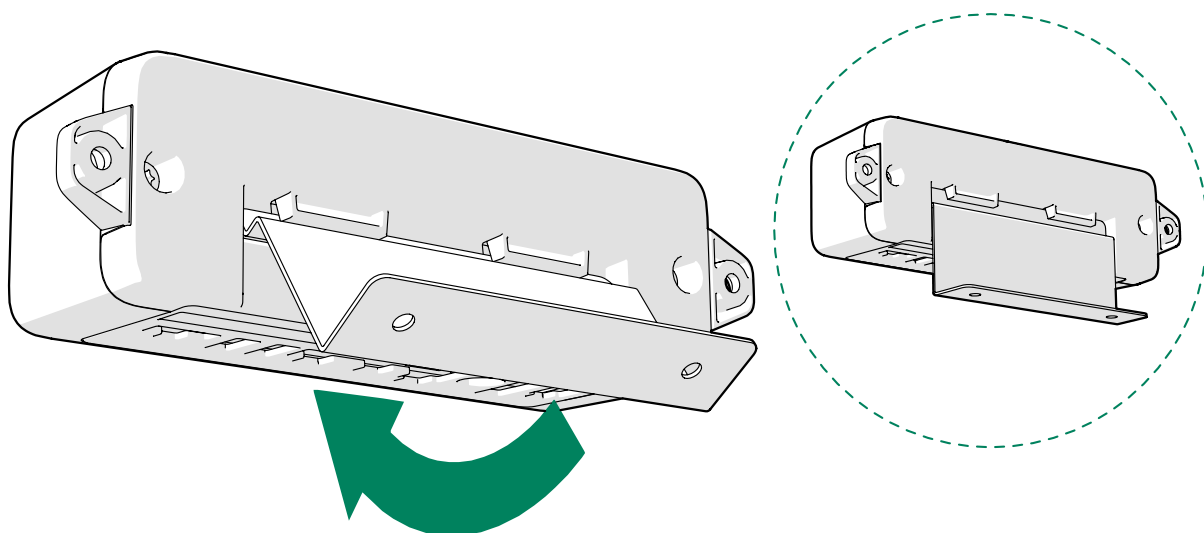
- ❗ 注：角型カバープレートの切り込みが、ポッドのバックウォールに向くようにしてください。
- ❗ 注：皿穴が上向きになるようにしてください。

**11.6 コントロールユニットの設置**

1. コントロールユニットブラケットをコントロールユニットの背面に挿入してください。

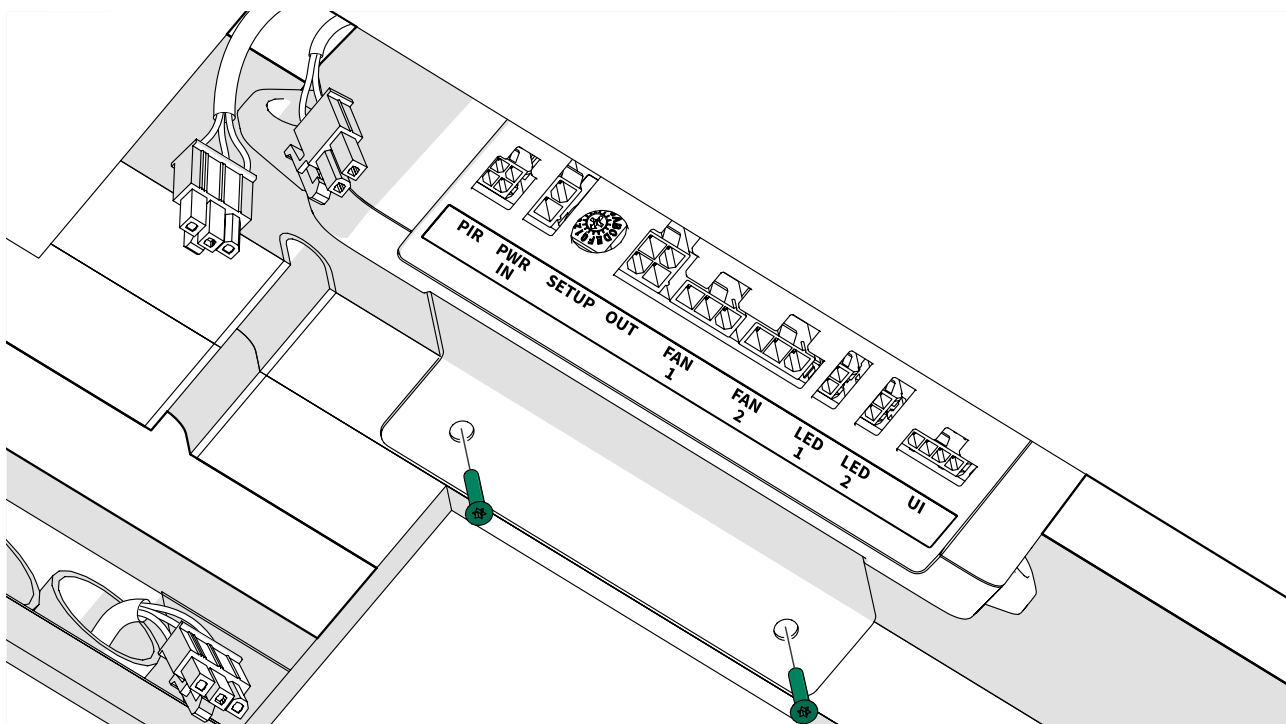


2. ブラケットを所定の位置に回してください。

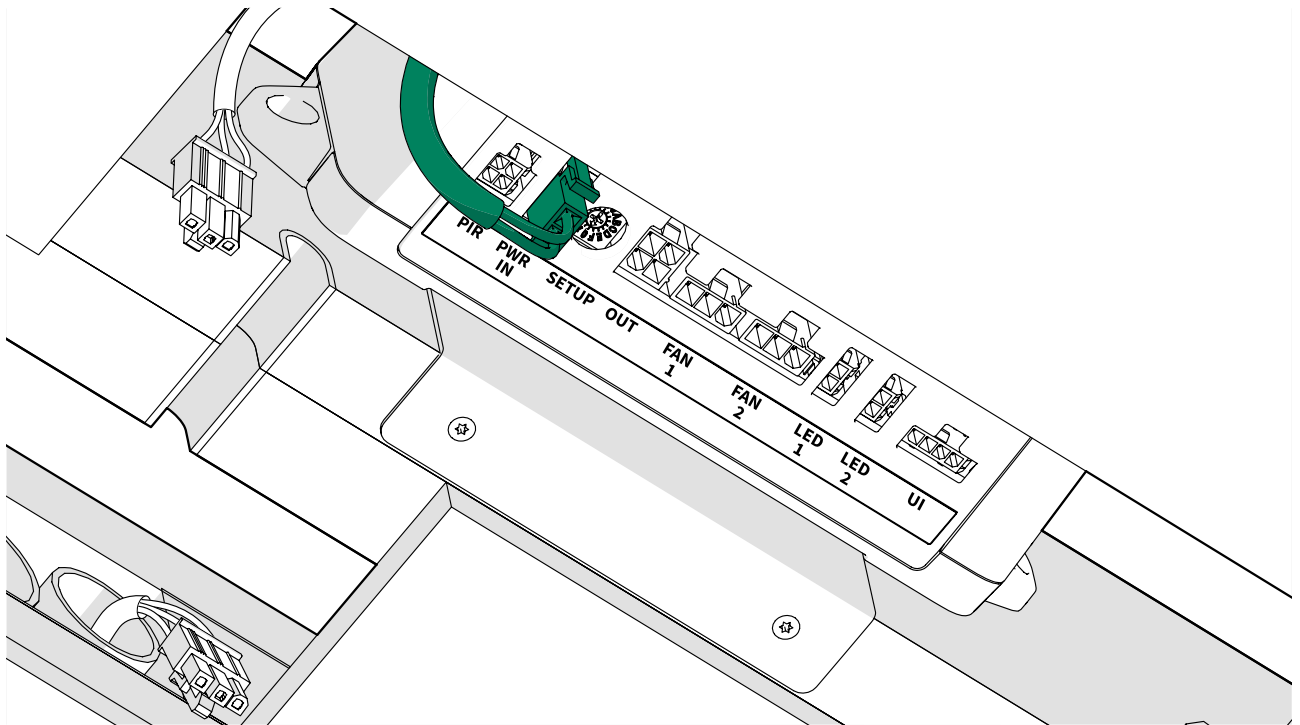


3. コントロールユニットを取り付けたブラケットを、天井の開口部に4x30のネジ (2個) で取り付けてください。

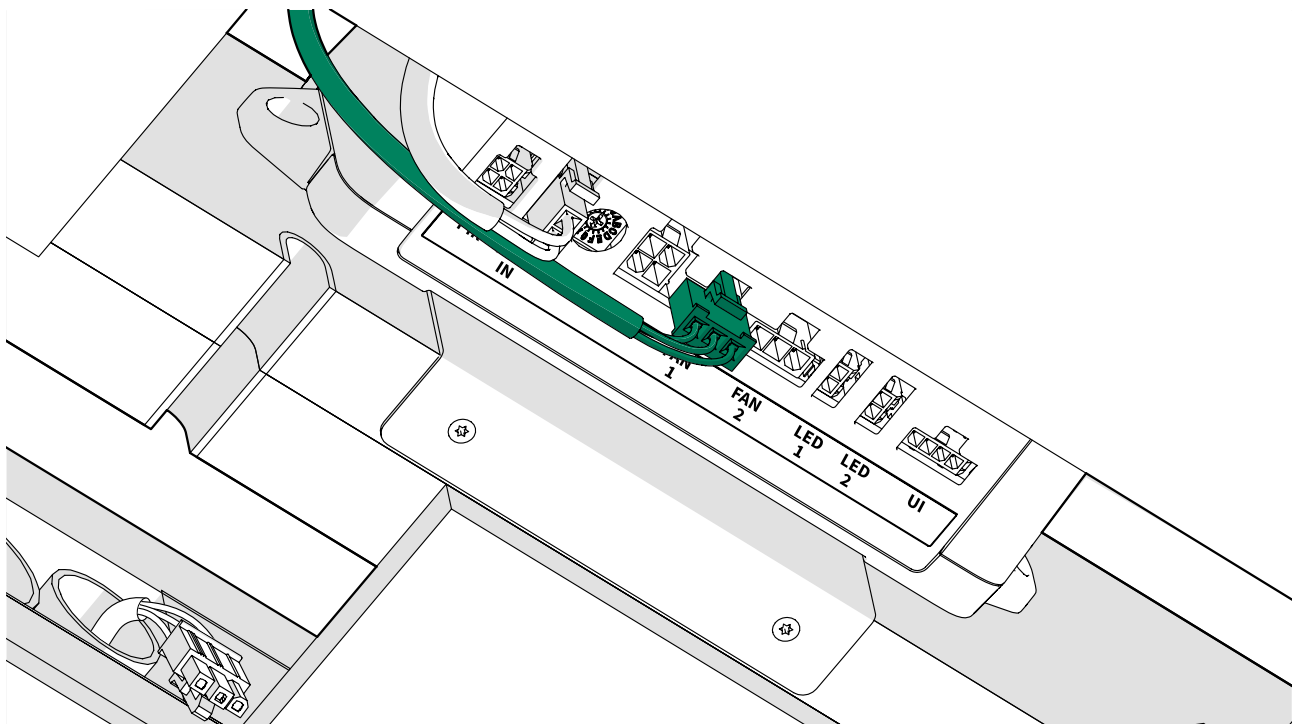
❗ 注：コントロールユニットは必ずセンタービームの右側に取り付けてください。



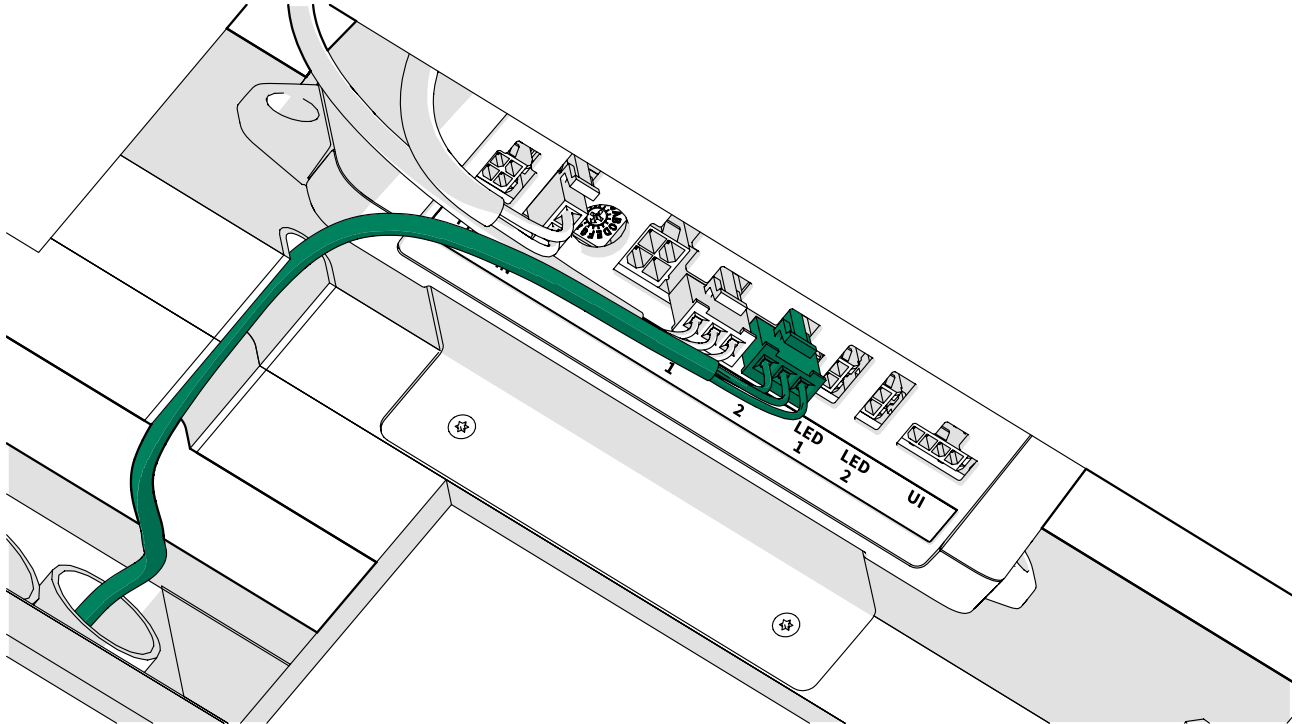
4. PWR INコネクタにDC延長コードを接続してください。



5. 最も近いファンの電源コードをFAN 1コネクタに接続してください。



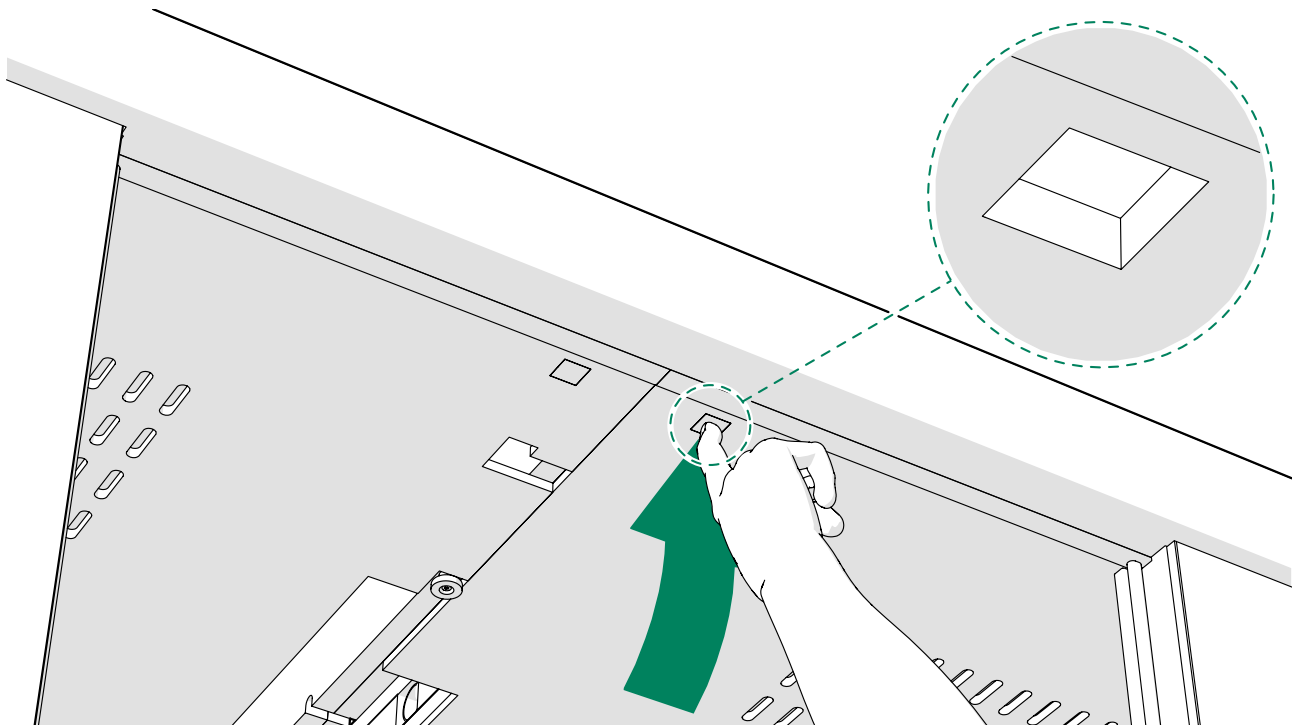
6. 2つ目のファンの電源コードをセンタービームの溝に通し、FAN 2コネクタに接続してください。



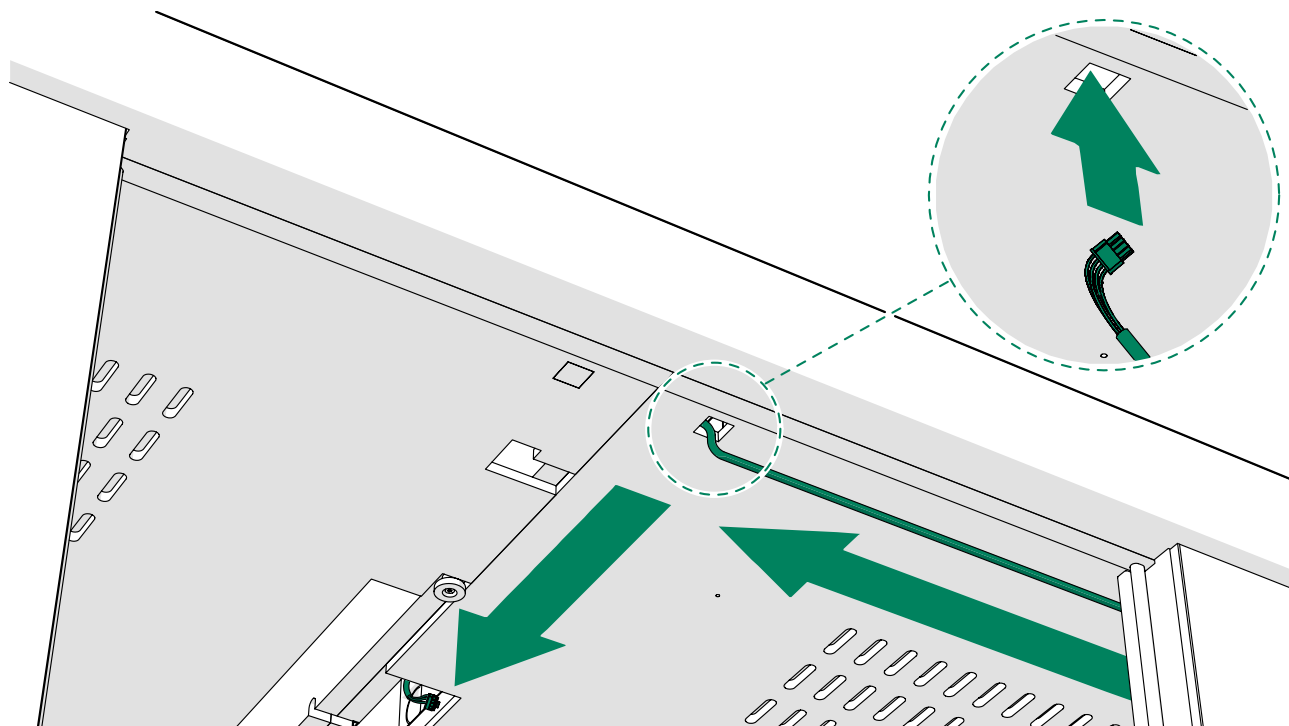
11.7 コントロールパネルコードの設置

オプションのコントロールパネルを設置しない場合は、続けて人感センサと照明の設置を実行してください。

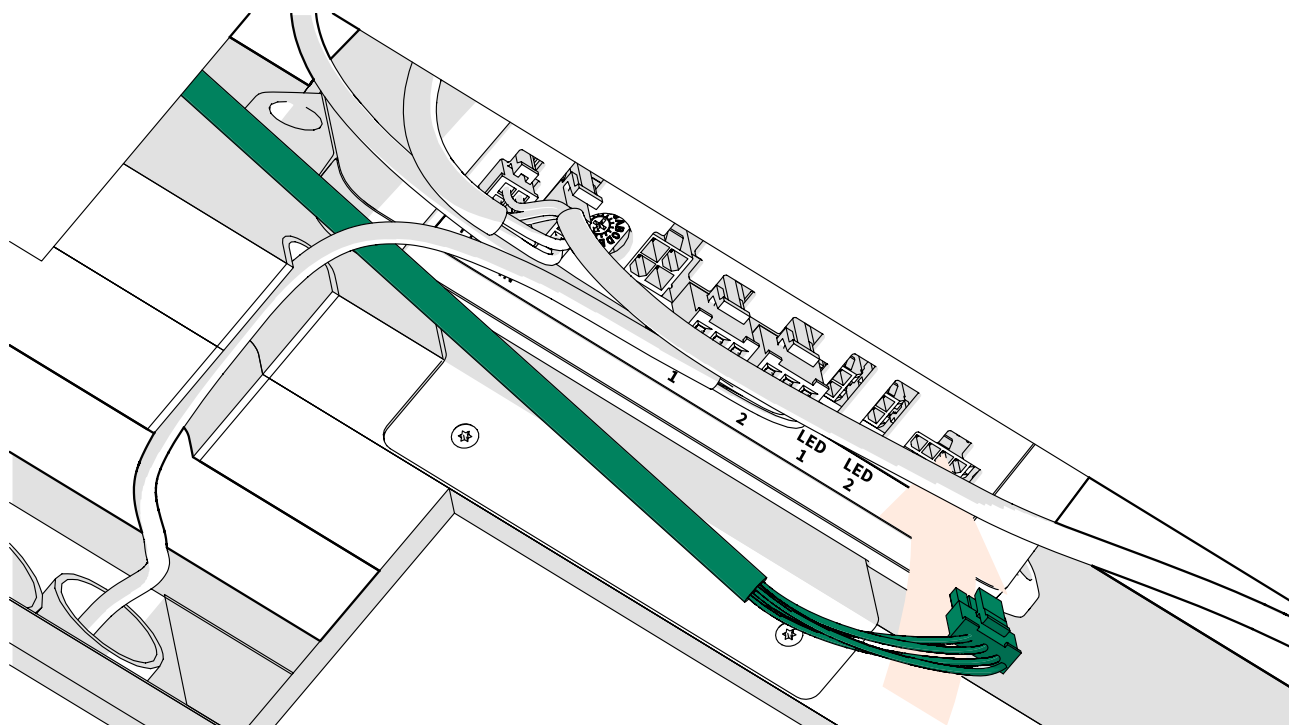
1. 天井のフェルトにあらかじめカットされた開口部を打ち抜きます。



2. コントロールパネルのコードを受け座側ガラスフレームのU字プロファイルからコントロールユニットに通し、天井の開口部から引き抜きます。

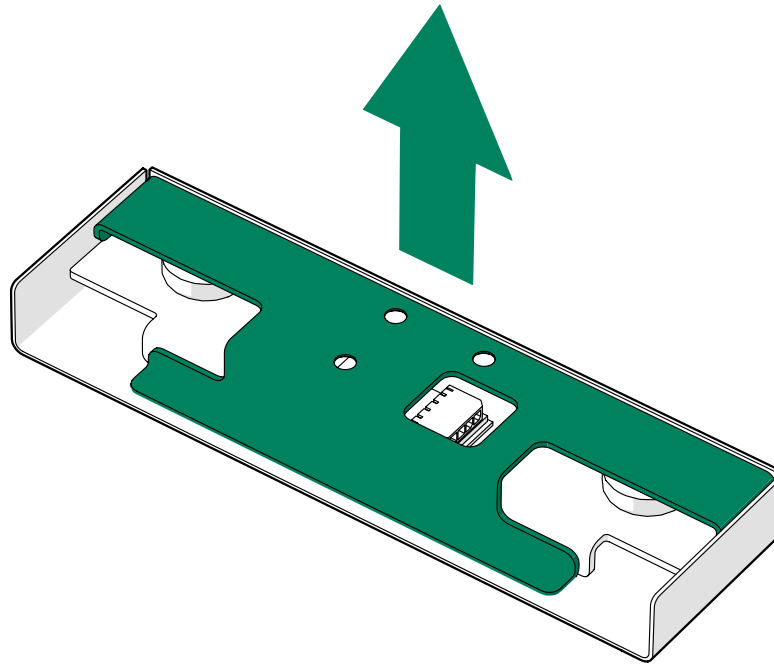


3. コントロールパネルのコードをコントロールユニットのUIコネクタに接続してください。



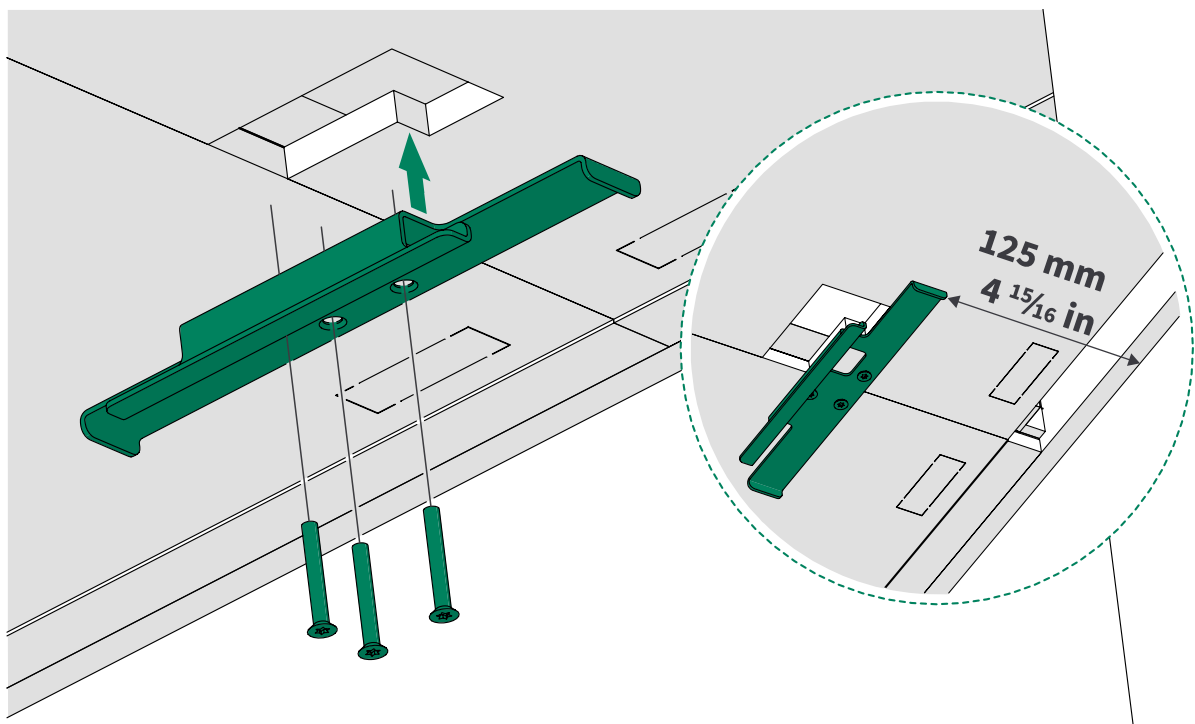
11.8 モーションディテクターと照明の設置

1. モーションディテクターからブラケットを取り外してください。

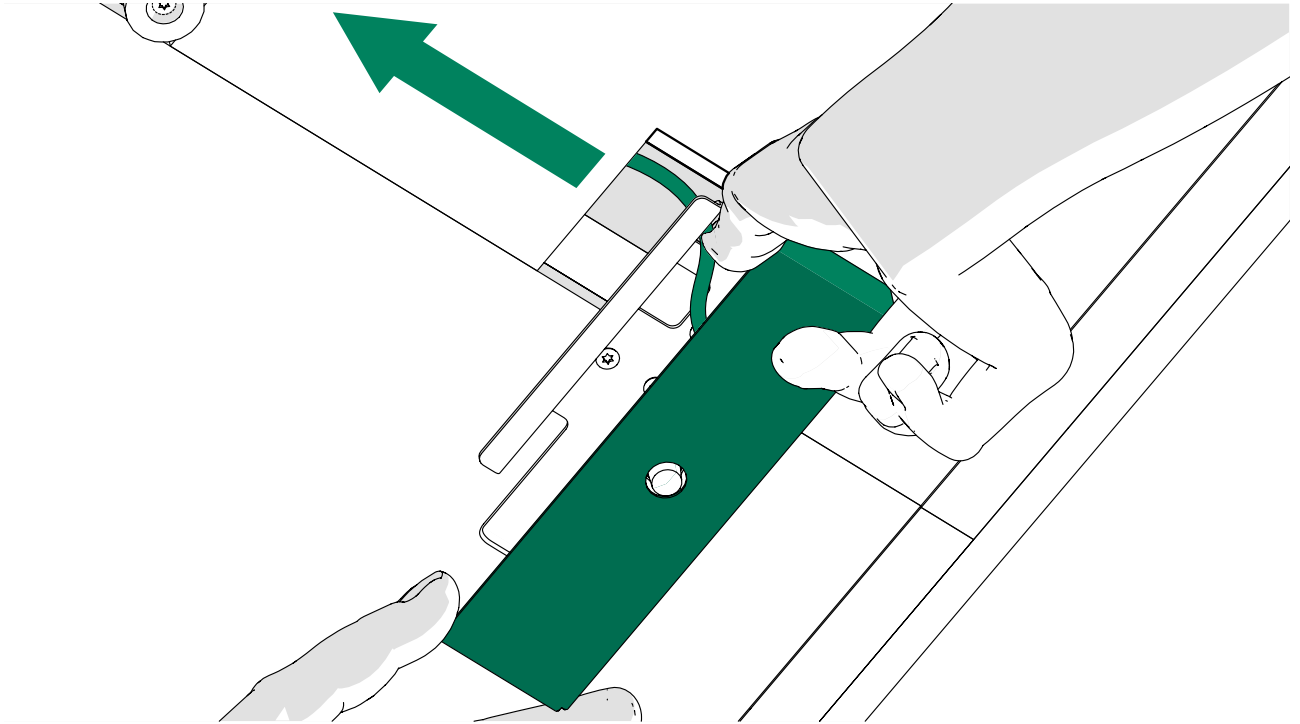


2. モーションディテクターブラケットをポッド背面の天井に4x20のネジ (3個) で取り付けてください。

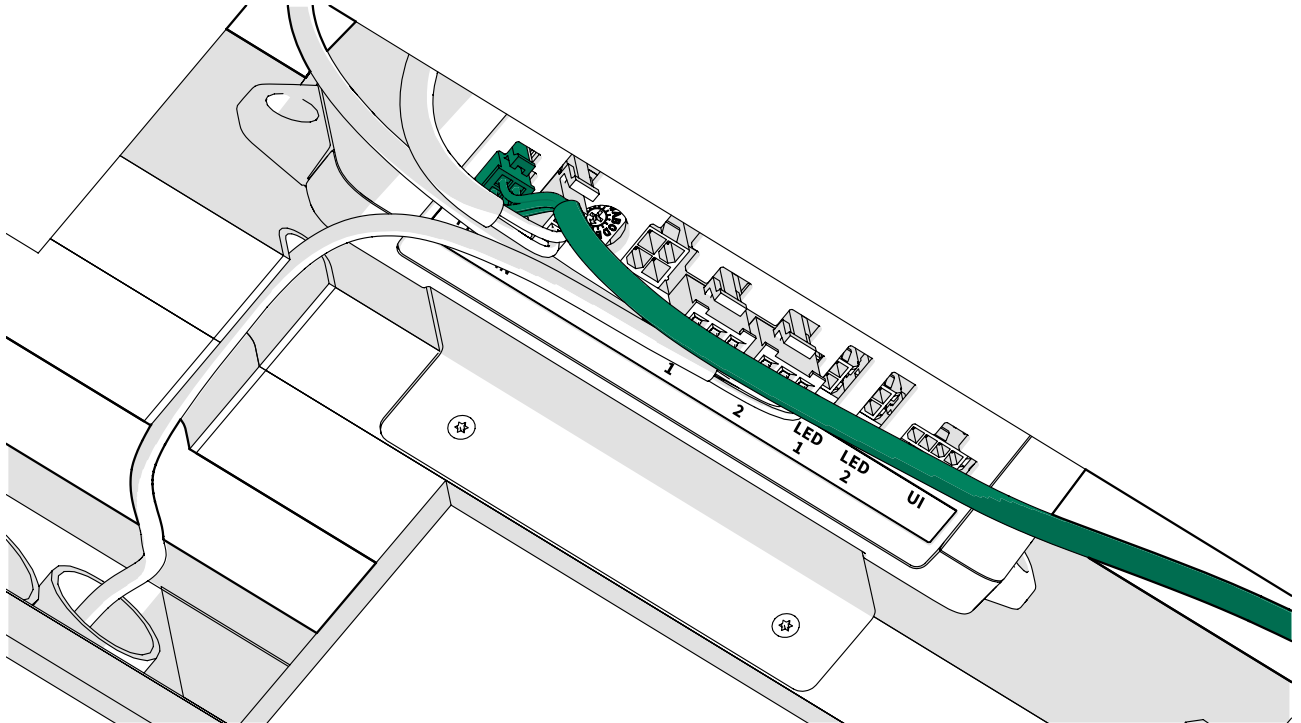
❗ 注：ネジを締めた後、ブラケットが曲がっていないことを確認してください。



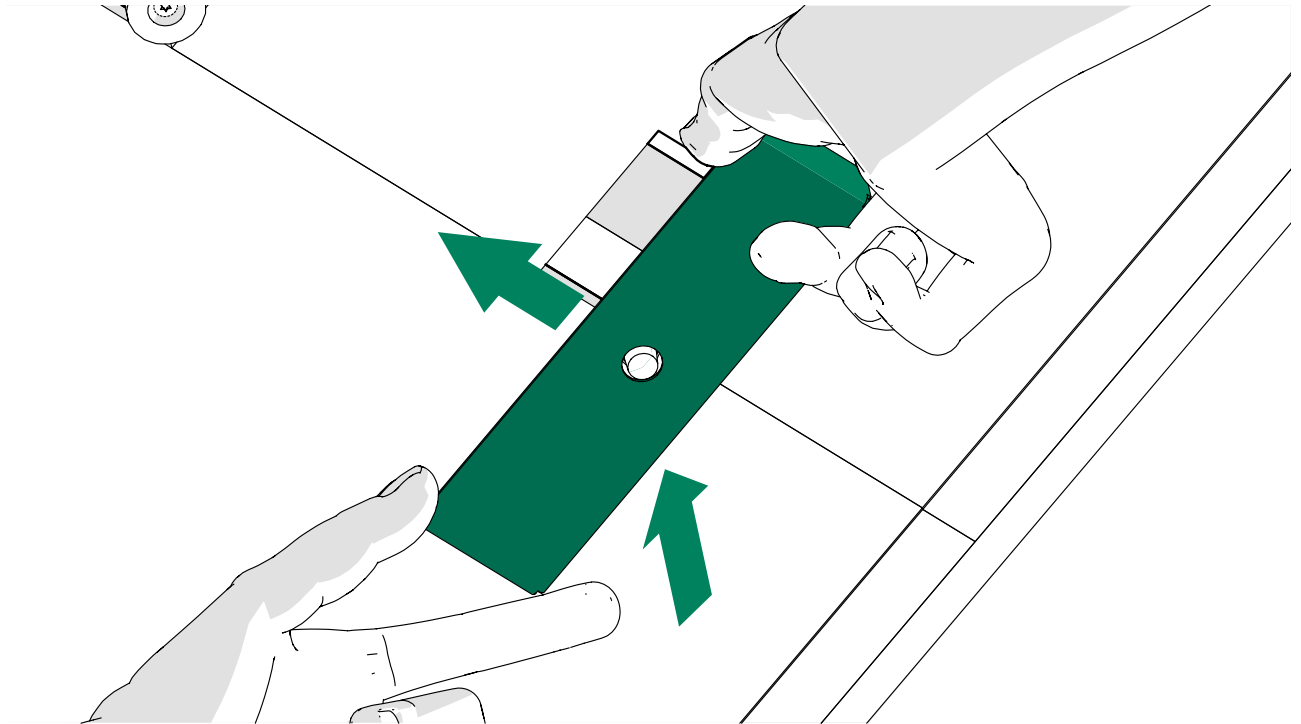
3. モーションディテクターのコードを開口部からコントロールユニットまで引き出してください。



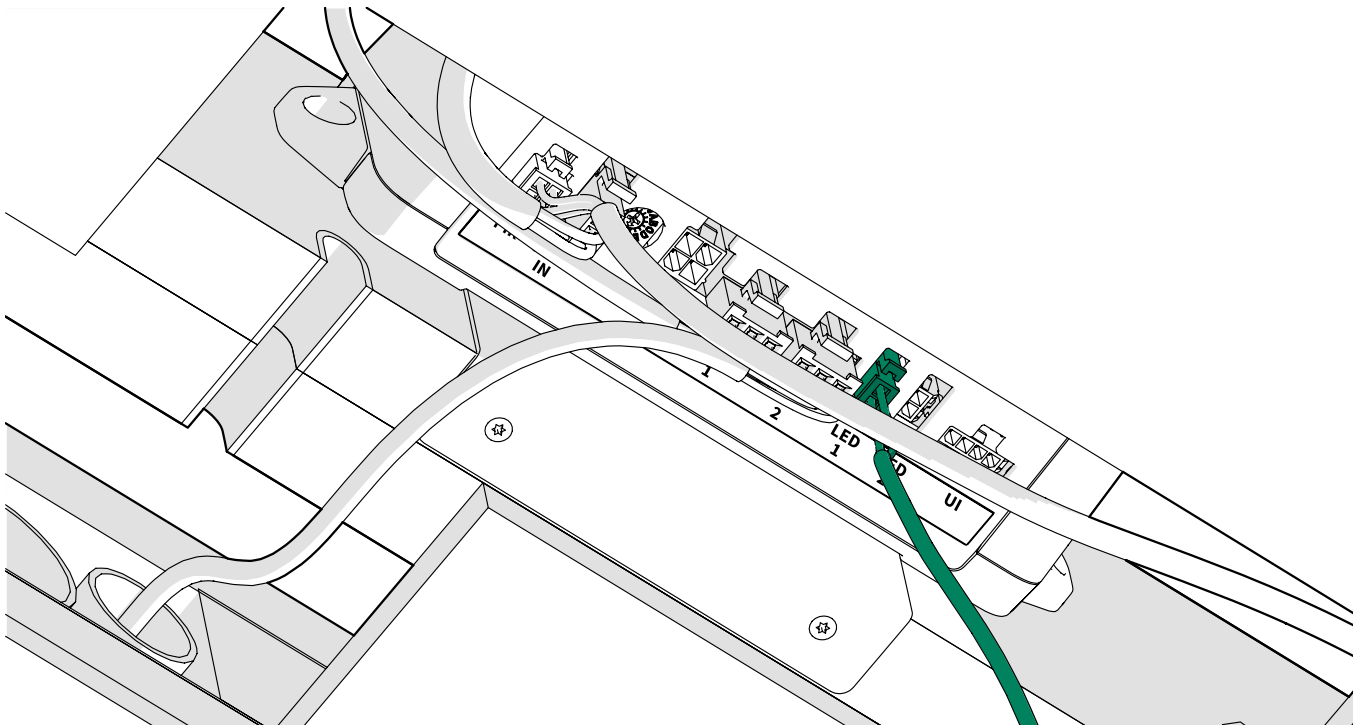
4. モーションディテクターのコードをコントロールユニットのPIRコネクタに接続してください。



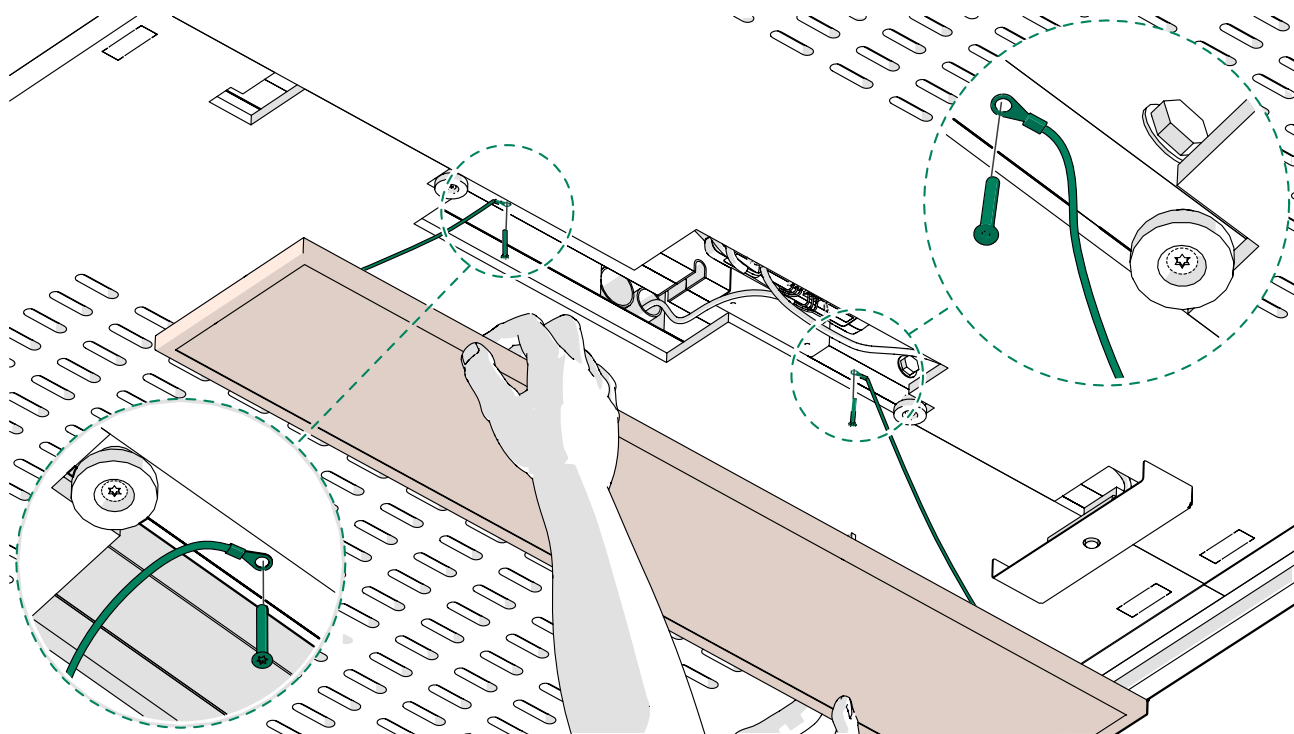
5. モーションディテクターをブラケットまで持ち上げ、スライドさせて固定してください。



6. 照明用コードをコントロールユニットのLED 1コネクタに接続してください。



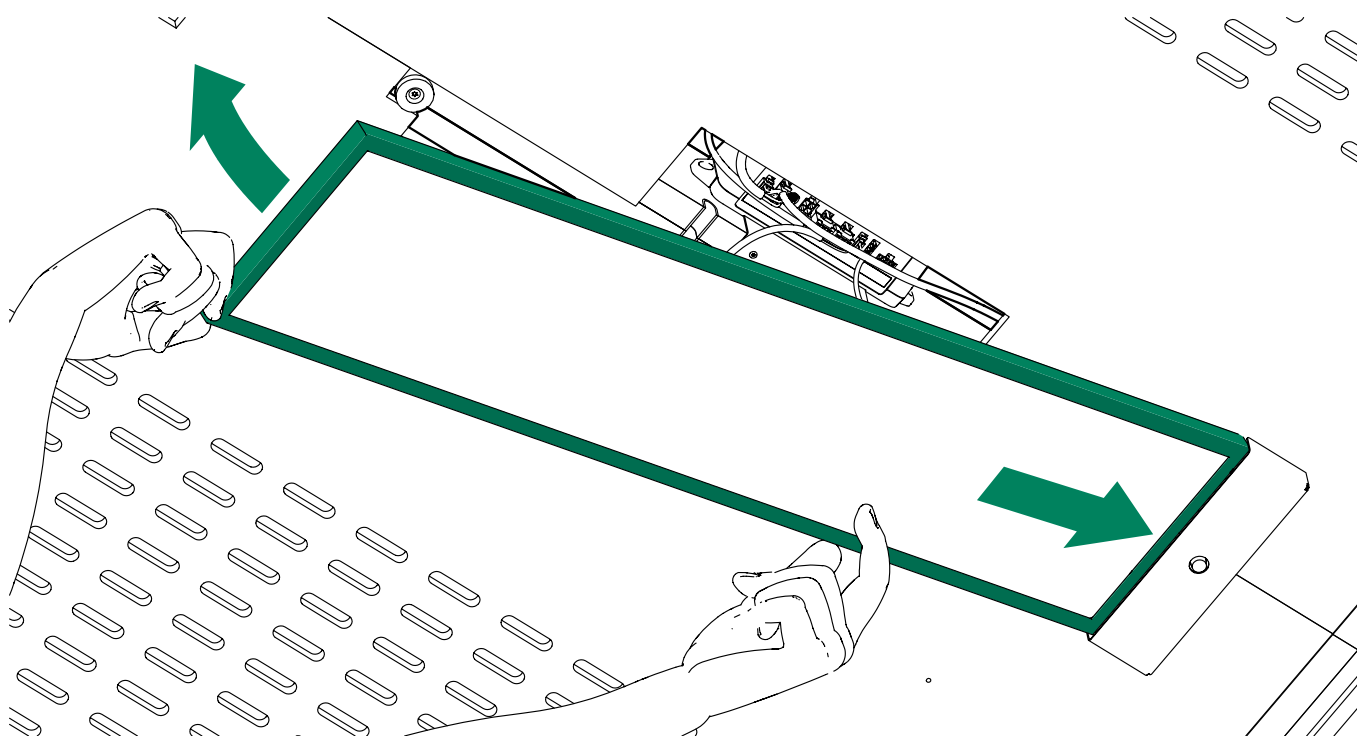
7. 照明用ワイヤーを4×20のネジでルーフに取り付けます。



8. コードを人感センサーブラケットのフラップの下に取り付けて照明を天井に向けま
す。

照明はマグネットで天井に取り付けられます。照明を天井の中央に合わせてくださ
い。

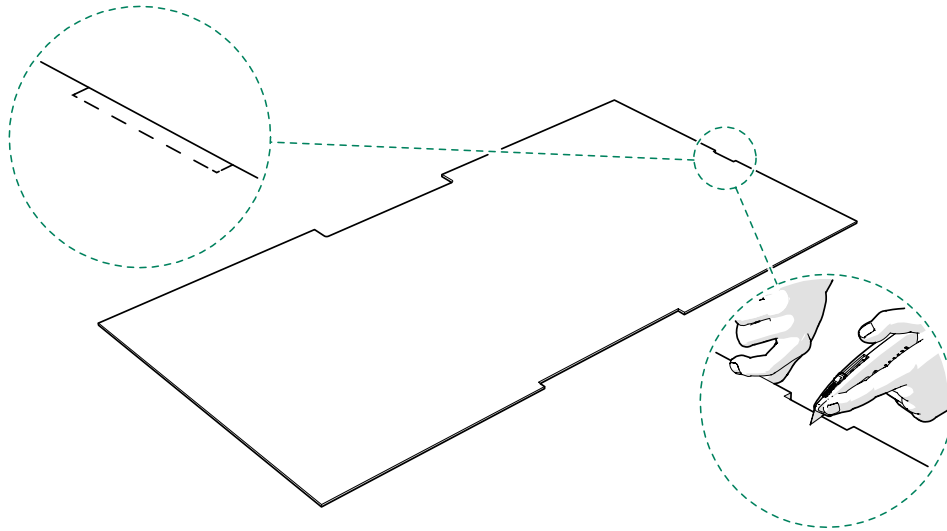
❗ 注：設置の際は、コードが傷ついたり、挟まれないように注意してください。



12 インテリアの設置

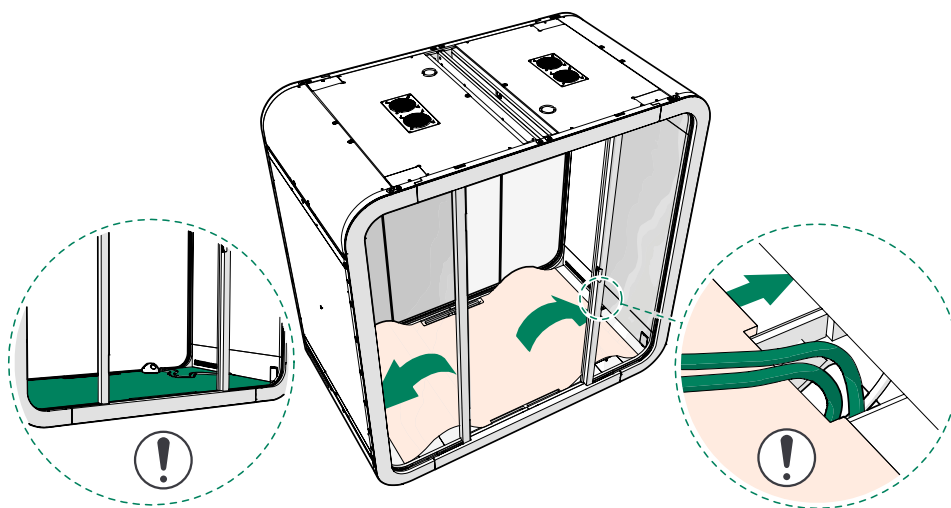
12.1 カーペットの設置

1. 電気コードを通すための開口部を確保するため、カーペットをプレカットラインでカットしてください。



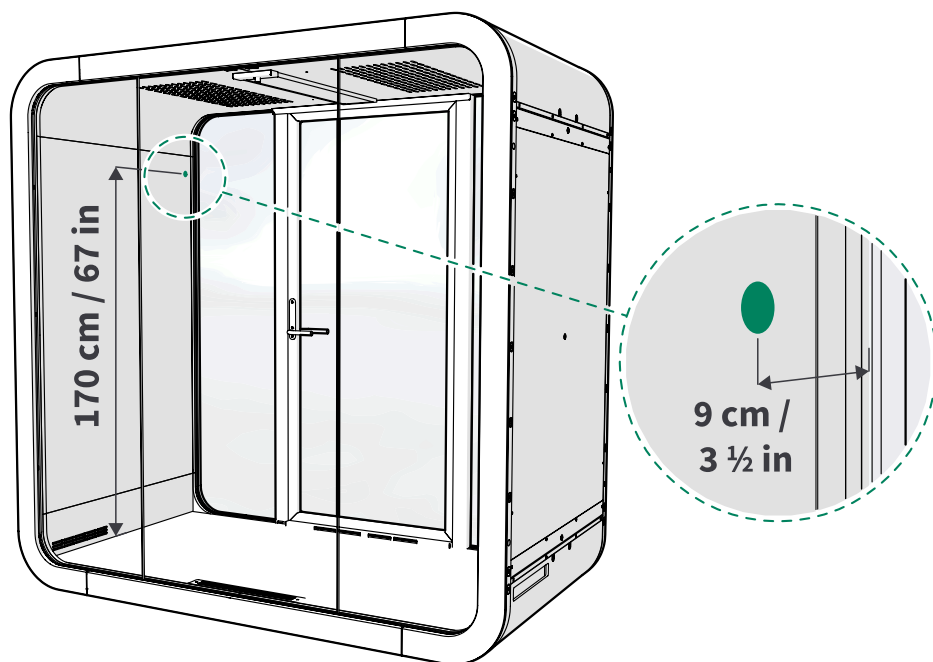
2. エッジスロットがドア側、フロアグリッドの開口部がガラス壁側になるようにカーペットを設置してください。

- ❗ 注：カーペットがしっかりと取り付けられているか、段差がないかを確認してください。
- ❗ 注：小さい方の開口部が右の壁に当たるようにしてください。



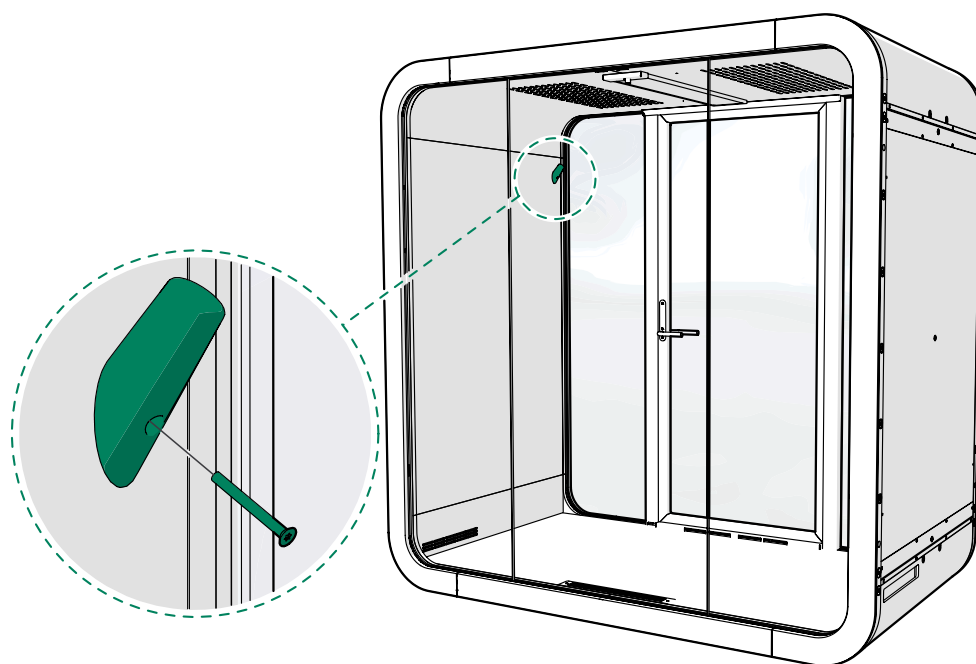
12.2 コートフックの設置

1. 両側の壁のコートフックを設置する場所を測ってください。
壁の底面から170cm、前面のガラス壁から9cmのところに設置してください。



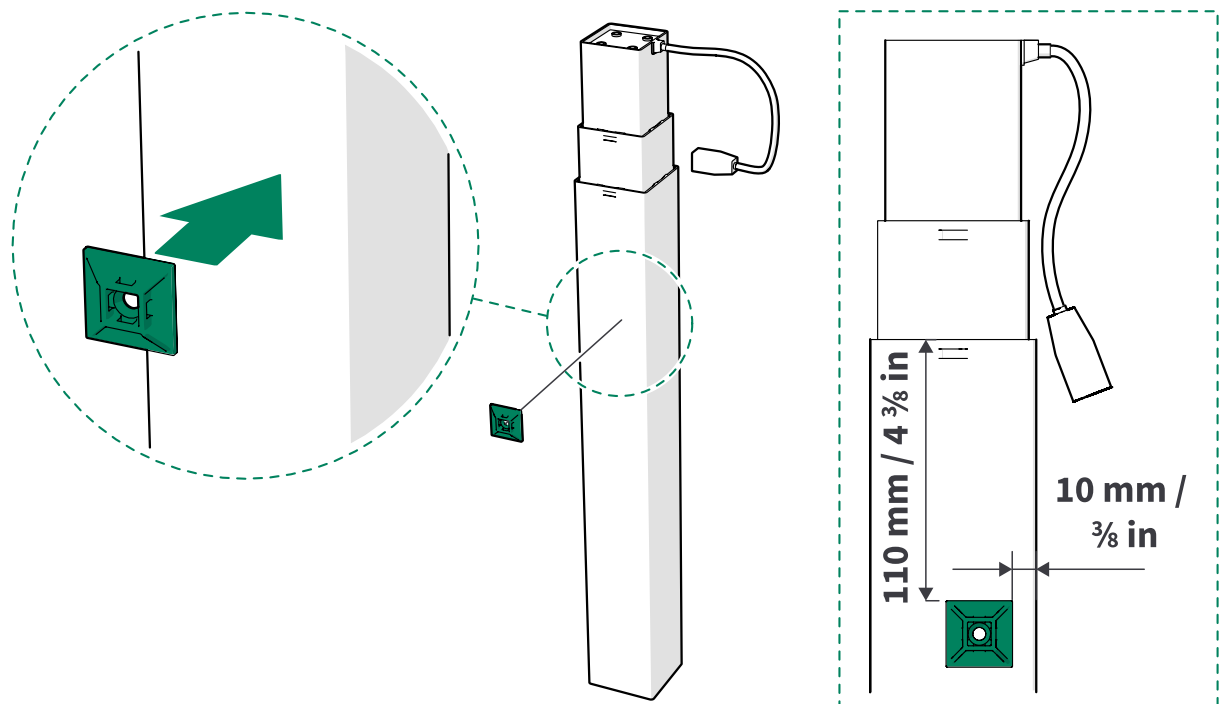
2. コートフックを黒の5x50ネジ (各1個) で取り付けてください。

① ヒント：コートフックがしっかりと固定されていないと感じた場合は、コートフックを取り外し、ガラス壁の方に少し移動させてから再度取り付けてください。



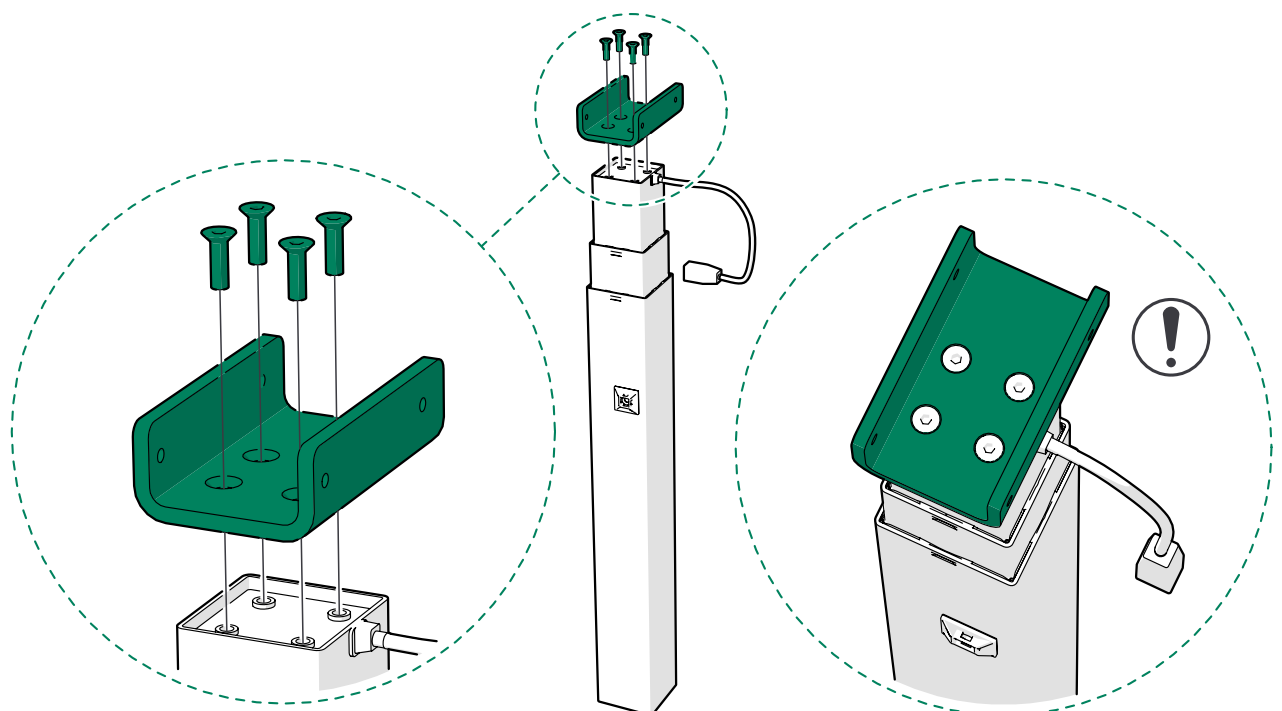
12.3 テーブルの組み立て

1. 結束バンドをテーブル脚に取り付けてください。



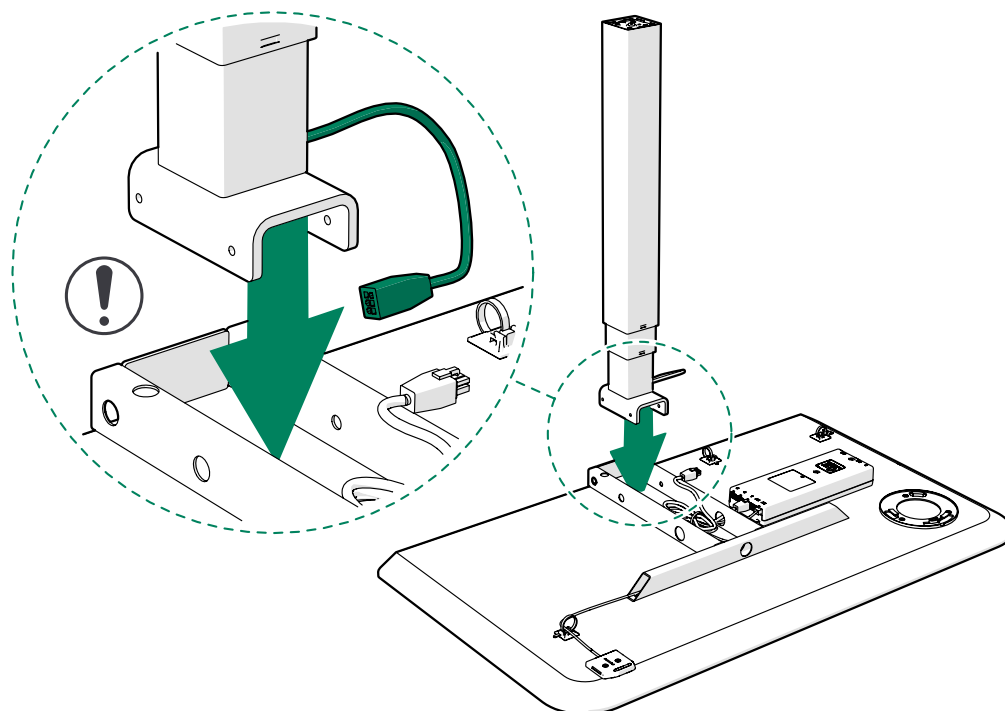
2. M6x20のネジ (4個) でテーブルのマウントプレートを取り付けてください。

ⓘ 注：マウントプレートの長い方の面がテーブルの前側にくるようにしてください。

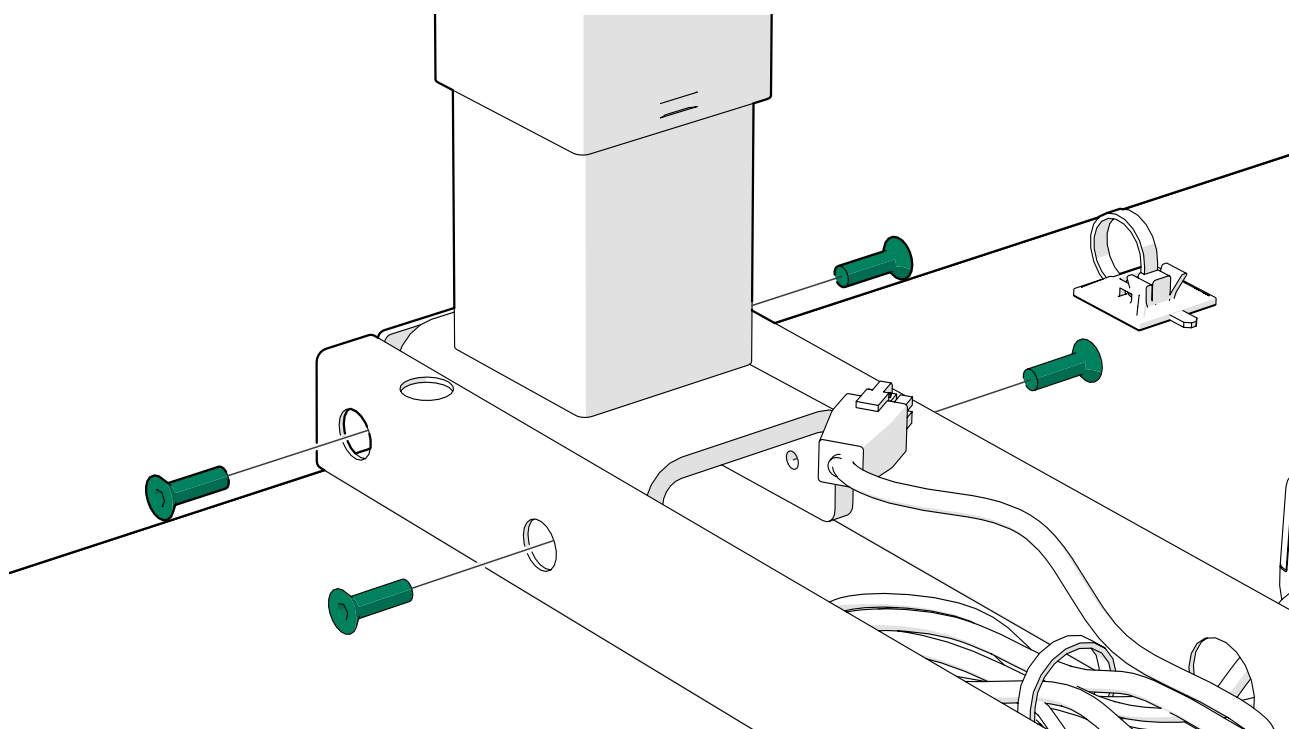


3. テーブル脚をマウントプレートに置いてください。脚から出ているコードが右側になっていることを確認してください。

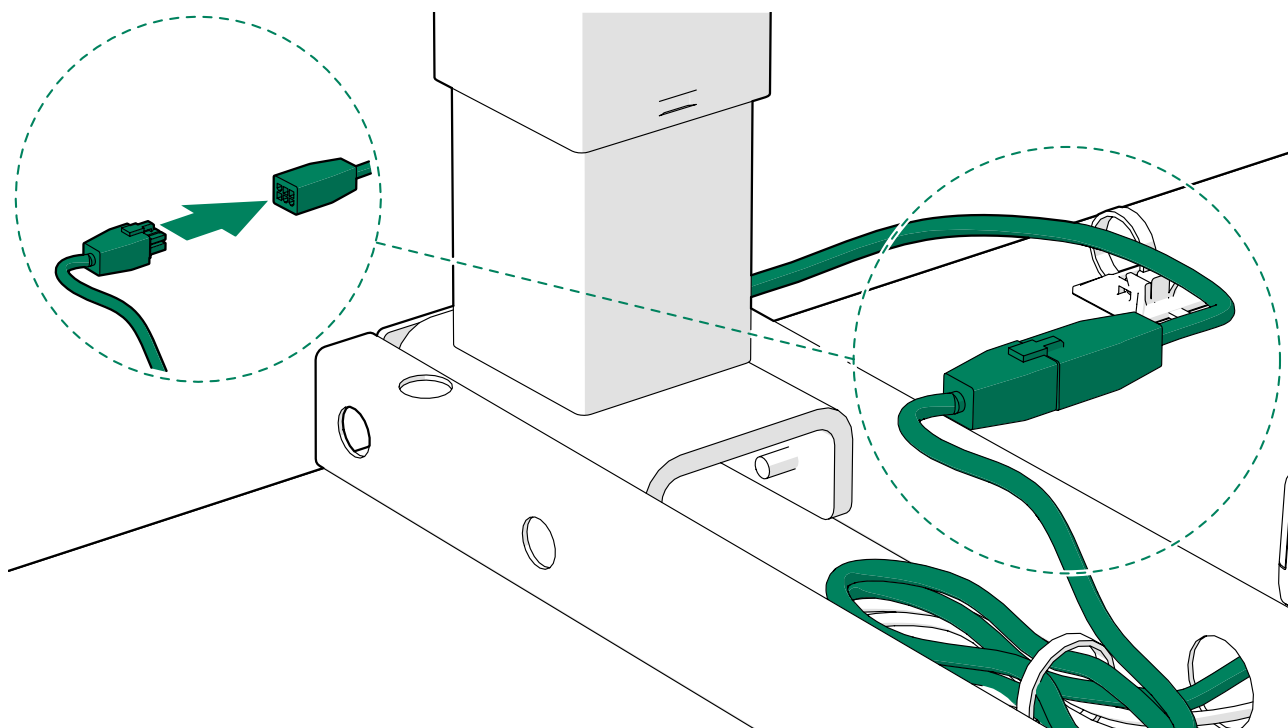
❗ 注：コードが挟まれないように注意してください。



4. M6x20の皿ネジ (4個) でテーブル脚を取り付けてください。

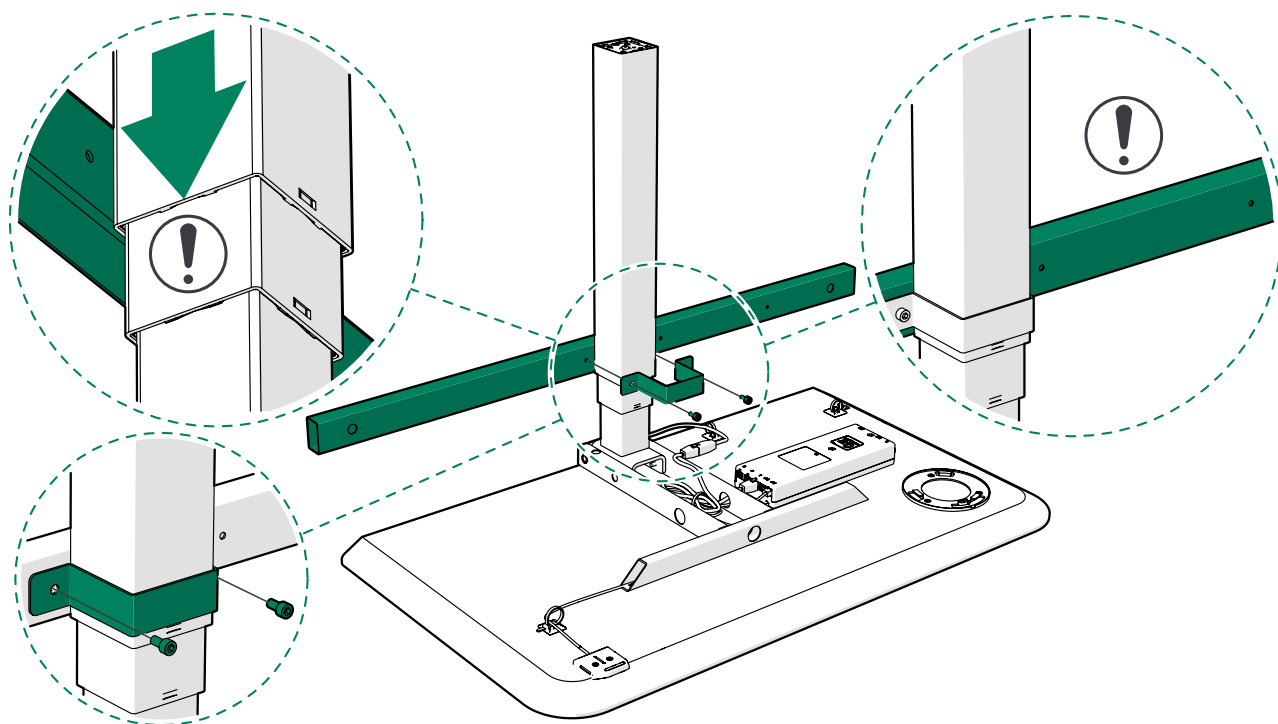


5. リフティング用モーターケーブルを接続してください。



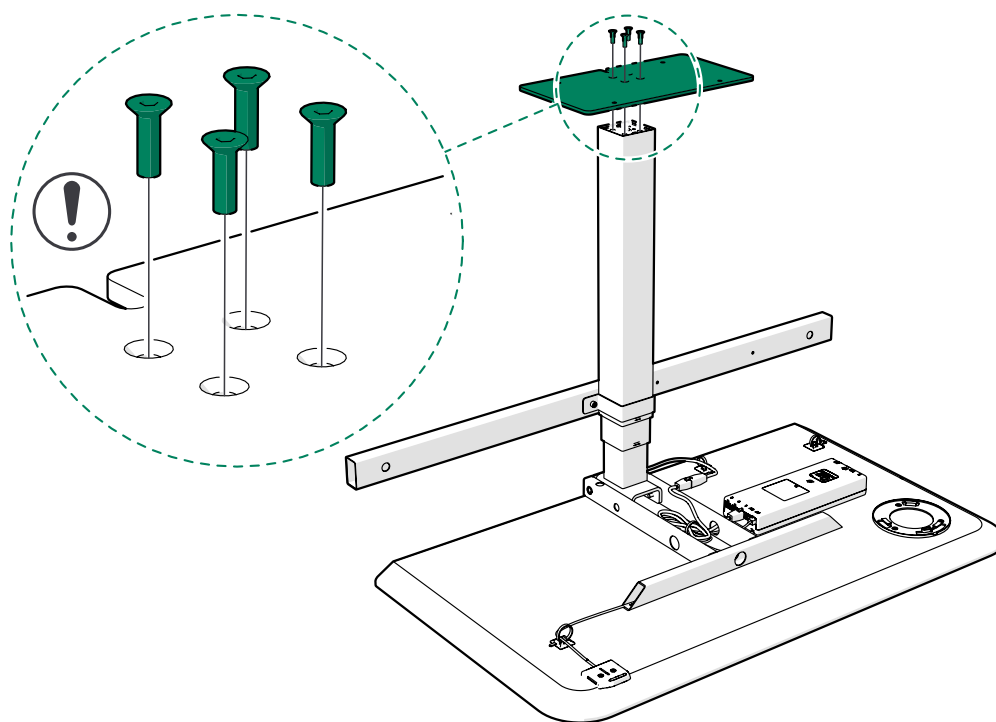
6. サポートビームをM6x12ネジ (2個) でテーブル脚に取り付けてください。

- ❗ 注：サポートブラケットとテーブル脚の一番外側の部分が同じ高さになっているか確認してください。
- ❗ 注：サポートビームの小さい方の取り付け穴が、テーブル脚の右側にあることを確認してください。



7. M6x20の皿ネジ (4個) でベースプレートをテーブル脚に取り付けてください。

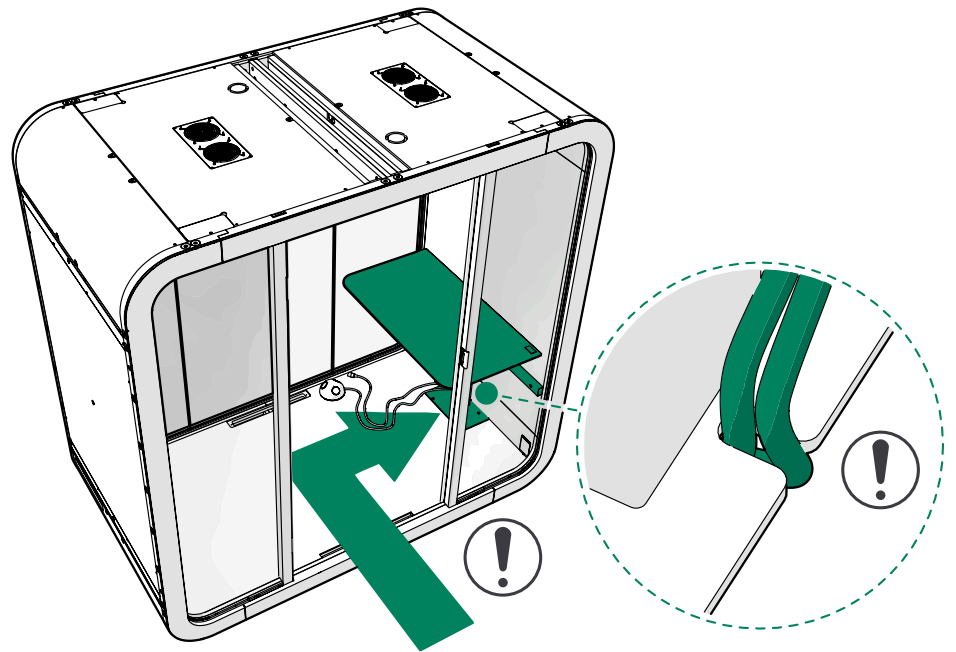
- ① 注：皿穴が上向きになるようにしてください。
- ① 注：ベースプレートの切り込みがテーブル脚の裏側にあることを確認してください。



12.4 テーブルの設置

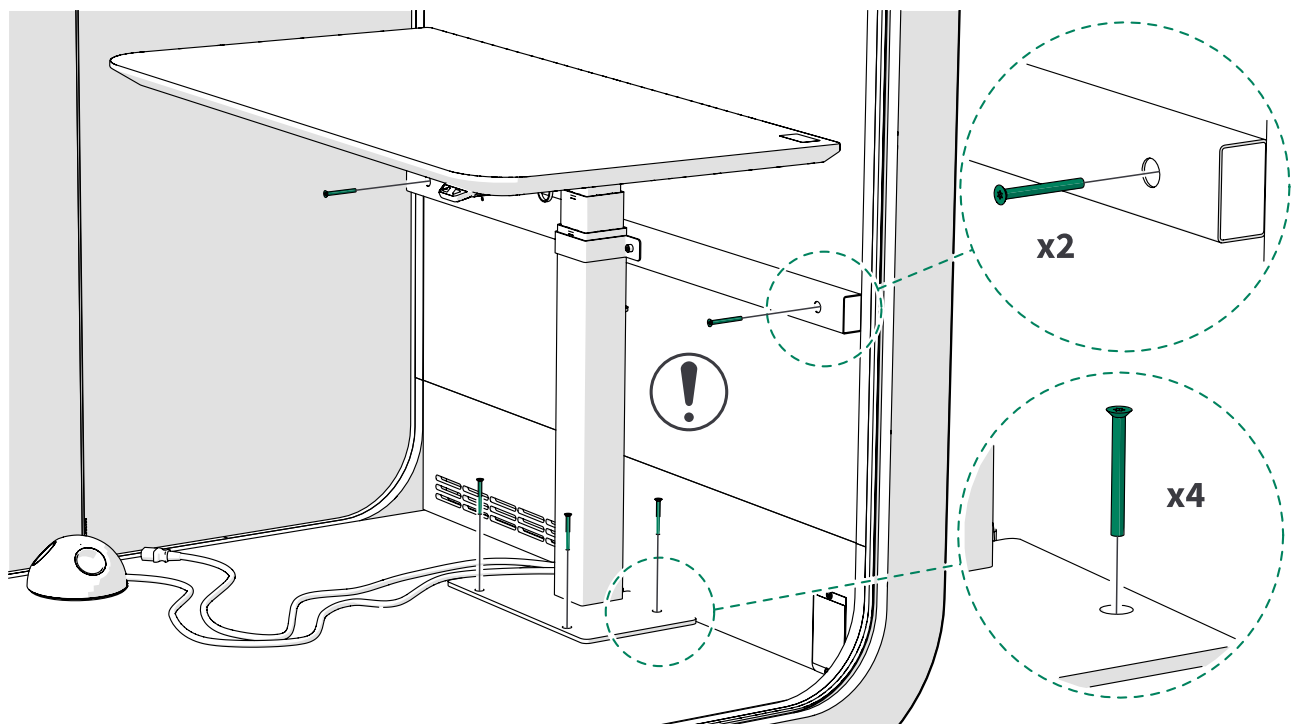
1. テーブルやポッドを傷つけないよう、慎重にテーブルを持ち上げてポッドの中に入れてください。

⚠ 注：設置の際は、コードが挟まれたり、傷ついたりしないように注意してください。



2. サポートビームを黒の5x50ネジ (2個) で壁に取り付け、ベースプレート黒の5x50ネジ (4個) でフロアに取り付けてください。

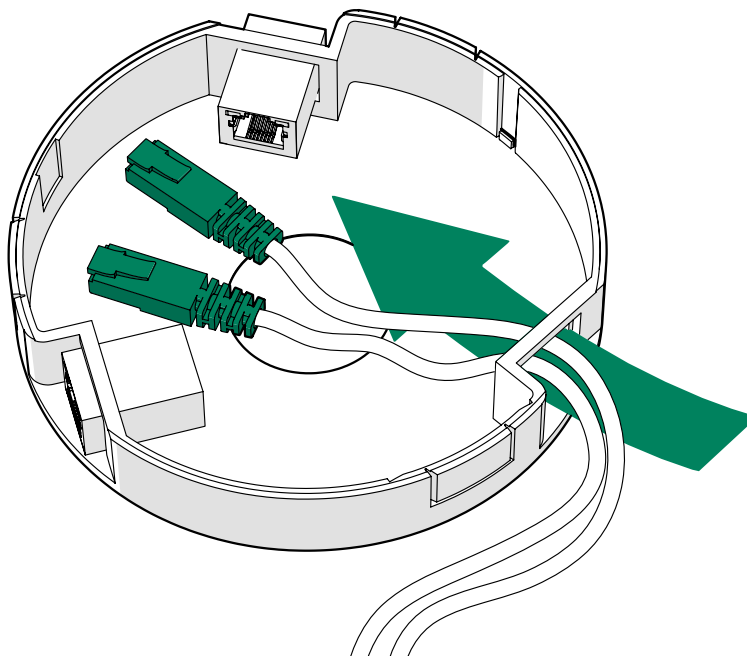
⚠ 注：サポートビームが両側から同じ距離にあることを確認してください。



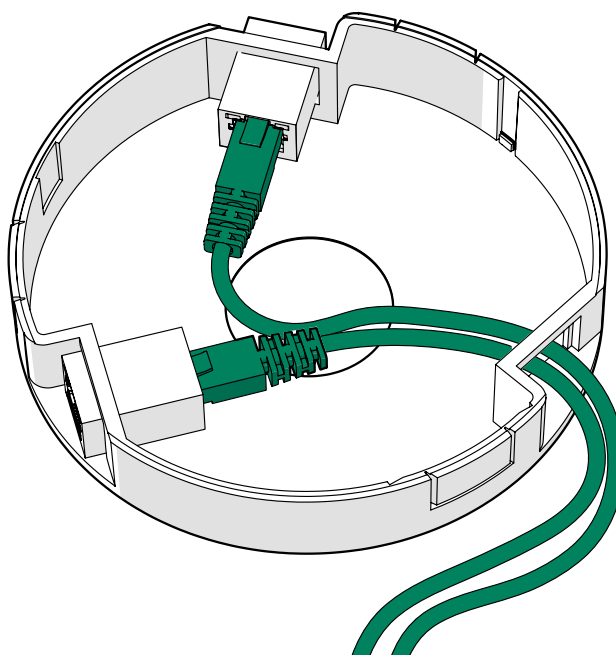
12.5 LANデータカートリッジの取り付け (別売)

納品物に別売りのLANデータカートリッジが含まれない場合は、次の項目にお進みください。

1. LANコードの端を1本ずつ、LANデータカートリッジの側面にある開口部に通してください。



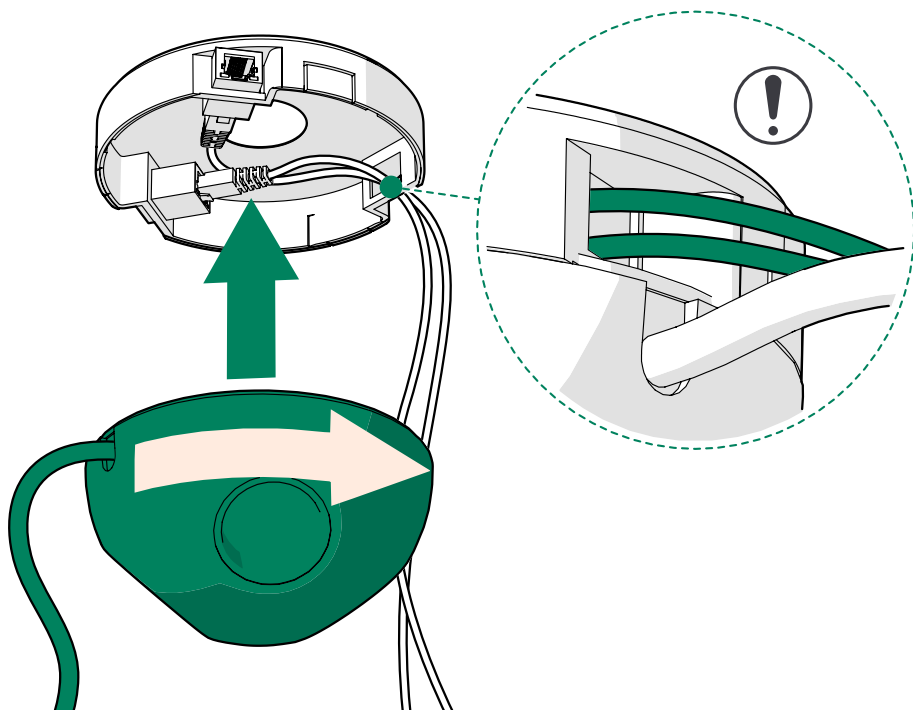
2. LANコードをLANデータカートリッジのコネクタに接続してください。



3. LANデータカートリッジをコンセントの上に置き、時計回りに固定されるまで回してください。

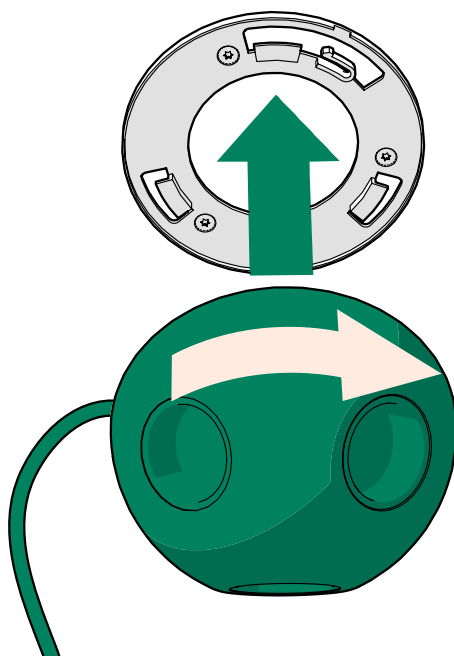
LANデータカートリッジを取り付けたまま、次の項目の指示に従ってください。

- ❗ 注：LANデータカートリッジをコンセントに取り付けた後、LANコードと電源コードが同じ側になっていることを確認してください。



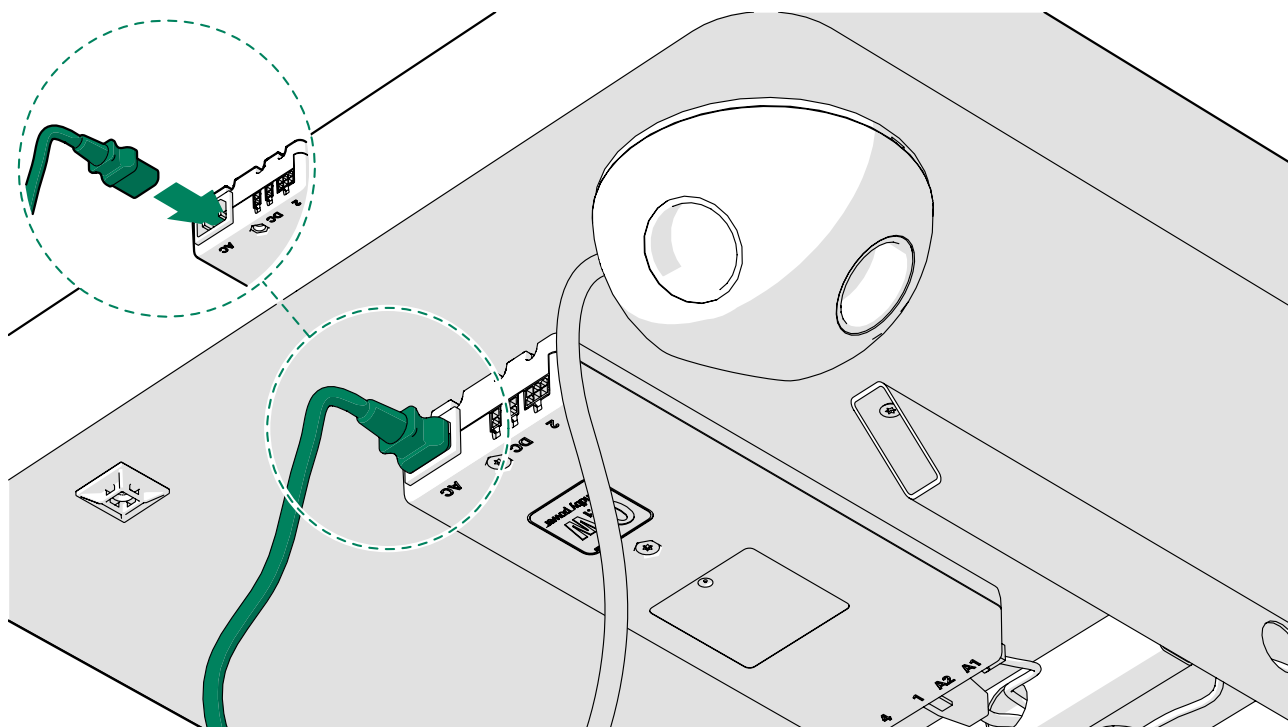
12.6 電源コンセントの設置

コンセントをテーブルの天板裏にある固定プレートに設置し、ロックがかかるまで時計回りに回してください。

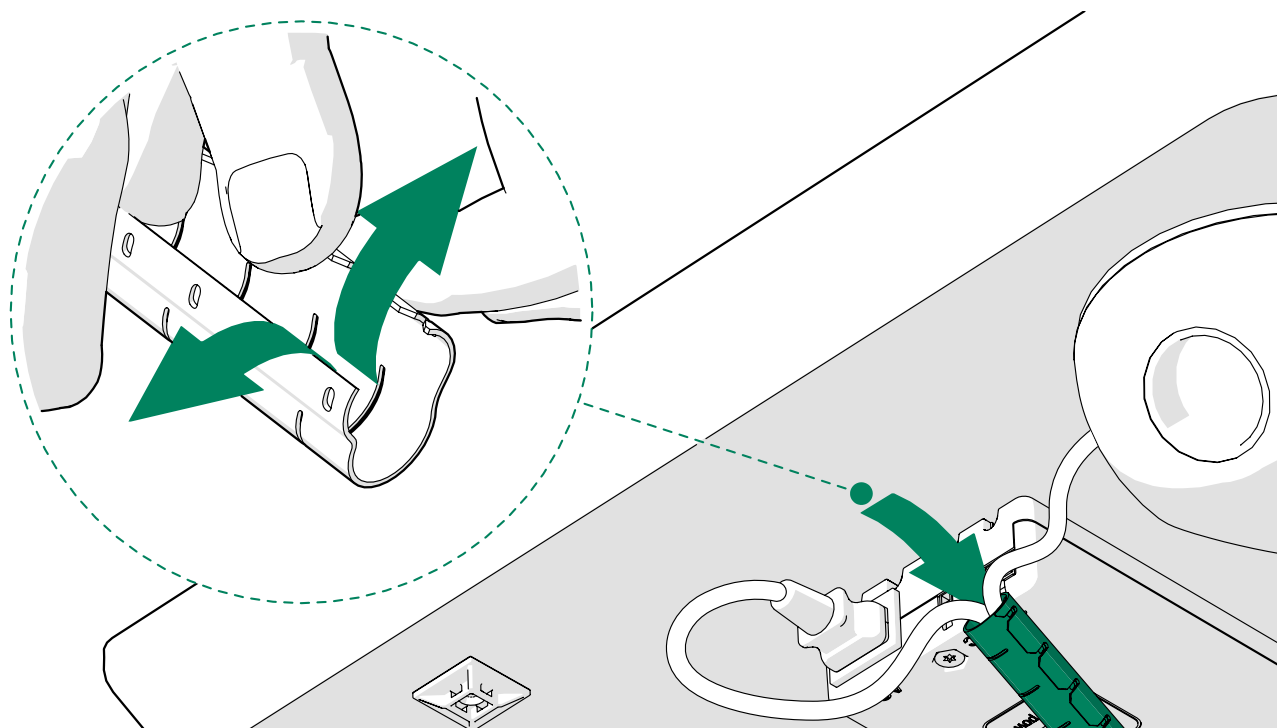


12.7 テーブルの電気配線

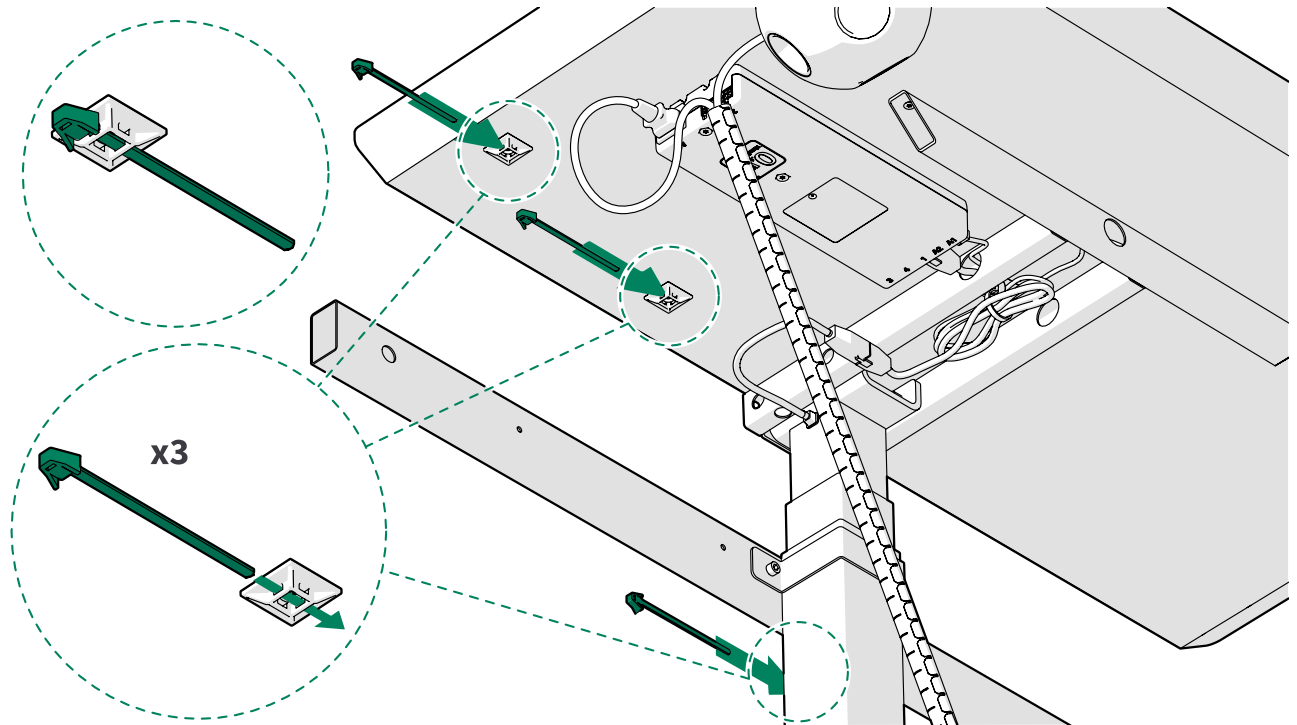
1. テーブルの電源コードをテーブルコントロールユニットに接続してください。



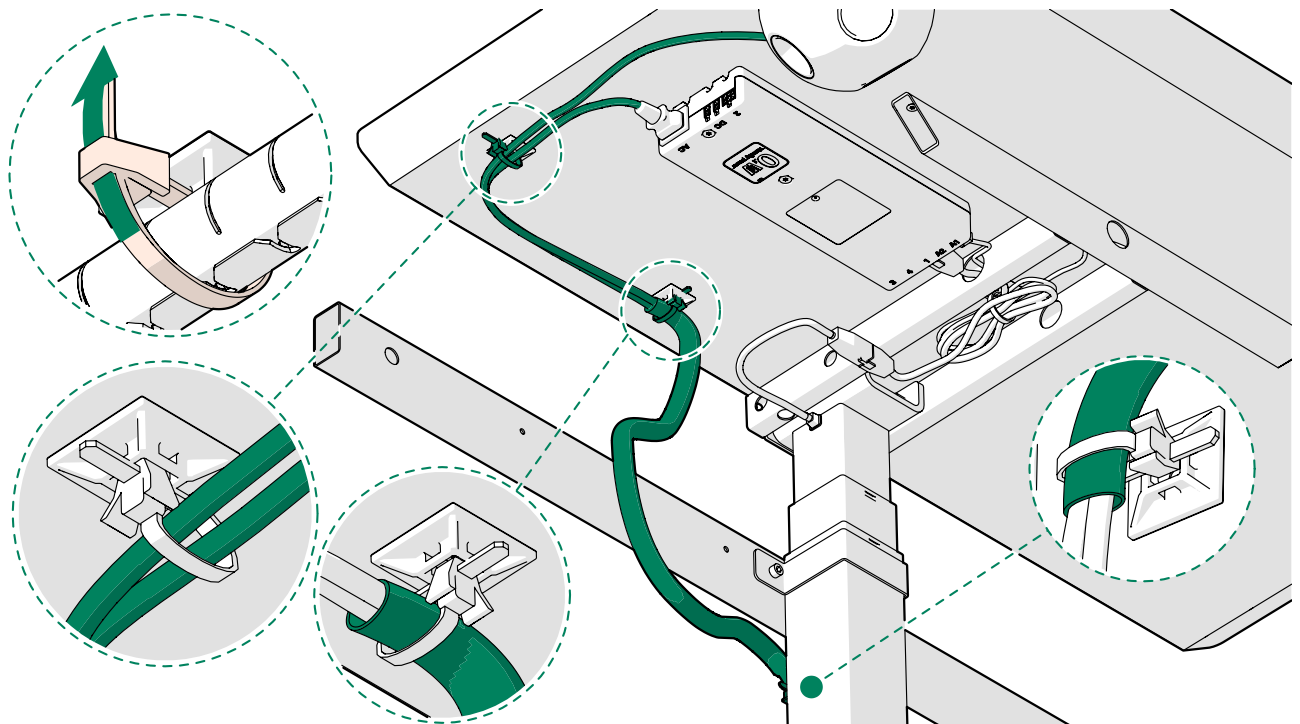
2. 電源コードをケーブルラップに通してください。



3. 結束バンドをホルダー (3本) に通してください。

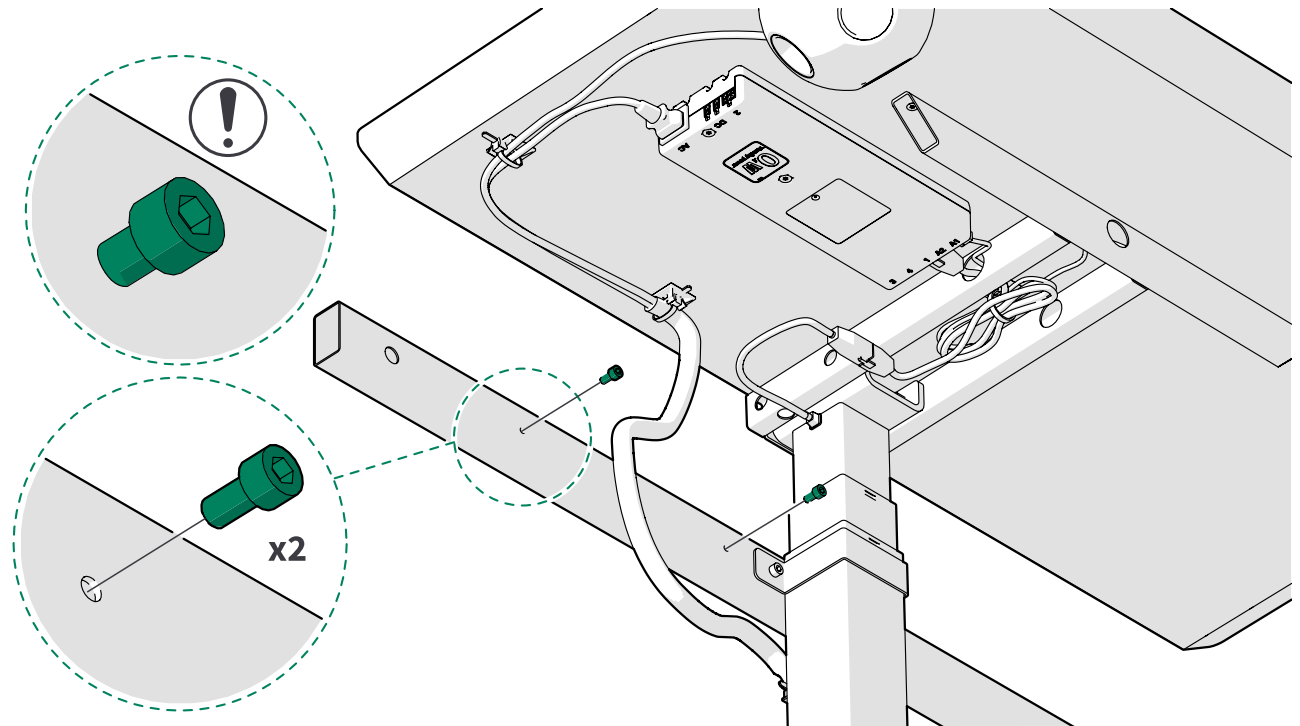


4. ケーブルラップをケーブルホルダーに通し、ケーブルタイを締めてください。

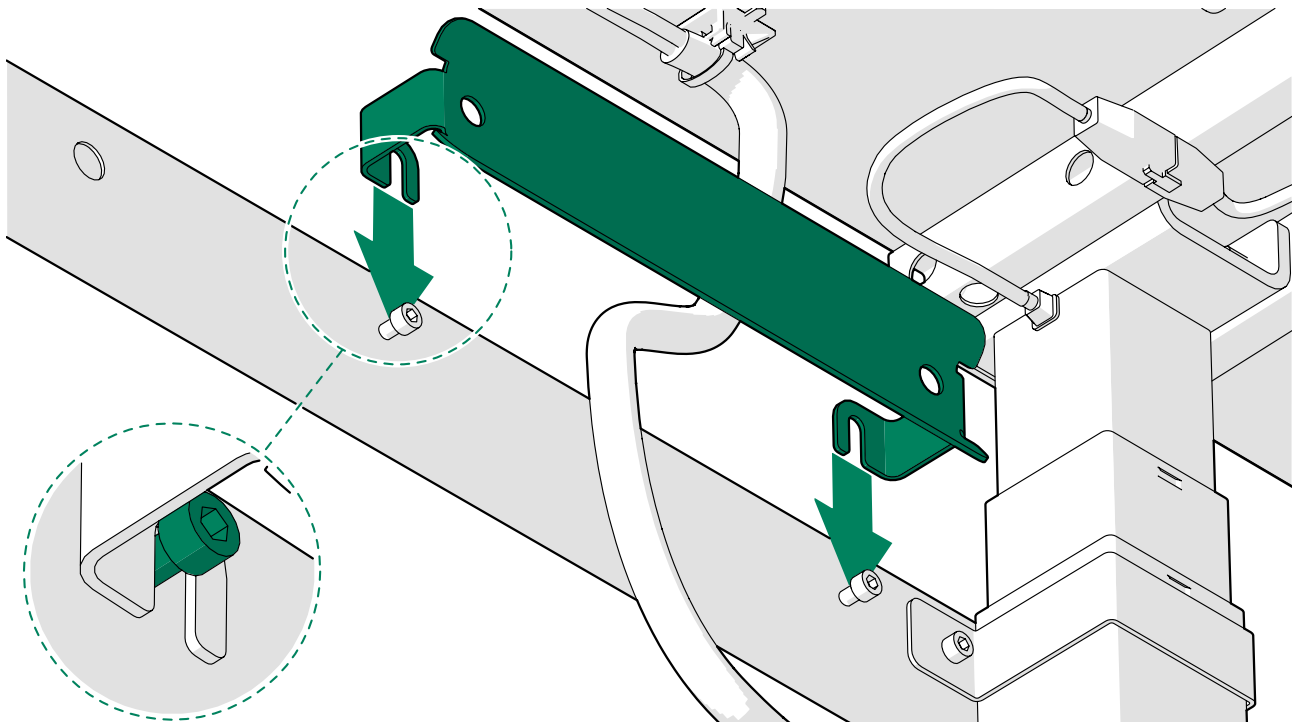


5. 垂直サポートにM6x12ボルト (2本) を取り付け、ボルトの間にケーブルラップを挟み込んでください。

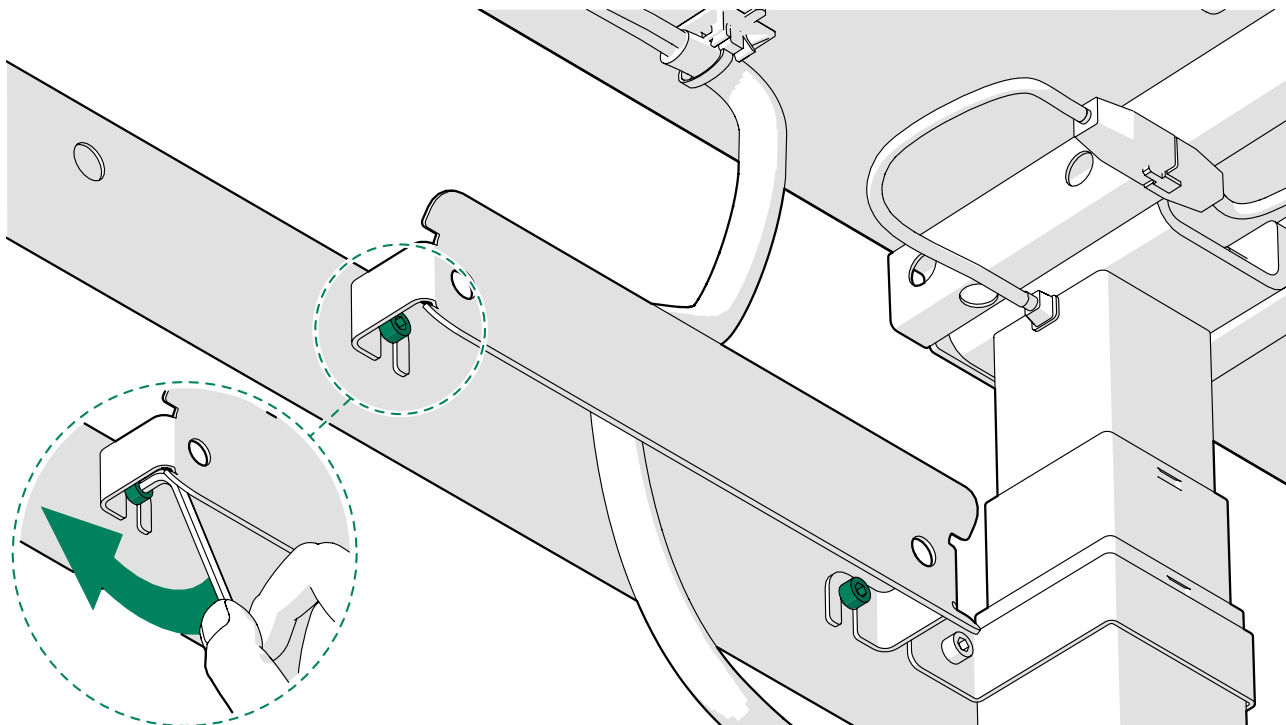
❗ 注：完全には締め付けないでください。ボルトが固定されるまで数回だけ回して締めてください。



6. ケーブルブラケットをボルトの上にスライドさせてください。

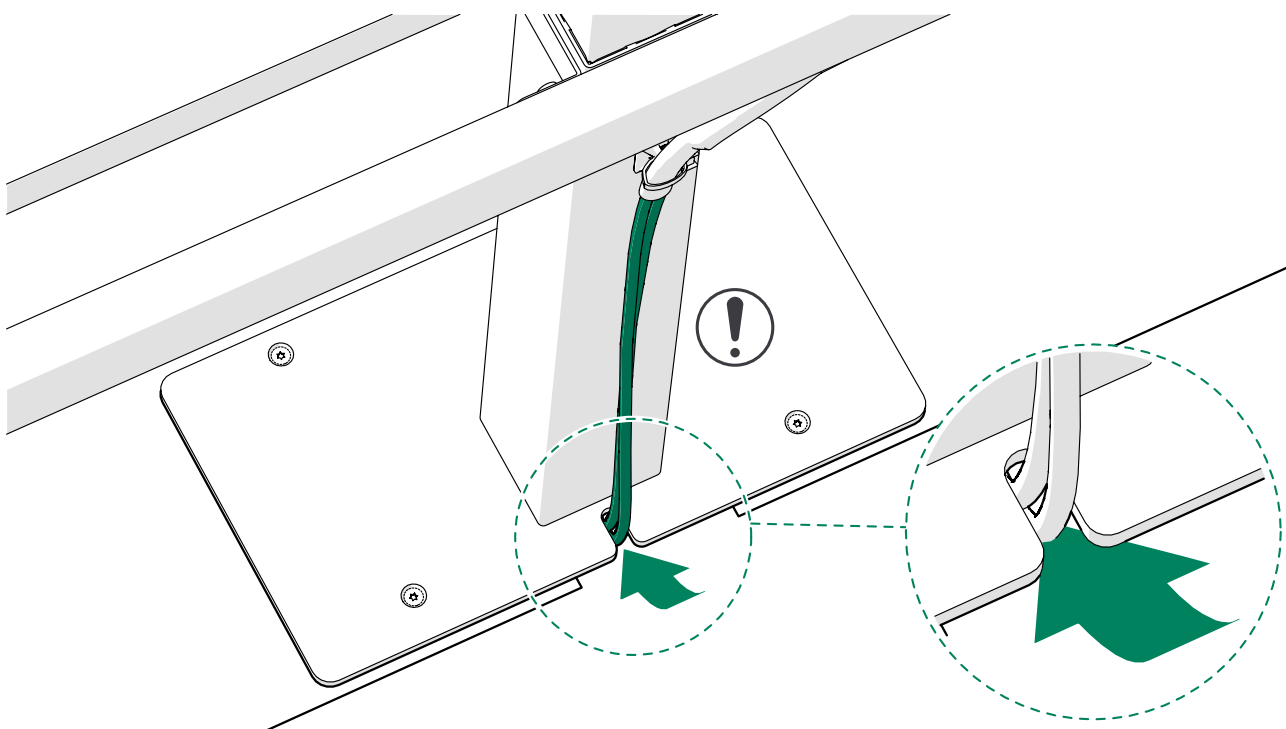


7. 六角レンチでボルトを締めてください。



8. フロアの開口部からコードの長さを調節し、コードをフロアモジュールに通してください。

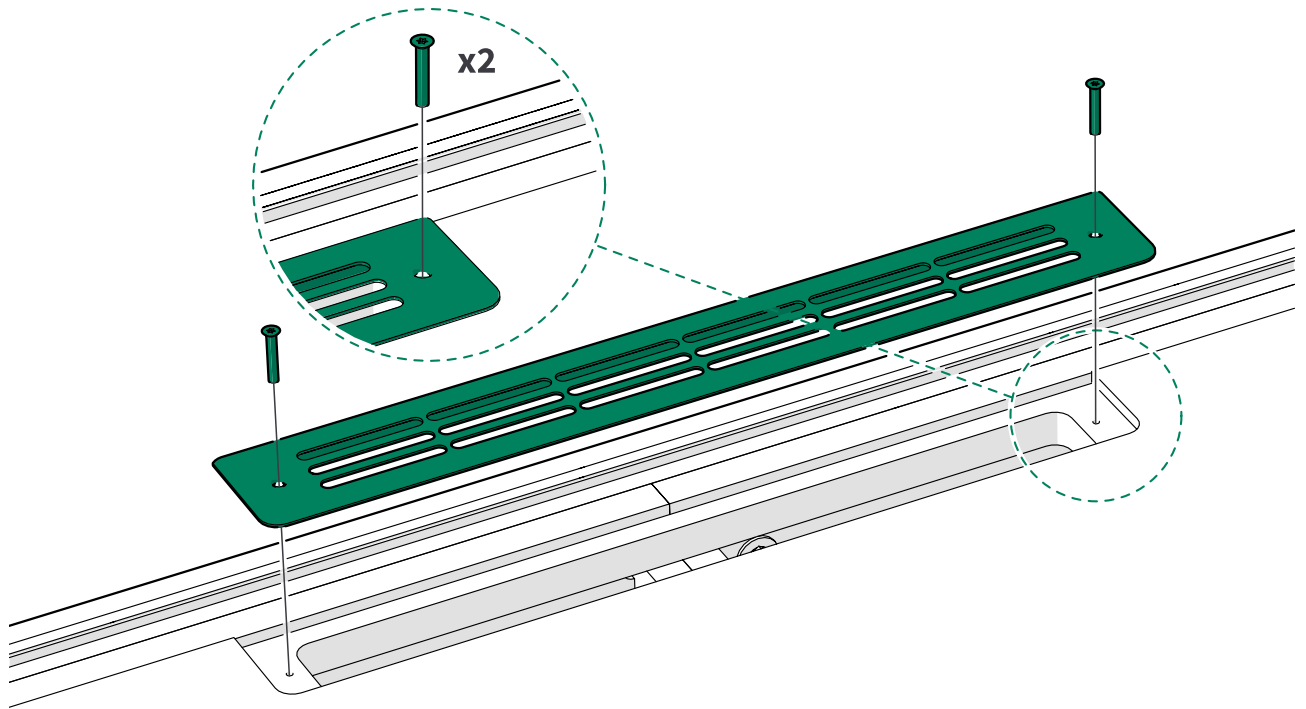
⚠ 注：コードがテーブル脚の後ろにあることを確認してください。



12.8 フロアグリッドの設置

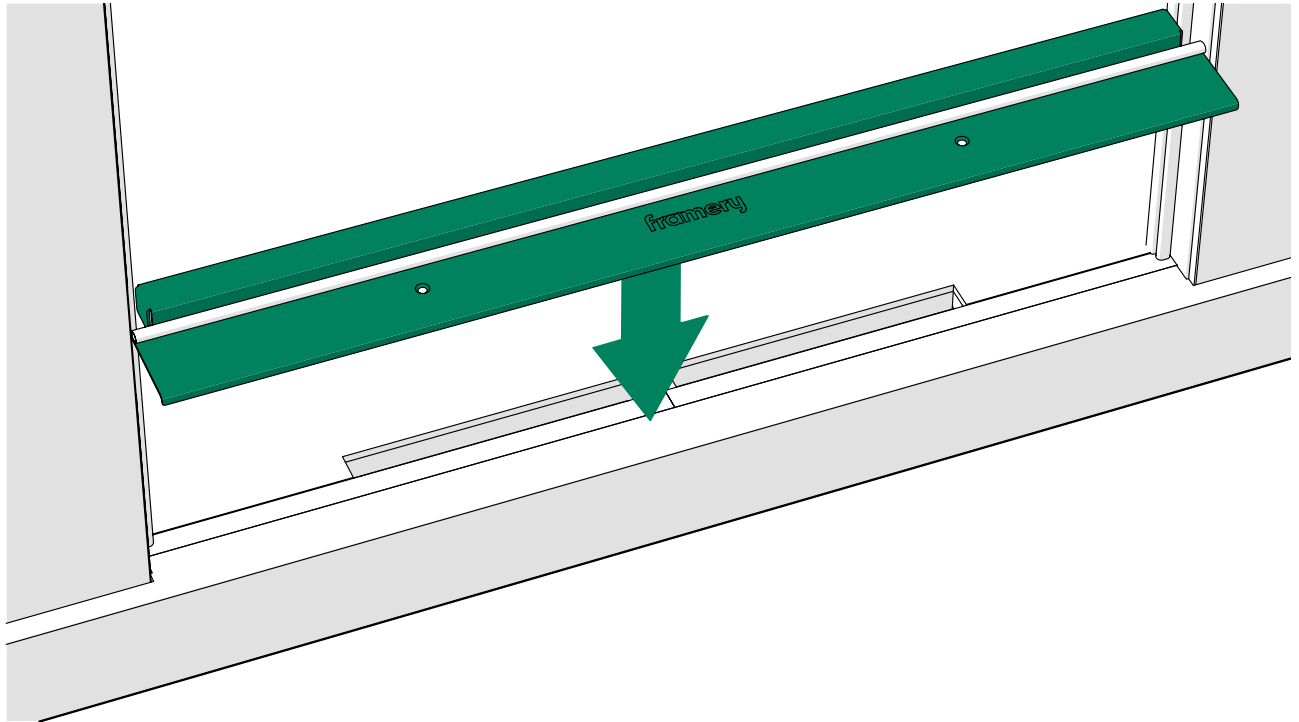
フロアグリッドを黒の5x30ネジ (各1個) で取り付けてください。

⚠ 注：既存のネジ穴を使用してください。



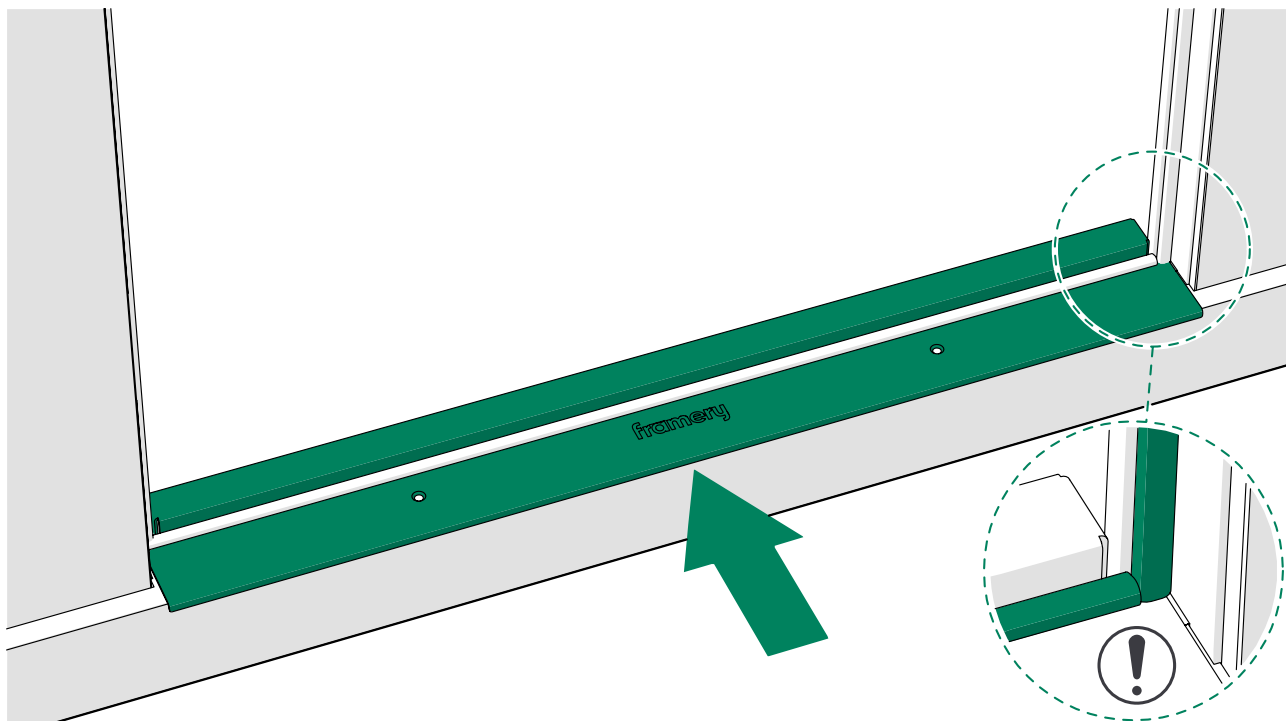
13 フロア用敷居の設置

1. 入り口に敷居をはめてください。

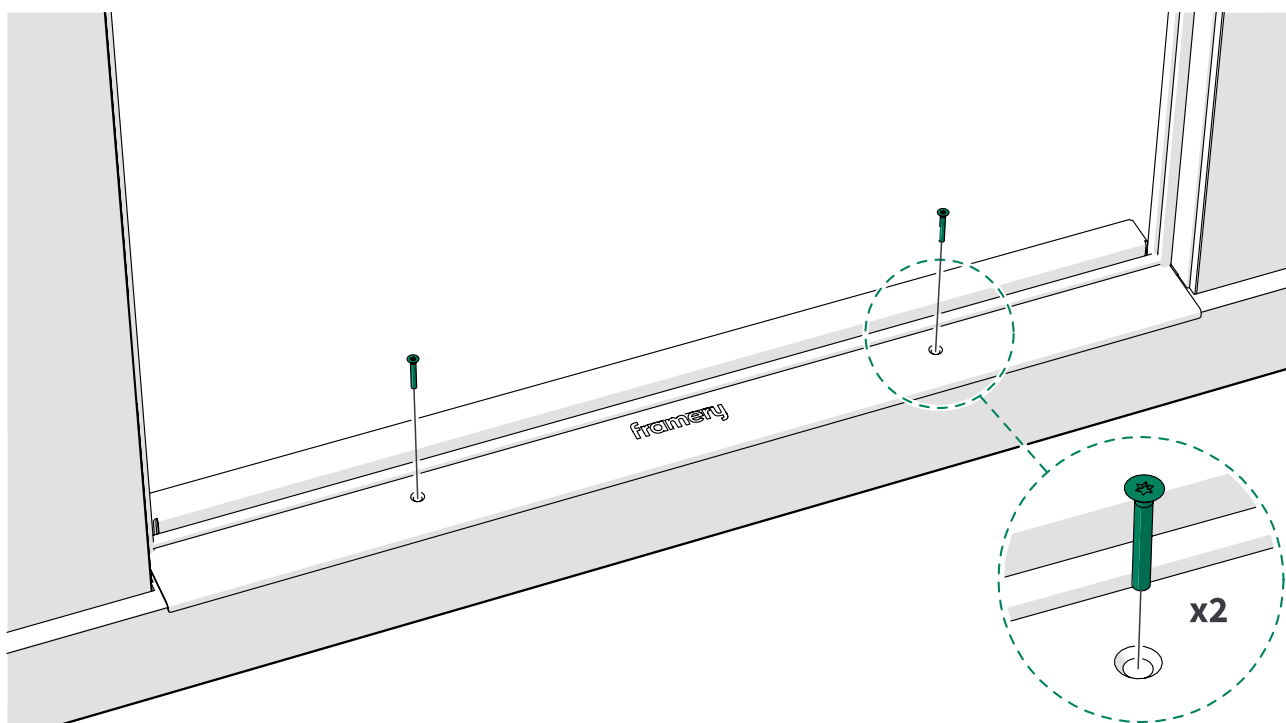


2. 敷居をドアフレームに対してスライドさせてください。

- ❗ 注：サイドビートが敷居とドアフレームの間がないことを確認してください。サイドフレームガasketを必要に応じて、適切な長さに切ってください。
- ❗ 注：ドアガasketと敷居ガasketが重ならないようにしてください。敷居ガasketを必要に応じて、適切な長さに切ってください。
- ❗ 注：アルミフレームの保護プラスチックが敷居の下に入っていないことを確認してください。必要に応じてさらに剥がしてください。

**3. 5x50のネジ (2個) で床の敷居を取り付けてください。**

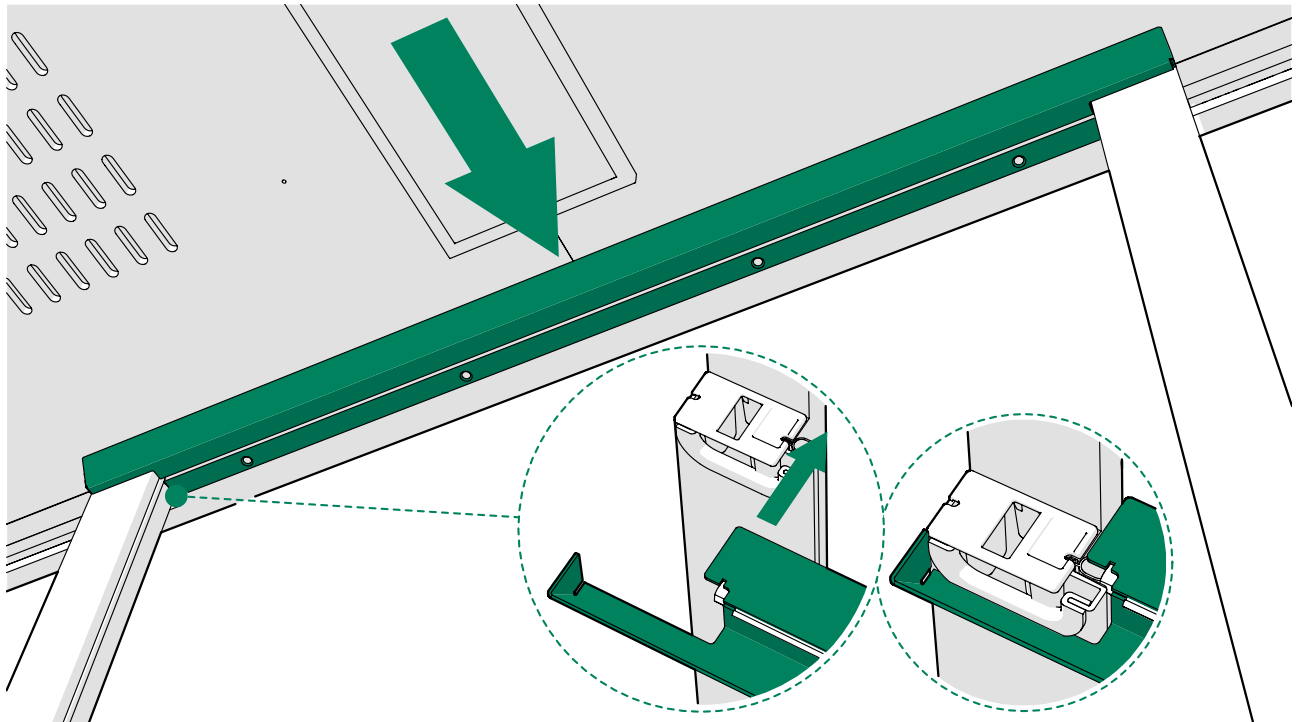
- ❗ 注：ネジは必ずネジ穴の真ん中に取り付けてください。



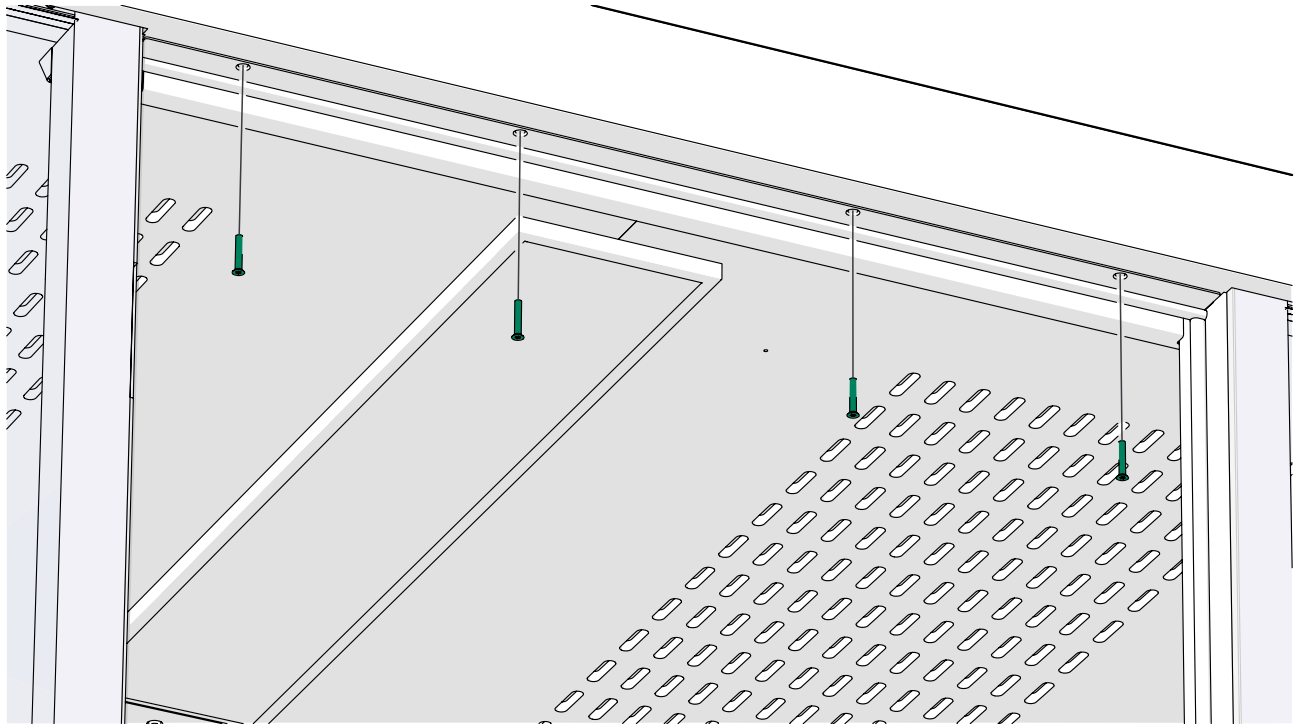
14 天井用敷居の設置

1. ポッドの内側から、敷居をドアフレームに対してスライドさせてください。

- ❗ 注：サイドフレームガスケットが敷居とドアフレームの間に挟まっていないことを確認してください。サイドフレームガスケットを必要に応じて、適切な長さに切ってください。
- ❗ 注：サイドフレームガスケットと敷居ガスケットが重ならないようにしてください。敷居ガスケットを必要に応じて、適切な長さに切ってください。
- ❗ 注：アルミフレームの保護プラスチックが敷居の下に入っていないことを確認してください。必要に応じてさらに剥がしてください。



2. 黒の5x30ネジ (4個) で天井の敷居を取り付けてください。



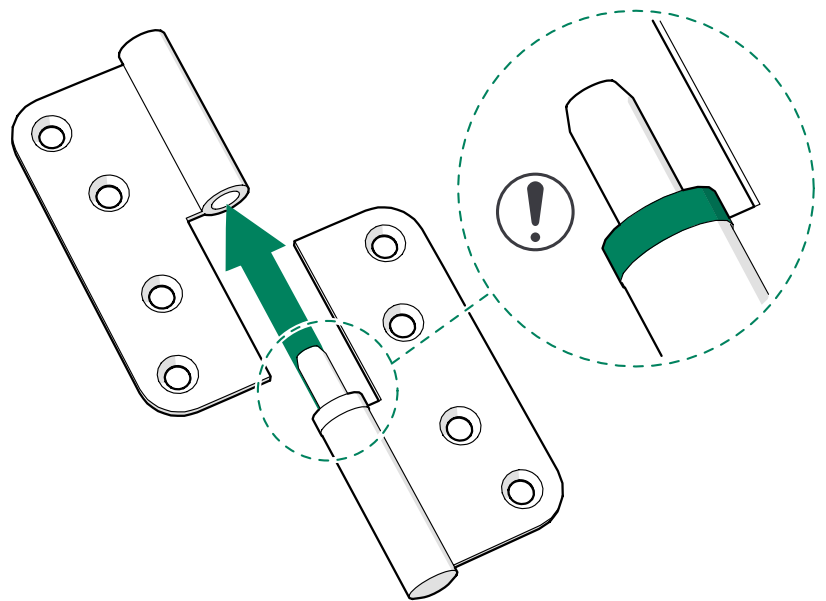
15 ドアの設定

15.1 標準ヒンジによるドアの設定

ドアにセルフクローズヒンジを設置する場合は、セルフクローズヒンジ付きのドアの設置 (112ページ) をご覧ください。

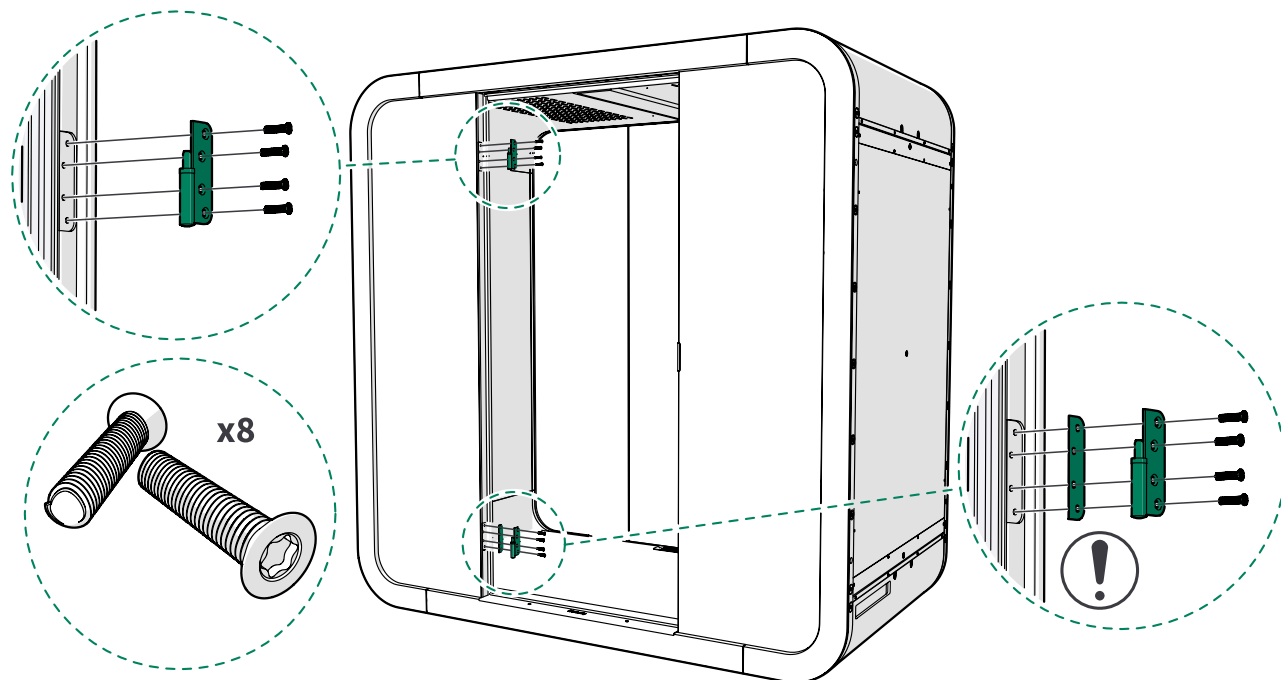
1. ヒンジの半分を取り外してください。

- ① 注：ヒンジの黒いテープは剥がさないでください。このテープは、ガラス部分をヒンジ部分の金属から保護するために必要です。
- ① 注：ヒンジの半分を取り外す際には、ワッシャーが所定の位置にあることを確認してください。



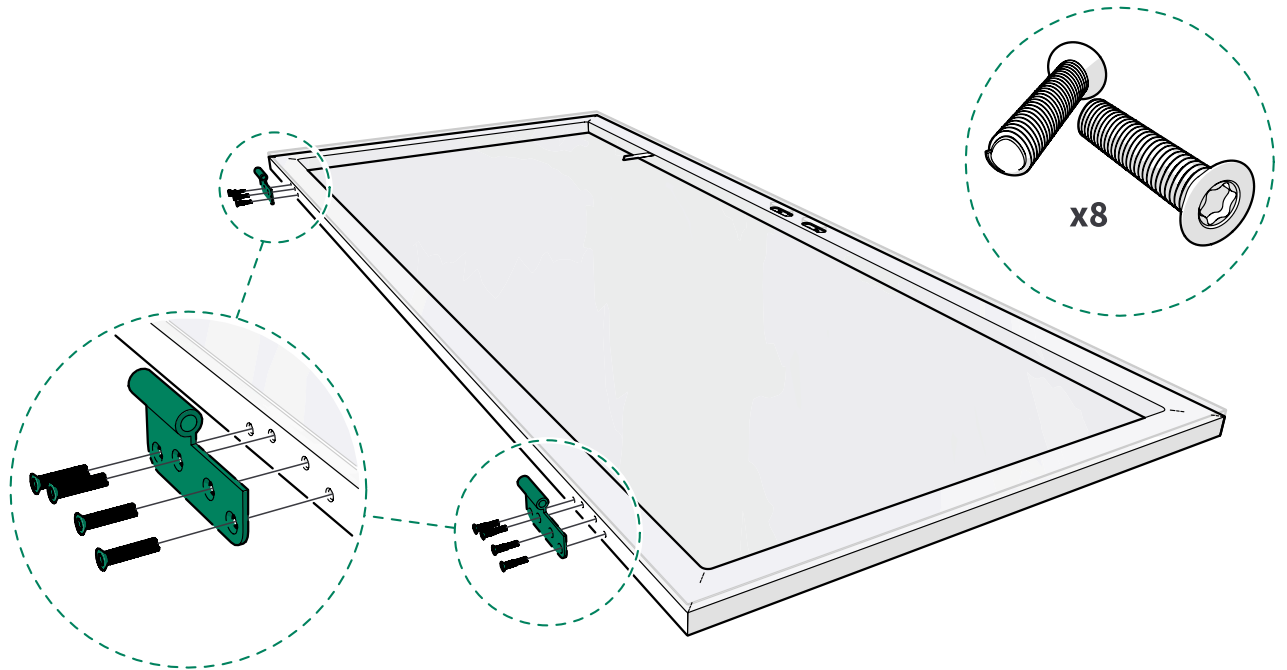
2. 半分に取り外したヒンジをM6x30タップタイトネジ(各4個)で取り付けてください。下側のヒンジには、1mmの調節板を取り付けてください。手動工具の使用。

- ❗ 注：ヒンジの設置には、電動工具を使用しないでください。
- ❗ 注：アジャスタープレートは、下ヒンジの下にのみ取り付けてください。
- ❗ 注：ドアガスケットがヒンジとドアフレームの間に押し込まれていないことを確認してください。

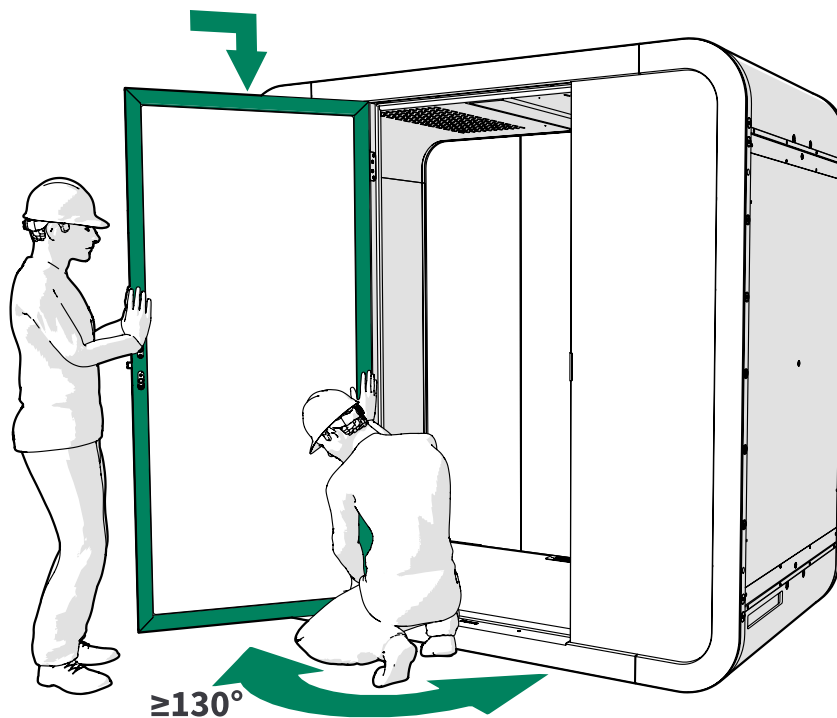


3. 残りの半分のヒンジをM6x30タップタイトネジ (各4個) でドアに取り付けてください。手動工具の使用。

- ❗ 注：ヒンジの設置には、電動工具を使用しないでください。
- ❗ 注：保護プラスチックを十分に剥がして、ヒンジを取り付けてください。保護プラスチックは完全に取り外さないでください。



4. ドアを持ち上げて、開いた状態 (～130°) にしてください。

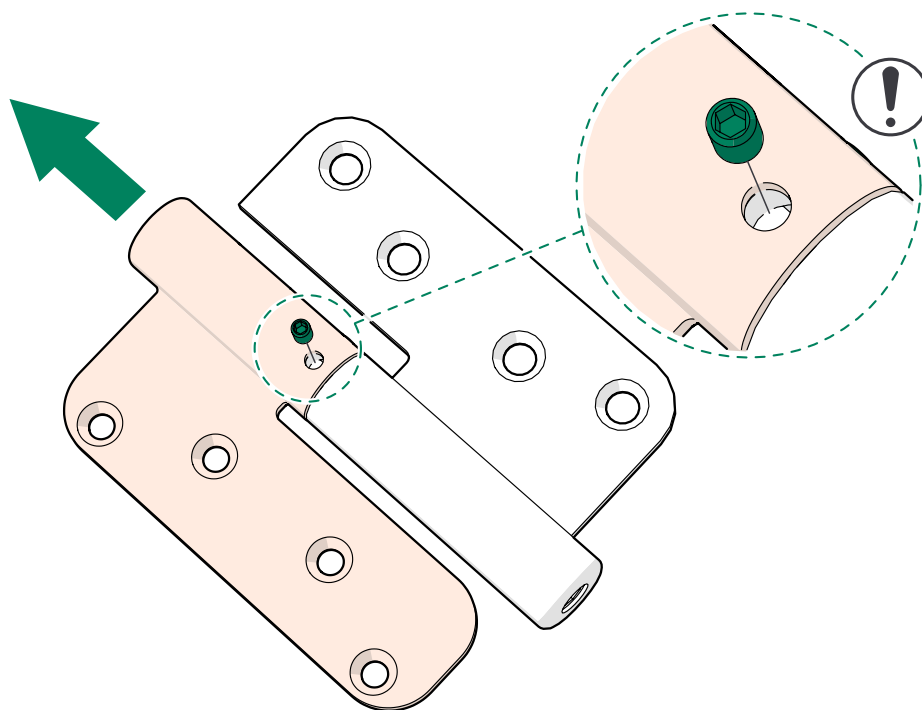


15.2 セルフクローズヒンジ付きのドアの設置

配送品にセルフクローズヒンジが含まれている場合は、このセクションの取扱説明書に従ってください。配送品にセルフクローズヒンジが含まれていない場合はロックケースの設置（121ページ）に進みます。

1. ドア本体から保護プラスチックを十分に剥がして、ヒンジを取り付けてください。
保護プラスチックは完全に取り外さないでください。
2. 両ヒンジの上部からM5x6ネジを取り外します。ヒンジをそれぞれ2つの部分に分けます。

❗ 注：ネジを一旦置いて、緩めないようにしてください。

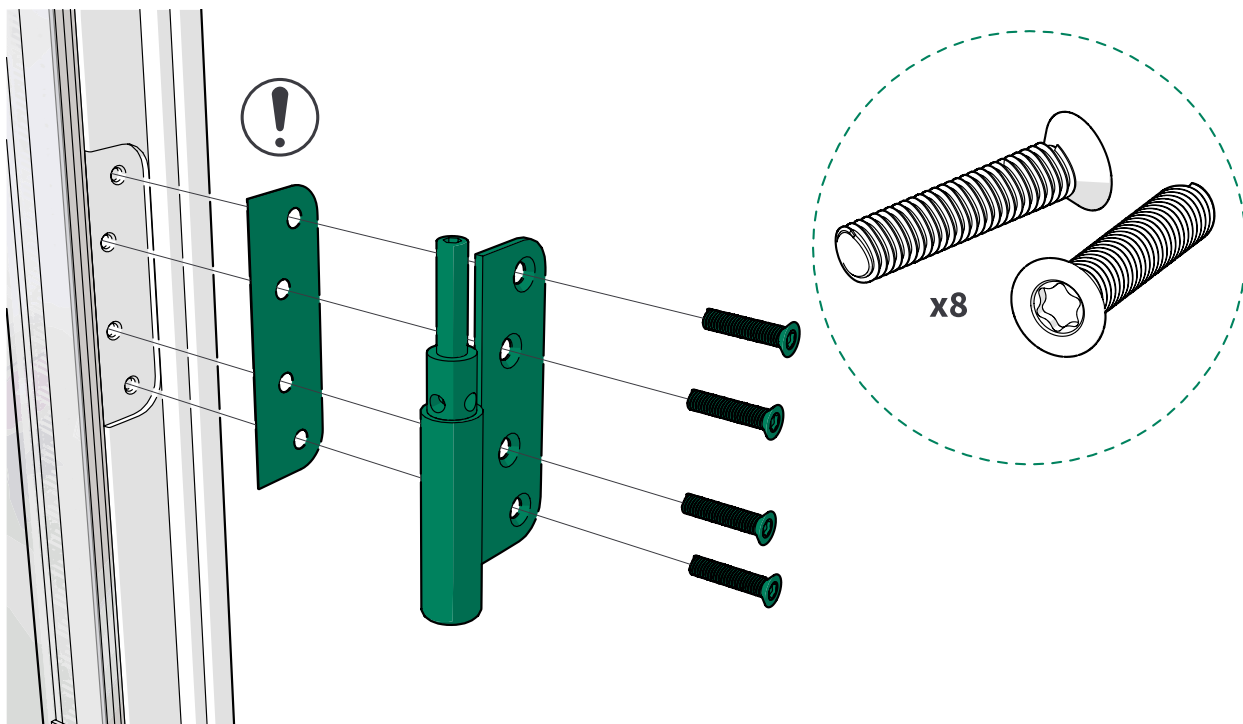


-
- This diagram illustrates the assembly of a rectangular panel. It includes several callouts:
 - A top-right callout shows two screws with the text "x8".
 - A top-right callout shows a bracket and a warning symbol (exclamation mark).
 - A bottom-left callout shows a bracket and four screws.
 - A bottom-right callout shows a bracket and four screws.
 - A left callout shows a bracket and four screws.

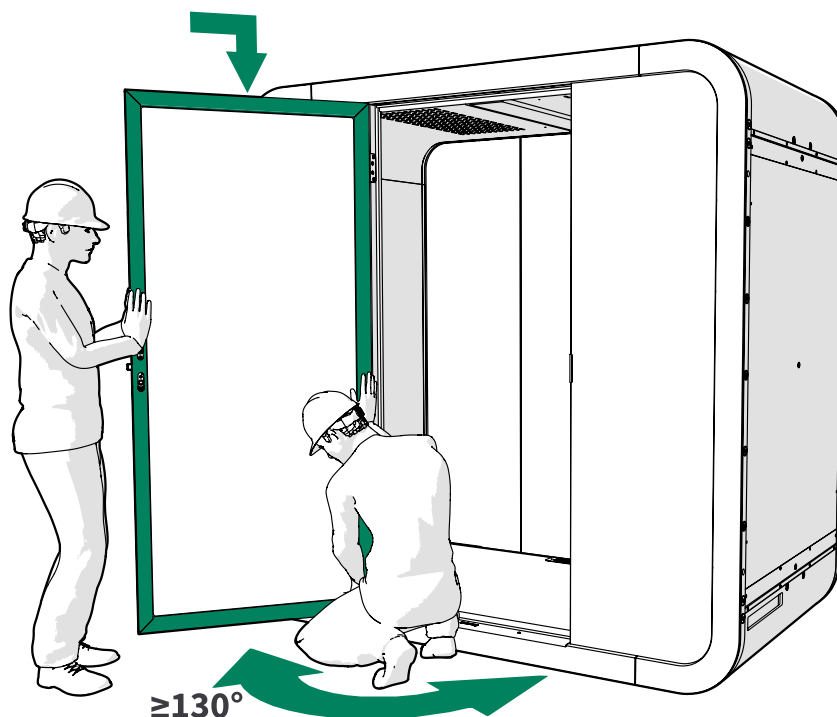
4. ヒンジの下半分を黒いM6x30タブタイトねじ(各4個)でドア本体に取り付け、1mm (1/16インチ) の調整プレートを下ヒンジ取り付け穴に取り付けます。手動工具でネジを締めてください。

❗ 注：アジャスタープレートは、下ヒンジの下のみに取り付けてください。

❗ 注：ドアガスケットがヒンジとドアフレームの間に挟まれていないことを確認してください。



5. ドアを持ち上げて、開いた状態 (〜130°) にしてください。

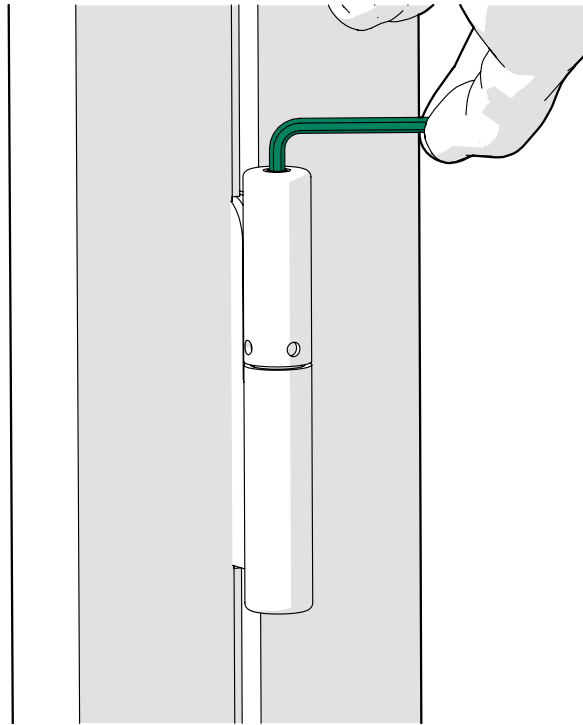


15.3 ドアの閉鎖速度調整

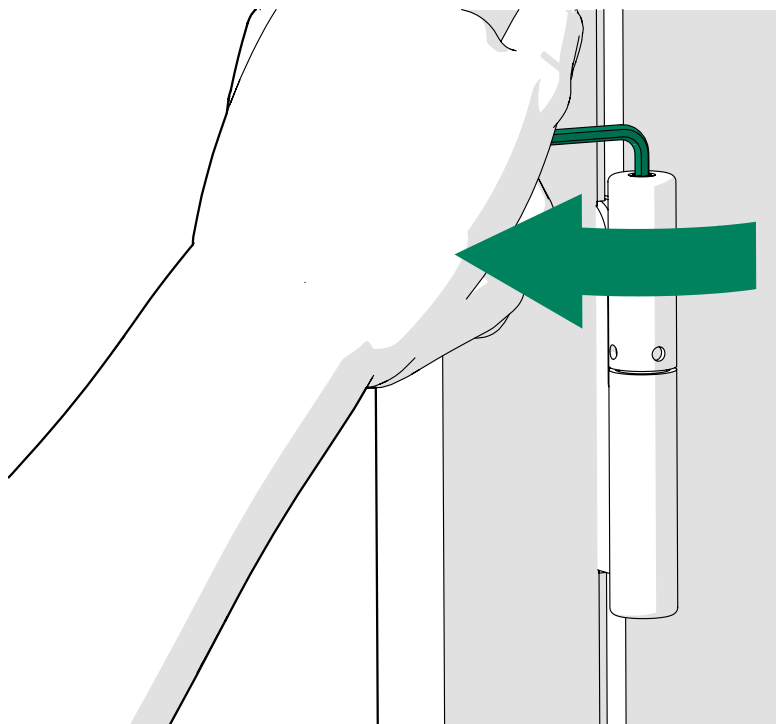
納品物に自動閉鎖ヒンジが同梱されており、ドアがより早く閉まるようにしたい場合は調整可能です。調整する前にドアをテストしてください。

❗ 注：ドアが右開きの場合、バネを反時計回りに調整します。

1. 5mmの六角レンチをヒンジ上部に差し込みます。

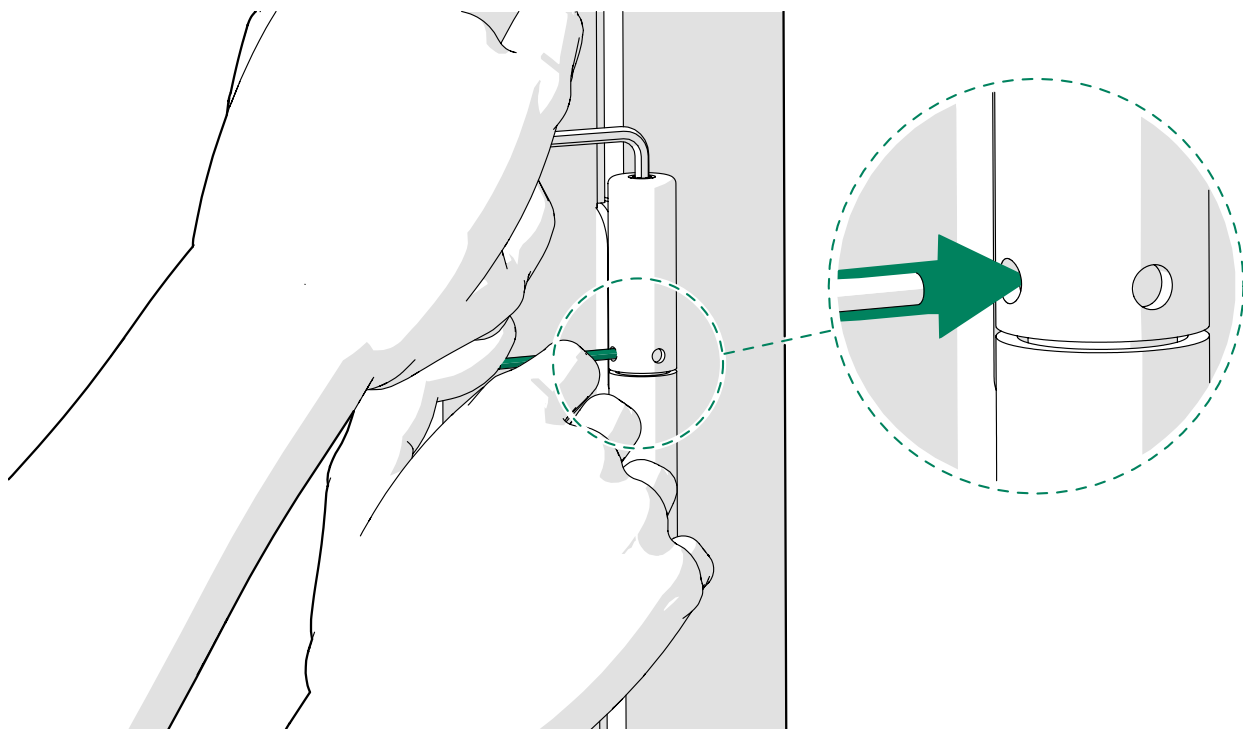


2. 5mmの六角レンチでネジを時計回りに抵抗を感じるまで締めます。
抵抗を感じる場所で、キーが押し返されます。



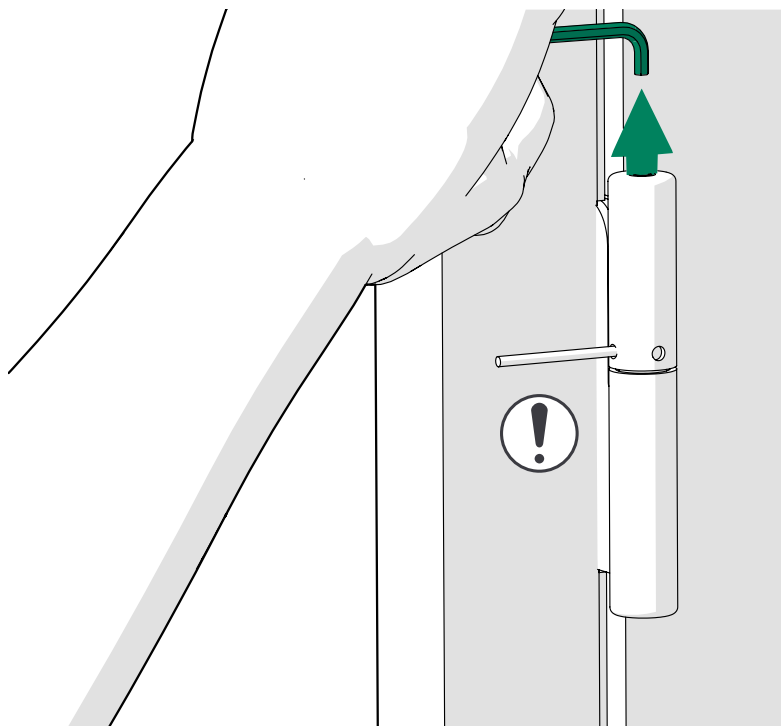
3. 抵抗に対抗して六角レンチを持ち、ロックピンをヒンジの左側でドア本体に近い穴に差し込みます。

❗ 注：ロックピンを挿入するため、ヒンジの内筒の穴と外部表面の穴の位置を合わせます。

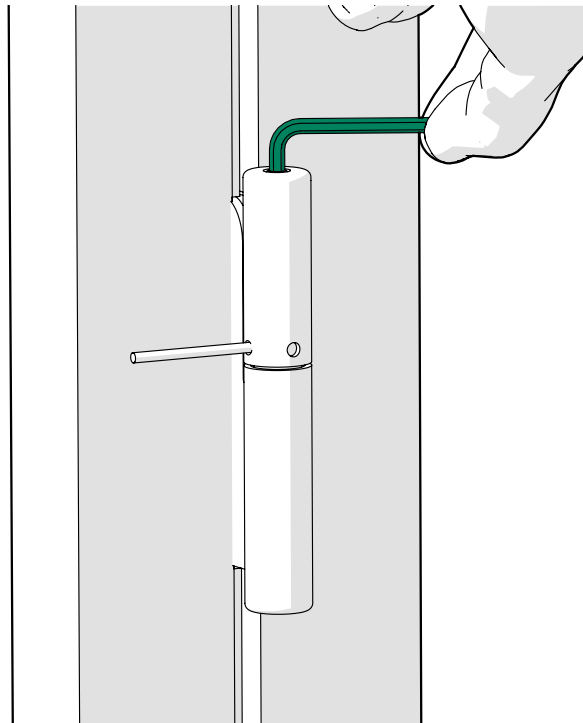


4. 六角レンチを取り外します。

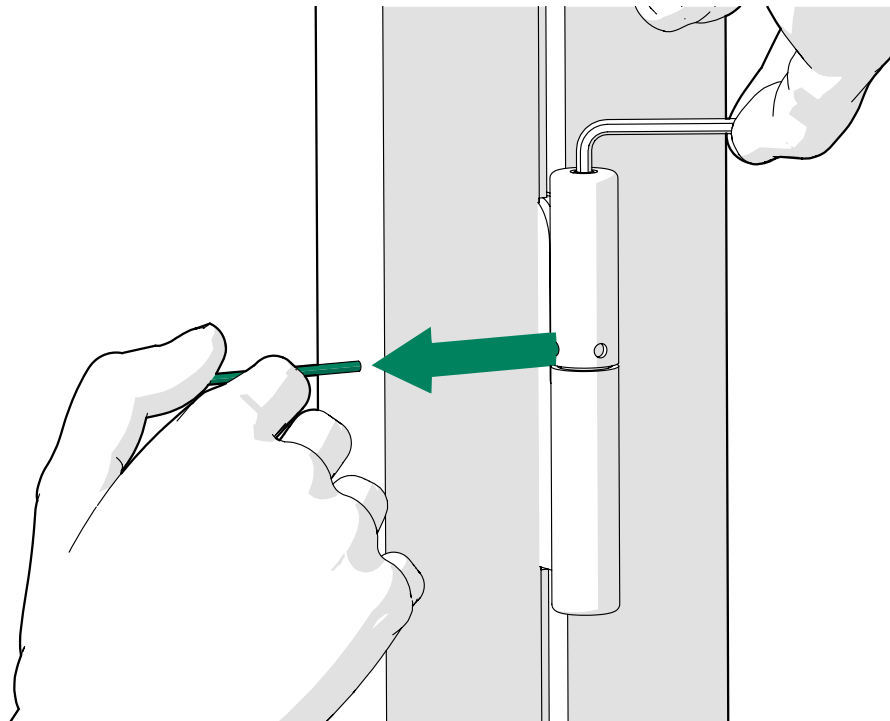
❗ 注：ロックピンは取り外さないでください。これがバネを動かないようにするため、バネが緩んで壊れることはありません。



5. もう一度、5mmの六角レンチをヒンジ上部に差し込みます。

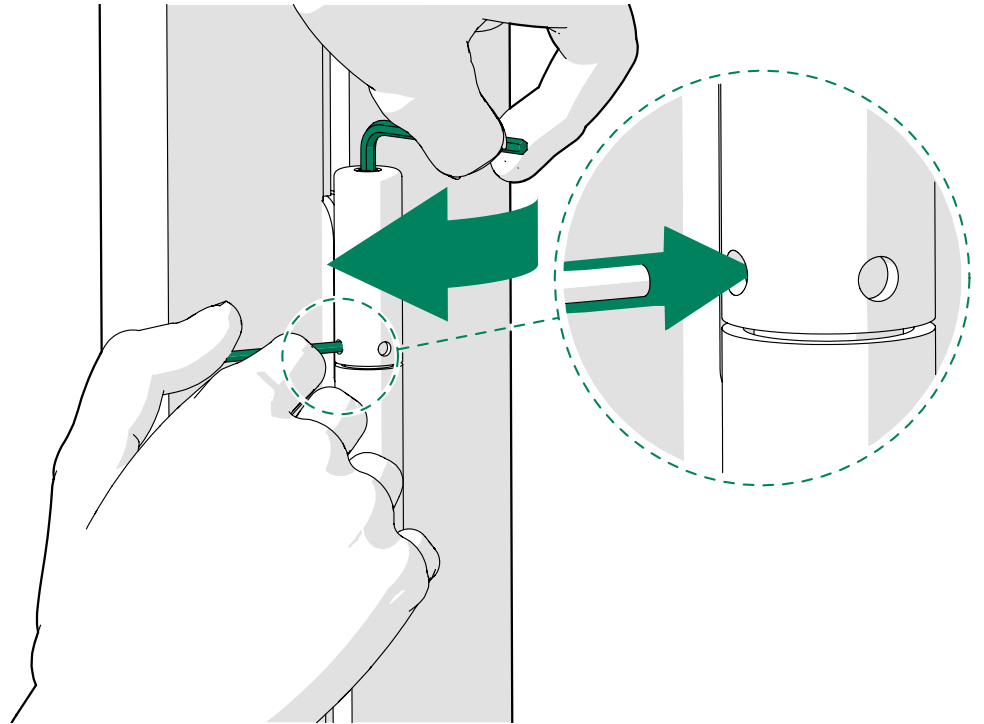


6. 六角レンチを固定して、ロックピンを外します。



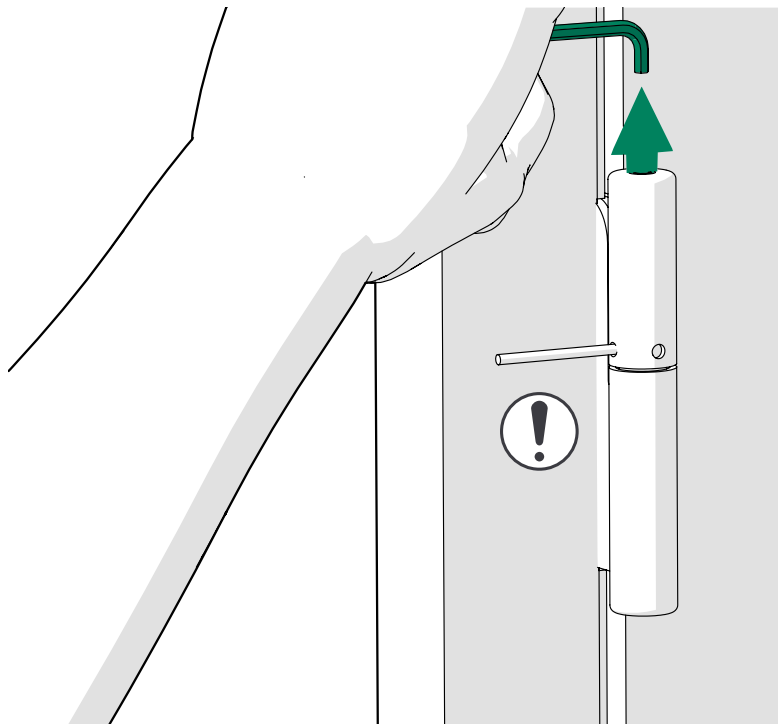
7. 六角レンチを1/4回転させて、ロックピンをヒンジの左側でドア本体に近い穴に差し込みます。

❗ 注：ロックピンを挿入するため、ヒンジの内筒の穴と外部表面の穴の位置を合わせます。



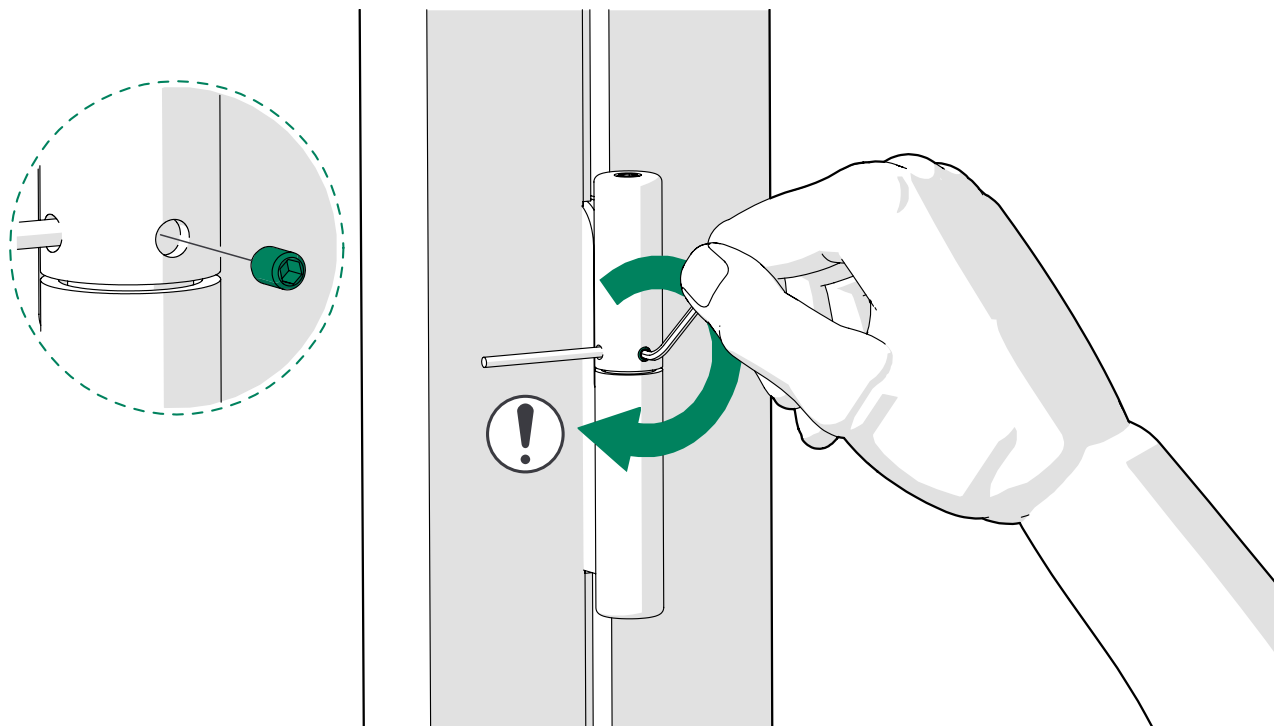
8. 六角レンチを取り外します。

❗ 注：ロックピンは取り外さないでください。これがバネを動かないようにするため、バネが緩んで壊れることはありません。

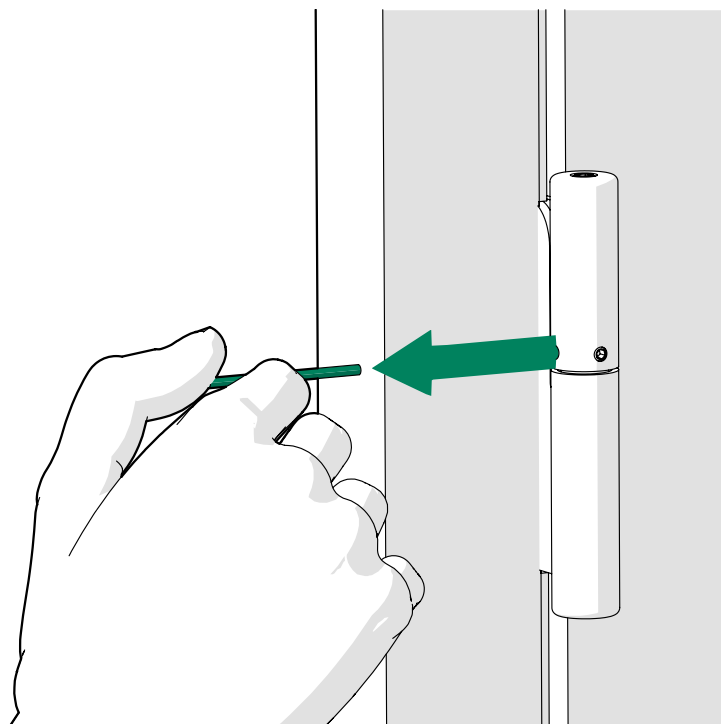


9. M5×6ネジを取り付けます。

ⓘ 注：ネジが完全に固定される前に、ロックピンを取り外さないでください。



10. ロックピンは取り外します。

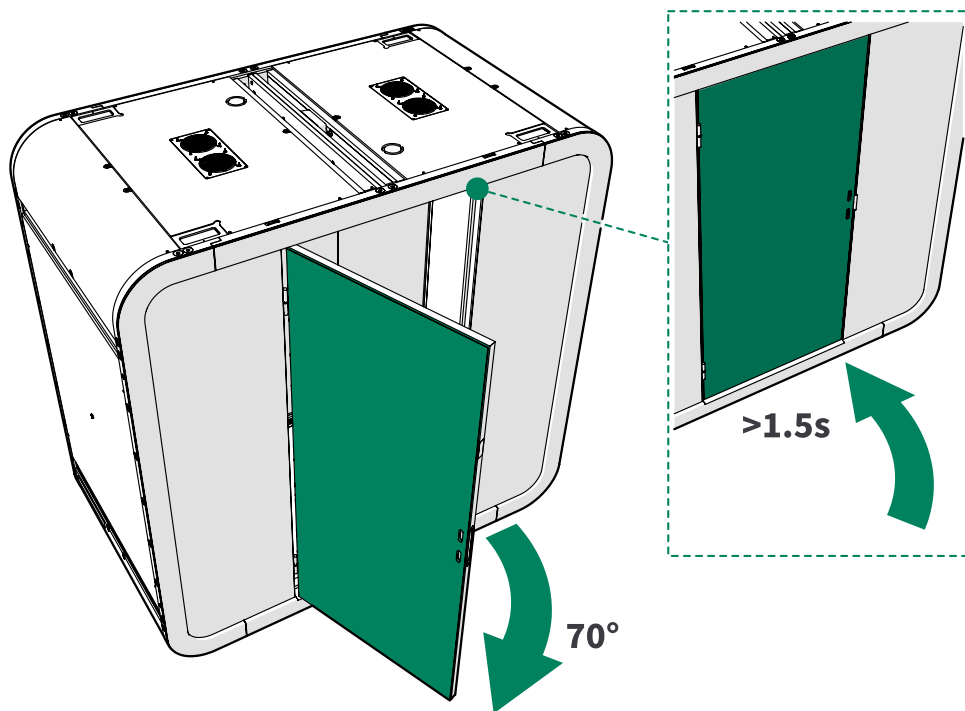


11. 下のヒンジを上のに同じように調整します。

ⓘ 注：両方のヒンジは、必ず同じ設定で調整する必要があります。

12. ドアをテストし、必要に応じて繰り返します。

- ① 注：バネは、抵抗を感じる場所から最大6と1/4回転締めることができます。
- ① 注：ドアが閉まる際、70°の角度から少なくとも1.5秒以上かかる必要があります。

**15.4** ロックケースの設置

ロックケースをM5x25のネジ (2個) でドアに取り付けてください。

- ① 注：スマートロックキットで使用するロックケースを取り付ける場合は、ロックケースの向きが正しい(掛け金がロックラッチの上をスライドする)ことを確認してください。

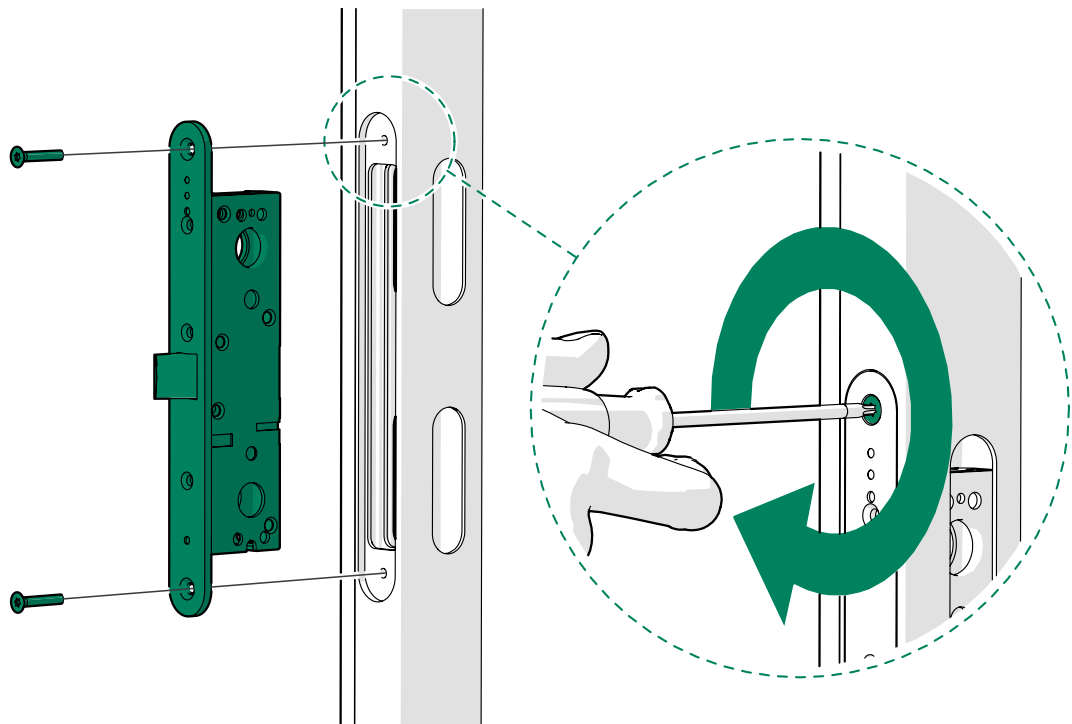


図 5 : 標準ロックケース

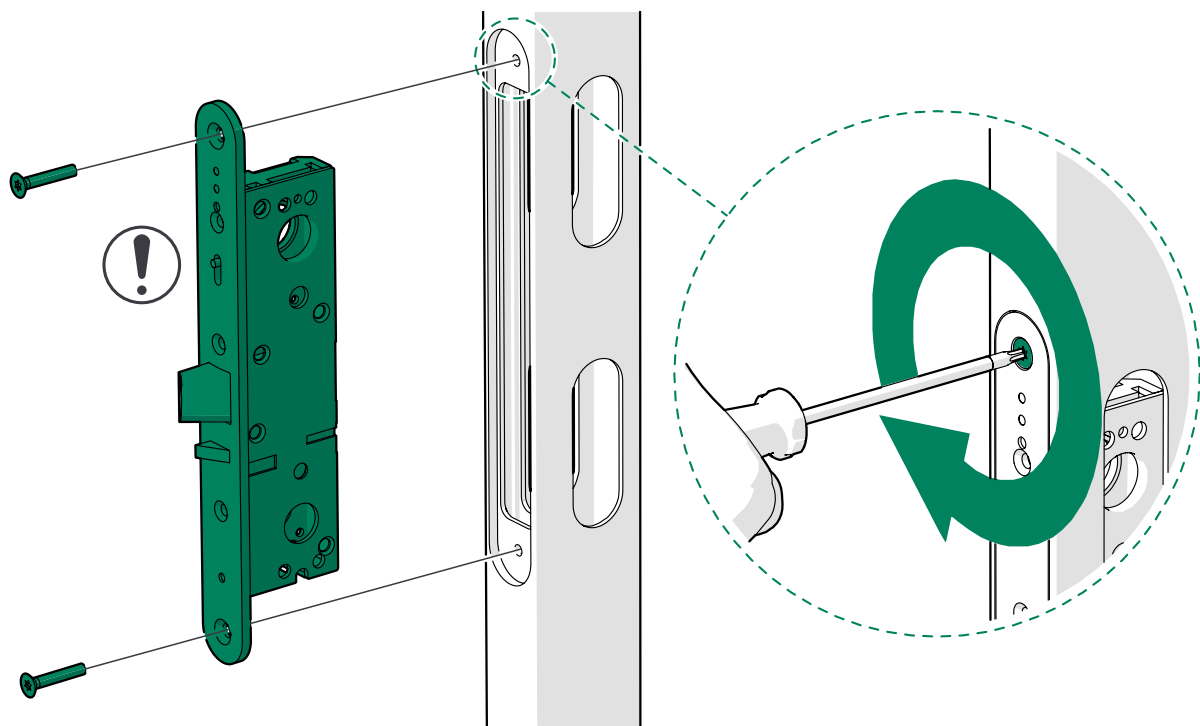


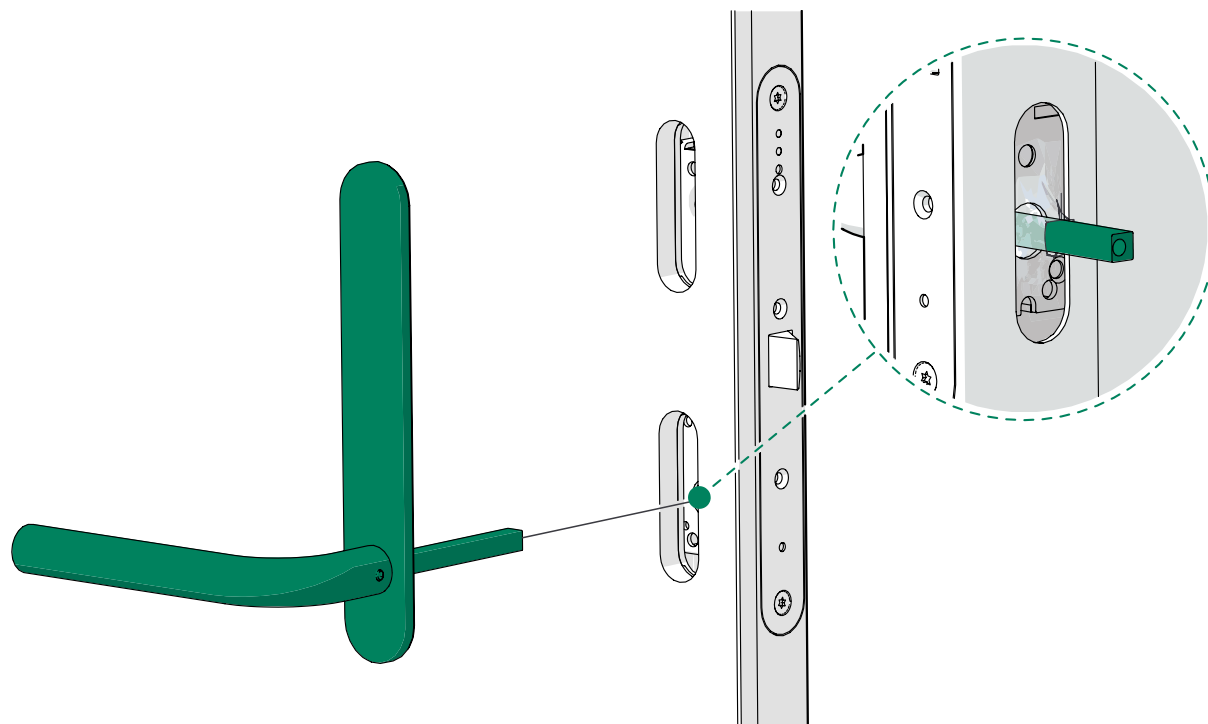
図 6 : スマートロックキット付きロックケース

15.5 ドアハンドルの設置

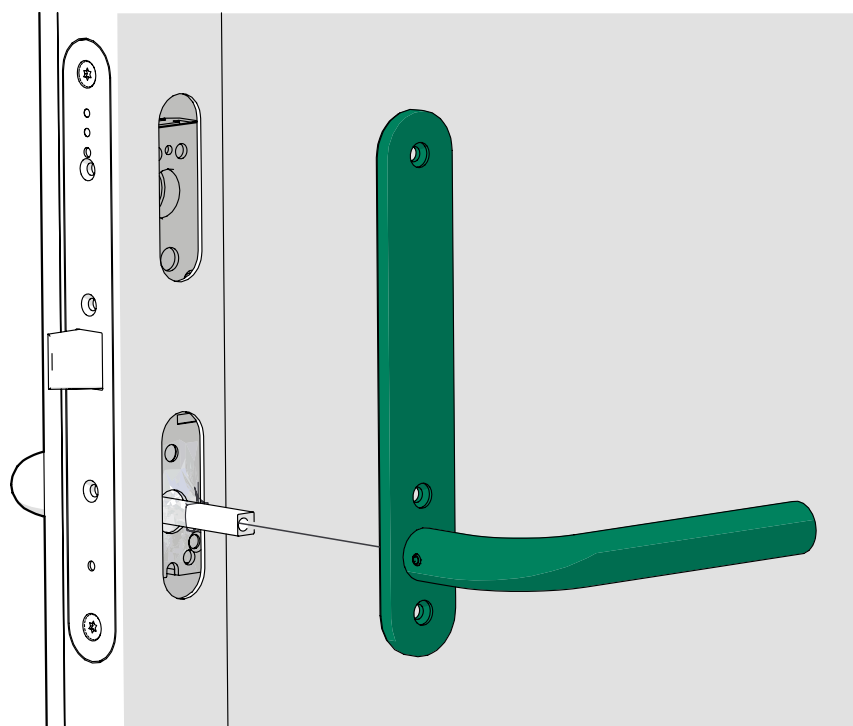
スマートロックハンドルをドアに取り付ける場合は、[スマートロックハンドルの取り付け](#)をご覧ください。

1. ドアの内側にある保護プラスチックを取り外してください。

2. スピンドルを取り付けたハンドルをドアの外側に押し込んでください。
ロックケースのプラスチックをスピンドルで貫通させてください。

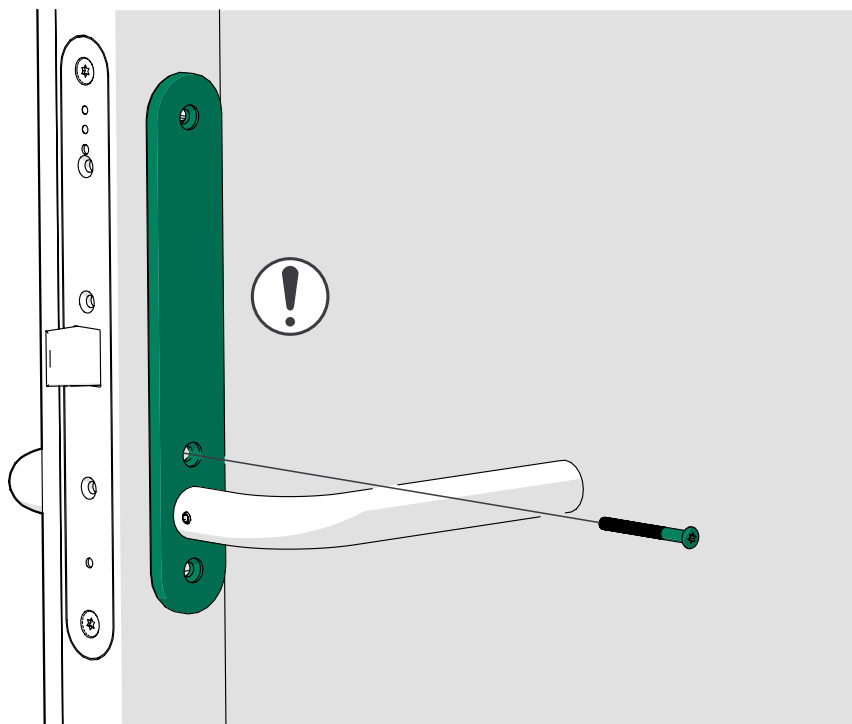


3. 2つ目のハンドルをドアの内側に押し込んでください。

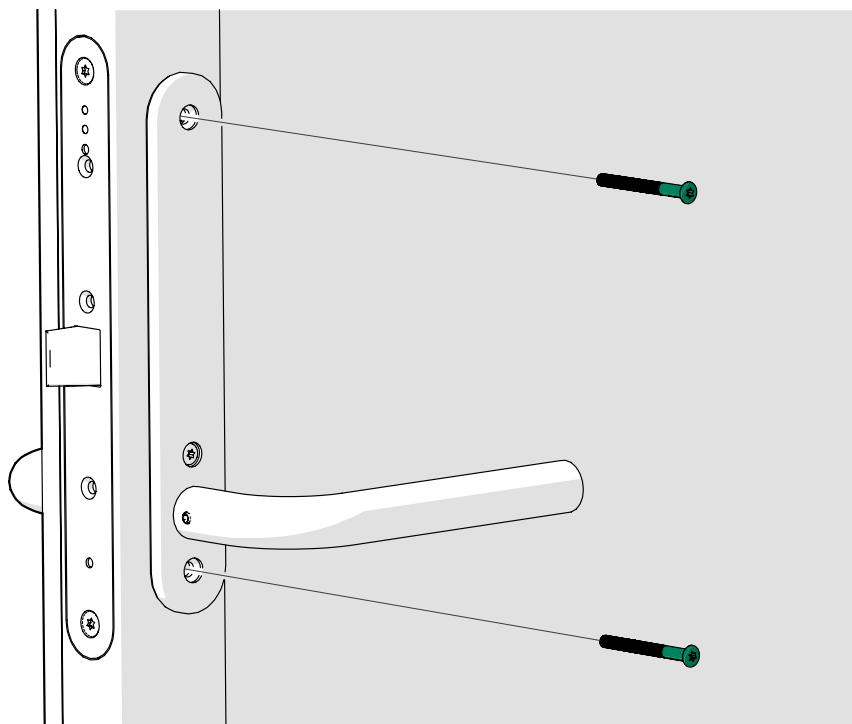


4. ドアの内側からハンドルの中央の穴に**M5x46**のネジを取り付けてください。

ⓘ 注：カバープレートが真っ直ぐに取り付けられているか確認してください。



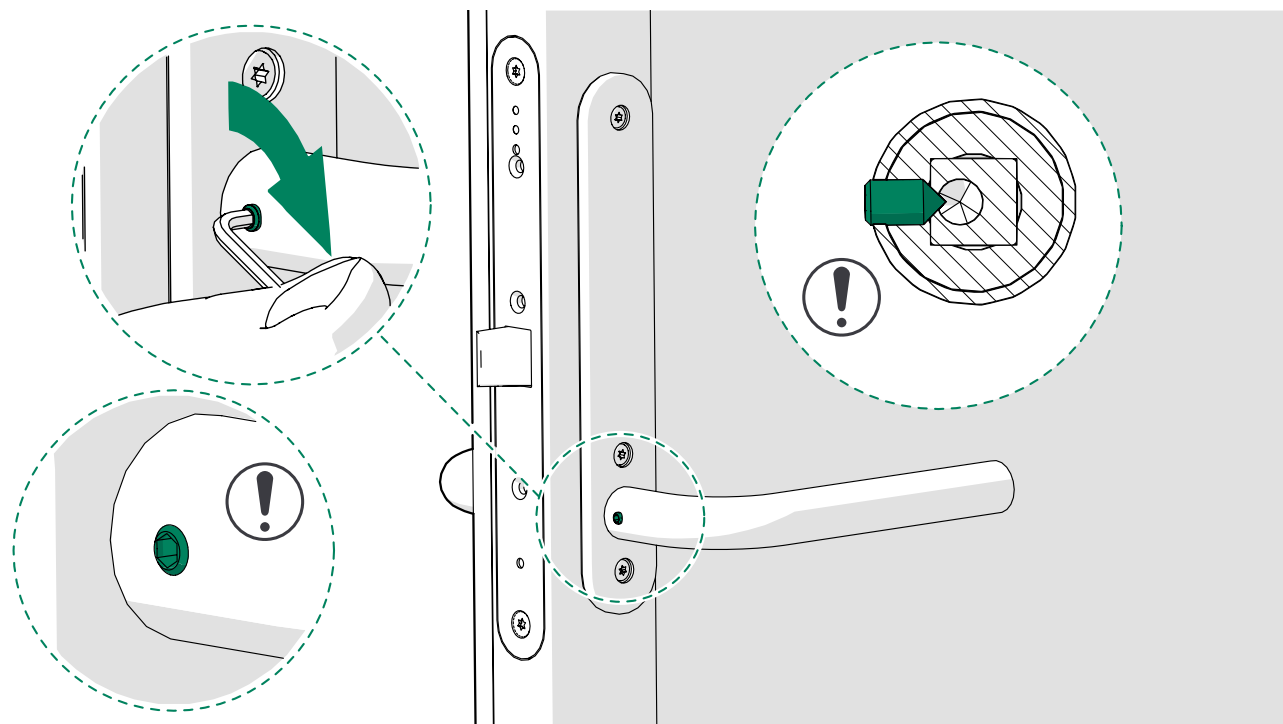
5. 扉の内側から空いた穴に**M5x46**のネジ (2個) を取り付けてください。



6. 内側のハンドルの止めネジを締めてください。

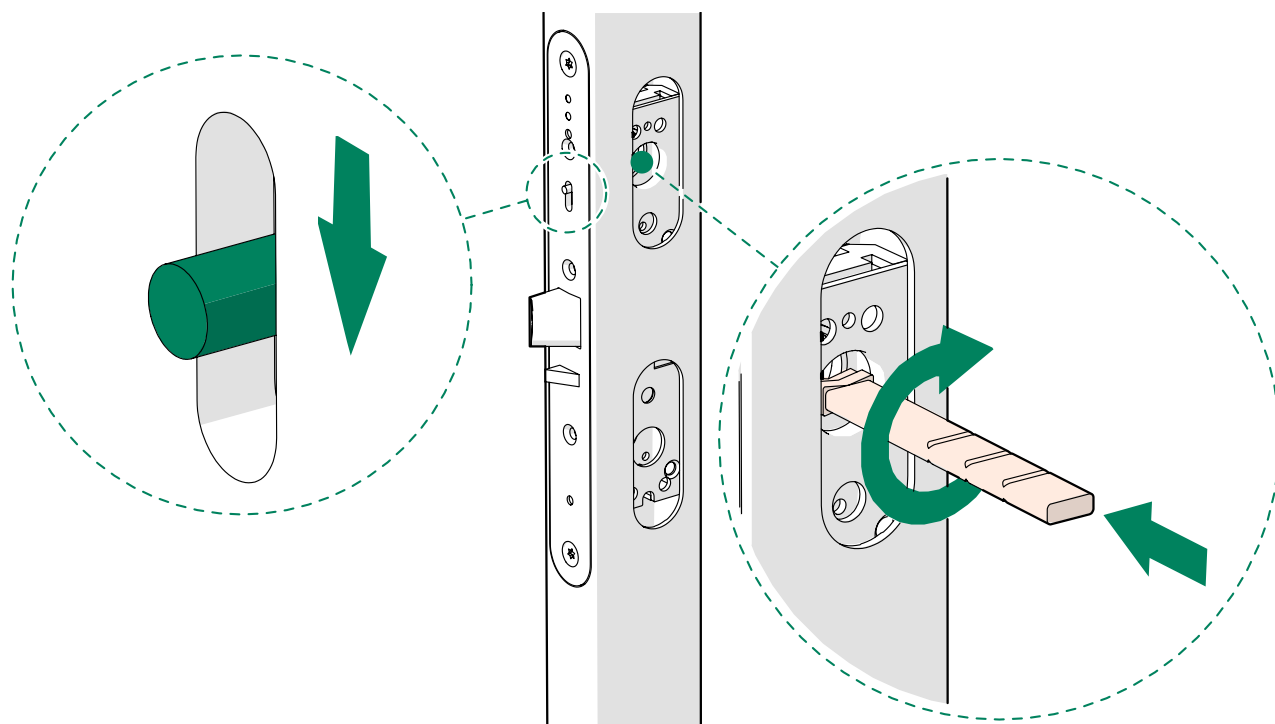
締め込むほど抵抗が増えていきます。セットスクリューがスピンドルに突き刺さった時、抵抗が止まるのを感じることができます。

❗ 注：最終的には、セットスクリューのヘッドがハンドルの表面より少し出る状態になります。



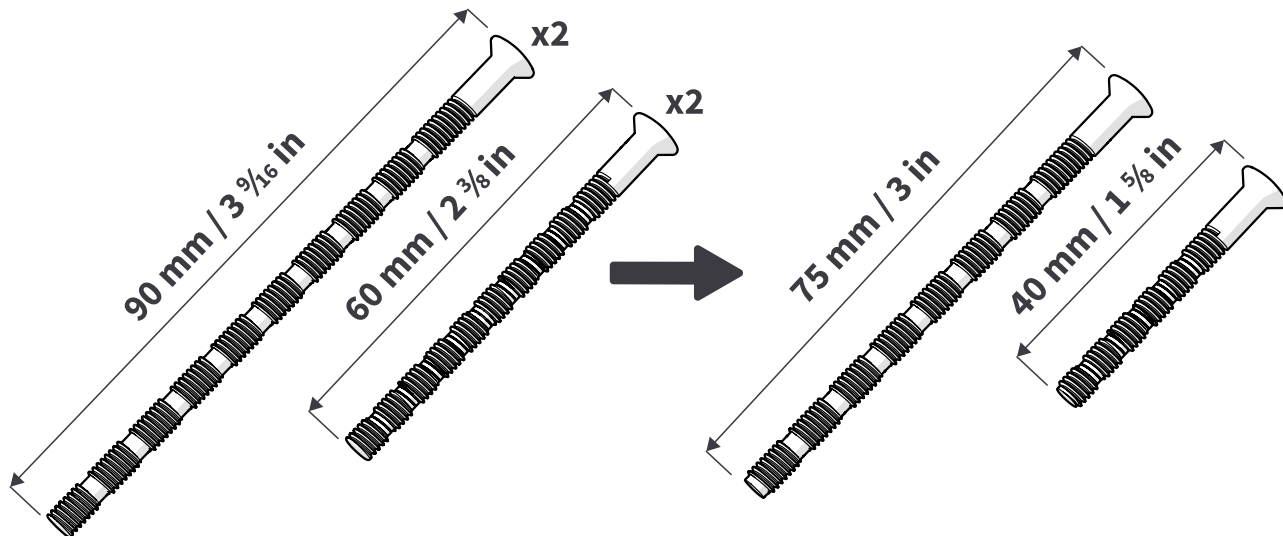
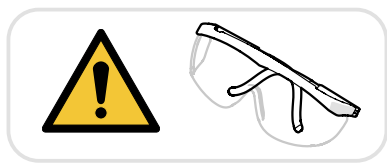
15.6 スマートロックハンドルの設置 (別売)

1. ドアの上部開口部のツイストスピンドルを回転させ、スライディングスニブを中央の位置まで押し下げ、ドアがロックされないようにしてください。



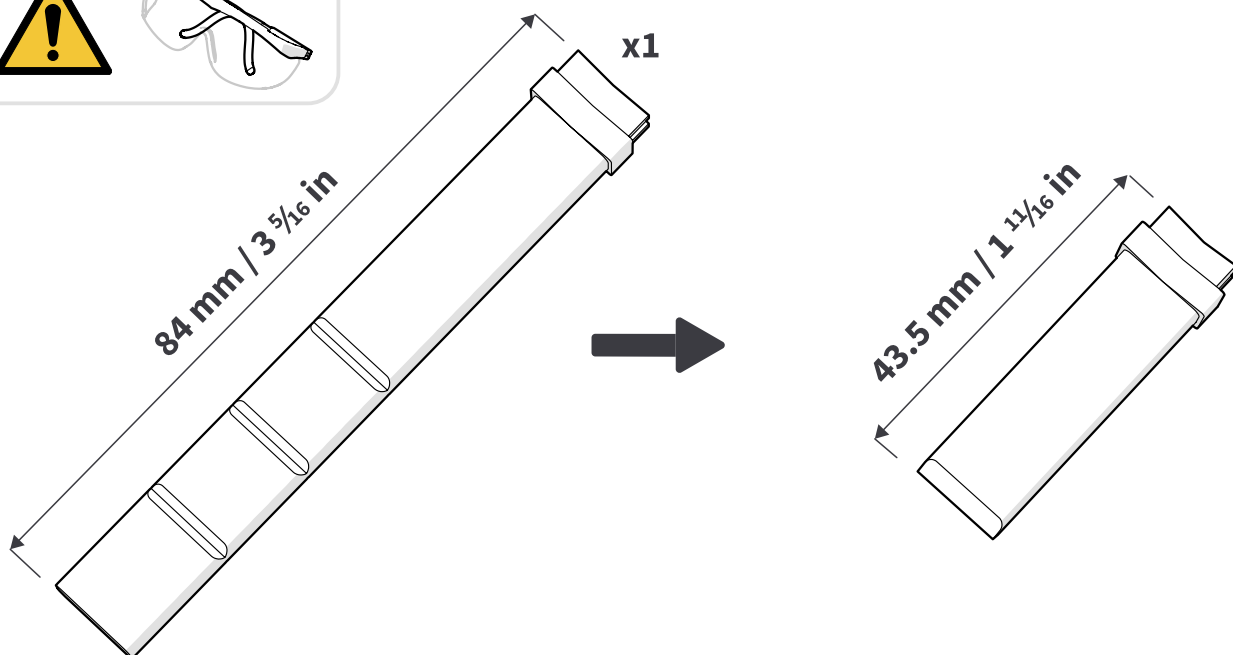
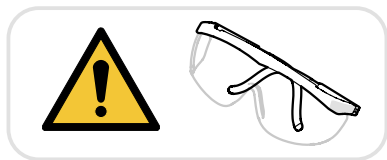
2. M5ネジを適切な長さに調節してください。

 警告：ネジを切るときは、安全メガネを着用してください。

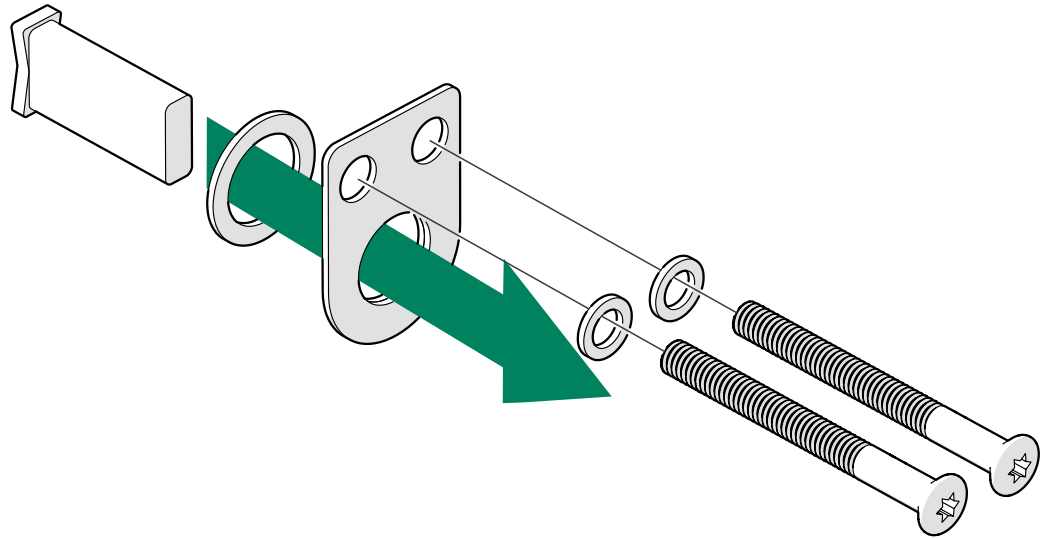


3. ツイストスピンドルの最初の溝で正しい長さに短くしてください。

 警告：ツイストスピンドルを切るときは、安全メガネを着用してください。

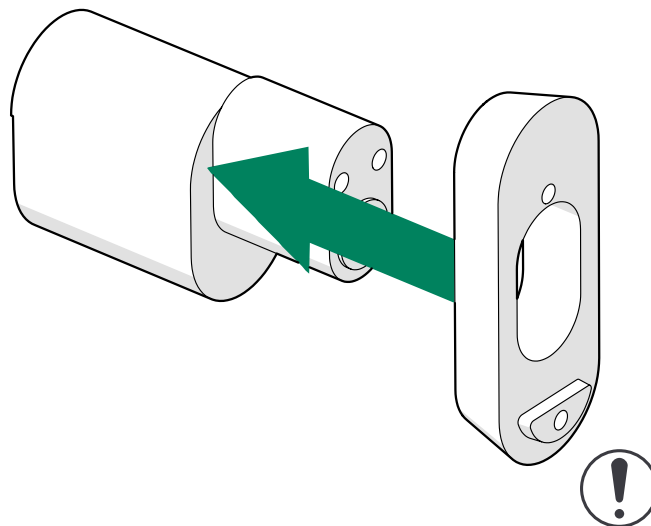


4. コネクタプレート、ツイストスピンドル、先に切ったM5x40のネジ (2個) を組み立ててください。



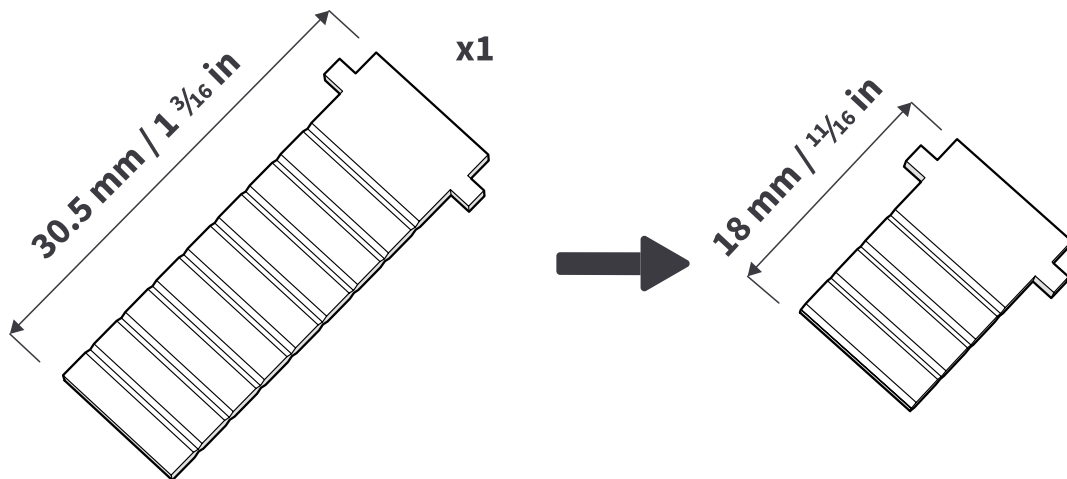
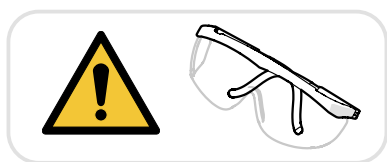
5. スマートロックシリンダーとシリンダーエスカッションを組み立ててください。

ⓘ 注：シリンダーのエスカッションは、必ず右側を上にして取り付けてください。



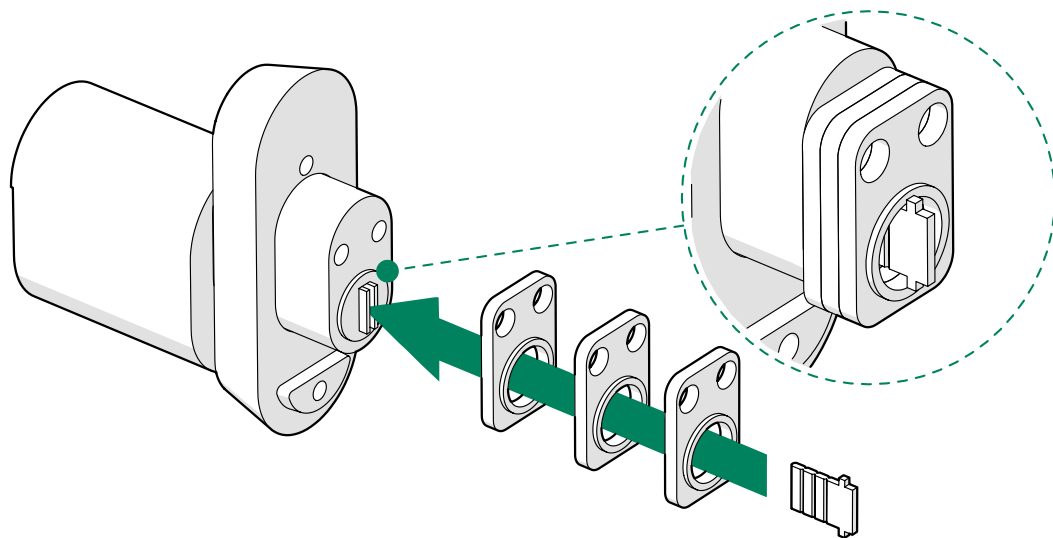
6. ツイストスピンドルの3つ目の溝で正しい長さに短くしてください。

 警告：ツイストスピンドルを切るときは、安全メガネを着用してください。

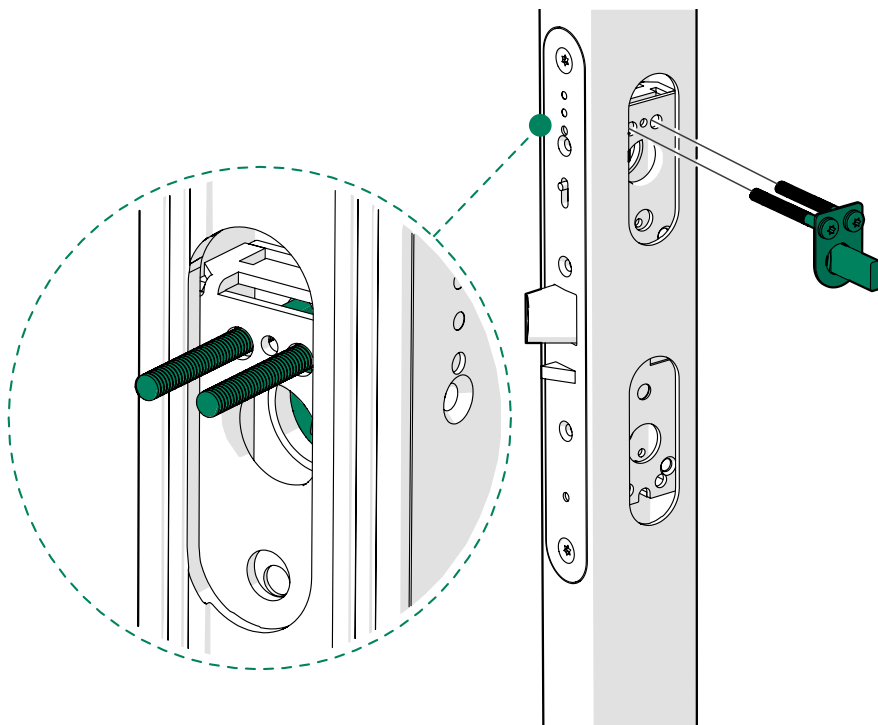


7. ツイストスピンドルをエクステンションプレートに通してスマートロックに押し込んでください。

Eシリンダー錠が38mm以上の場合は、延長プレートは不要です。



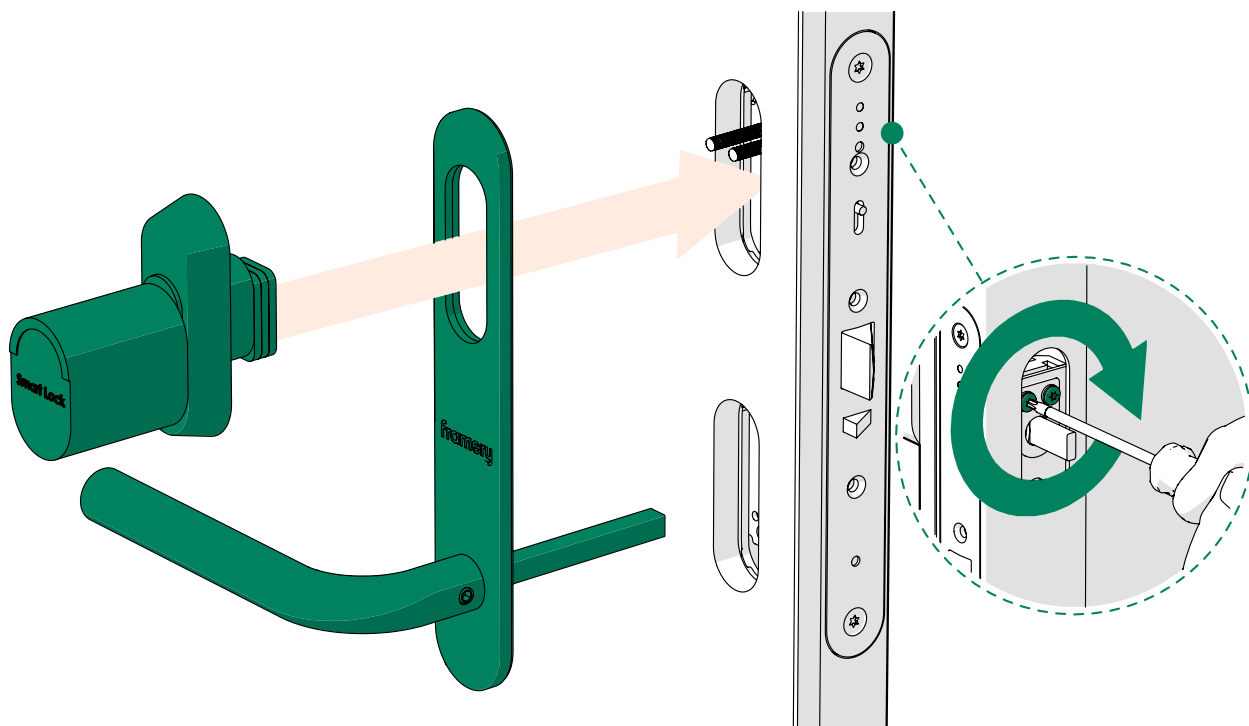
8. 組み立てたコネクタプレートをドア上部開口部に取り付けてください。



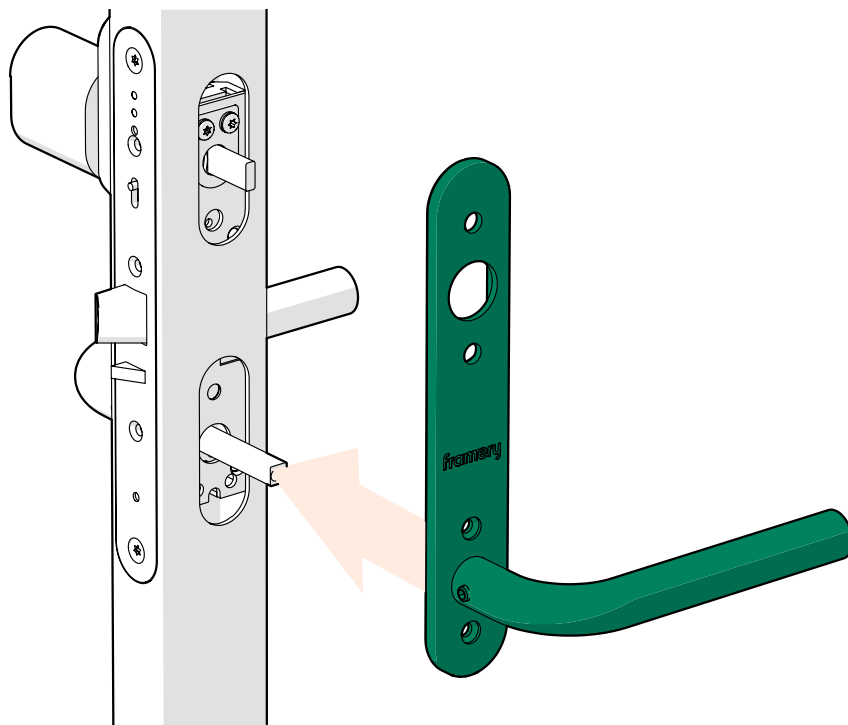
9. 組み立てたスマートロックとスピンドル付きドアハンドルを外側からドアに取り付け、内側からネジ (2個) を締めてください。

手動ドライバーでネジを締めてください。締めすぎないようにしてください。

ロックラッチが元の位置に簡単に戻らない場合は、ネジを少し緩めて、ロック機能をもう一度確認してください。

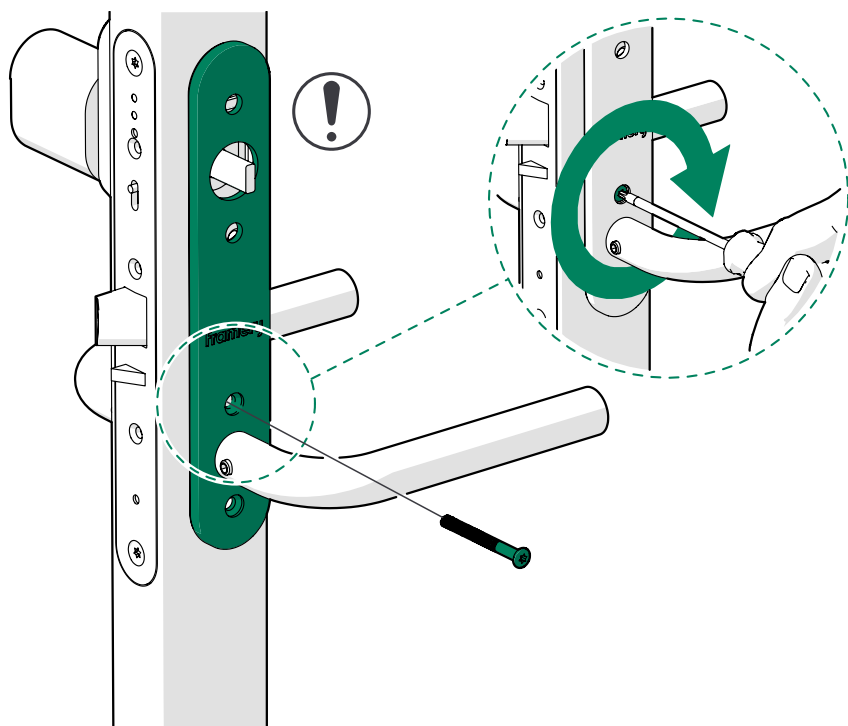


10. ドアハンドルのカウンター部分を内側からドアに押し込んでください。



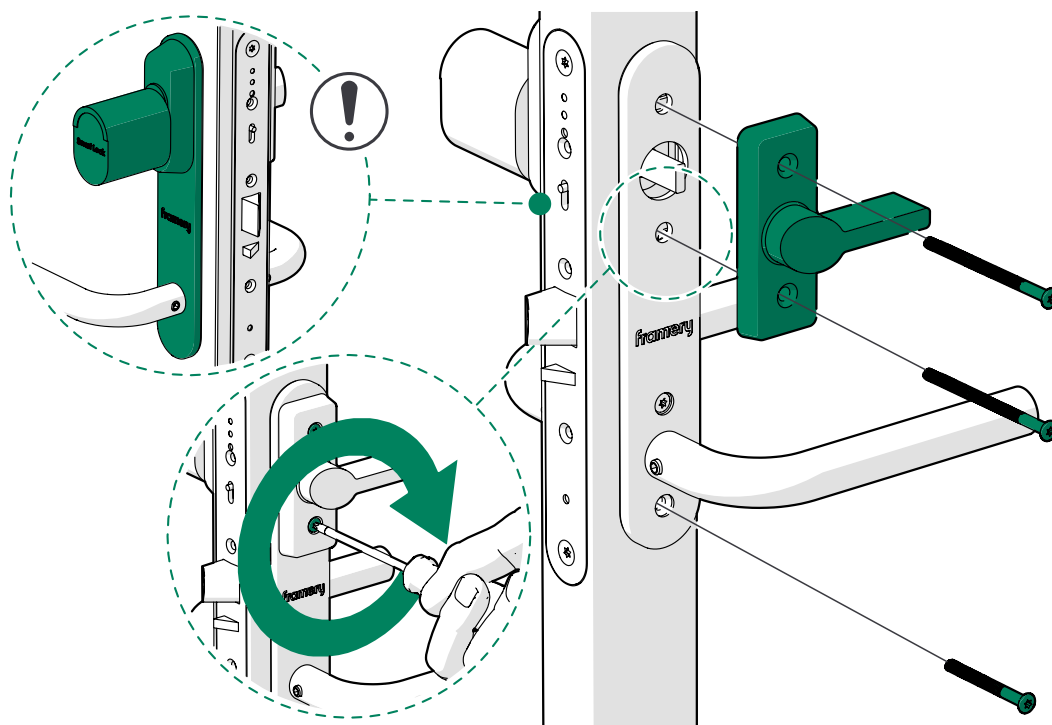
11. ドアハンドルの上にあるM5x32のネジを内側から締めてください。

ⓘ 注：ネジを完全に締める前に、カバープレートの真直度を確認してください。



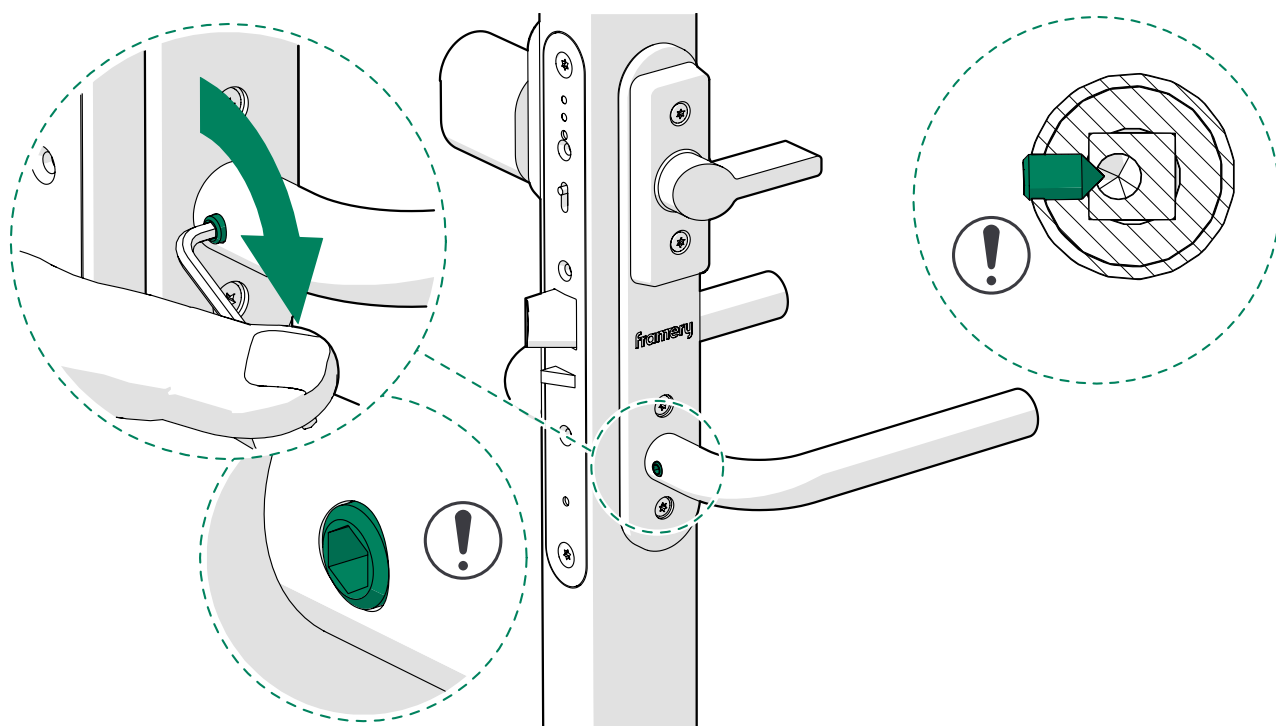
- 12.** サムターンを先に切ったM5x61のネジ (2個) で、ハンドルプレートを残りのM5x32のネジで内側から取り付けてください。

❗ 注：つまみねじを完全に締める前に、ドアの外側のカバープレートの真直度を確認してください。



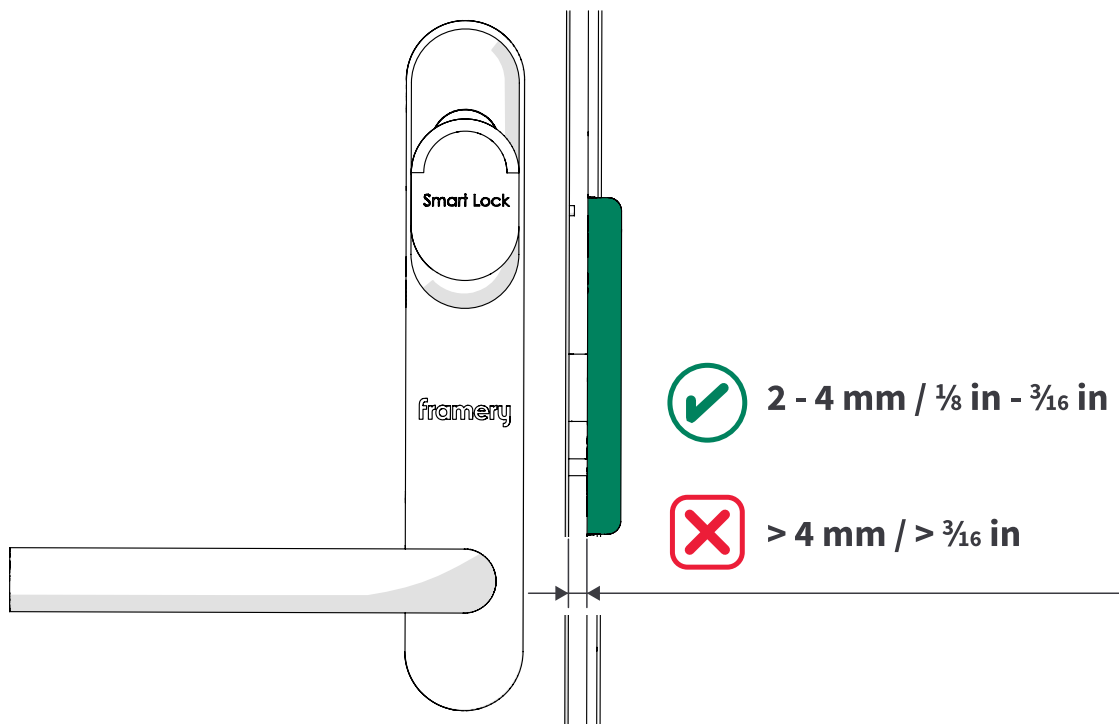
- 13.** 内側のハンドルの止めネジを締めてください。

❗ 注：止めネジを締めてください。締め込むほど抵抗が増えていきます。最終的には、セットスクリューのヘッドがハンドルの表面より少し出る状態になります。



14. ロックとストライクプレートの間の隙間を確認してください。

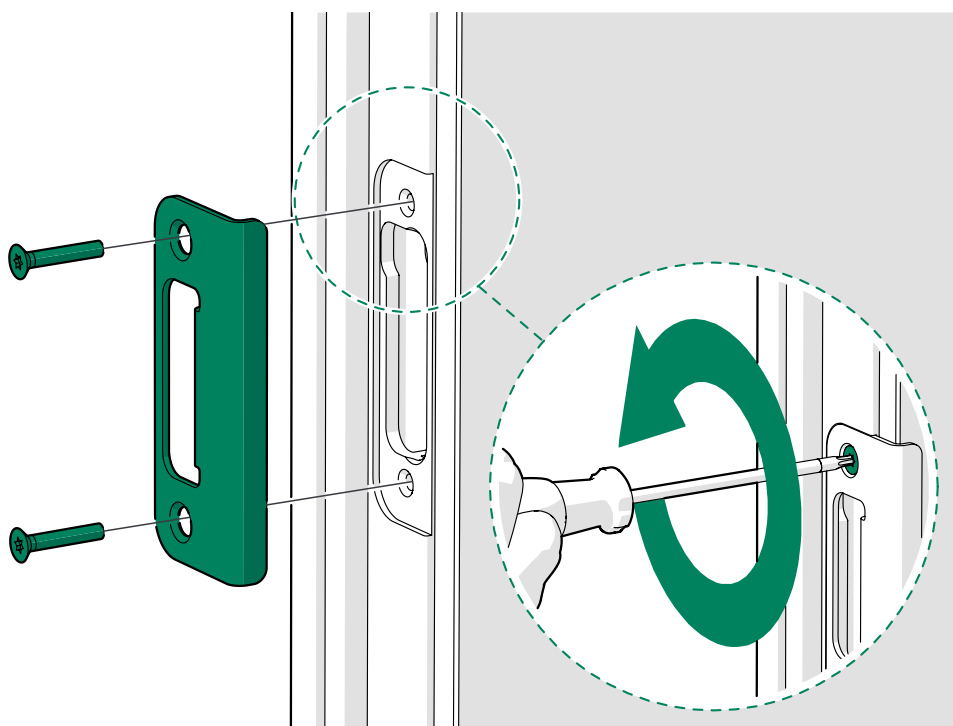
隙間が4mmより大きい場合は、ストライクプレートの調節を参照してください。



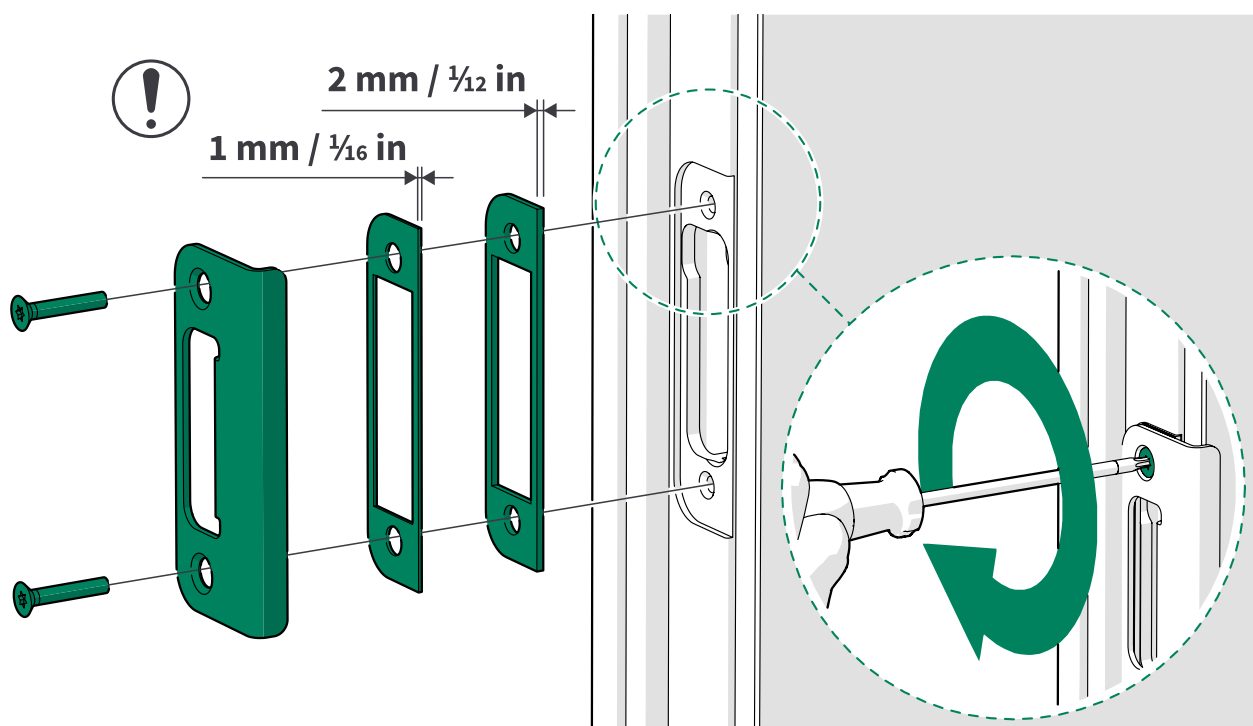
15.6.1 ストライクプレートの調節

錠前とストライクプレートの隙間は、納品時に同梱されているアジャスタープレートで調節できます。

1. ストライクプレートを取り外してください。

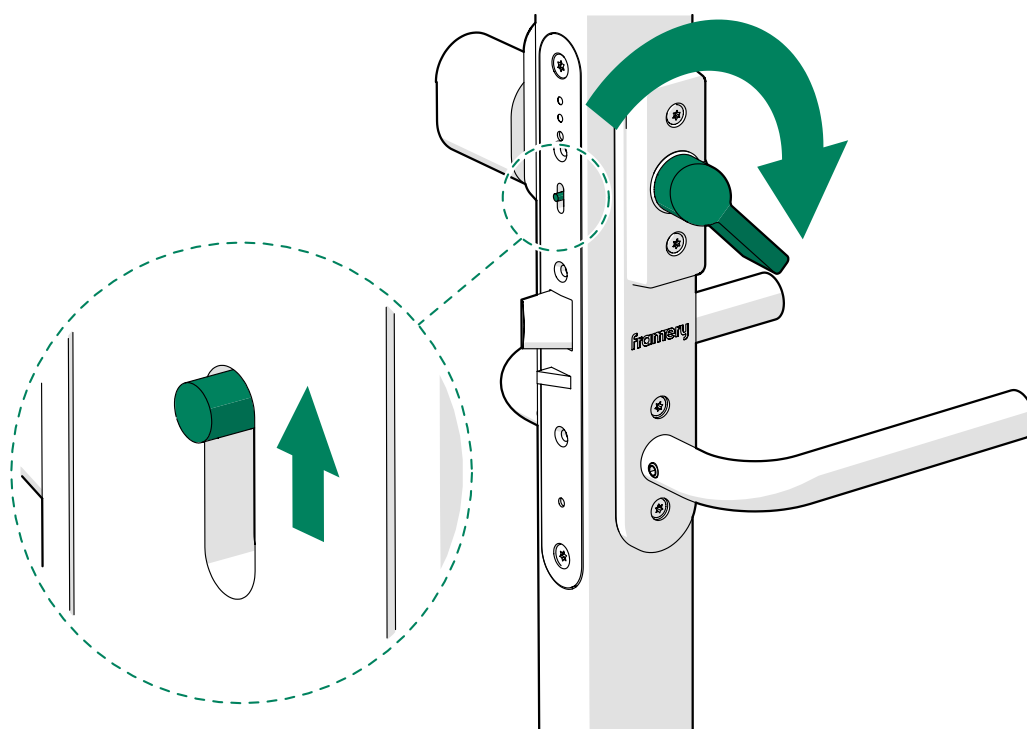


2. ストライクプレートとアジャストプレートを再度取り付けてください。

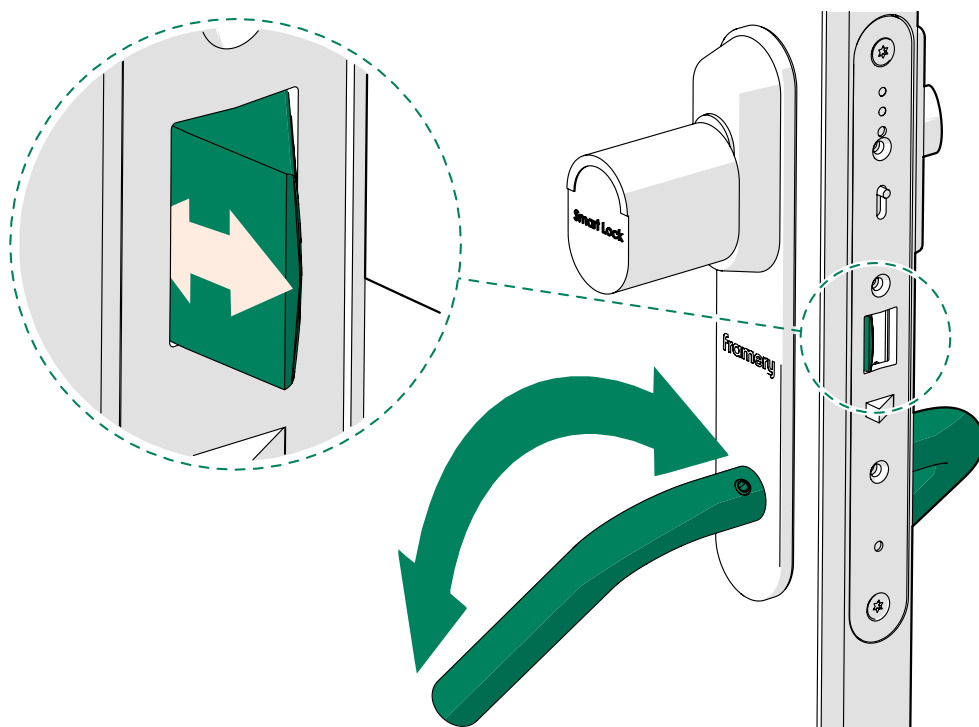


15.6.2 ロック機能を確認してください。

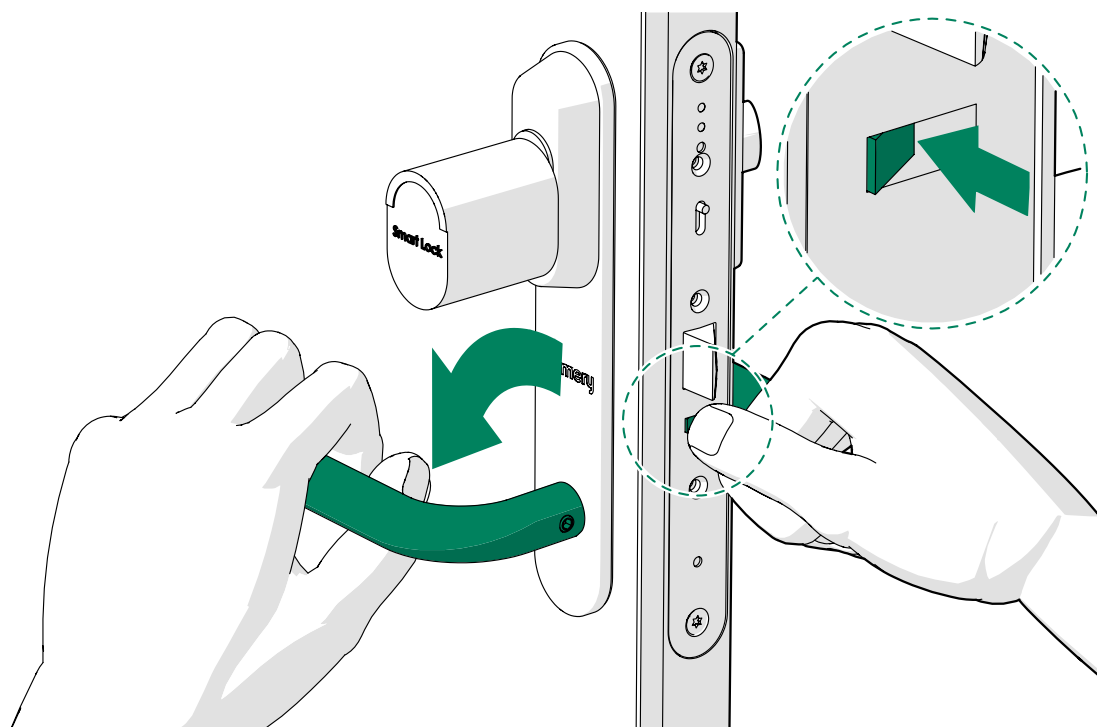
1. ドアを開けた状態で、サムターンを回しながら、スライドスニブを押し上げてください。



2. ドアハンドルを回して、ロックラッチの機能を確認してください。
ロックラッチがスタートポジションに簡単に戻らない場合は、本製品の取扱説明書をご覧ください。

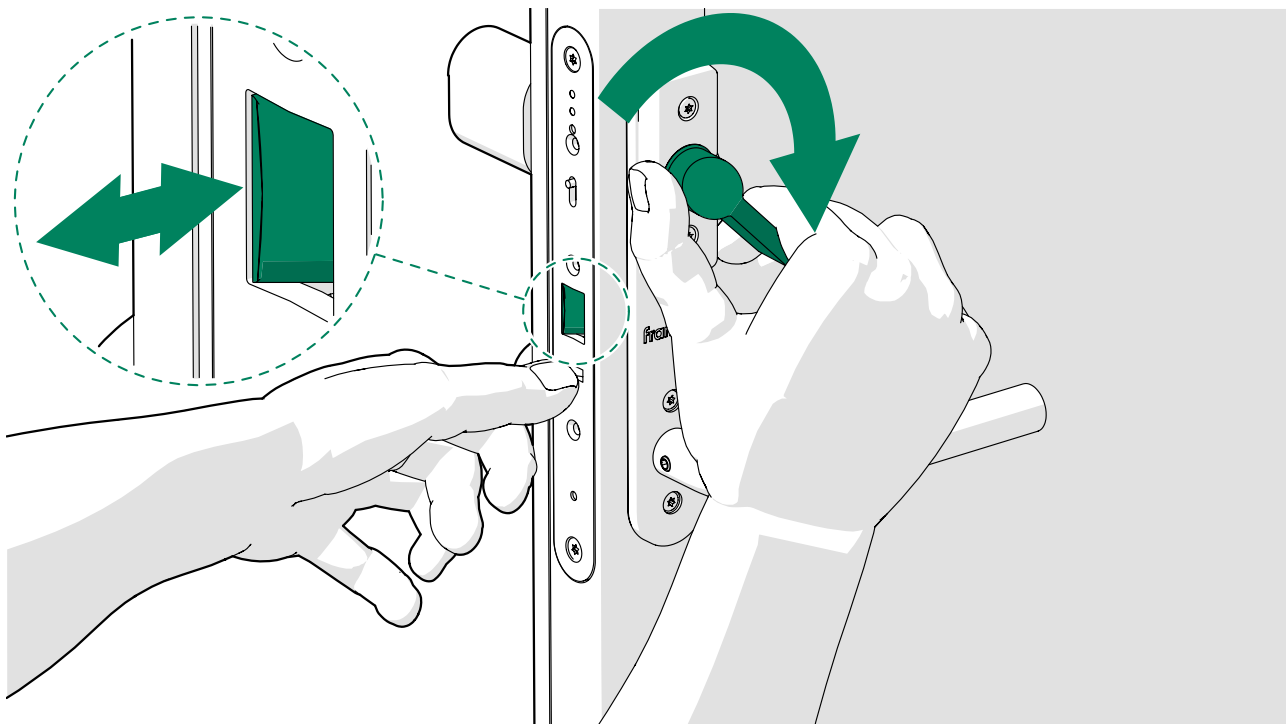


3. 小さい方のラッチを親指で押し込み、ドアハンドルを回してみてください。
ハンドルを押し下げることができなければ、ロックは正しく機能しています。

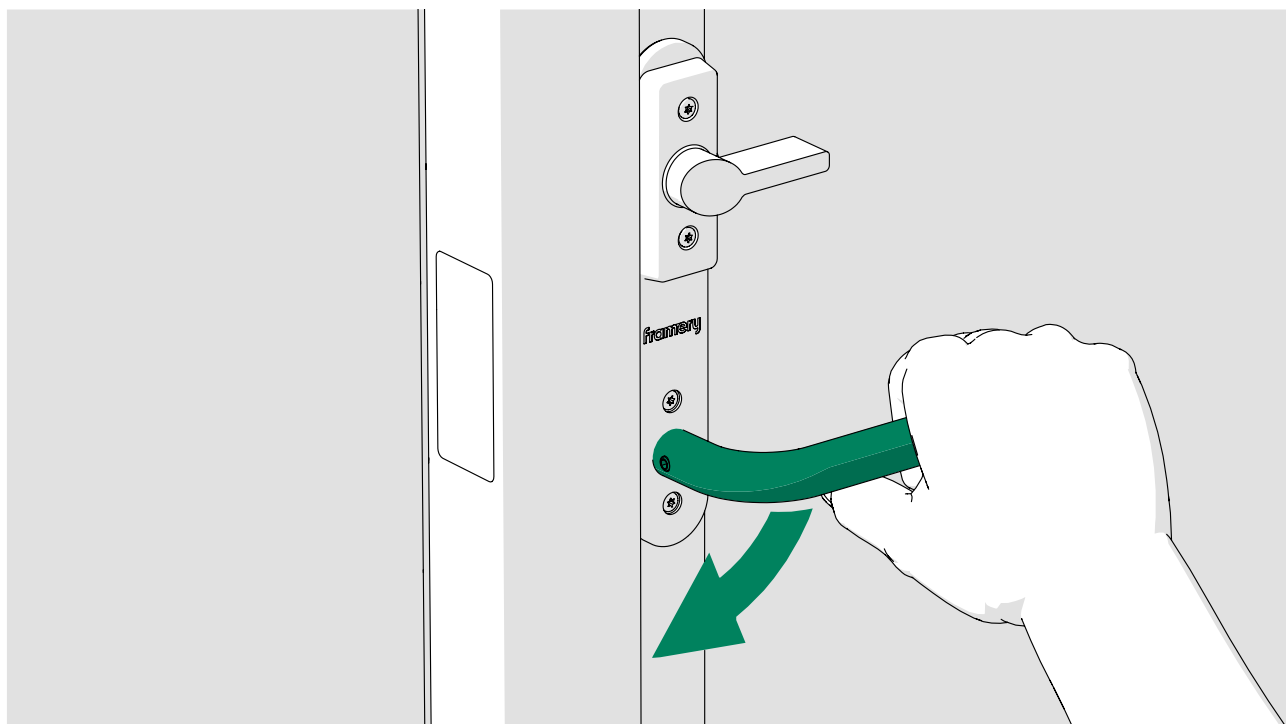


4. 小さい方のラッチを押し込んだ状態で、サムターンを回してロックラッチの機能をテストしてください。

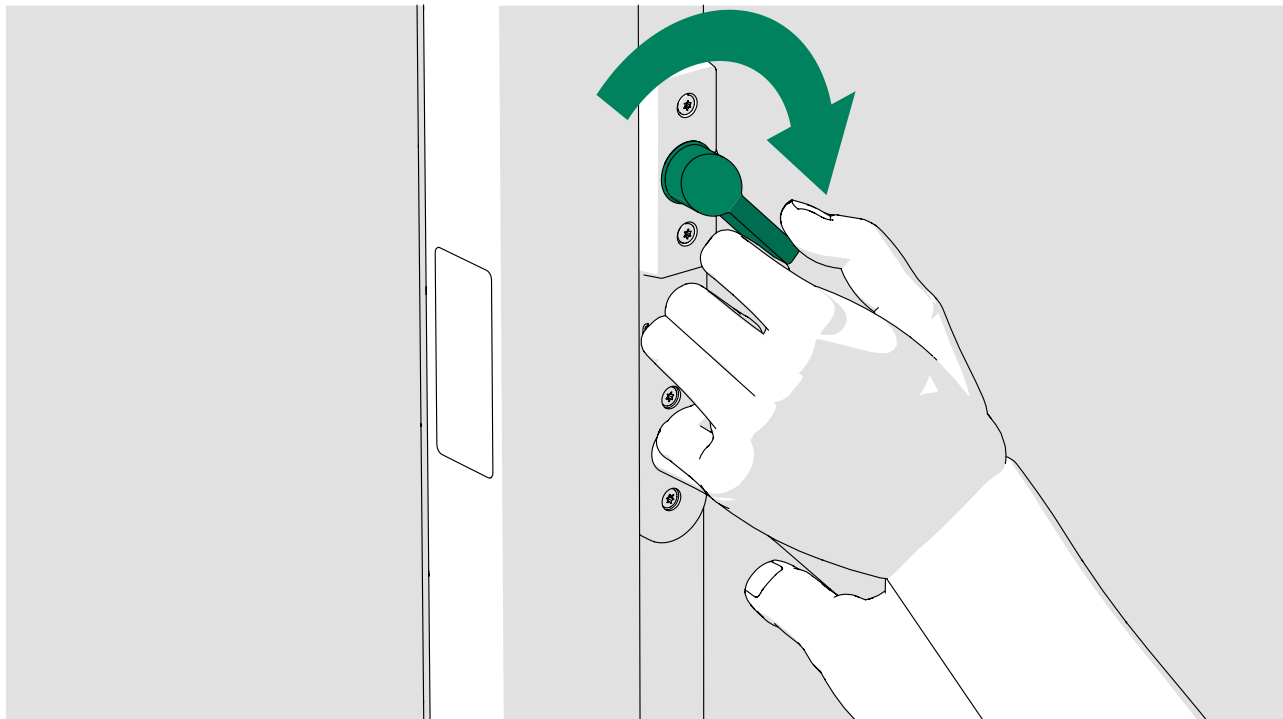
ロックラッチはロックケース内に収納されていなければなりません。



5. ポッド内に入り、ドアを閉めた後、ドアハンドルを回してください。
ドアが開かなくなります。



6. ドアハンドルを押しながら、サムターンも回してください。
ドアが開くようになります。



7. 製造元の指示に従って、スマートロックをプログラムしてください。

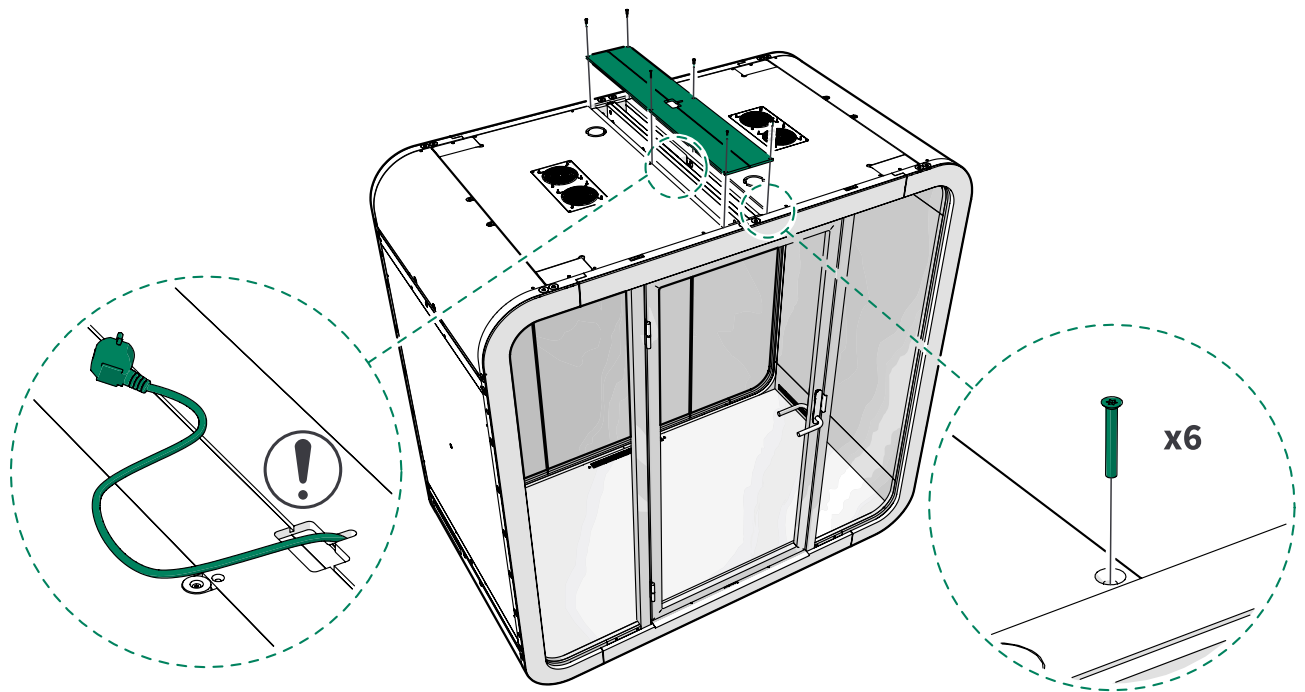
ⓘ 注：スマートロックシステムを使用すると、ドアハンドルを回してもドアが開かなくなります。

16 ボディカバーの設置

16.1 ルーフカバーパネルの設置

4x30ネジ (6個) でルーフカバーパネルを取り付けます。

- ❗ 注：電源コードをルーフに設置した場合は、ルーフカバーパネルの穴から溝に通してから、ルーフカバーパネルを設置してください。設置の際には、電源コードが破損しないように注意してください。

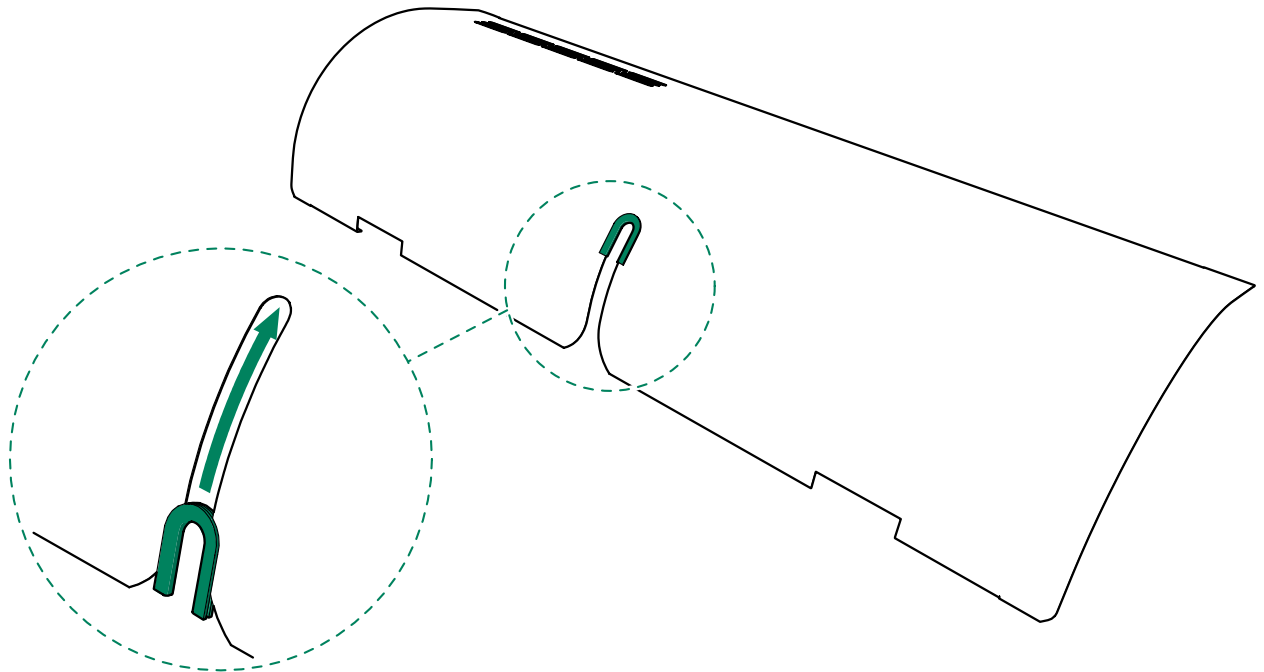


16.2 ボトムボディカバーの設置

1. 電源コードをフロアモジュールに設置した場合は、片方の底面ボディカバーにゴム製リードスルーを追加し、このボディカバーを電源コードの側に使用してください。

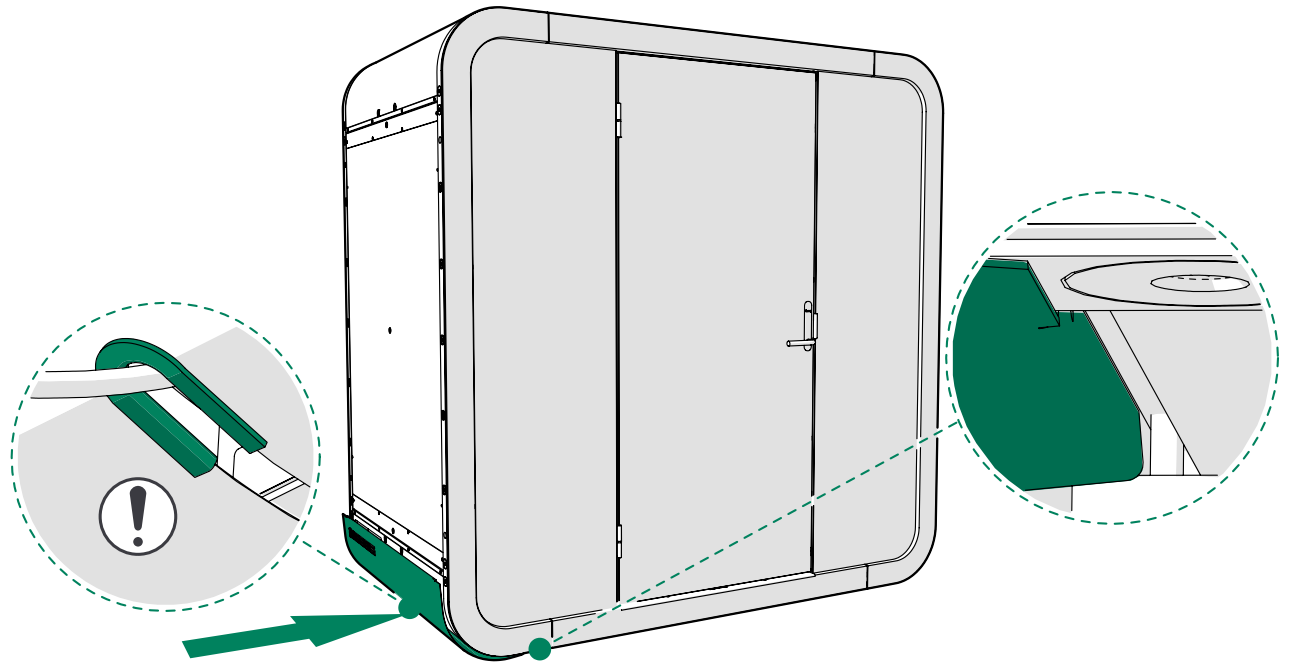
① ヒント：ゴムを折り曲げてから取り付けてください。

② 注：初めて設置する時に限り、この作業を行わなくてはなりません。

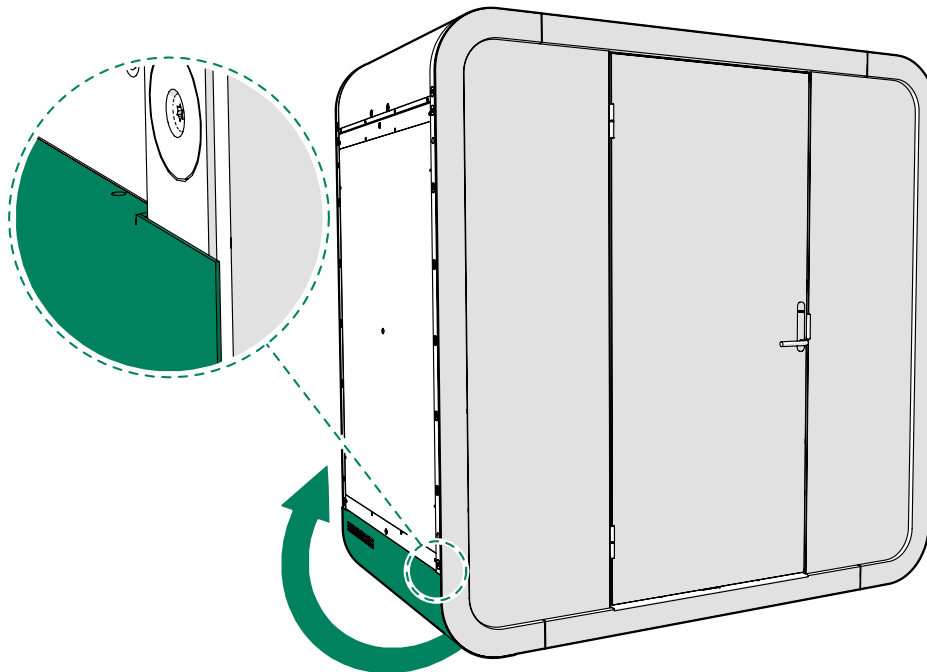


2. 左側のボトムボディカバーをポッドの下にスライドさせてください。
カバーの端を床下の溝に入れてください。

❗ 注：電源コードをフロアモジュールに設置した場合は、電源コードの側面にあるゴム製導線を使って、必ずボトムボディカバーを設置してください。

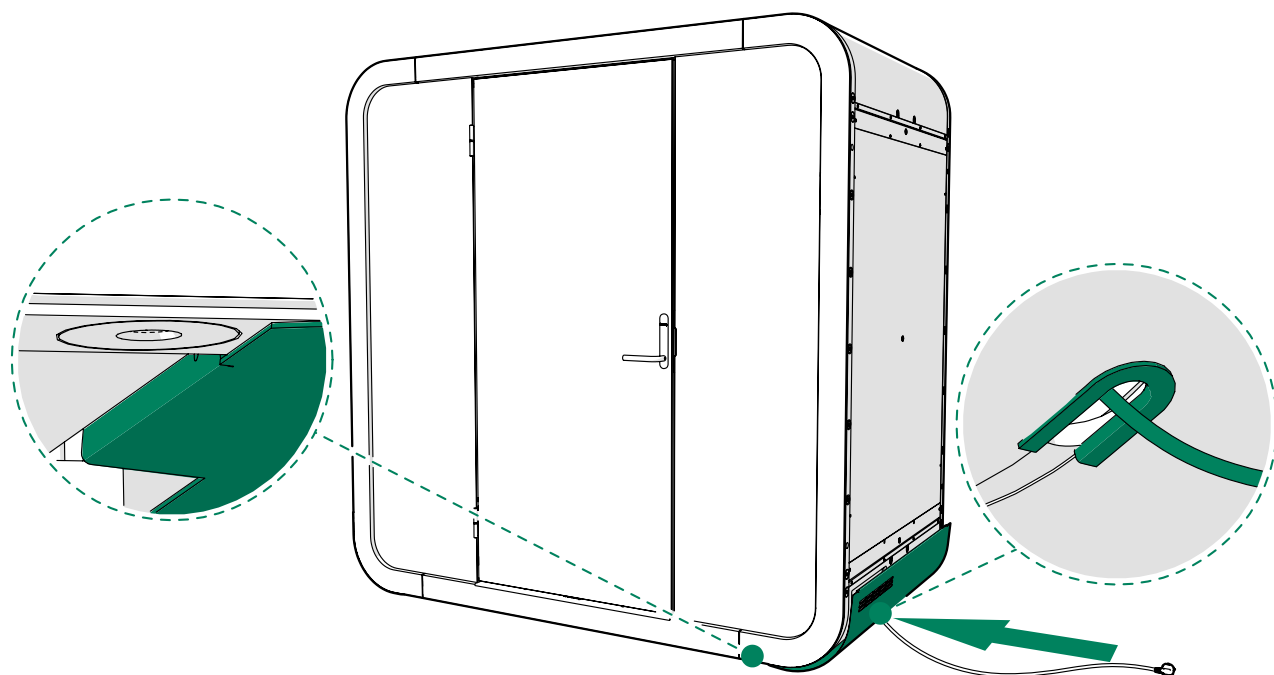


3. 左側の底面ボディカバーのもう片方の端を、左側の壁の下部にある溝に入れてください。

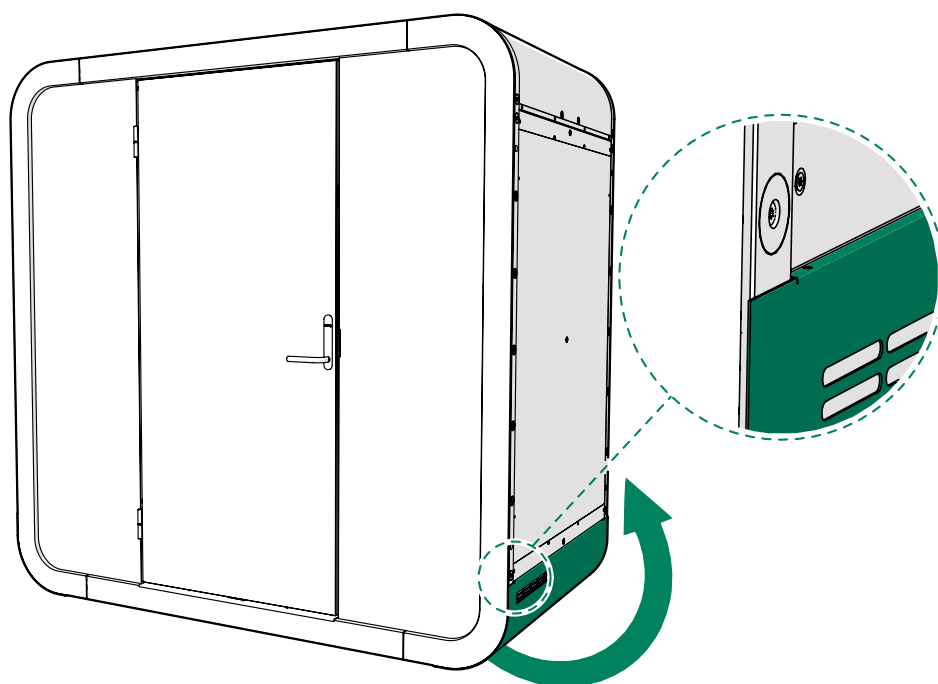


4. 右側の底面ボディカバーをポッドの下にスライドさせてください。
カバーの端を床下の溝に入れてください。

❗ 注：電源コードをフロアモジュールに設置した場合は、電源コードの側面にあるゴム製導線を使って、必ずボトムボディカバーを設置してください。



5. 右側ボトムボディカバーのもう片方の端を、右側の壁の下部にある溝に差し込んでください。

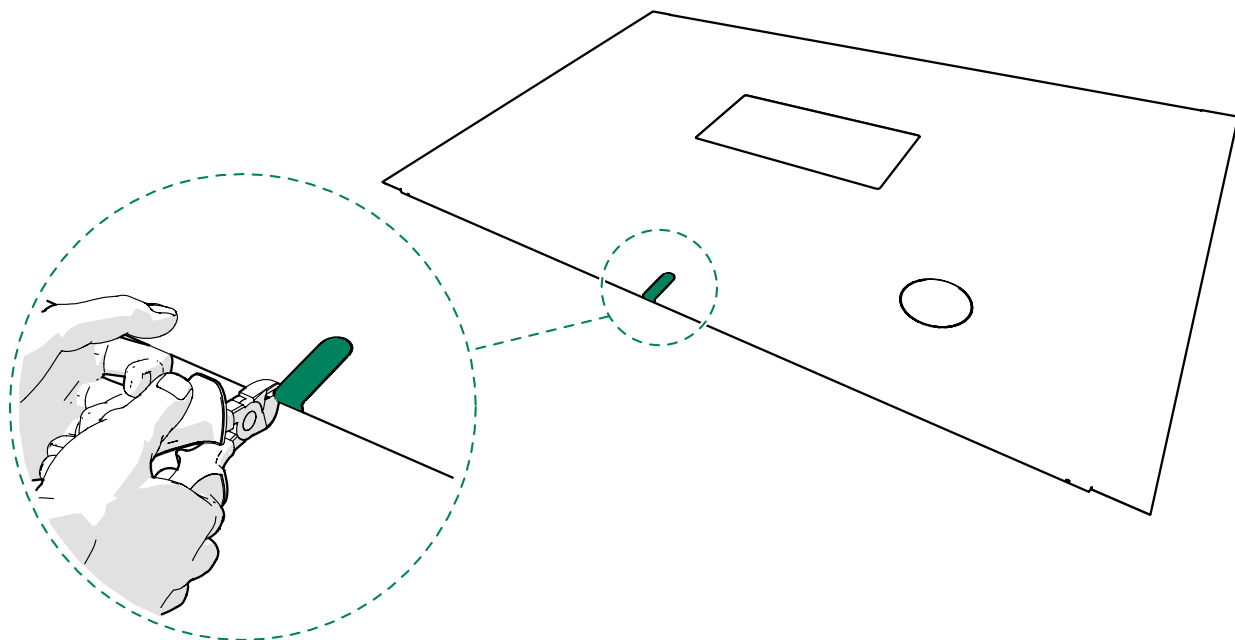


16.3 ルーフボディカバーの設置

1. 電源コードを天井から設置している場合は、ボディカバーの切り込み部分を切ってください。

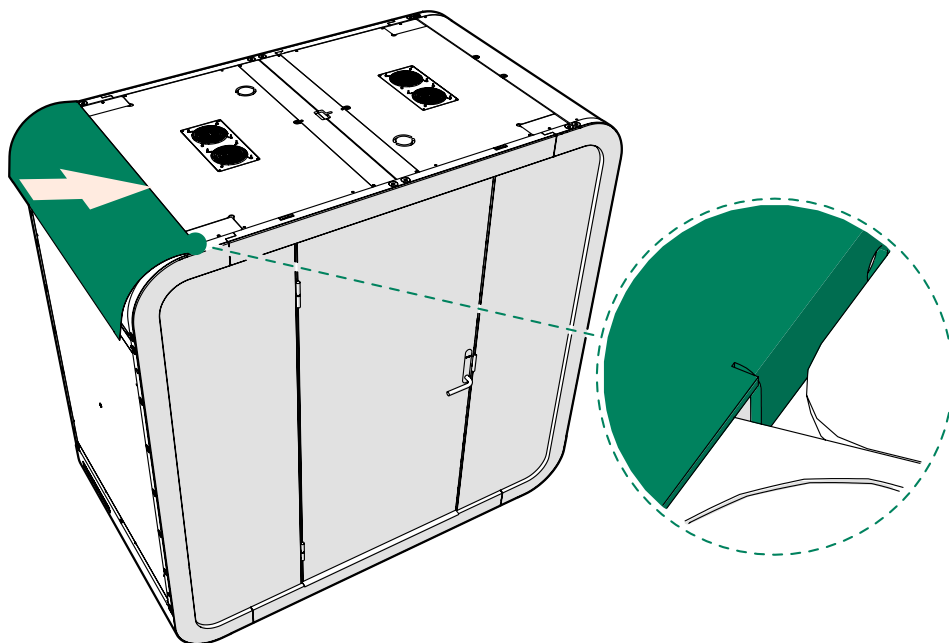
電源コードをフロアモジュールに取り付けている場合は必要ありません。

❗ 注：初めて設置する時に限り、この作業を行わなくてはなりません。

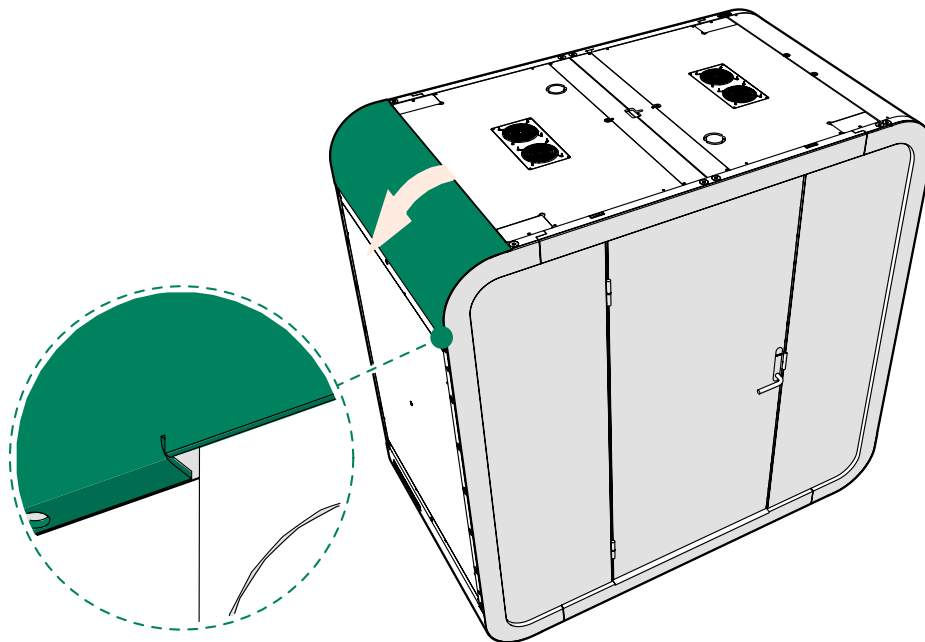


2. 湾曲したルーフボディカバーの一方の端を、ルーフモジュールの端にある溝に差し込んでください。

❗ 注：カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。カーブ後の短い直線部分は、屋根の端まで設置されています。

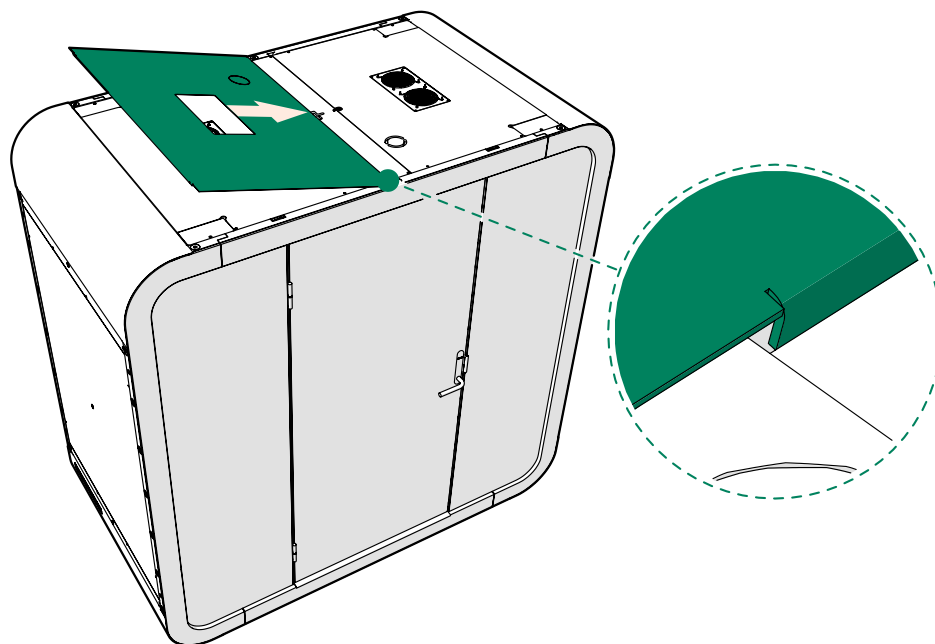


3. 本体カバーのもう一方の端を壁の上部にある溝に入れてください。

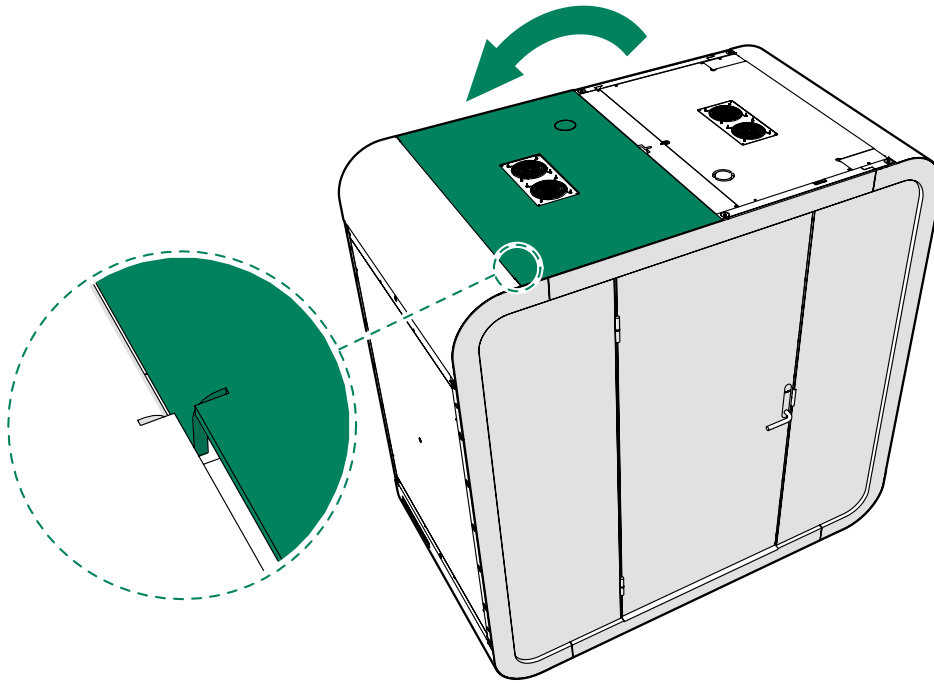


4. 手順2と3を繰り返して、もう一方の曲面ルーフボディカバーをルーフモジュールの反対側に取り付けてください。
5. 左側のストレートルーフボディカバーの端を、ルーフモジュール中央の溝に入れてください。

ⓘ 注：ボディカバーの丸い円と、ルーフモジュールの丸い円が一致していることを確認してください。

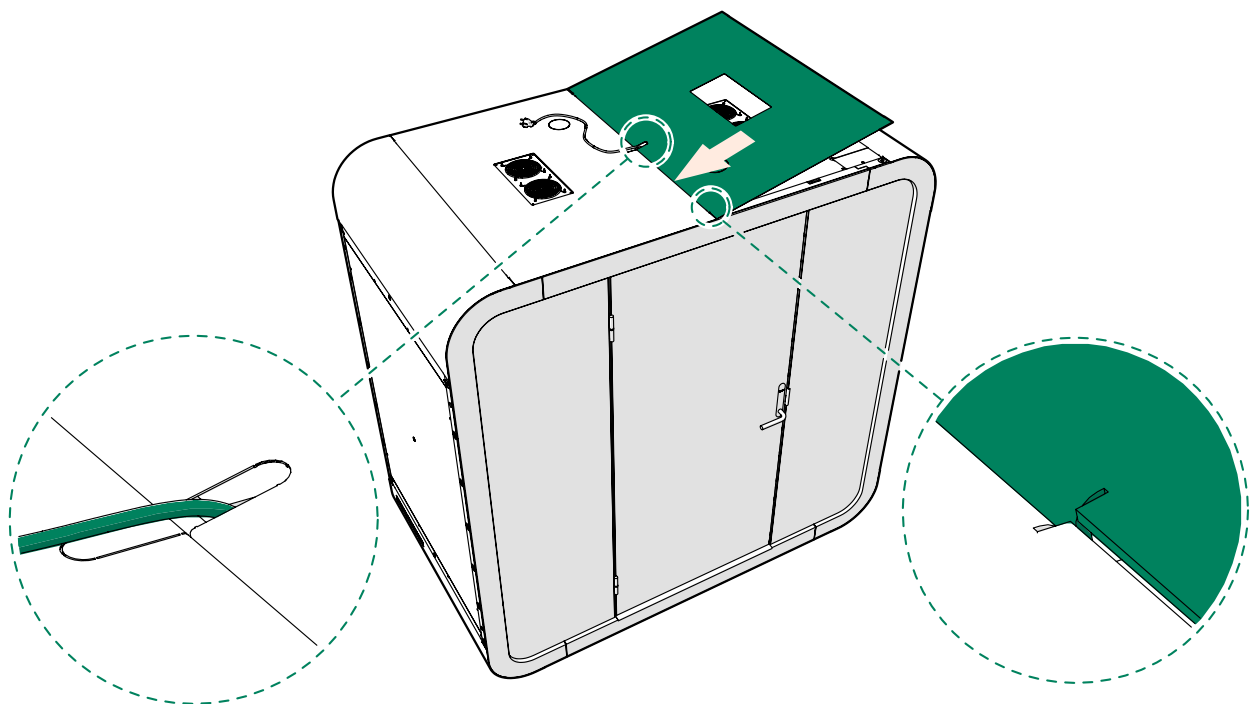


6. ボディカバーのもう一方の端を、ルーフモジュールの端にある溝に入れてください。

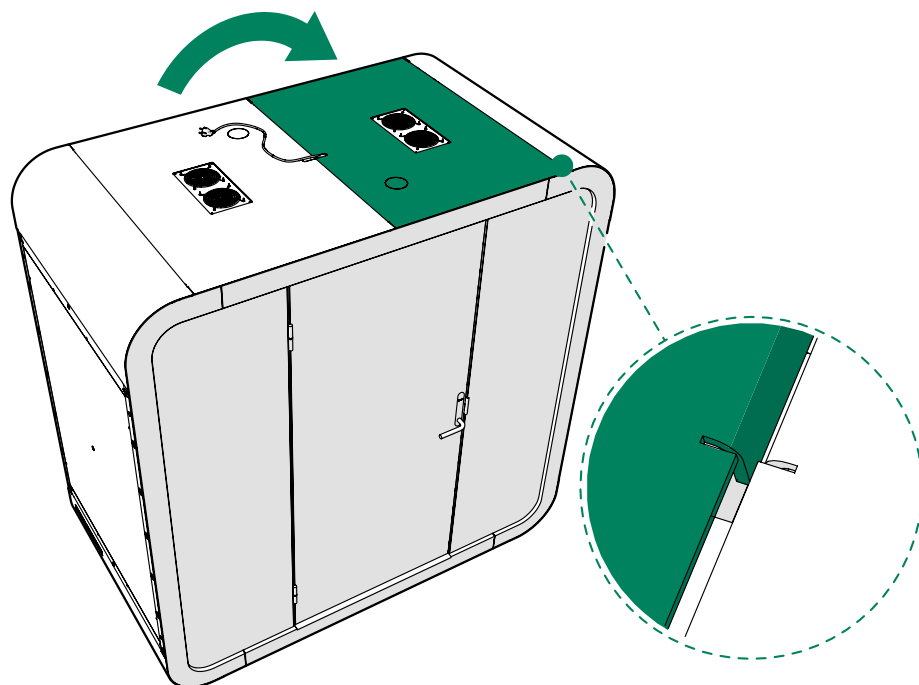


7. 右側のストレートルーフボディカバーの端をルーフモジュール中央の溝に入れてください。

❗ 注：電源コードをルーフモジュールに取り付けた場合は、電源コードをカバーの切り込みから出してください。設置の際は、コードに傷が付かないように注意してください。

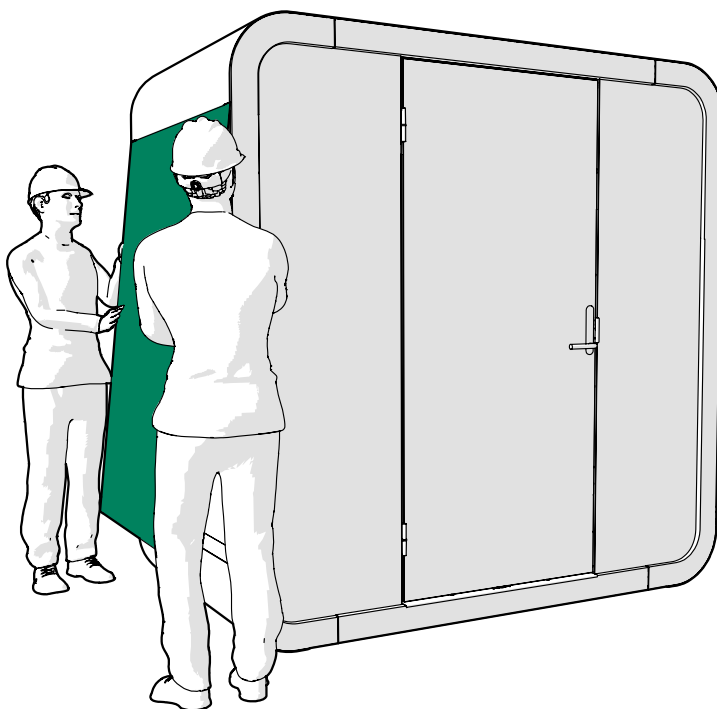


8. ボディカバーのもう一方の端を、ルーフモジュールの端にある溝に入れてください。

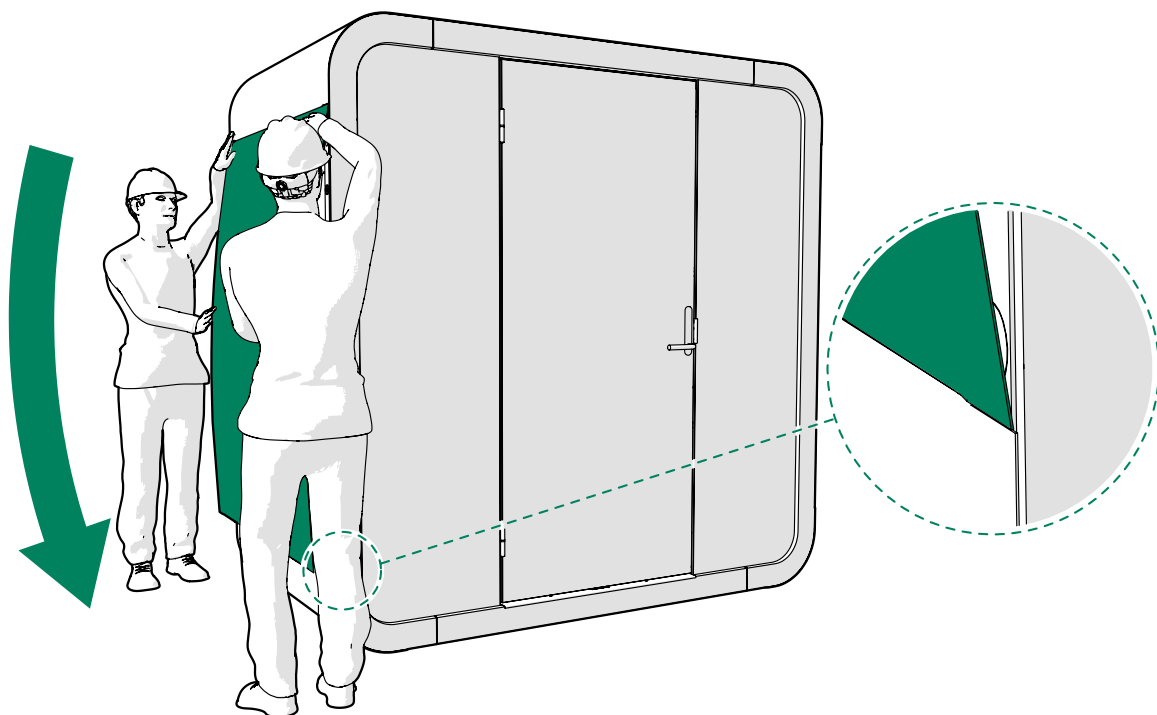


16.4 壁面ボディカバーの設置

1. 片方の本体カバーの端を壁の上部にある溝に入れてください。



2. 片手でボディカバーを上部の溝に押し込み、もう一方の手でボディカバーを外側に軽く曲げてください。本体カバーの下端を壁の下部にある溝にスライドさせ、本体カバーを押し込んでください。

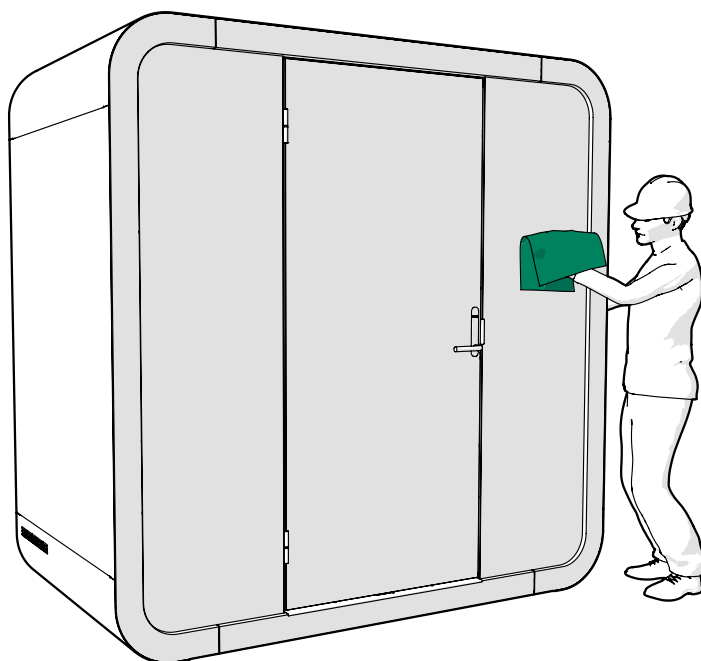


3. もう一方のウォールボディカバーにも、手順1と2を繰り返してください。

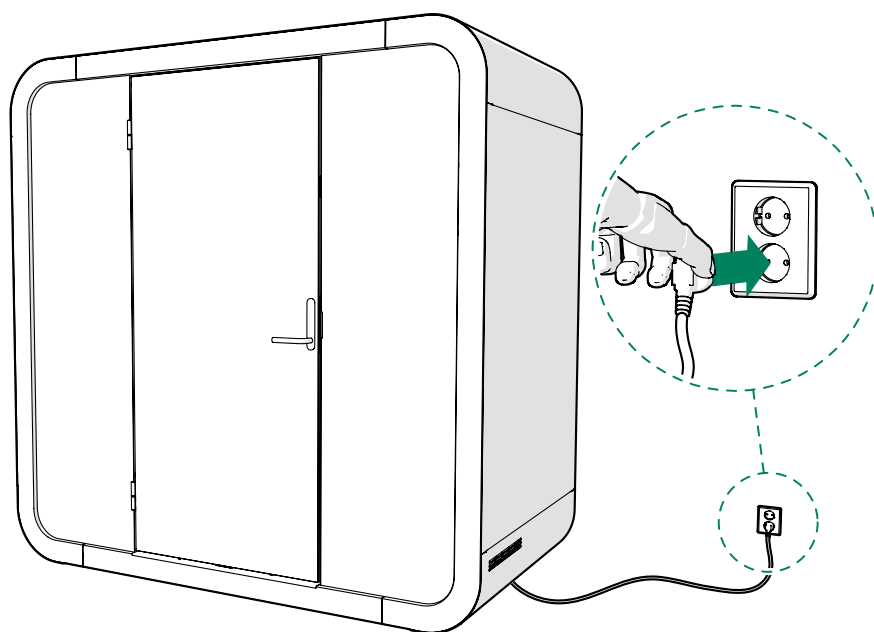
- ① 注：ボディカバーとフレームの間に隙間がないことを確認してください。
- ① 注：壁のボディカバーが均等に取り付けられているか、他のボディカバーと正しく並んでいるかを確認してください。必要に応じて、白色のゴム製ハンマーで壁のカバーを軽くたたいて、位置を合わせてください。

17 設置完了

1. ガラス洗浄液と糸くずの出ない布でガラスを拭いてください。

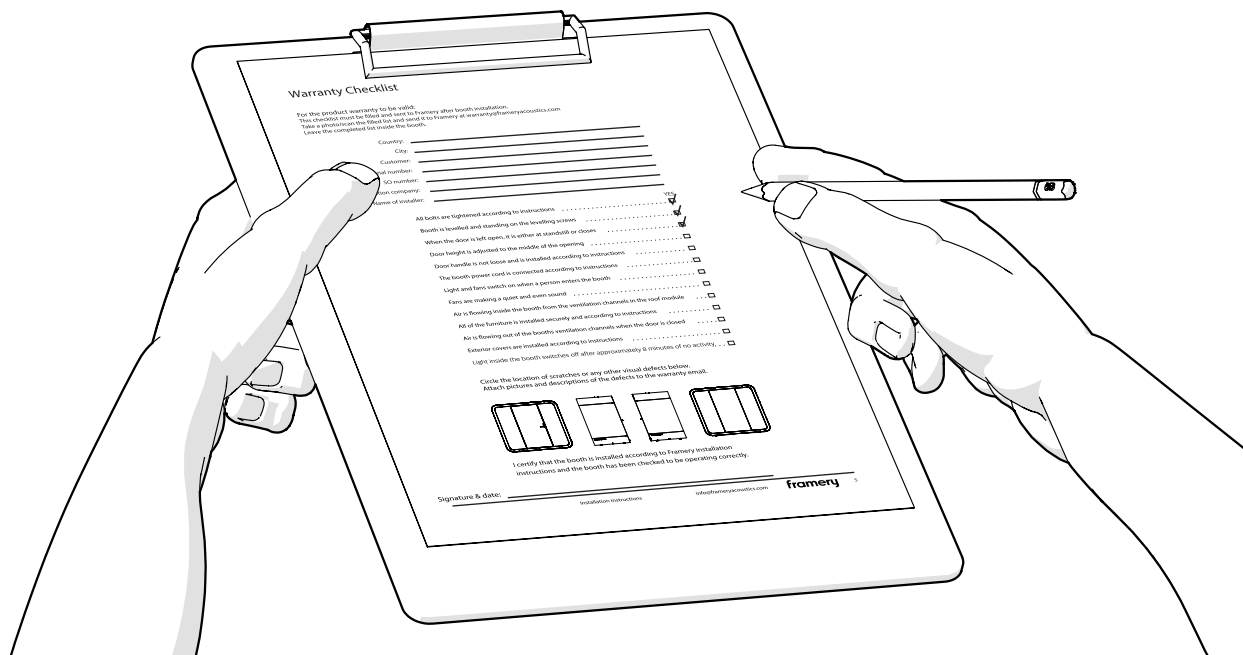


2. 主電源コードをコンセントに接続してください。



3. 保証書チェックシートに必要事項を記入し、Frameryに送付してください。

❗ 注：保証書は、記入済みの保証書チェックリストがある場合のみ有効です。



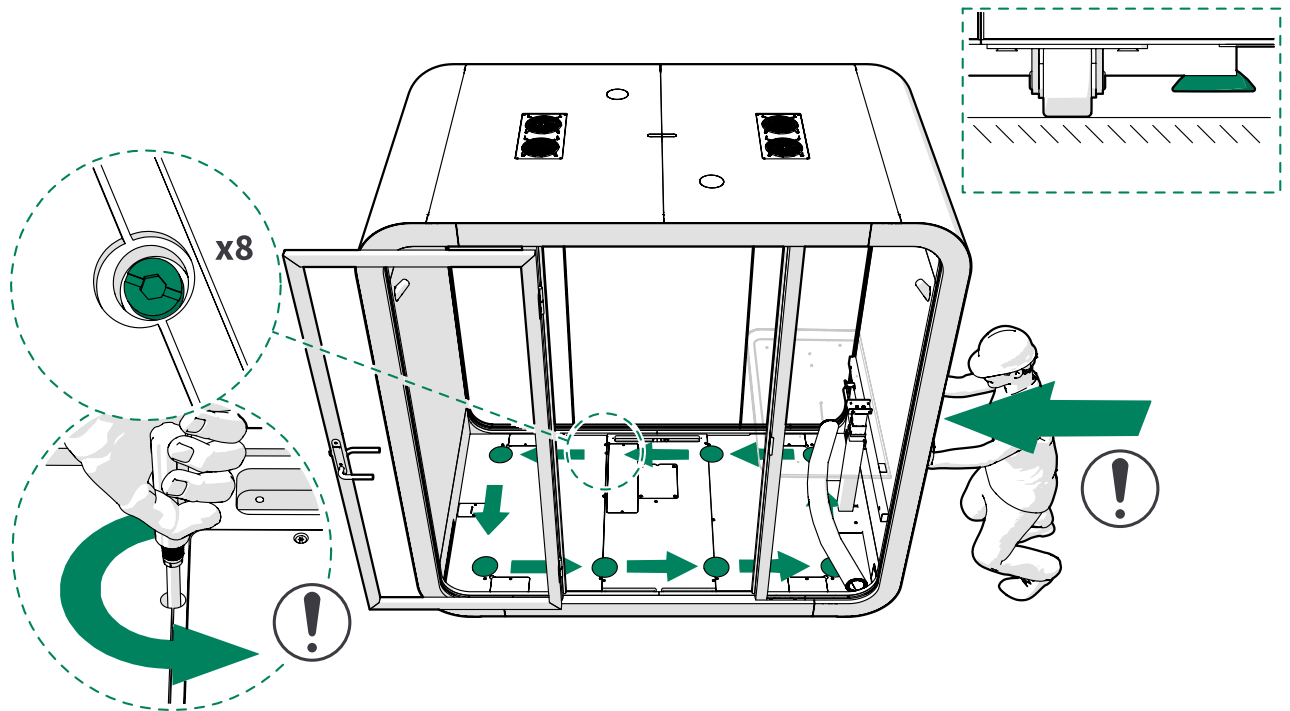
18 ポッドの移動 (別売)

カーペットをポッドのテーブル側に巻いてください。家具がある場合はすべて取り除いてください。

⚠ 警告： 怪我の危険性があります。ポッドがキャスターのみで立っているときは、ポッドの中に入らないでください。

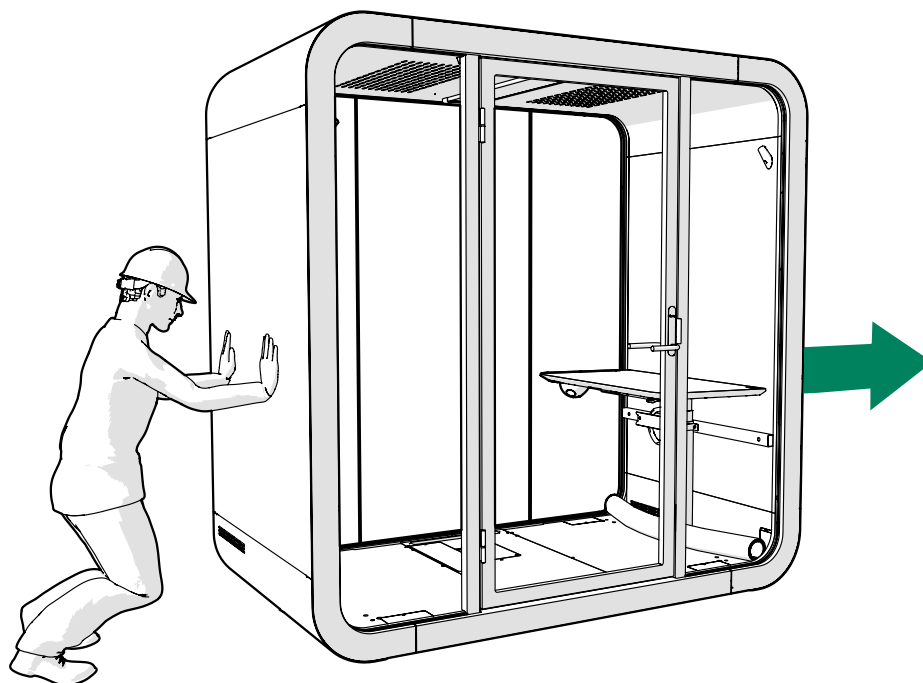
1. 水平調節脚 (8本) を6mm~7mmのマイナス ドライバーでねじ込み、ポッドがキャスターの上に立つようにしてください。

i ヒント： 水平調節脚用ネジを回すのが硬い場合は、調節している脚に最も近い隅からポッドを一人で押してみてください。



2. ポッドを慎重に押して、新しい場所に移動してください。

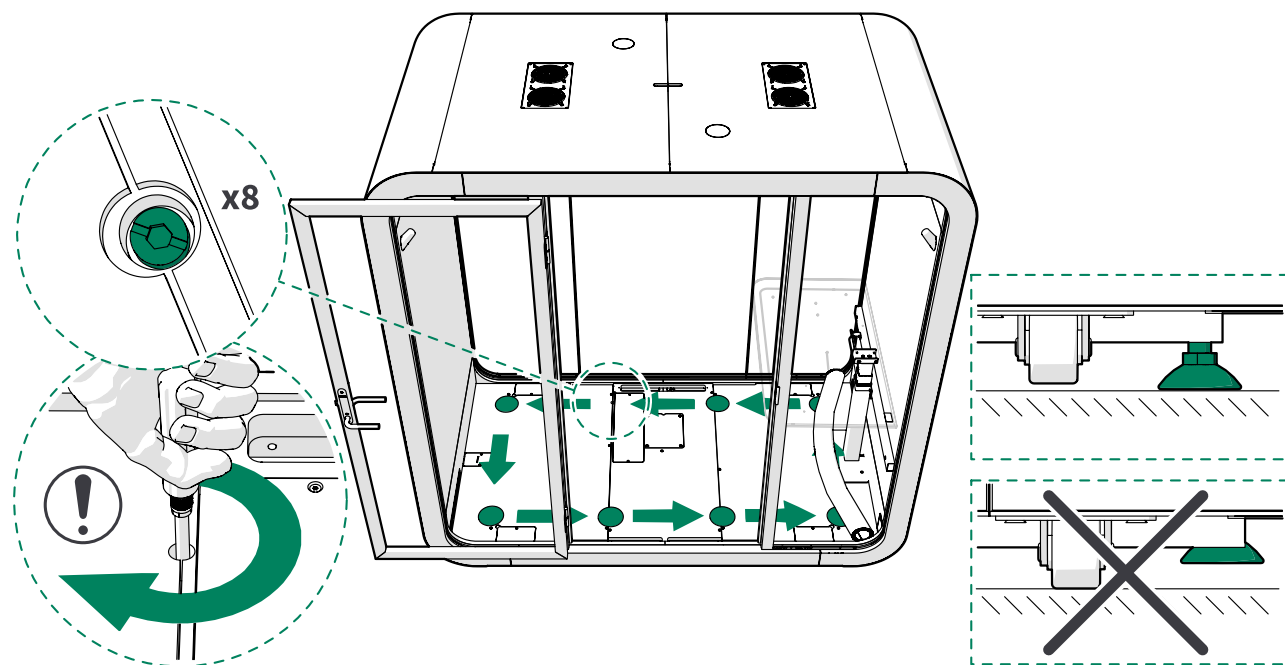
- ① 注：ポッドを垂直方向の真ん中より下に押すだけで、牽引してはいけません。
- ① 注：ポッドは歩行速度でのみ移動してください。
- ① 注：平らな場所だけでポッドを移動させてください。高さ**3mm**以上のものを越えないでください。



3. 6mm～7mmのマイナス ドライバーを使用して、水平調節脚 (8 本) を徐々にねじ込んでください。

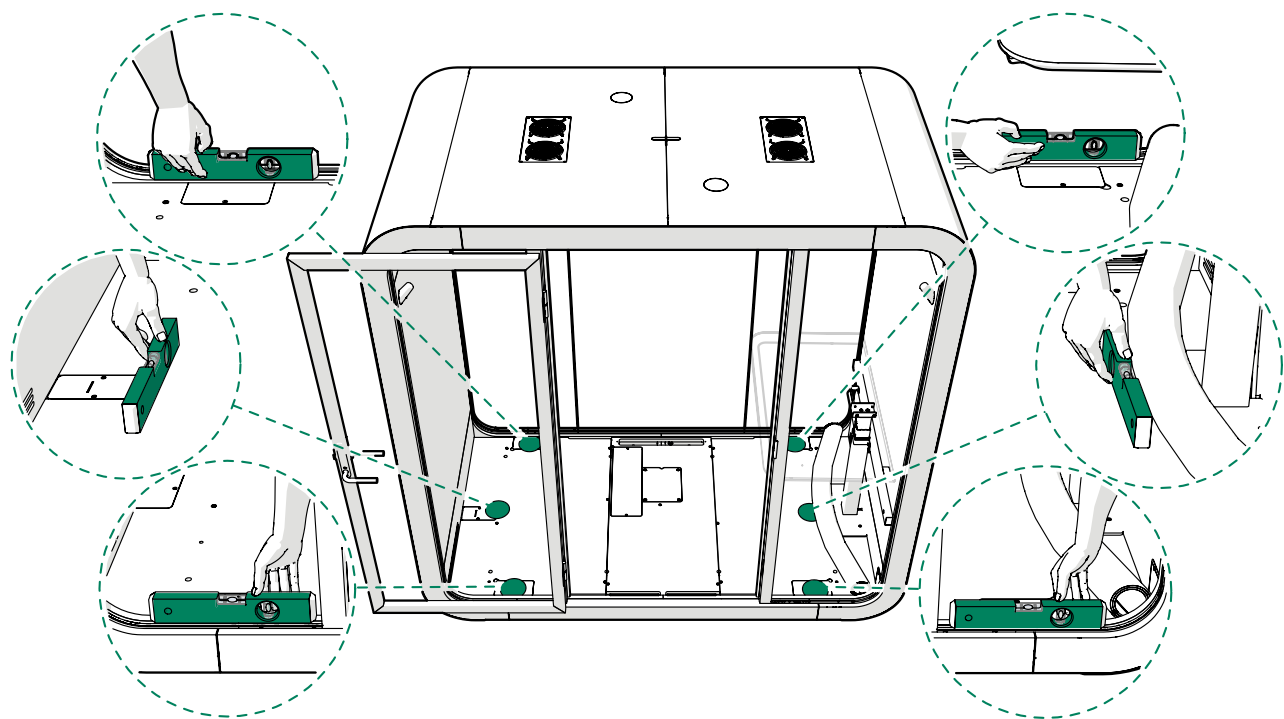
水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。水平調節脚が床に届いたら、調節ネジを回すのが重くなります。

- ① ヒント：水平調節脚用ネジを回すのが硬い場合は、調節している脚に最も近い隅からポッドを一人で押してみてください。



4. 床を水平にし、水平調節脚の脚を最終的な位置までねじ込んでください。水準器で反対側を繰り返し測定し、水平調節脚を徐々に調節してください。

キャスターが取り付けられている場合は、水平調節脚がキャスターよりも少し高く出ているのを確認してください。



5. カーペットを敷いてください。

- ① 注：カーペットがしっかりと取り付けられているか、段差がないかを確認してください。

framery

Framery Q Flow

設置方法

Patamäenkatu 7

33900 Tampere

FINLAND

VAT: FI 23527139